2026 年度
A セメスター（A1 ターム・A2 ターム）
科目紹介（シラバス抜粋）

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2026年度のAセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－4に掲載されている、（表2）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

Aセメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックにはAセメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 ⑦ 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	Aセメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
教養教育高度化機構
PEAK 前期
日本語
先進科学
先進融合

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

数理科学研究科
数理科学研究科

その他（後期課程諸学部、研究所など）
法学部
公共政策大学院
医学部
工学部
情報理工学系研究科
文学部
理学部
農学部
経済学部
教育学部
薬学部
情報学環
新領域創成科学研究科
医科学研究所
etc..

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、「英語一列」(教養英語)・「英語二列Ｓ」(アカデミック・ディスカッション)・「英語二列W」(アカデミック・ライティング) に分けられます（その他に総合科目Ｌ系列３単位)。

「英語一列」(教養英語) は、共通教科書とそれに対応した音声教材とを使用する習熟度別の授業です。「英語二列Ｓ」も同じく習熟度別の授業であり、FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施されます。「英語二列W」は、文科生に対しては ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)の、理科生に対しては ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムによりそれぞれ実施されます。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS トップ画面＞「履修」＞「履修登録（前期課程)」＞「履修登録（前期課程)」より、自身が履修する授業を確認してください（授業期間開始までに UTAS に反映されます。)。

●「英語二列Ｓ」を履修するためには、英語スピーキングのレベル登録が必要です。過年度入学の１年生については、入学時に行ったレベル登録とは別に、新たに登録する必要があります。各ターム開始前にレベル登録に関する案内を前期課程ウェブサイト「お知らせ」に掲示します。自身が履修するタームの前に必ず掲示を確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられています。「(クラス指定総合科目Ｌ)」と記載されている期間については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1 S1</td><td>1 S2</td><td>1 A1</td><td>1 A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1 S</td><td colspan="2">1 A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列Ｓ</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列Ｓ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列②（教養英語）≫

目標・概要　英語一列は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。言外の意味やニュアンス、書き手の真の意図への理解も含めた英文の深い読解力の涵養を目指すとともに、題材となっている科学、社会、文化、言語、歴史など文理横断的な多様なジャンルや問題への関心を喚起することで、多元化する世界に応じた幅広い「教養」を培うことを目標としている。クラスは学生の習熟度に合わせて 3 段階に分かれており、全クラスで共通して学習する教科書の指定されたセッションを試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法
・英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・英語一列では習熟度に応じて 3 つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。
グループ 1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それをもとにした発展的な活動を含むこともある。
・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については UTOL の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。

成績評価方法
・平常点 5 割、定期試験（統一試験）5 割で評価が決定される。
・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。
・期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	多元化する世界を英語で読む
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-082135-3

関連ホームページ

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）	
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50310	A 1	火 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50312	A 1	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50313	A 1	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50314	A 1	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	A 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	A 1	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	A 1	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50318	A 1	火 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50319	A 1	火 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	松谷 優花	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50580	A 1	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50376	A 1	火 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50377	A 1	火 4	Kristopher McEown	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50378	A 1	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	A 1	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50380	A 1	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	A 1	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50382	A 1	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	A 1	火 4	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	松谷 優花	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50387	A 1	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	Francesco Cangemi	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50494	A 1	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50495	A 1	水 2	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50496	A 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	Tito Akindele	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50502	A 1	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50506	A 1	水 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	Yassin Eiman	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50311	A 1	水 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50581	A 1	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50582	A 1	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50583	A 1	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50584	A 1	水 3	Fei Chen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50585	A 1	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50586	A 1	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50587	A 1	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50588	A 1	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	Manuel Senna	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50592	A 1	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60099	A 2	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60100	A 2	火 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60101	A 2	火 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60102	A 2	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60103	A 2	火 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60111	A 2	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	松谷 優花	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

外国語（英語二列 S）

60114	A 2	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60163	A 2	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 4	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60116	A 2	火 4	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60117	A 2	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60118	A 2	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60119	A 2	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	Kristopher McEown	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60123	A 2	火 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	Francesco Cangemi	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60127	A 2	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60128	A 2	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	松谷 優花	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60131	A 2	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60140	A 2	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60141	A 2	水 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60142	A 2	水 2	Tito Akindele	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60143	A 2	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60144	A 2	水 2	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60145	A 2	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60146	A 2	水 2	Yassin Eiman	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60147	A 2	水 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60148	A 2	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60149	A 2	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60150	A 2	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60151	A 2	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60108	A 2	水 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60162	A 2	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60164	A 2	水 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60165	A 2	水 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60166	A 2	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60167	A 2	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60168	A 2	水 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 S）

60171	Ａ２	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60172	Ａ２	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	Ａ２	水 3	Manuel Senna	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	Ａ２	水 3	Fei Chen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	Ａ２	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	Ａ２	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	Ａ２	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要
This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法
Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法
Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ
https://eng2.c.u-tokyo.ac.jp/support

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50705	木 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50706	木 2	Richard Dietz	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50707	木 2	Simon Perry	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50708	木 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50709	木 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50710	木 2	松谷 優花	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50711	木 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50712	木 2	Ian Wash	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50713	木 2	Fei Chen	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50714	木 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50715	木 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50716	木 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50717	木 2	Alex Bueno	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50718	木 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50719	木 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50756	木 3	Alex Bueno	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50757	木 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50758	木 3	松谷 優花	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50759	木 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50760	木 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50761	木 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50762	木 3	Fei Chen	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50763	木 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50764	木 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50765	木 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50766	木 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50767	木 3	Richard Dietz	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50768	木 3	Simon Perry	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50769	木 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50770	木 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)

外国語（英語二列 W）ALESA

50816	木 4	Yassin Eiman	1 年 文一二(22)文三(7)
50817	木 4	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(22)文三(7)
50818	木 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(22)文三(7)
50819	木 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(22)文三(7)
50876	金 1	松谷 優花	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50877	金 1	Yassin Eiman	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50878	金 1	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50879	金 1	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50880	金 1	Alex Bueno	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50881	金 1	Ian Wash	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50882	金 1	Eunsun Lee	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50883	金 1	Dennis Stromback	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50884	金 1	Catherine Hansen	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50885	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50979	金 3	Simon Perry	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50980	金 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50981	金 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50982	金 3	Alex Bueno	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50983	金 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50984	金 3	松谷 優花	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50985	金 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要　In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

授業の方法　Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.

成績評価方法　Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.

関連ホームページ　https://eng2.c.u-tokyo.ac.jp/support

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50030	月 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50031	月 2	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50032	月 2	John Solomon Maninang	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50033	月 2	Kristopher McEown	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50034	月 2	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50035	月 2	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50036	月 2	Francesco Cangemi	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50037	月 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50038	月 2	Manuel Senna	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50068	月 3	Graham Peebles	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50069	月 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50070	月 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50071	月 3	John Solomon Maninang	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50072	月 3	Kristopher McEown	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50073	月 3	Leonard Sprague	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50074	月 3	Manuel Senna	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50075	月 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50076	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50077	月 3	Stefanie Mack	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50078	月 3	Tito Akindele	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50079	月 3	WEITEMIER Adam	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50080	月 3	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50081	月 3	Francesco Cangemi	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50082	月 3	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50083	月 3	Alexandra Terashima	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50084	月 3	Candler Hallman	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50131	月 4	Graham Peebles	1 年 理一(11-12)
50132	月 4	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(11-12)
50133	月 4	Candler Hallman	1 年 理一(11-12)
50134	月 4	Alexandra Terashima	1 年 理一(11-12)

外国語（英語二列 W）ALESS

50135	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(11-12)
50198	火 1	ディーエル グレゴリー	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50199	火 1	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50200	火 1	Tito Akindele	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50201	火 1	Leonard Sprague	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50202	火 1	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50203	火 1	Francesco Cangemi	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50204	火 1	Alexandra Terashima	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50205	火 1	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50462	水 1	Stefanie Mack	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50463	水 1	Tito Akindele	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50464	水 1	WEITEMIER Adam	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50465	水 1	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50466	水 1	Manuel Senna	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50467	水 1	Ian Wash	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50468	水 1	Graham Peebles	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50469	水 1	ディーエル グレゴリー	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50902	金 1	Graham Peebles	1 年 理二三(8,14)
50903	金 1	John Solomon Maninang	1 年 理二三(8,14)
50904	金 1	Kristopher McEown	1 年 理二三(8,14)
50905	金 1	Richard Dietz	1 年 理二三(8,14)
50906	金 1	Simon Perry	1 年 理二三(8,14)
50907	金 1	Stefanie Mack	1 年 理二三(8,14)
50996	金 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50997	金 3	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50998	金 3	Richard Dietz	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50999	金 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51000	金 3	Kristopher McEown	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51001	金 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51002	金 3	Ian Wash	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51003	金 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51004	金 3	Candler Hallman	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51005	金 3	Francesco Cangemi	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51034	金 4	Candler Hallman	1 年 理二三(4,11,17)
51035	金 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 理二三(4,11,17)
51036	金 4	WEITEMIER Adam	1 年 理二三(4,11,17)
51037	金 4	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理二三(4,11,17)
51038	金 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理二三(4,11,17)
51039	金 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　Ｓセメスターに引き続いて、共通教材『Einblicke』 (東京大学教養学部ドイツ語部会編)を用いて、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。なお、総合科目 L 系列の科目も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験結果から総合的に判断する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
出版社
ISBN
その他

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50044	月 2	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 理一(29)
50045	月 2	ドイツ語一列②	越懸澤 麻衣	1 年 理一(32)
50340	月 4	ドイツ語一列②	益 敏郎	1 年 文三(15)
50327	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文一二(20)
50328	火 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 文一二(22)
50346	火 3	ドイツ語一列②	梶谷 真司	1 年 理一(31)
50436	火 5	ドイツ語一列②	川﨑 聡史	1 年 理一(28)
50538	水 2	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(18)
50633	水 4	ドイツ語一列②	速水 淑子	1 年 理一(30)
50779	木 3	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 文一二(21)
50799	木 3	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理二三(17)
50807	木 4	ドイツ語一列②	フランク ゾーデ	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51010	金 3	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理二三(19)
51025	金 4	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1 年 文三(16)
51042	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理二三(18)
50610	水 3	ドイツ語特修	越懸澤 麻衣	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50027	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
50046	月 2	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 理一(37)
50094	月 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
50095	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50123	月 4	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(23)
50147	月 4	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 理二三(12)
50405	火 4	フランス語一列②	西川 純子	1 年 文一二(26)
50477	水 1	フランス語一列②	石川 典子	1 年 理一(33)
50545	水 2	フランス語一列②	赤羽 悠	1 年 理二三(20)
50604	水 3	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(36)
50624	水 4	フランス語一列②	今橋 映子	1 年 文三(17)
50723	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文三(18)
50724	木 2	フランス語一列②	實谷 総一郎	1 年 文三(19)
50725	木 2	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 文三(20)
50739	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(35)
50742	木 2	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 理二三(22)
50780	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(27)
50808	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50835	木 4	フランス語一列②	野崎 夏生	1 年 理二三(23)
50889	金 1	フランス語一列②	上杉 未央	1 年 文一二(28)
50900	金 1	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理一(34)
51011	金 3	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理二三(21)
51012	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
51023	金 4	フランス語一列②	中尾 沙季子	1 年 文一二(25)
50611	水 3	フランス語特修	今橋 映子	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要
中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
但し「高度」科目選択の学生は必ず「初級演習（高度)」を履修すること（担当：鄧芳先生 月５ 白春花先生 金２)。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい（担当：賈黎黎先生 金２)。
但し「高度」科目選択の学生は必ず「初級演習（高度)」を履修すること（担当：鄧芳先生 月５ 白春花先生 金２)。
●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。

成績評価方法
期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語教程（2026 年 3 月出版）
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・李佳樑 著
出版社　白帝社
ISBN
その他

関連ホームページ
中国語部会連絡掲示板 https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/chinese

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50024	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1 年 文一二(12)
50025	月 2	中国語一列②	菊池 真純	1 年 文一二(13)
50091	月 3	中国語一列②	三村 一貴	1 年 理一(20)
50092	月 3	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理一(22)
50127	月 4	中国語一列②	中村 元哉	1 年 文三(11)
50128	月 4	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文三(12)
50129	月 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文三(13)
50206	火 1	中国語一列②	張 政遠	1 年 理一(21)
50475	水 1	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(24)
50476	水 1	中国語一列②	王 牧	1 年 理一(26)
50524	水 2	中国語一列②	王 欽	1 年 文一二(17)
50539	水 2	中国語一列②	阿古 智子	1 年 理一(19)
50544	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理二三(16)
50620	水 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 文一二(14)
50622	水 4	中国語一列②	韓 燕麗	1 年 文一二(18)
50737	木 2	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(25)
50778	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(19)
50798	木 3	中国語一列②	松本 秀士	1 年 理二三(15)
50809	木 4	中国語一列②	王 牧	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50813	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
50814	木 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 文一二(16)
50834	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(13)
50899	金 1	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(27)
50988	金 3	中国語一列②	三村 一貴	1 年 文三(14)
50993	金 3	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理一(23)
51009	金 3	中国語一列②	及川 茜	1 年 理二三(14)
50612	水 3	中国語特修	石井 剛	2 年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要
初修ロシア語の 1 年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

成績評価方法
定期試験と平常点に基づいて評価する。
(1) 平常点とは、出席、授業中に実施される小テスト、その他の課題等に基づいて算出される点数を指す。
(2) 定期試験 （本試験）を欠席した場合、平常点に関係なく「欠席」となり、実質的に 0 点（「 不可 」）となる（平常点は考慮されない）。
(3) やむをえない理由があって定期試験（本試験）を欠席した場合は、所定の手続きを経て追試験を受けることができる。
(4)追試験を欠席した場合の成績は、本試験欠席時と同様に、「欠席」となる。追試験を受けた場合の平常点の扱いは、本試験を受験した場合に準ずる。
※定期試験 （本試験・追試験）と成績評価に関しては「履修の手引き」34〜44 頁を熟読すること。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　朝日出版社
ISBN
その他

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50411	火 4	ロシア語一列②	丸山 由紀子	1 年 理二三(4)
50727	木 2	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 理一(4)
50728	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 理一(5)
50967	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)
50986	金 3	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文三(4)
50640	水 4	ロシア語特修	居阪 僚子	2 年 文科 理科

基礎科目　スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要　初修スペイン語では、共通教科書『Brújula』を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分ける。Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、ネイティブ教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週２回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

成績評価方法　各担当教員に任されている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Brújula−スペイン語学習の羅針盤』
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55111-1
その他

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50023	月 2	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 文一二(9)
50048	月 2	スペイン語一列②	受田 宏之	1 年 理二三(10)
50099	月 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理二三(7)
50100	月 3	スペイン語一列②	澤村 るり子	1 年 理二三(8)
50196	火 1	スペイン語一列②	杉守 慶太	1 年 理一(11)
50197	火 1	スペイン語一列②	丸山 共恵	1 年 理一(16)
50338	火 3	スペイン語一列②	杉守 慶太	1 年 文三(10)
50413	火 4	スペイン語一列②	藤井 礼奈	1 年 理二三(9)
50598	水 3	スペイン語一列②	伊香 祝子	1 年 文三(9)
50629	水 4	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理一(9)
50631	水 4	スペイン語一列②	伊香 祝子	1 年 理一(17)
50720	木 2	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 文一二(10)
50731	木 2	スペイン語一列②	川上 英	1 年 理一(10)
50734	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(15)
50771	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 文一二(11)
50781	木 3	スペイン語一列②	宮地 隆廣	1 年 文三(7)
50787	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(12)
50788	木 3	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 理一(13)
50797	木 3	スペイン語一列②	川上 英	1 年 理二三(11)
50811	木 4	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 文一二(8)
50823	木 4	スペイン語一列②	佐々木 充文	1 年 理一(14)
50975	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1 年 文一二(7)
50987	金 3	スペイン語一列②	内田 兆史	1 年 文三(8)
50613	水 3	スペイン語特修	石橋 純	2 年 文科 理科

基礎科目　韓国朝鮮語

韓国朝鮮語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版)』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。

●特修クラス
これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

成績評価方法　定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　『ことばの架け橋（精選版)』
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル
出版社　白帝社
ISBN　978-4-86398-406-6
その他

関連ホームページ　http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50125	月 4	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 文三(5)
50307	火 3	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1 年 文一二(5)
50412	火 4	韓国朝鮮語一列②	吉良 佳奈江	1 年 理二三(5)
50894	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1 年 理一(6)
50641	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2 年 文科 理科

基礎科目　イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
I列II列では、A セメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。A セメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テクスト分析 I も開講されているので、積極的に受講してください。

●既修クラス
総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。

●授業計画
1 年生初修 ―A セメスター前半 初級文法まとめ
A セメスター後半 講読中心

●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

成績評価方法
平常点とセメスター末の筆記試験

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社
ISBN
その他

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50041	月 2	イタリア語一列②	岡本 太郎	1 年 理一(8)
50146	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
50337	火 3	イタリア語一列②	村松 真理子	1 年 文三(6)
50341	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1 年 理一(7)
50704	木 2	イタリア語一列②	倉重 克明	1 年 文一二(6)
50642	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目　日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]
● 前期課程外国語科目の既修外国語、あるいは、[既修・既修選択]の初修外国語相当として「日本語」を選択した学生は、基礎科目「日本語一列②」が必修となります。初回授業から必ず出席してください。
● 総合科目 L 系列科目は、自由選択科目です。履修登録は、UTAS や授業での指示に沿って進めてください。

● 基礎科目『日本語一列②』
「調査・分析・議論のための日本語演習」
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ・資料収集・調査分析・結果発表を協働で行い、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象や課題について他者と建設的な意見交換を行う力を育むことを目指します。テーマは人文・社会・科学等様々な分野から、受講生の関心も踏まえて決定します。協働的タスクの遂行、及び授業中のディスカッション・プレゼンテーション・ピアフィードバック等への能動的な参加が求められます。
● 総合科目 L 系列『日本語上級』
総合科目 L 系列においては、「大学で、日本語を使って学んでいく」ために必要となる各種技能をバランス良く伸ばしていけるよう、多様な内容の科目を提供しています。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバスを参照してください。

成績評価方法

成績評価方法は、科目により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照してください。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価します。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50231	A	火 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科
50915	A	金 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 II

身体運動・健康科学実習II	開講区分	A

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。
2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画
第 1 回 講義、種目選択（対面）
第 2 回から第 13 回 選択した種目での授業
（注意事項）
・第 1 回から対面で行う。使用教室は UTOL や 9 号館前の掲示板に掲示する。
・学期中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。詳細は第 1 回授業、第 2 回授業で確認すること。
・雨天が続いた場合など、例外的に外種目を体育館で行い、本来の体育館種目が別の場所（教室など）に移動することもあるので、9 号館前の掲示板や UTOL のお知らせを毎回よく確認すること。
・体力テストを 12 月下旬の授業にて実施する。実施方法は UTOL を使って連絡する。
・以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。

授業の方法
第 2 回の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等)、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室 Web サイト（URL は後述）にも掲示する。
種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。
学期中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習だけでなく、実技授業でも教科書『身体運動・健康科学ベーシック』を用いることがあるので、毎回持ってくること。

成績評価方法
出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
体力テスト：例年 4 月と 12 月に行い、評価に含める。
レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　身体運動・健康科学ベーシック
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会
ISBN　978-4-13-052707-1

履修上の注意
種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス
盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。

関連ホームページ
https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50028	月 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(26)文三(11,16)理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50306	火 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(4,14)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50361	火 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14)理一(27)理二三(1-3,7,12,17,19)
50556	水 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(7-8,15)文三(8)理一(1-3,6-7,9,15,18,30,32)
50621	水 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(16,27-28)文三(4,9)理一(13,16,24)理二三(16,20-21)
50721	木 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(13)理一(12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50755	木 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(6,9,18,23)文三(5-6,12,17)理二三(13-14,23)
50977	金 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(17,20,24)文三(7,10,15)理一(4-5,8,21,36)理二三(18)
51016	金 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(10,19,21-22)文三(13,19-20)理一(22,29,39)理二三(22)

身体運動・健康科学実習 II （ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 講義、種目選択（対面） 第 2 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業） （注意事項） ・第 1 回の授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習 II の曜限で受講すること。使用する URL や教室は UTOL や 9 号館前の掲示板に掲示する。 ・第 1 回の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月 1、月 5、火 1、水 1 のいずれか）もできるだけその日に決定することが望ましい。 ・第 2 回以降は月 1、月 5、火 1、水 1 のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画に変更が生じる場合はメールまたは UTOL を使って連絡する。
授業の方法	各自の状況に応じて、処方された運動やリハビリテーションを行う。 身体運動・健康科学について学び、議論する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　東大出版会 ISBN　978-4-13-052707-1
履修上の注意	健康診断等で保健センターから指示された者や本人の申し出があって担当教員が認めた者だけが受講できる。またセメスターの途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元々選択していた種目に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50001	月 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50484	水 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科
50161	月 5	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50208	火 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50107	A	法II	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目	法学入門
授業の目標概要	法学部で行われる実定法（憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法等）の授業ではどのようなことを学ぶのかについて、おおまかな話をします。教養学部で法と法学を学ぶ意義について、法学部の外（教養学部）から観察し、考察します。
成績評価方法	主に期末筆記試験によります（８割の予定)。 基本的に毎回、授業コメントを提出をしていただき、その内容も副次的に成績評価の資料とします（２割の予定)。 コメントには、当日の授業の要点と感想を記してください。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	法II	白石 忠志	法・政治	水 1	1 年 文一(1-11) 2 年 文一

講義題目	法II（白石忠志）
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 条文・行政文書・判決などの資料を読み解くために必要な約束事を知り、それらの資料を読んで理解した経験を積むことを目標とします。 教科書として、白石忠志『法律の読み方がわかる本』（ちくま新書）を使います。この本の枠組みに沿って、しかし素材の一部は別のものと入れ替えながら、授業を進めます。仮に素材の大部分を入れ替えたとしても、枠組みや知識や考え方は書いてあるわけですから、教科書として指定する意味はあると考えています。 また、今年は、紙の六法を教室で全員が広げることを前提とします。9 月下旬頃に発売となる『ポケット六法 令和 9 年版』（有斐閣）を、全員が用意してください。 第 1 回（01）は、9 月末頃までに UTOL 経由でお知らせする Google ドキュメントを見ていただくこととします。
成績評価方法	セメスター末の定期試験によって評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 白石忠志 『法律の読み方がわかる本』（ちくま新書） 筑摩書房 978-4-480-07750-9
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	法II	増井 良啓	法・政治	水 1	1 年 文一(12-20) 2 年 文一

講義題目	実定法学入門
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 この授業では、法学部の専門科目への橋渡しとして、法的テクスト（判決文など）を素材としつつ、現代日本法（の一端）を読み解きます。
成績評価方法	定期試験と平常点。平常点は UTOL 上の課題提出などによる。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 森田果 法学を学ぶのはなぜ？ 有斐閣 978-4-641-12620-6 補助教材は UTOL で配布
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50461	A	法II	渕 麻依子	法・政治	水 1	1 年 文一(21-28) 2 年 文一

講義題目	知的財産法から見る法学入門
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 この授業では、法 I の履修により法学について基礎的な知識を習得したみなさんと一緒に、知的財産法と呼ばれる分野に関連する判例や論文、立法資料などのテクストを読み解くことを通じ、法学という学問分野にアプローチすることを目指します。
成績評価方法	期末試験と平常点により評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50108	A	政治II	古賀 光生	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一

講義題目	『民主主義の比較政治学』の一歩前
授業の目標概要	この講義の目的は、政治学の基礎的な概念を身につけることです。講義では幅広い領域に言及しつつも、それぞれの領域ごとに重要な論点を掘り下げる形式で講義を進めます。 政治学には、様々な関心対象とそれへの接近方法があります。この講義では、いわゆる「確立された民主主義国」を対象として、議会や政党など、民主政治を運用する上で不可欠であると想定されている機構について、これまで政治学者たちが論じてきた内容を紹介します。手法としては、「比較政治」という方法に基づいて、具体的な事象を観察・分析した得られた知見を扱います。基本的には学問的な議論を中心に据えますが、受講生の関心に沿って、時事的な話題と学問的な議論の接点を探ることも試みます。 この講義は、２年次以降に展開されるより専門的な諸・政治学系科目への導入のような役割にあります。受講生には、講義で扱われる論点や手法など、特に関心を持った対象について自身でも深く探求することを求めます。その際には、他の講義で得た知見も活用することを期待します。
成績評価方法	学期末試験(100%)によって成績を評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 伊藤武・作内由子・中井遼・藤村直史著 民主主義の比較政治学 有斐閣 978-4641200142
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	政治II	寺下 和宏	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目	社会理解と変化のための政治学
授業の目標概要	本講義では、政治学の基本的な理論・概念について概説する。「政治」という言葉にはネガティブなイメージや偏った見方がつきまとう。例えば「国会議員や官僚は数が多く、高給取りだ」「政治家は不正ばかりをしている」「企業と政府は裏で繋がっている」などの言説が根拠もないまま語られる。 以上のような根拠やデータに基づかない言説は、政治に対する誤った見方をもたらすだけでなく、政治に対する過度な忌避意識を生じさせることもある。政治に対する過度な忌避意識が生じると、本来、政治で議論されるべき問題が政治で取り上げられにくくなり、社会問題の解決の遅れをもたらす可能性もある。 政治学の理論や知識を身につければ、以上で示したネガティブで、偏った「政治」のイメージが一面的であることが理解できるようになる。それだけでなく、冷静に、確かな根拠に基づいて、社会問題を解決するために必要な視点を養うことにもつながる。 そこで本講義では、政治学の基本的な概念・理論について、最新の知見やデータを踏まえながら概説する。具体的には日本および諸外国を題材として、政治に関わるアクターとその役割、関連する理論・概念を概説する。また個別の社会問題と政治との関わりにも触れる。特にジェンダーや階級、階層、交差性といった観点から、少数派がいかにして利益を反映できるかという視点を持ちながら、個別の事例および研究の紹介を行う。
成績評価方法	期末試験を実施し、その点数によって評価する。 また授業毎に提出を求めるコメント、質問を最終評価に加味することがある。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 伊藤武, 作内由子, 中井遼, 藤村直史 民主主義の比較政治学 有斐閣 9784641200142
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50109	A	経済II	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	経済学 II 価格理論
授業の目標概要	価格理論を学びます. 価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから, 本講義では一学期をかけて, 価格理論をゼロから網羅的に, 考え方を含めて学びます. なお, 本講義は「基礎科目」ですので, 本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します.
成績評価方法	期末試験（持ち込み不可）によります. なお期末試験は対面で行われる予定です.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 竹野太三 経済学の基礎 価格理論 東京大学出版会 978-4-13-042146-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50440	A	経済II	高見 典和	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら，経済学の歴史を議論します。
授業の目標概要	欧米の一部の研究者は，より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では，担当講師の訳書や著書を用いて，近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。
成績評価方法	平常点および試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野原，沖，高見 経済学史 日本評論社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50110	A	社会II	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	政治哲学入門
授業の目標概要	本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、１９世紀に生まれ、２０世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、２０世紀を代表する分析的政治哲学者である J・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。
成績評価方法	定期試験の点数に、複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	数学I	松井 宏樹	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数学I
授業の目標概要	一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う文科生向け科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ, 数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが, 担当教員によって扱う順序が異なる場合がある.
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三宅敏恒 入門微分積分 培風館 978-4-563-00221-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50487	A	数学II	池 祐一	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学II				
授業の目標概要		ベクトルと行列に関する基礎的な内容や計算手法を理解するための文科生向け科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって扱う順序が異なる場合がある．				
成績評価方法		主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50488	A	数学II	葉廣 和夫	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学II				
授業の目標概要		ベクトルと行列に関する基礎的な内容や計算手法を理解するための文科生向け科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって扱う順序が異なる場合がある．				
成績評価方法		主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50111	A	哲学II	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	中動態と責任
授業の目標概要	責任とは何かを哲学的に考察する。
成績評価方法	期末レポート。 授業の内容をどれだけ理解できているか、自分なりの優れた問いを提示できているか、その問いを説得力ある仕方で論じられているかどうかを見て評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	哲学II	松村 康平	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	哲学の探求方法を考える
授業の目標概要	哲学とは普遍的なテーマについて考えるものである一方で、その語られ方や書かれ方は各時代の文化的社会的な特徴を反映したものでもある。本授業の目的は、西洋哲学を哲学史的な観点から俯瞰しつつ、各時代の「語り方/書き方」や特徴的なトピックに着目することで、それぞれの時代における哲学のアクチュアリティとその焦点がどのような事柄に向けられていたのかを理解することを通して、哲学的な問いや応答の仕方を学ぶことにある。そのために、本授業では古代から近代までの各時代の文化的社会的背景を踏まえつつ、それらに呼応する特徴的なテキストを取り上げて読むことで、哲学における基礎知識や考え方を身に着けることを目指す。
成績評価方法	初回授業時に告知します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50112	A	倫理II	田崎 英明	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	日常性と倫理
授業の目標概要	日常性に孕まれる謎や神秘に着目することで、普段何気なく見過ごされているものの持つ倫理性に気づき、そこからよりよい生と社会のあり方について論じられるようになる。
成績評価方法	試験 70%、授業への参加状況 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	歴史I	杉山 清彦	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	中央ユーラシアから見た世界史
授業の目標概要	近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。
成績評価方法	期末の論述試験によって判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	歴史II	塚原 伸治	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	歴史学の思考法（２）
授業の目標概要	「歴史を学んで何になるんだろう」――年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力――歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史学 I：歴史学の思考法（１）」（S セメスター開講）と「歴史 II：歴史学の思考法（２）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも 5 名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。
成績評価方法	授業内課題（10%）と期末試験（90%）で評価する。どのような場合でも授業内課題の後日提出は受け付けない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部歴史学部会編 『東大連続講義 歴史学の思考法』 岩波書店 9784000614061 2,000 円＋税
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	ことばと文学II	田口 一郎	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	中国韻文文学略史
授業の目標概要	中国韻文文学（散文以外の文学。主に古典詩〔漢詩〕）の歴史を概観する。 先秦時代から唐にかけての韻文の特徴と変遷を理解し，中国文学の普遍的性質、基本的知識（作品・作者等）を身につける。
成績評価方法	期末試験による。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	ことばと文学III	出口 智之	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	日本近代文学と口絵・挿絵—文学の圏域—
授業の目標概要	日本の近代文学は、現在ではほぼ例外なくテキスト—言葉—のみの状態で読まれている。しかし、実際には江戸時代の文芸の姿を継ぎ、口絵や挿絵といった図像とともに発表され、その形で享受されることが多かった。そして、それらの絵画は、脱稿した文学作品を画家が読み、創意を凝らして自由かつ主体的に描くのではなく、逆に作者からの指示を受け、そのとおりに描くのが江戸時代以来の慣例だったのである。すなわち、坪内逍遙・尾崎紅葉・幸田露伴・樋口一葉・島崎藤村・泉鏡花・田山花袋・夏目漱石といった近代前期を代表する作家たちは、みな自作に入る絵に指示を出していたのだった。しかもこの制作慣習は、個々の作家・画家の事情や作品のジャンルによっては、昭和初期まで続いていたことがわかっている。 これはすなわち、そうした作家たちにとっての「文学作品」とは、けっしてテキストだけで構成されるわけではなく、みずから指示した絵と文章とが一体になった形のものにほかならなかったことを意味している。もちろん、作家たちのこうした制作慣習に対する態度は様々だった。特に工夫なく、物語の一部を順当に描くよう指示した作家もいれば、そうした慣習自体に反発し、絵への指示を強く拒否した作家もいる。しかし、なかには文章と絵とが支えあうコラボレーションを試みた作家もおり、そうした場合、当の絵を見ず文章だけを読むのでは、作家の目指したところを理解するのは不可能である。 一方、こうした江戸以来の慣習が近代出版に組込まれたことで、様々な問題も引き起された。特に、起筆前のような早い段階での指示が求められたため、執筆中に構想が変るなどして、本文と絵が食違うことは大きな問題であった。しかし、これも現代の文学研究の視点からすれば、絵のなかに作品の原構想が保存されているということであり、作品理解の重要な手がかりとなる。 この授業では、以上のような観点から、主として明治中期から大正期にかけての文学作品に附された口絵や挿絵を取り上げ、小説の解釈と分析、図像分析、出版と印刷の状況などを概説する。特に、森鴎外「文づかひ」・樋口一葉「十三夜」・尾崎紅葉「多情多恨」「金色夜叉」・泉鏡花「高野聖」・田山花袋「蒲団」といった有名作品を題材として、絵画を手がかりにその読解を再検討することを試みる。これにより、日本近代文学というジャンルの圏域をより広い視野から捉えなおすべく、小説の解釈と図像分析を組み合わせて分析する方法の可能性、および単行本・絵入り新聞・文芸雑誌などのメディアとの関わりによって文学に開かれる視野を示し、最終的には明治の文芸文化のさらなる解明につなげる講義としたい。 可能であれば、講義の最後では、旧著作権法の整備過程にまつわる法制史的問題と、現代の知的財産法の問題にふれ、文学と絵画から見る制作者の権利のあり方についての講義も盛り込みたい。
成績評価方法	レポート 100%。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 日本近代文学館編・出口智之責任編集 『明治文学の彩り—口絵・挿絵の世界』 春陽堂書店、2022 年 8 月 4394190304 電子版でも可。紙の書籍は日本語のみだが、電子版には英語版もあり。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50232	A	ことばと文学IV	益 敏郎	ドイツ語	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	文学、思想研究入門（ヘルダーリン『ヒュペーリオン』を読む）
授業の目標概要	文学テクストを読み、これを学問的に深め、何かしらの「発見」にいたる、という文学、文化、思想研究のプロセスを入門的に実践することがこの授業の目標である。 具体的には、ドイツの詩人フリードリヒ・ヘルダーリンの小説『ヒュペーリオン』(1797/99 年）の日本語訳をメインのテクストとし、これを数十ページずつ読み進めながら、その内容に関する講義と討議を行う。 またこれと関わるいくつかのサブ・テクスト（抜粋）を用意し、これも並行して読み進めていくことで、複数のレイヤーへ向けて文学テクストを開いていく試みを行う。 たとえば、郵便制度を背景に生まれたセンチメンタルな書簡文化、フランス革命と近代ギリシャの独立戦争、プラトニック・ラブやロマンチック・ラブといった恋愛をめぐる価値観、師と仰いだシラーとの確執やズゼッテとの不倫関係という伝記的背景、『新エロイーズ』や『若きヴェルターの悩み』からの影響や、ドイツ観念論の弁証法的論理との関係、三島由紀夫『潮騒』など後世への影響、といった『ヒュペーリオン』のテクストに含まれるメディア論的、文化史的、政治的、伝記的、文学・思想史的層を探求していく。
成績評価方法	授業への参加度やコメントの内容、期末課題などを総合して評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ヘルダーリン（青木誠之） ヒュペーリオン ギリシアの隠者 ちくま文庫
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50113	A	心理II	日髙 聡太	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	・認知心理学の視座から,「心理学の成り立ち」および「人の心の基本的な仕組み及び働き」について理解することを目的とする。 ・感覚・知覚・認知に関して，現象的，行動的側面を中心に，心理現象やトピックを幅広く網羅し，認知心理学における基本的な考え方や方法論に関する知識を深める。さらに，知覚・認知の障害に関する知見についても随時紹介する。 ・講義では，認知心理学に関わる現象のデモンストレーションを提示して実際にそれらを体験してもらう。この具体的な経験を通じて，ヒトの感覚・知覚・認知システムがもつメカニズムの特性や柔軟性および生態学的意義について解説を行う。
成績評価方法	・リアクションペーパー（10%）および筆記試験（90%）により評価する。 ・リアクションペーパーは，授業実施日時に授業に出席し，授業の内容を聞いたうえで作成することを前提とする。授業に出席したうえでリアクションペーパーが提出されたことを確認するため，出欠確認を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50489	A	心理II	草山 太一	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	心理学では、ヒト以外の動物を対象とした研究を通して、ヒトの心を理解する試みが進められてきた。本授業では、知覚、学習、記憶、問題解決、意思決定、社会性などを題材として、ヒトとヒト以外の動物に共通する認知機能や、それぞれの種に特徴的な認知・行動について学ぶ。また、これらに関する研究成果を通して、心や行動が環境への適応の中でどのように進化してきたのかを考察し、比較の視点からヒトの心を多角的に理解する。
成績評価方法	筆記試験（60%）とレポート（40%、学期中に 3〜4 回程度）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2

授業の目標・概要　自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する.
1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする.
2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.

成績評価方法　成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』
著者（訳者）　基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会
出版社　学術図書出版社、 東京化学同人
ISBN
その他

履修上の注意　過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。
実験室内は飲食禁止.

関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50065	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
50344	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50601	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
50785	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
50994	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
51111	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(物理学)α	1 年 理一
60001	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
60021	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60068	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
60074	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
60080	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
60085	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(物理学)α	1 年 理一
50066	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
50345	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50602	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
50786	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
50995	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
51113	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(化学)α	1 年 理一
60002	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
60022	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60069	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
60075	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
60081	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
60086	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学)α	1 年 理一
50096	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数
50348	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数
50608	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数

基礎実験

50795	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
51007	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
60023	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
60070	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
60076	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
60082	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
50097	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
50609	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
50796	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
51008	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数
60024	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数
60071	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
60077	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
60083	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)
2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)
3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)
4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理)
5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)
6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分)

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

成績評価方法

主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．

教科書

その他。／Other

書名

著者（訳者）

出版社

ISBN

関連ホームページ

https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50049	月 2	大島 芳樹	1 年 理二三(14-16)
50050	月 2	土屋 卓也	1 年 理二三(17-20)
50051	月 2	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50141	月 4	高津 飛鳥	1 年 理一(20-23)
50142	月 4	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50143	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(28-31)
50144	月 4	桐木 紳	1 年 理一(32-35)
50145	月 4	河上 龍郎	1 年 理一(36-39)
50406	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(1-3,6,19)
50407	火 4	林 修平	1 年 理一(4-5,9,14)
50408	火 4	大場 清	1 年 理一(7-8,10,18)
50409	火 4	河野 俊丈	1 年 理一(11-13)
50410	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(15-17)
50605	水 3	会田 茂樹	1 年 理二三(1-7)
50606	水 3	平良 晃一	1 年 理二三(8-10)
50607	水 3	吉野 太郎	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要

線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった．
自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする．
S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1, 2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

成績評価方法　主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50478	水 1	小林 正典	1 年 理二三(1-7)
50479	水 1	植野 義明	1 年 理二三(8-10)
50480	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(11-13)
50481	水 1	寺田 至	1 年 理二三(14-16)
50482	水 1	平地 健吾	1 年 理二三(17-20)
50483	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
50726	木 2	河野 俊丈	1 年 理一(1-3,6,19)
50784	木 3	寺田 至	1 年 理一(4-5,9,14)
50789	木 3	下川 航也	1 年 理一(20-23)
50790	木 3	戸瀬 信之	1 年 理一(24-27)
50791	木 3	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50792	木 3	ケリー シェーン	1 年 理一(32-35)
50793	木 3	山﨑 満	1 年 理一(36-39)
50895	金 1	関口 英子	1 年 理一(7-8,10,18)
50896	金 1	松本 久義	1 年 理一(11-13)
50897	金 1	葉廣 和夫	1 年 理一(15-17)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある．この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う．講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある．
成績評価方法	通常は定期試験を行なわず，平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ，授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする．出席点が重視されるため，欠席を重ねると単位を出せなくなることがある．
教科書	その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50101	A	月 3	微分積分学演習	大島 芳樹	1 年 理二三(14-16)
50102	A	月 3	線型代数学演習	榎園 誠	1 年 理二三(14-16)
50103	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50104	A	月 3	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50105	A	月 3	微分積分学演習	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50106	A	月 3	線型代数学演習	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50426	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(1-3,6,19)
50427	A	火 5	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(1-3,6,19)
50428	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(4-5,9,14)
50429	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(4-5,9,14)
50430	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(7-8,10,18)
50431	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(7-8,10,18)
50432	A	火 5	微分積分学演習	榎園 誠	1 年 理一(11-13)
50433	A	火 5	線型代数学演習	榎園 誠	1 年 理一(11-13)
50434	A	火 5	微分積分学演習	淺井 聡太	1 年 理一(15-17)
50435	A	火 5	線型代数学演習	淺井 聡太	1 年 理一(15-17)
50634	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50635	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50636	A	水 4	微分積分学演習	PEREZ VALDES VICTOR	1 年 理二三(8-10)
50637	A	水 4	線型代数学演習	PEREZ VALDES VICTOR	1 年 理二三(8-10)
50638	A	水 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50639	A	水 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50824	A	木 4	微分積分学演習	片田 舞	1 年 理一(20-23)
50825	A	木 4	線型代数学演習	片田 舞	1 年 理一(20-23)
50826	A	木 4	微分積分学演習	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50827	A	木 4	線型代数学演習	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50828	A	木 4	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(28-31)
50829	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50830	A	木 4	微分積分学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(32-35)

50831	A	木 4	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(32-35)
50832	A	木 4	微分積分学演習	河上 龍郎	1 年 理一(36-39)
50833	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学･技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び, 高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする．講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	定期試験による．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50162	A	月 5	数理科学基礎（補修）	高津 飛鳥	1 年 理科 2 年 理科
50653	A	水 5	数理科学基礎（補修）	金子 宏	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A	開講区分	A

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・電位とその性質
・導体系
・静電場のエネルギーとストレス
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・静磁場の微分方程式
・ベクトルポテンシャル
・ビオー・サヴァールの法則
・円電流と等価磁石
・単位系
5.電磁誘導とマクスウェル方程式
・ファラデイ・レンツの法則
・変位電流と連続の方程式
・マクスウェル方程式
・電磁場のエネルギーと仕事
・平面電磁波
・準定常電磁場と交流回路
＊6.物質中の電磁場
＊考え方：分極電荷、磁化電流
＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
＊異なった物質の間の境界条件
＊物質中の電磁場エネルギー

成績評価方法

主として定期試験による.
担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書

その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50535	水 2	大井 万紀人	1 年 理一(1-6,31)
50540	水 2	多田 司	1 年 理一(32-34)
50541	水 2	金澤 直也	1 年 理一(35)理二三(1-3,7)
50542	水 2	國場 敦夫	1 年 理一(37-39)
50543	水 2	永井 佑紀	1 年 理二三(8,11,19)
50546	水 2	藤山 茂樹	1 年 理二三(21-22,24)
50729	木 2	國場 敦夫	1 年 理一(7-9,14)
50735	木 2	高木 隆司	1 年 理一(21-23)
50736	木 2	水野 英如	1 年 理一(24,26-27)
50738	木 2	大川 祐司	1 年 理一(28-30)
50740	木 2	中村 哲	1 年 理二三(4,12-13)
50741	木 2	張 奕勁	1 年 理二三(17-18,23)
51029	金 4	白石 直人	1 年 理一(10-12)

51031	金 4	牛島 一朗	1 年 理一(13,15-16)
51032	金 4	溝口 俊弥	1 年 理一(17-19)
51033	金 4	年吉 洋	1 年 理一(20,25,36)
51040	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(5,9-10,14)
51041	金 4	黒田 直史	1 年 理二三(6,15-16,20)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において
物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。
1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系
5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路
6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

成績評価方法
主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書
その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50536	水 2	加藤 雄介	1 年 理一(1-6,31-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19,21-22,24)
50730	木 2	加藤 雄介	1 年 理一(7-9,14,21-24,26-30)理二三(4,12-13,17-18,23)
51030	金 4	加藤 光裕	1 年 理一(10-13,15-20,25,36)理二三(5-6,9-10,14-16,20)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎
   ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

成績評価方法　定期試験。必要に応じて中間テスト・演習（クイズ）・出席状況を勘案する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名

著者（訳者）

出版社

ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50039	月 2	十代 健	1 年 理一(5,31,33-34)
50043	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50047	月 2	生井 飛鳥	1 年 理二三(5,7,9,11)
50093	月 3	奥野 将成	1 年 理一(29,35-36)
50098	月 3	木下 卓巳	1 年 理二三(6,12-13)
50190	火 1	豊田 太郎	1 年 理一(9,12,38)
50207	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(15,17,20)
50342	火 3	城野 亮太	1 年 理一(8,11,13,30)
50347	火 3	山崎 康臣	1 年 理二三(8,10,14)
50350	火 3	安池 智一	1 年 理二三(18-19,22-23)
50599	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,24,28)
50603	水 3	杉原 加織	1 年 理一(16,19,27)
50628	水 4	中島 正和	1 年 理一(6,15,32,37)
50630	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(10,14,23)
50632	水 4	澁田 靖	1 年 理一(25-26,39)
50783	木 3	徳本 有紀	1 年 理一(1-3,7,17-18)
50794	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-4,16,21,24)
50875	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51085	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学 II

生命科学II	開講区分	A

授業の目標・概要
細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。
１．細胞内輸送
２．細胞骨格と細胞運動
３．細胞間・細胞内情報伝達
４．神経伝達と機能
５．細胞周期
６．動物・植物の発生
７．遺伝子の発現制御
８．ゲノムと進化
９．生物多様性

成績評価方法
【担当教員入力】
実施の詳細は担当教員から指示される.

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第５版
著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　（株）羊土社
ISBN　978-4-7581-2102-6

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50148	月 4	瀬尾 秀宗	1 年 理二三(14,18,21-22)
50149	月 4	加納 純子、武内 秀憲	1 年 理二三(16,19-20,23)
50901	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,10,15,24)
50908	金 1	佐藤 健、北西 卓磨	1 年 理二三(9,11-13)
51006	金 3	阿部 光知、長谷部 政治	1 年 理二三(1-6,8,17)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50351	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	内山 融	法・政治	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の研究
授業の目標概要	現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM（evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成）の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。 この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。 公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPO などで政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。
成績評価方法	平常点による（報告と議論への貢献）。期末レポートを課す可能性もある。 詳細は UTOL に掲載するシラバスを参照すること。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大竹文雄・内山融・小林庸平 EBPM エビデンスに基づく政策形成の導入と実践 日本経済新聞出版 9784296115266
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51320	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	和田 俊憲	法学部	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	刑法総論の基礎・基盤
授業の目標概要	刑法は、どのような行為に犯罪が成立し、それに対してどのような刑罰が科されるかを定めた法律です。刑法学のうち刑法総論は、因果関係の判断、故意の内容、共犯の成否、刑罰の意義など、すべての犯罪に共通する問題を取り扱う分野であり、法学部講義科目の「刑法第 1 部」の内容に対応します。この演習では、「刑法第 1 部」の授業の進行にあわせて刑法総論の重要論点を深掘りし、あるいは、重要な判例の内容に立ち入った検討を加えることで、刑法総論の理解を深化させることを目指します。さらに、受講者の関心の高い刑事法のトピックについて自由に議論する機会も設ける可能性があります。 履修者の選抜等は実施しない予定ですが、万が一、履修希望者が 30 名を上回った場合には、前期課程の成績等を考慮して、選抜を行う可能性があります。
成績評価方法	平常点のみによって評価を行う予定ですが、レポートの提出を課す可能性もあります。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51321	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	白石 忠志	法学部	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	駒場白石ゼミ
授業の目標概要	白石忠志が専門とする独占禁止法のうち、いくつかの重要分野を選んで、基本を学び、英語外国法資料や日本語日本法資料に接することで、この分野の国際的な動きを垣間見るとともに、試験で事例問題が出題された場合に答案を構成する経験をします。 重要分野としては、主に、企業結合規制を考えています。対象をあまり拡散せず、国際的な動きと日本の状況をしっかり把握し、書く練習をします。状況を見て、価格協定や入札談合など他の分野を取り上げることもあり得ます。 予備試験や司法試験の過去問も、少し使うかもしれません。独占禁止法は、司法試験や予備試験における選択科目「経済法」のほぼ全てを占める法律です。 英語資料も日本語資料も、自分で読むことが前提です（できれば紙で広い範囲を見ながら）。そのような過程を経た学生だけが、AI の答えの正誤や水準を適切に評価することができます。ふだんの勉学で AI を使うのは構いませんが、AI の回答だけに依拠して半可通のプレゼンをするような行動は、この授業の目標の対極にあります。 土曜の 8:30-12:10 を 5 回使って、本郷キャンパスで開講する予定です。詳しくは、9 月 11 日頃までに UTOL 経由の Google ドキュメントでお知らせする予定です。その Google ドキュメントに、参加表明のための Google フォームを置きます。 企業結合規制については「01」回に対面でも基本解説をしますが、独占禁止法の全体については、オンデマンドで学んでいただきます。
成績評価方法	授業への参加・貢献の状況によって評価します。単位認定のためには、欠席は、理由の如何を問わず 1 回までが限度です。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 白石忠志 『独禁法講義 第 11 版』 有斐閣 978-4-641-24388-0
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51322	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	齋藤 哲志	法学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	フランス語で古典的文献を精読する
授業の目標概要	フランス語で書かれた法学に関する古典的文献をゆっくり読む。読み通すことを目標としない。 早い時期に、翻訳でもかまわないから、なんであれ古典を読破することには大きな意義がある、ともいわれる。しかし、ほんとうに読解できているのか、自省の契機がないままに達成感を誇るばかりでは浮き足立つ。外国語の原文ならば、（本授業の提供者自身を含め）多くの者にとって「読めない」ことから出発できる。最初は歯が立たないかもしれない。それでも、古典と称される文献は、手続を践んで正対すれば「読める」ように書かれており、そうであるからこそ読み継がれ、学知の基礎となってきた。 注・解説が比較的充実した邦訳がある文献を指定するが、主たる読解対象はフランス語の原文である。フランス語初学者でも受講しうるよう、文法等の解説にも時間を惜しまない。 具体的には、ポルタリス『民法典序論』を読むことにしたい。ただし、シィエス『第三身分とは何か』、ルソー『社会契約論』をも候補とし、受講者の希望に応ずる可能性を留保する。
成績評価方法	平常点による。読解に取り組む姿勢のみを評価対象とする。よって例えば、辞書上の語義の無思慮な当てはめ（および、当然ながら、理由なき欠席・遅刻等）は負の評価を、考え抜いた結果たる誤訳は正の評価を帰結する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts ポルタリス（野田良之訳） 民法典序論（新装復刻版） 日本評論社 9784535596573
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51323	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	梅林 啓	法学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	法律実務家からみた「法律を学ぶことのススメ」
授業の目標概要	法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益などについて、検事、弁護士としての経歴を有する法律実務家の観点から、様々な法律、法分野、国や社会の制度について、事例を交えながら、わかりやすく講義する授業。 私たちの社会や生活は、あらゆる面において、法律によって規制されている。「規制」というのは、自由を奪うという側面もあるが、法律がなければ、無秩序な社会になるだけなので、法律は私たちに平穏な生活をもたらすツールでもある。法律は、誰に対しても否応なしに適用されるものなので、法律を知っていることは生きていくための武器になる一方で、法律を知らないことで損をすることも多い。 法律を学ぶことは難しいと感じている人も多いかもしれないが、全ての法律を知る必要はない。法律を学ぶコツを知れば、必要なときに法律を知りに行くこともできる。ただ、法律は深く学べば興味は尽きない学問でもある。 この授業は、検事として 16 年、弁護士として 19 年の経験を有する法律実務家が、法律を学んだことのない学生を対象に、法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益について、様々な切り口から講義することを内容とする。そして、社会に出たときに、法律を学んだことがどう役立つかを理解し、法学部によるさらなる学業への意欲に繋げることを目標とするが、法学部に進学しない人にとっても、法律を学ぶことに興味を持つことを目標とする。 なお、履修に条件は設けない。
成績評価方法	出席
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50234	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	質的調査の方法
授業の目標概要	社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。
成績評価方法	授業中に出される諸課題、レポート等。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50235	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	研究入門：歴史社会学から考える現代社会
授業の目標概要	歴史社会学の古典の精読と議論を通じて、社会学に特徴的な問題関心や認識手続きの理解を深めるとともに、学術的なテクストの解釈に必要なスキルを向上させることが本演習の目標です。 今学期は現代を代表する社会学者・政治学者の Theda Skocpol の文献の中でも、特に現代社会の理解にとって示唆に富むと思われる論文を、履修者の関心等を踏まえながら選び、精読します。 なお履修希望者が 20 名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるので、初回の授業には必ず出席してください。受講許可は第 2 回の授業日までに掲示によって告知します。
成績評価方法	平常点（議論への貢献）によります。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50233	A	社会科学ゼミナール（国際関係）	川島 真	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	多極化と自律の時代ー新たな時代の国際政治と秩序を考えるー
授業の目標概要	現在、世界は現在、秩序変動期を迎えているとされる。すでに中国、インド、トルコなどの新たな「極」が台頭し、それぞれが独自の世界観を持ち、自らの利益を最大化するべく対外政策を実施している。これらの国々は新興国などと言われるが、その内容は多様だ。先進国の地位は相対的に低下し、世界秩序は明らかに多元化しつつある。 だが、変化はそれだけにとどまらない。新たなに三つの大きな変容が、世界の秩序変容を加速している。 第一に、アメリカの変化である。オバマ政権期からもはや「世界の警察」たり得ないことは明確に示されていたが、第二次トランプ政権は従来以上に「一国主義」的になり、世界秩序や国際機関に対して無関心になっている。アメリカ以外の先進国は、例えば欧州諸国はアメリカ不在の NATO を想定し、またアメリカ以外の先進国や同志国によるミドルパワー連携が提唱されるなどしている。 第二に、中国が明確に先進国主導の世界秩序を批判し、自ら国際秩序を創造するという姿勢を明確にしていることだ。実際、その秩序観には荒削りな面もあるものの、経済を中心に中国は世界各国と強固な関係性を築き、ルール形成に勤しんでいる。今後、中国以外の新興国が秩序創造の姿勢を示していく可能性も高い。 第三に、ウクライナ戦争に見られるような「新た戦争」、また AI などに代表される「新たな技術」が生まれ、それが新たな国際政治を生み出していく可能性である。目下、こうした先端領域における米中の優位性は確かだが、今後の動向は未知数である。 こうした諸要素を見据えて、この後の国際政治、秩序のありようを考える手がかりを得るのがこの授業の目的である。授業方法は、教員の講義、文献講読、ゼミナール形式での討論による。参加者の顔ぶれ、関心の所在によって、授業内容、方法について調整を加える。
成績評価方法	演習においては、報告者、討論者のみならず全員に対して発言による議論への貢献を求める。 担当者となった際の報告内容、演習における議論への貢献（報告者、討論者としての発言に限定されない）と、学期末の小論文によって成績を評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Amitav Acharya The Once and Future World Order: Why Global Civilization Will Survive the Decline of the West Basic Books 1399811746
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50236	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	菱木 風花	哲学・科学史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代日本における災害科学の源流を辿る
授業の目標概要	今日における日本の災害科学は、どのような歴史的過程によって形成されてきたのだろうか。日本の科学史では、明治期にその源流があると捉えている。それはなぜだろうか。江戸時代以前と明治期以降では、自然災害の捉え方や、対応の方法が異なっていく。そこにはどのような違いがあったのだろうか。 本授業では、災害（社会）史、科学の学説史、科学の社会史という大きく 3 つの歴史分野の知見と視点について学ぶことを通して、上記の問いに答えるためのヒントを探していく。 また、この実践を通して、同時代・地域の歴史について、異なる歴史分野から多面的に捉え、検討する方法を学んでいく。 なお、受講許可のための選考は実施しない。 ※授業の性質上、20 人を大幅に超える場合は、抽選（結果を授業第 2 回までに通知）を行います。
成績評価方法	毎回の授業の終わりに実施するコメント回答、及び調査報告会に基づいて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51374	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	古荘 真敬	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	実存哲学の古典を読む
授業の目標概要	私たち各人が当事者として直面せざるをえない生の意味・死・自由・不安・絶望といった事象を、単なる思弁の対象としてではなく、自身の実存に関わる切実な問題として主題化したのが、19〜20 世紀の実存哲学である。本ゼミナールでは、その代表的な書き手であるキェルケゴール、ニーチェ、ハイデガーのテクストから重要な抜粋を選び、講義と講読演習を組み合わせながら、丁寧に読み解いていきたい。それぞれのテクストは、カント以後の近代哲学の問題状況を背景にしており、その哲学史的文脈にも適宜触れたい。読み込んだ内容について受講者同士で議論を交わし、自身の生のあり方を新たな視座から捉え直す機会としてほしい。取り上げるテクスト（日本語訳）の候補としては、キェルケゴール『死に至る病』、ニーチェ『悦ばしき知識』『道徳の系譜学』『ツァラトゥストラはこう言った』、ハイデガー『存在と時間』「形而上学とは何か」などを考えている。
成績評価方法	演習授業における発表あるいは期末レポートによる。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51375	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	西村 明	文学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	宗教研究のアプローチと資料
授業の目標概要	宗教研究には人文・社会科学諸分野にまたがる多様なアプローチがあり、また比較という王道の手法から認知科学やデジタル人文学など新たな研究手法も登場している。論を展開する上で依拠する資料もアプローチに応じて、あるいは解明すべき問いに応じて実にさまざまである。この授業では、日本宗教学会の『宗教研究』に掲載された論文をテキストとして用い、そのアプローチと資料のヴァリエーションについて検討していく。
成績評価方法	発表や発言の積極度に基づく平常点で評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50237	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	大塚 修	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	史料から読み解く中東イスラーム地域の歴史
授業の目標概要	中東イスラーム地域の歴史や文化に関心のある学生を対象とした、英語文献を精読するゼミナールです。この地域の歴史を研究するためには、アラビア文字を使用するアラビア語、ペルシア語、チャガタイ・トルコ語、オスマン・トルコ語といった言語で書かれた史料を分析する必要があります（有名なものでは、タバリー著『預言者たちと諸王の歴史』やラシード・アッディーン著『集史』）。このゼミナールでは、そういったアラビア文字文献の名著の「英語訳」を精読する作業を通じて、研究の技法を身につけるとともに、中東地域の歴史や文化を学びます。講読文献は、履修希望者の興味や関心に応じて決定します。講読文献は英語ですので、興味がある学生であれば、どなたでも歓迎します。 履修者が 20 名を超えた場合は、選考を行いますので、初回授業には必ず出席してください。
成績評価方法	平常点と期末課題から総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51058	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	渡辺 美季	歴史学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	食文化から見た琉球・沖縄の歴史
授業の目標概要	琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジアの一王国として存続し、独自の文化的特徴を発展させた。本講義では、周辺諸国との交流の中で、琉球王国がいかにしてその文化的固有性を育んだのか、また沖縄県となった後、日本やアメリカとの関わりの中で、その文化がどのように継承され変容したのかを、「食文化」を切り口に多角的に考察する。歴史学研究の主流とは言いがたい「食文化」を敢えて切り口とすることで、従来の歴史学を相対化しつつ、新たな視点・考え方を養うことを目指したい。 ゼミ形式で行うため、20 名を超える場合は、選考を行う可能性がある。その場合、A4、1 枚程度のレポートを課す予定である。
成績評価方法	平常点（5 割）と研究報告および最終レポート（5 割）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50238	A	人文科学ゼミナール（文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	研究入門――民族誌精読
授業の目標概要	本授業では、一冊の民族誌がどのようなフィールドワークを経て書かれたのかをたどりながら、人類学の特徴的な研究方法であるフィールドワークと、そこで得られた経験を民族誌として表現する営みについて学びます。 テキストには、スリランカを舞台とするモノグラフ『響応する身体―スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌』を用います。完成した書物だけでなく、講師のフィールドノートや写真、推敲の過程、執筆後に新たに考えたことなども適宜紹介しながら、一つの経験がどのように民族誌へと形づくられていくのかを一緒に考えます。 授業では、民族誌を読むだけでなく、受講者自身も短い文章を書いたり、さまざまな表現を試みたりする実践に取り組みます。そうした実践を通して、経験を手がかりに書きながら問いを見つけ育てていくという、人類学ならではの研究の生のプロセスの一端に触れることを目指します。
成績評価方法	授業中の発表（40%）とディスカッションへの貢献度（60%）で評価を行います。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中村沙絵 響応する身体：スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌 オープンアクセス版を受講者に共有する。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50239	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	小田 博宗	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	言語科学入門：生成統語論（統辞論）
授業の目標概要	言語は人間にとって最も身近なものの一つであり、人間から切り離すことのできないものである。それゆえに言語について考える際は主観的・観念的になってしまうことが多く、言語について客観的・科学的に考えるためには、相応の訓練を積まなければならない。 この授業では、言語データを客観的に観察し、分析する手法を学ぶことで、言語を科学的に研究する思考・技術を身につける。取り上げるのは統語論（もしくは統辞論、英語で syntax）と呼ばれる分野で、これは言語の文法を研究する分野である。ここでの「文法」とは、一般的にイメージされる語学の際に学ぶような（ともすれば暗記事項と思われがちな）個別具体的な項目ではなく、「人間言語の一般法則」のことを指す（もちろん語学においても言語の法則性として文法を考えることは有用である）。まず「言語」とは何か、そして「言語」はどこからやってくるのか、といった根源的な問いから始め、そうした問いに正面から向き合う生成文法理論と呼ばれる言語理論を学び、反証可能性、必要十分条件といった基本的な概念を踏まえながら言語データに対する客観的・科学的分析を積み上げていく。 「言語学」と聞くといわゆる文系、特に人文系の学問分野であると思われがちだが、言語を扱う人間が形成する社会のレベル（社会科学）、自然界における生物種としての人類やそこに関わる物理法則というレベル（生命・自然科学）、また近年話題の生成 AI などの機械実装のレベル（機械工学）など、実は広範な学問分野と交わる分野である。これらを結びつけるのは、「合理主義」と「経験主義」という、古代ギリシアの哲学以来の人間（や生物）の「知識・能力」についての重要な問題意識である。よって、言語学や人文(科)学に興味がある学生のみならず、社会科学、生命科学、自然科学、機械工学など、多様な関心を持つ学生の受講を歓迎する。一方で、いずれにも関心はないがとりあえず受けてみようというような学生も等しく歓迎する。大学での学問は意外な出会いがあるから面白いのであり、肩肘を張らず気軽に受講してもらいたい。
成績評価方法	毎週の課題および期末試験を踏まえて、総合的に判断する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋将一 データとともに学ぶ生成文法の基礎 開拓社 978-4-7589-2419-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50909	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	心理学統計法ー統計的思考と因果推論の基礎ー
授業の目標概要	今日注目を集めているデータサイエンスという分野において重要なことは、物事を客観的に判断するために証拠となるデータを集め、的確に分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL 上で動く HAD を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。基礎統計の授業などで学んだ理論を実際のデータを自分の手で分析することによって理解を確実なものにすることを目的とする。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。 受講者数が収容人数（30 名程度）を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。
成績評価方法	平常点、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 平常点 20%、課題点 80%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50240	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	アルヴィ なほ子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	詩とは何かーー外国語、日本語、翻訳、生成 AI をめぐって
授業の目標概要	履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20 名程度に受講を許可します。受講許可は第 2 回までに UTOL のこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。 「課題」は google form です。g.ecc のアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。 https://forms.gle/iyLGm8hownjMLnCs7 以下の 2 つの google forms に 1 回目の授業までに回答してください。 https://forms.gle/a7RpKLCy3ghxEeSy5 https://forms.gle/pCq2JGLC3w4ysJh98 目標）英語で書かれた文学テクストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テクストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。文学テクストを研究する場合に生成 AI をどのように活用・利用できる（できない）かを検討する。 １）文学テクスト、特に詩（韻文）を読むとはどういうことかを理解する。 ２）文学テクストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外部――同時代のコンテクスト、現代の理論など――などを考察しながら、１つの作品（テクスト）を精読していくやり方を学ぶ。 ３）一次資料の扱い方、OED などの使い方に慣れる。Bibliography（Book history）の初歩を学ぶ。 概要）ことばが文学テクスト、特に「詩」となって花開くとき、何が起こっているのか、文学テクストの生成と想像力の関係、そのテクストが生み出される文化との関係、固有の文化、時間を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。
成績評価方法	授業に関連するアクティヴィティ（口頭発表、ディスカッションへの参加、コメントなどの課題など）60%、 期末試験 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ed., Marc R. Plamondon. Representative Poetry Online (https://rpo.library.utoronto.ca/） University of Toronto
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50654	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	沖本 幸子	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	伝統芸能研究入門
授業の目標概要	日本の伝統芸能の魅力をどのようにひもといていかれるのか。雅楽、能狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃といった舞台芸術から、民謡、盆踊り、祭の芸能などの民俗芸能まで、伝統芸能に関心のある人達が、自分の抱えているテーマを掘りさげて研究につなげていかれるように、一緒に考え、議論していきたい。 ゼミ形式で行うため、あまりにも多人数の場合は、選考を行う可能性がある。その場合、A4、1 枚程度のレポートを課す予定。
成績評価方法	平常点（4 割）と最終レポート（6 割）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50916	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	村上 克尚	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	大江健三郎『懐かしい年への手紙』を読む
授業の目標概要	大江健三郎の長編小説『懐かしい年への手紙』（1987 年）を通読します。本書は、大江の自伝的な性格を持ちますが、同時に「ギー兄さん」という架空の対話者を設定し、ダンテの『神曲』の読解を複層的に響かせるなどといった企みにも満ちています。本書を読むことを通じて、大江にとっての「戦後」の軌跡を振り返るとともに、大江が考える「自伝」とはいったいどのような営みだったのかについて考えてみたいと思っています。
成績評価方法	平常点と、期末レポートの両方で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大江健三郎 懐かしい年への手紙 講談社文芸文庫
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50150	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アドバンスト・フィットネス
授業の目標概要	定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。受講希望者が 25 名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第 1 回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第 2 回講義前までに UTOL に掲載する。
成績評価方法	出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51114	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	長谷部 政治	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	～生体脳は培養できるのか？～昆虫脳をモデルにした組織培養とその定量的評価
授業の目標概要	SF の物語などで「ガラスケース内で脳を培養している」といったシーンが出てくることがありますが、実際に「生体脳」をどの程度培養することが可能なのでしょうか？ 本講義では実習形式で、履修者自身の手で昆虫を実験モデル実際に脳組織摘出と培養を行い、組織培養の基礎にふれてもらいたいと思います。更に、その脳組織中の細胞が培養しても正常に「生きている」のかを、遺伝子発現解析・死細胞標識を行うことで定量的に評価します。これら一連の実習を通して、組織培養・定量解析技術の獲得を目標とする講義となっています。 本講義は実習（午後半日:3 コマ分×4 回）＋まとめ（1 コマ分）で構成されております。 実習パートの概要として、昆虫を実験モデルに用いて組織摘出と培養、遺伝子発現解析（リアルタイム PCR）と死細胞標識を以下のような予定で行います（詳細は授業計画も参照してください）。 第 1 回：実習内容のガイダンス、昆虫解剖・脳摘出の練習 第 2 回：昆虫脳の摘出と培養液への移行、摘出直後の脳の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 3 回：培養後の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 4 回：培養前後の脳の遺伝子発現の定量的解析（リアルタイム PCR 法） 「自然科学ゼミナール（生命科学）」は、実習形式での実施のため受講可能人数・日程が限られているため、受講希望調査票を提出してもらい、受講希望者が多数の場合には、この調査票をもとに受講者を選別します（受講選抜者：最大 3-4 名程度を予定しています）。 履修希望者は 10 月 4 日（日）までに、以下の Google form（東京大学アカウント：ECCS メールアカウントからのみ回答可能）から申し込みを行ってください。 https://forms.gle/j9ymzmJUFMqmhejn6 選抜結果は、10 月 7 日（水）までに通知します。
成績評価方法	実習への参加度と実習内容をまとめたレポートにより評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51115	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	池田 啓、土畑 重人	生物	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	自然史生物学：生物のマクロ的な現象に関する探究
授業の目標概要	生物の進化や生態に関連する研究の初歩的な実験や解析を通して、生物学におけるマクロ的な現象を論理的に考える力を身につけることを目標とする。 担当教員の専門分野に関連する課題を個人またはグループごとに設定し、実験やデータベースから入手したデータなどを用いた解析をもとに、生物のマクロ的な現象に関する研究プロセスを学ぶ。また、課題に対する成果をプレゼンテーションすることを通じて、科学的な思考を学ぶ。 実習及びディスカションを円滑に行うため、受講希望者を選抜する。選抜にあたっては、興味のある生物現象や取り組みたい課題、本講義に期待することに関するレポートを用いる。選抜については、UTOL に記載するとともに、ガイダンスの際に改めて連絡する。選抜結果は、10 月 9 日（金）までに通知する予定。あらかじめ複数名のグループで 1 つの課題に取り組みたいと考えている場合には、グループに含まれる学生の氏名と学籍番号をレポートに記入すること。 ＜担当教員の研究キーワードと主なトピックス＞ 土畑（社会性昆虫の進化、昆虫の行動生態学、数理生態学） 生物の種内社会関係を遺伝子配列情報に基づき推定する 昆虫の集団行動を定量的に観察し、相互作用規則を探索する 数理モデルを用いて生物のマクロ的な現象とその進化を理解する 池田（植物の種分化、系統地理学、高山植物、進化生理学） 生物の個体群動態や分布変遷をゲノム情報に基づき推定する 植物の光応答性に見られる多様性を生理学実験や遺伝子配列をもとに探索する 生物の分布情報や生理学実験をもとに種分化の生態的要因を探索する
成績評価方法	実習・ゼミナールにおける課題への取り組み状況と成果発表会におけるプレゼンテーションの内容、ディスカションへの取り組み状況基づきに評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50241	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	有機反応機構を考える
授業の目標概要	本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者はできるだけ第 1 回目の講義に出席してください。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して 15 名程度履修しています)。
成績評価方法	平常点および期末試験により評価を行います。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts オンラインで行う場合は、ITC-LMS を通して資料を提供します。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	関口 英子	数学	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	群と表現論
授業の目標概要	「リー群と表現論」(小林俊行--大島利雄著，岩波書店)を参照しつつ，いくつかの大切なトピックを学んでいく予定である． 「自然科学ゼミナール(数理科学「群と対称性」),」では，線型代数等の予備知識を必要とすることから選抜テストを実施する．履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること．選抜結果は，第 3 回講義前までに掲示する．
成績評価方法	試験により評価する．セミナーとして発表した場合はそれも含めて評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50655	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	高木 俊輔	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	『代数曲線入門』輪講
授業の目標概要	宮西正宜・増田佳代著『代数曲線入門』を輪講することにより、可換環論、代数幾何、特異点論の初歩を学ぶことを目標とする。また、数学の専門書を読んで理解し、その内容を他の参加者に対して発表し、討論することを通じて、ゼミナール形式による数学の学び方を経験することも目標とする。 この科目では、履修希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を行う。履修希望者は、本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、pdf ファイルとして第 1 回講義開始日の 15:00 までに UTOL に提出すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。
成績評価方法	平常点および発表内容により総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 宮西正宜・増田佳代 代数曲線入門 共立出版 9784320111448
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51414	A	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	情報学環	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	児童生徒・学生と社会人のための「AI リテラシー検定」設計
授業の目標概要	数年来この枠では「AI 時代の教育を考える」といったタイトルでゼミナールを持ってきたが、シラバスにいくら書いても履修希望者のなかにはかならず「AI を使う教育」という強固な誤謬があった。私達は、AI が社会普及して以降の子供たちが、システムに振り回されないためにどのような算数や国語、英語などの基礎学力を身に着け、またそれを応用できるか、を問うている。そこで今学期は学内外で協力しつつ進めている「東大 AI リテラシー検定」の問題作りや出題の基本姿勢などを、ゼミで陽に扱ってみようと思う。 YouTube を開けば「ゆっくり解説」などの合成音声で、完全に誤った日本語の音読を聞かされない日がない。我々はそれを「誤読」と弁えているが、幼児や小中学生なら「家族」を「イエゾク」と読むような「それも日本語」と誤解してしまいかねない。すでに東大生を含む 10 代 20 代の電子メールなどの日本語は相当乱れている。こうした傾向に歯止めをかける「東大 AI リテラシー検定」を考えたい。
成績評価方法	出席 提出物 レポートなど ただし 理由の明確でない欠席者にレポートだけで救済単位などは出さない
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51439	A	自然科学ゼミナール（医学）	和田 洋一郎、松本 博樹、張 宰雄、巽 俊文、桧垣 正吾、秋光 信佳	アイソトープ総合センター	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	標的 α 線治療から考える放射線と社会の新しい関係
授業の目標概要	本ゼミナールでは、近年大きな注目を集めている「標的 α 線治療（Targeted Alpha Therapy: TAT）」を題材として、放射線科学と社会との新しい関係について考察する。2016 年のアクチニウム-225 を用いた臨床成果を契機に、放射性医薬品開発は世界的に急速な発展を遂げている。本ゼミでは、標的 α 線治療を支える放射線物理学、放射性同位体製造、抗体・ペプチドによる送達技術、DNA 損傷応答、腫瘍免疫学などの基礎を学ぶとともに、放射性医薬品の社会実装、医療アクセス、科学技術受容、環境安全、地域産業との連携といった社会的課題についても議論する。また、老化細胞除去や生活習慣病研究など、がん以外への応用可能性や、放射線を利用した生命科学研究ツールとしての展望にも触れる。論文読解や討論、学生発表を通じて、科学・医療・社会を横断的に考察する力を養う。 従って、本ゼミでは、単なる先端医療の紹介ではなく、 ①放射線科学の社会的位置づけ ②医療技術の社会実装 ③地域産業との接続 ④倫理・受容・未来像 まで含めた初年次教育カリキュラムとする。 そして、本ゼミを通じて、受講者は以下の項目を達成することを目標とする。 ①標的 α 線治療の原理と放射線の基礎特性を説明できる。 ②放射性医薬品開発に必要な生命科学・核医学・創薬科学の基礎知識を理解する。 ③科学論文や臨床研究を批判的に読み解く力を身につける。 ④放射線科学と社会との関係について、自らの視点で議論できる。 ⑤医療技術の社会実装に伴う倫理的・社会的課題を考察できる。
成績評価方法	それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50242	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	先進融合	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	四コママンガ再発見
授業の目標概要	四コママンガは、そのフォーマットのコンパクトや、古今の多様なメディアへの浸透ぶりからすれば、ある意味で最も身近なマンガのサブジャンルといえますが、しかし従来のマンガをめぐる批評や研究のなかでは必ずしも盛んに分析されてきたとは言い難い分野でもあります。この授業では、わずか四コマという定型のなかにどのような表現の可能性が見出せるかを、既存の四コママンガを分析したり、受講者自身に四コママンガを制作してもらったりしながら実践的に探究します。四コママンガの制作といっても、参加者のひらめきに期待して大喜利大会を毎週やることが目的ではありませんから、たとえば既存の作品を再構成してみたり、偶然性を利用してアイデアを得たりといった実験的な試行錯誤をしながら進めていきます。したがって目標となるのは、「面白い四コママンガ」を描けるようになることよりも、「四コママンガの面白さ」を考え、言語化できるようになることです。
成績評価方法	授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50917	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	先進融合	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	マンガにとってコマ割りとは何か
授業の目標概要	この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐって、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。なお、受講者の作成物は、授業内で共有した上でフィードバックを行います。
成績評価方法	授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51436	A 1	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	檜垣 万里子	生産技術研究所	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	観察スケッチから学ぶデザイン
授業の目標概要	本授業はデザインに興味を持つ学生を対象としたスケッチの基礎トレーニングとプロダクトデザインの要素を学ぶ入門授業である。デザインの工夫は見た目の良さだけでなく使いやすさや製造のしやすさなど多岐に渡る。身の回りにある製品をよく観察し、スケッチすることにより、デザイン要素を発見・分析・共有する力を身につける。7 回の授業と課題を通して、プロダクトデザインを見る眼とそれを伝える手段を習得することが期待される。 履修希望者が 20 名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回までに掲示によって告知する。
成績評価方法	出欠：30%、毎週の課題：30%、最終課題：40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 檜垣万里子 気になるモノを描いて楽しむ 観察スケッチ ホビージャパン 978-4798619187
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60239	A 2	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	野老 朝雄、舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	個と群
授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 美術家の野老朝雄氏をお招きし、本学で「かたち」について研究者している舘知宏と協働しながら、集中講義で制作を行う実技の授業です。野老氏の制作のプロセスを受講者が実際に手を動かしながら一緒に実践します。 野老は、図形的操作や幾何学的原理に基づき、単純なピースを組み合わせて平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出しています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたりますが、野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼んでいます。 本科目では、受講者は実際に手を動かしながら、「個と群」による表現のアクティビティを実践します。 さらに授業中の講評・講義では、「かたち」を通して、幾何学、アルゴリズム、生物、建築などを横断した学問のつながりをたどります。例えば、「個と群」の原理は古今東西の紋様、建築や宇宙構造物、セル材料、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、自然現象や人工物に普遍的にあらわれる考え方です。 本授業では、つくることを通して科学・数理の現象を理解したり、美術の背後にある数理を解き明かすことにつながり、時々研究論文も生まれます。興味ある人は次の学期に「研究入門」の履修も検討ください。
成績評価方法	授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中井 悠	先進融合	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。
授業の目標概要	
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51442	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	駒場すずかんゼミナール「学藝饗宴」
授業の目標概要	爛熟期を迎えた 19 世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。 「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新たに本題にて開講されている本ゼミは今期で 20 期目となる。主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記の X（旧 Twitter）ページにて確認してほしい。 本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。 本講義は集中講義形式の授業であるが、火曜日 19〜21 時に行われる、ゼミ生が主体的に開催する集いが主要な活動であり、集中講義も基本的に同時間帯である。この「火曜会」に毎回参加できることが履修に際しての前提条件となる。 ※選考を行い、受講者を若干名に限定する。 ※単位を取得する形で参加（＝履修）することが可能なのは 1 年生の A セメスターと 2 年生のみだが、他学年でも入ゼミ・活動への参加は可能。履修生との活動上での区別もない。 ※過去の選考課題、その他の詳細は X（旧 Twitter）ページ（https://x.com/minervakomaba）、Note（https://note.com/minervakomaba）を参照すること。
成績評価方法	毎回の活動への積極的な参加と貢献をもって評価の対象とする。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60240	A 2	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中島 さち子、舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	数学と音楽
授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 集中講義で創作活動を実践する。音楽家かつ数学研究者・STEAM 教育者の中島さち子と本学研究者の舘知宏とが協働し担当する。各自の興味に基づいて「数学と音楽」による新たな表現を模索する。各自のプロジェクトを進め、毎回進捗共有とフィードバックのサイクルの後、最終回にプレゼンテーション、演奏、ライブなどを行う。途中、中島の周囲の音楽家もゲストに呼び込み、サックスやドラム、ベースなども一緒に演奏を交えて、探求を深める。 制作の実践とフィードバックのサイクルの中に、理論的・実践的なレクチャーが織り込まれる。音楽と数学の関係について、例えばバッハなどに見られる対称的構造、ハーモニーや音律と数比の関係、コードの変化と群、リズムと円の分割、さまざまな音色とフーリエ解析などに基づき、さまざまな音楽の背後に潜む数学について解説を行う。また、簡単に Processing ないし p5.js を用いて多様な形で音の視覚化や AI と絡める方法を示唆し、創作に生かせるようにする。 バッハやモーツァルト、ベートーベン、ドビュッシー、コルトレーン、中島や他音楽家の楽曲の特徴を司る数学的特徴や時代背景と数比の関係などを多岐にわたって紹介する。振動現象、共鳴などについての物理的な考察と、楽器作りなどもテーマとする。数学 x 音楽に、さらに身体性の視点も導入し、五感のアートの事例を紹介する。音楽やアートの未来と数学・技術・ものづくりとの協働の可能性を探る。
成績評価方法	授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50850	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	金井 学	先進融合	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	メディア=都市空間への介入と漂流、あるいはその換骨奪胎
授業の目標概要	この授業では、私たちの生活世界を構成している都市空間をメディアとしてとらえ、そのメディアの裏をかくことで私たちの可感的領野（の外側）を探求します。 私たちが、日常の生活の中で私たちを取り巻く世界を感覚する時、そこには常に世界と私たちの感覚との媒（なかだち）となるもの＝メディアが存在しているはずです。従って「私たちが何を感覚するか？」は、そのメディアのあり方に拘束されており、それゆえ「私たちは何を感覚することができる（ようになるの）か？」という可能性もまたメディアと私たちとの関わりのあり方に存すると言えるのかもしれません。 このような問題意識に基づき、本授業では、東京を代表する都市の一つであり、また駒場キャンパスに隣接する「渋谷」という街を一つの巨大なメディアとして捉え、20 世紀フランスの前衛芸術運動体であるシチュアシオニスト・インターナショナル（1957-1972）の芸術活動とその方法論を一つの手引としながら、この渋谷=メディアのあり方を探索します。渋谷=メディアでの漂流や批判的介入の実践を通して、そのメディアが生み出す感性的拘束を換骨奪胎し、作り変えることを試みます。具体的には、都市フィールドワークの形式をとりながら、遊歩を通じた音声、写真、スケッチ、その他の採取・収集に取り組むとともに、それらを教室に持ち帰って観察とディスカッションやリフレクションを行うことで、このような「メディアの残滓」から新たな感性的対象への手がかりを探索し、そこで得られた発見に基づいて、そのような新たな感性的対象を結晶化する事物=芸術の制作に挑戦します。
成績評価方法	出席、参加度や積極性、制作物などから総合的に評価します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51059	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	斉田 一樹	先進融合	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	電子楽器制作入門
授業の目標概要	初歩的なプログラミング・電子工作を通じて音の仕組みを学びながら、自分の手で電子楽器を作ります。アナログ/デジタルの電子回路やマイクロコントローラ、ソフトウェア等、現代の電子楽器で使われている諸技術を使い、簡易的な音が出るものを作ります。 その過程で、音を出す仕組みや、音を使った表現について学びます。東京大学での他の講義科目や学術分野についても紹介します。授業の最後では、自作の楽器で簡単な演奏を行います。毎回、簡単な制作作業を実施します。 専攻不問です。興味があれば未経験者も歓迎します。 ※ 受講者多数の場合、記述式の課題を提出していただき、選抜を実施します。課題は初回オリエンテーション時にお知らせします。内容は電子楽器制作の専門性を問うものではありません。選抜結果は 2 回目の授業までにお知らせします。 ※ 受講人数は講師によるハンズオン授業のため、最大でも 20 名程度を予定しています。
成績評価方法	授業の進捗により判断（各自の制作と発表の時間が別にとれれば、発表内容で判断）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	中井 悠	先進融合	月 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。
授業の目標概要	
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50547	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	工藤 和俊	先進融合	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	身体パフォーマンスの熟達化
授業の目標概要	スポーツ、ダンス、音楽などのパフォーマンス時における動作、筋活動、心拍、呼吸等の生体情報計測、映像解析、および文献調査等を用いてアート・パフォーマンス熟達者の身体技法やパフォーマンスの熟達プロセスを明かにし、研究発表を行います。
成績評価方法	研究への取り組みや成果を総合して評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51060	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	金井 学	先進融合	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　超・現・在

授業の目標概要　文理融合ゼミナール「研究入門」は、学芸技術の連携により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指す授業です。
この研究入門「超・現・在」では、履修する学生各自の興味関心に基づき芸術創造の実践=制作を行うとともに、＜present(ation)＞を鍵語としながら、同時にそれらを「いま」「ここ」に存在させる形式も一体的に作り出すことについて実践的な取り組みを通して学びます。よりイメージしやすい言い方をすれば、「展覧会」や「出版物（ZINE）」等の企画制作という創造的実践の中で芸術に関連するトピックを探求する授業ということになりますが、しかしこの授業で扱う問いの中心は「展覧会」や「出版物」といった出来合いの形式を疑い、あなたが創造する芸術が要求してくる「現れ出方」（一定程度あらわれ出るための時間、あるいは空間のあり方と、それが「いま」あるいは「ここ」を作り変える（＝超出する）可能性を探求するところにあります。

成績評価方法　授業への取り組み方、成果等を総合的に評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51118	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	舘 知宏	先進融合	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　つながるかたち

授業の目標概要　文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。
「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。
初回ガイダンスは 10/5 の 18:45 開始を予定しています。

成績評価方法　研究活動への取り組み、対外発表等への取り組みなどを総合して評価を行う。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51416	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	伊東 乾	情報学環	火 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　「教程を作ってみる」

授業の目標概要　このコマは 2018 年、俳人の金子兜太さんと映画監督の高畑勲さんと、かつての東大生は「辞世の句」など、ものを「創る」ということが当たり前だったのに、21 世紀に入ってすっかり退潮になっている懸念がある、と話したことが動機となって、「何か創ってみよう」というざっくりした／ゆるい設定で続けてきた。
ところが、毎年ヒマネタ化していたこのコマが 2026 年の前期は非常に充実し、うれしい驚きであった。そこで今期は前期を踏まえ「子供に何かを教えるもの」を作ってみるという緩やかな枠を設けることとした。例外があっても構わないが、まずもって何らかの「教程」を新たに作ってみることに挑戦する人を歓迎する。
前期でよかったもの：中学数学の因数分解を図形教材で体感させる／新しい「そろばん」教育の可能性 などなど。
担当者は理学系研究科物理学専攻の修士 2 年次、3 年生の必修実験「真空技術」の TA として、教程をほぼすべて新たに作り直し、たんに忍の一字であった「真空ポンプを引くだけの実習」を、目で見え、手で触れてわかる統計力学実験に作り替えさせてもらった経験がある。それから 20 年ほど経過した 2011 年、福島に放射線の可視化実験を宅配するので久しぶりに物理学科を訪ねたところ、M2 の僕が作った教程がそのまま踏襲されているのを知り、いたく感動した経験がある。もう 20 歳もすぎれば大人であるから、立派に通用する教程を作成可能だが、黒板におしりを向けて立つ人はいちばんよく準備しなければならない。そういう経験をしてもらうと よいように、自分自身の学生時代も振り返って思うのである。
また「研究入門」としたのは、本学の３，４年や大学院での指導などを見るにつけ、どうも「研究入門」的な指導をする若い先生が減っているのではないか？ という懸念があることが第一。 さらに「教える」システムを作る際には まず「教える人」教師側への指導書などが第一に先行し、プリンシパルを立てる必要があるため、下手な「研究入門カリキュラム」以上に、入念にクリエイティヴな研究に取り組むマナーに慣れ親しむことになるからである。

成績評価方法　出席と提出物（レポートを含む）
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51438	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	本間 健太郎、檜垣 万里子	生産技術研究所	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	プロジェクト・プロトタイピング
授業の目標概要	「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 ***** 「プロジェクト・プロトタイピング」では、生産技術研究所価値創造デザイン推進基盤の協力のもと、受講生が各自の問題意識にもとづいてデザイン実践に取り組みます。A1・A2 タームを通じて、新たなプロダクト、建築や空間、メディアアートや UI、電子的デバイス、web サービスなどを企画・制作します。 制作物には、何らかの学術テーマに基づいていることを求めますが、それ以外は各自の自由な発想を尊重します。受講にあたっては、制作対象と学術テーマが明確になっている、あるいはおおむね定まっていることが望まれます。
成績評価方法	成果のクオリティや、活動への積極性などを総合して評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

英語中級（クラス指定ターム型）火３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50329	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	単語使用力の増強とそれを生かす読解
授業の目標概要	学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テクストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テクストの両方から出題する予定。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50330	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践
授業の目標概要	英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 ・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する ・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する ・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる ・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50331	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	加太 康孝	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する
授業の目標概要	◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 A1 ターム。過ごしやすくなっていく気候に喜びつつも、昼がどんどんと短くなっていくのが気になってまいります。そうしてあっという間に過ぎていく 7 週間。読書の秋とも言われるこの時季に毎週ちびちびと味わう英語作品と言えば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella）は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モダニズム文学」などとして高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導いてくれるではありませんか！ もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テクスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。 ‘The Dead’ は 20 世紀初頭のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどの国に属していたのか、と問うことはやはり必要です。しかしながらやはり、文学テクストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそのものですから、「正しく英語を読む」ことと「文学作品として読む」こととの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にして進めていきたいと思います。
成績評価方法	※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立った段階で方針を確定する予定です。 平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10% 授業内提出物 30% 小テスト 60% ※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画をご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50332	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50333	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	アガサ・クリスティの短篇小説を読む
授業の目標概要	英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。
成績評価方法	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ短篇集 成美堂 9784791900046
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50334	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50335	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Technology and Cognition
授業の目標概要	For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51476	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Intermediate English: Comparative Education
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60092	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　Technology and Cognition

授業の目標概要
For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.

Goals

1. Attain a basic understanding of
- some of the effects of recent technologies on people
- interactions with and through machines
- alignment problems

2. Use English to practice
- reading skills, and
- discussion skills

成績評価方法
There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester.
Final grades will be based on the weekly activities only.
Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires:
- 45 hours of study
- including attendance of at least five lectures.

References:
・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en
・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html

If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control:
send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60093	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　英語音声学を用いた英語発音の理解と実践

授業の目標概要
英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。
・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する
・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する
・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる
・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる

成績評価方法　授業への参加（発言、その他の取り組み)、宿題、テストを総合的に評価する

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60094	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　単語使用力の増強とそれを生かす読解

授業の目標概要
学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。

成績評価方法
出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。
期末レポートとして、読解テクストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。
期末試験は教科書と読解テクストの両方から出題する予定。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
東京大学教養学部英語部会（編）
東大英単
東京大学出版会
978-4-13-082140-7

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60095	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	１年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60096	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 3	１年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	アガサ・クリスティの短篇小説を読む
授業の目標概要	英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。
成績評価方法	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ短篇集 成美堂 9784791900046
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60097	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	１年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回)。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60098	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	加太 康孝	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する
授業の目標概要	◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 A2 ターム。冬至を挟み、寒くて暗い。人はそんなときに集い、宴を催します。食べて飲んで、年越し。未来に向かって気持ちを新たにする時季でありながら、これまでを振り返る機会も多い。そうこうしているうちにあっという間に過ぎて行くターム。ああ、こうして今年度も終わっていくのか…… こんな学期を有意義に過ごすための英語作品と言えば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella）は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モダニズム文学」などとして高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導いてくれるではありませんか。 もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テクスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。 ‘The Dead’ は 20 世紀初頭のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどの国に属していたのか、と問うことはやはり必要です。しかしながらやはり、文学テクストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそのものですから、「正しく英語を読む」ことと「文学作品として読む」こととの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にして進めていきたいと思います。
成績評価方法	※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立った段階で方針を確定する予定です。 平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10% 授業内提出物 30% 小テスト 60% ※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画をご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60246	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	Intermediate English: Comparative Education
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50393	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	Zane Mackin	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Form in Poetry. A workshop.
授業の目標概要	This class uses poetry as a way to understand the deep connection between poetic language and everyday language in English. What poets and poems are important for understanding English? What lines from poetry are so famous that they have become a part of everyday speech? And in what ways does poetic language signify as “poetry” distinct from ordinary speech? On the other hand, do the mechanics of poetry (e.g. meter, rhyme) ever affect how we talk today, and if so, how? (The answer here is yes, all the time.) Does studying those mechanics help us to get a more natural feel for the logic and flow of the English language? (The answer is yes here too.) This course will cover a few of the major authors and movements in the history of lyric poetry in the English language. It is not an exhaustive overview, but it will at least provide a general framework for understanding the history of poetry in English. Class time will be spent mostly on close reading. We will get deep into the grammatical/syntactic structure, we will explore word choice, and we will uncover how meter and rhyme contribute to the construction of meaning. In addition to reading, students will have several assignments outside of class. 1) As a way to get intimate with poetic form and the aesthetic concerns proper to poetry, they will write and workshop their own poems imitating the voice/style of specific authors. 2) As a way to see how the specifics of language come to bear on poetry, they will translate poems from one language into another. 3) As a way to become intimate with the cadences of poetic language, students will memorize and recite a poem of their choice in their a final project.
成績評価方法	Attendance/participation (20%) Five imitative poems (50%) One recitation (15%) One translation (15%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50394	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Technology and Cognition For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.
授業の目標概要	Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50395	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Visual Analysis: Reading Print Advertisements
授業の目標概要	This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50396	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	三原 芳秋	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	百年前の英国学校生活を有名作家のことばで読む Reading Famous British Authors on Their Old Schools 100 Years Back
授業の目標概要	この授業では、1900 年前後に生まれ、第一次世界大戦とその戦後に英国で中等教育を受け、その後有名になった作家たちが自らの学校生活を回顧して書いたエッセイを複数講読します。小説家のグレアム・グリーン（Graham Greene）が編集した_The Old School: Essays by Divers Hands_ (OUP, 1984)には、日本でもよく知られる詩人 W. H. オーデン（W. H. Auden）、小説家エリザベス・ボウエン（Elizabeth Bowen）、外交官ハロルド・ニコルソン（Harold Nicolson）、小説家アントニー・ポウエル（Anthony Powell）、そして本学とも縁の深いウィリアム・プルーマー（William Plomer）といった著述家たちが Eton, Rugby, Wellington, Downe House といったそれぞれの母校での生活をふりかえるエッセイが収められています。そこから数編を選び、エッセイ全体の多読と部分の精読とを組み合わせて講読することで百年前の英語の文章をしっかり理解することが主要な目標ですが、そこに留まらず当時の文化的背景や教育現場の実態などについて自分たちの経験とも照らし合わせながら自由闊達なディスカッションもしていきたいと思います。なにぶん百年前の、しかも英国の全寮制男子／女子校の話が主なので、耳慣れない単語や風習が頻出しますが、受講者全員で協力してがんばりましょう。 事前の予習（UTOL 投稿）、授業内でのグループワークと発表、教員による解説、小テスト（複数回）の組み合わせを基本として授業を組み立てます。事前・事後も含め積極的な授業参加が求められますので、説明を聴くだけで良い、というわけにはいきません。とはいえ、英国の文学や文化にかんする予備知識はまったく必要ありませんので、ちょうど自分たちの百年ほど前にあちらの島国で生まれた男女がどんな中高生活を送っていたのか興味半分で読んでみたい、という軽い気持ちで受講してくれるみなさんを歓迎します。 ※初回から教室での対面授業です。
成績評価方法	UTOL を通じた授業前提出物（３０%）、教室内グループワーク＋発表（３０%）、小テスト（４０%）、を目安として、総合的に成績評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50397	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	単語使用力の増強とそれを生かす読解
授業の目標概要	学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テクストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テクストの両方から出題する予定。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50398	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50399	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	アガサ・クリスティの短篇小説を読む
授業の目標概要	英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。
成績評価方法	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ短篇集 成美堂 9784791900046
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50400	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51477	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Intermediate English: Comparative Education
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60132	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	アガサ・クリスティの短篇小説を読む
授業の目標概要	英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。
成績評価方法	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ短篇集 成美堂 9784791900046
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60133	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Visual Analysis: Reading Print Advertisements
授業の目標概要	This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60134	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60135	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	三原 芳秋	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	百年前の英国学校生活を有名作家のことばで読む Reading Famous British Authors on Their Old Schools 100 Years Back
授業の目標概要	この授業では、1900 年前後に生まれ、第一次世界大戦とその戦後に英国で中等教育を受け、その後有名になった作家たちが自らの学校生活を回顧して書いたエッセイを複数講読します。小説家のグレアム・グリーン（Graham Greene）が編集した_The Old School: Essays by Divers Hands_ (OUP, 1984)には、日本でもよく知られる詩人 W. H. オーデン（W. H. Auden）、小説家エリザベス・ボウエン（Elizabeth Bowen）、外交官ハロルド・ニコルソン（Harold Nicolson）、小説家アントニー・ポウエル（Anthony Powell）、そして本学とも縁の深いウィリアム・プルーマー（William Plomer）といった著述家たちが Eton, Rugby, Wellington, Downe House といったそれぞれの母校での生活をふりかえるエッセイが収められています。そこから数編を選び、エッセイ全体の多読と部分の精読とを組み合わせて講読することで百年前の英語の文章をしっかり理解することが主要な目標ですが、そこに留まらず当時の文化的背景や教育現場の実態などについて自分たちの経験とも照らし合わせながら自由闊達なディスカッションもしていきたいと思います。なにぶん百年前の、しかも英国の全寮制男子／女子校の話が主なので、耳慣れない単語や風習が頻出しますが、受講者全員で協力してがんばりましょう。 事前の予習（UTOL 投稿)、授業内でのグループワークと発表、教員による解説、小テスト（複数回）の組み合わせを基本として授業を組み立てます。事前・事後も含め積極的な授業参加が求められますので、説明を聴くだけで良い、というわけにはいきません。とはいえ、英国の文学や文化にかんする予備知識はまったく必要ありませんので、ちょうど自分たちの百年ほど前にあちらの島国で生まれた男女がどんな中高生活を送っていたのか興味半分で読んでみたい、という軽い気持ちで受講してくれるみなさんを歓迎します。 ※初回から教室での対面授業です。
成績評価方法	UTOL を通じた授業前提出物（３０％)、教室内グループワーク＋発表（３０％)、小テスト（４０％)、を目安として、総合的に成績評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60136	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	単語使用力の増強とそれを生かす読解
授業の目標概要	学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テクストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テクストの両方から出題する予定。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60137	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60138	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Technology and Cognition For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.
授業の目標概要	Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60139	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	Zane Mackin	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Form in Poetry. A workshop.
授業の目標概要	This class uses poetry as a way to understand the deep connection between poetic language and everyday language in English. What poets and poems are important for understanding English? What lines from poetry are so famous that they have become a part of everyday speech? And in what ways does poetic language signify as “poetry” distinct from ordinary speech? On the other hand, do the mechanics of poetry (e.g. meter, rhyme) ever affect how we talk today, and if so, how? (The answer here is yes, all the time.) Does studying those mechanics help us to get a more natural feel for the logic and flow of the English language? (The answer is yes here too.) This course will cover a few of the major authors and movements in the history of lyric poetry in the English language. It is not an exhaustive overview, but it will at least provide a general framework for understanding the history of poetry in English. Class time will be spent mostly on close reading. We will get deep into the grammatical/syntactic structure, we will explore word choice, and we will uncover how meter and rhyme contribute to the construction of meaning. In addition to reading, students will have several assignments outside of class. 1) As a way to get intimate with poetic form and the aesthetic concerns proper to poetry, they will write and workshop their own poems imitating the voice/style of specific authors. 2) As a way to see how the specifics of language come to bear on poetry, they will translate poems from one language into another. 3) As a way to become intimate with the cadences of poetic language, students will memorize and recite a poem of their choice in their a final project.
成績評価方法	Attendance/participation (20%) Five imitative poems (50%) One recitation (15%) One translation (15%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60247	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Intermediate English: Comparative Education
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50525	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40％ 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40％ 授業への積極的な参加 20％ （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50526	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Technology and Cognition For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.
授業の目標概要	Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50527	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	水 2	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Visual Analysis: Reading Print Advertisements
授業の目標概要	This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50528	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	水 2	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践
授業の目標概要	英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 ・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する ・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する ・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる ・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み)、宿題、テストを総合的に評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50529	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	１年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定)、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50530	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Art and Design in English
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50531	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations
授業の目標概要	This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.
成績評価方法	- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60155	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60156	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　Technology and Cognition

授業の目標概要
For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.

Goals

1. Attain a basic understanding of
- some of the effects of recent technologies on people
- interactions with and through machines
- alignment problems

2. Use English to practice
- reading skills, and
- discussion skills

成績評価方法
There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester.
Final grades will be based on the weekly activities only.
Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires:
- 45 hours of study
- including attendance of at least five lectures.

References:
・The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en
・In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html

If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control:
send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60157	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　Visual Analysis: Reading Print Advertisements

授業の目標概要
This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.

成績評価方法
Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60158	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目　英語音声学を用いた英語発音の理解と実践

授業の目標概要
英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。
・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する
・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する
・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる
・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる

成績評価方法　授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60159	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60160	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Art and Design in English
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60161	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations
授業の目標概要	This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.
成績評価方法	- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50557	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50558	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語で日本近現代史を読む
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50559	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	アルヴィ なほ子	英語	水 3	１年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語のテクストを読むプロセスにおける発見（と愉しみ）について
授業の目標概要	目標）テクストの読解を通して、英語の表現を学ぶとともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要) 講義タイトルの隠れた主語は、「学生＝(学ぶ）人間が」です。生成 AI が日常生活の一部となりつつある現代において、外国語（英語）の学習を主体的に行うとはどのようなことかを、New York Times の記事を中心にして考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。英語のテクストを深く読み、調べ、考え、感じることで、テクストから多くの発見をしてください。その過程で、身体を持つ人間が行う読解と機械が行う読解の違いにも目を向け、人間が主体的にテクストの中の世界、テクストの外の自分を取り巻く世界に向き合い、理解するということはどういうことか考えてください。そうすることが他者の書いたテクストを読む力を鍛えると同時に、自身のテクストを紡ぎ出す力を鍛えることになります。
成績評価方法	1)授業中の活動（グループ発表、グループワーク、ディスカッションへの参加等）と授業の準備、復習のために行うコメント、小課題などの提出物：70%、 ２）期末試験：30%。 1）と 2）を基本として、総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook New York Times, 関連資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	水 3	１年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Dynamic Presentations: Skills, Structure, and Performance 英語プレゼンの基本と実践
授業の目標概要	本授業では、英語プレゼンテーションを英語コミュニケーションの中核的実践として位置づけ、基礎的な技術の習得から応用的な実践までを段階的に行います。 プレゼンテーションは英語に限らず、日本語や他言語においても、学業・研究・ビジネス・公共的場面など多様な局面で求められる重要なスキルです。本授業では、英語を媒介としながらも、言語を越えて応用可能なプレゼンテーション能力の基盤形成を目指します。 授業では、朗読や自己紹介、短いスピーチから始め、実例を参照しつつ、発声・声量・間の取り方、姿勢や視線、ジェスチャーといった身体的要素、さらにスライドの構成や視覚情報の効果的な使い方など、プレゼンテーションの基本技術を体系的に学びます。あわせて、聴衆を意識した構成、説得力のあるストーリーテリング、明確で簡潔な英語表現についても検討していきます。 とくに後半では、各自の関心や目的に応じたテーマを設定し、学んだ技術を活かした英語プレゼンテーションを実践します。最終的には、自分自身の強みや個性を踏まえた自分なりのプレゼンテーション・スタイルを確立し、今後さまざまな場面で応用可能な発信力を身につけることを目標とします。
成績評価方法	授業への出席・態度（75%）、最終英語プレゼンテーション（25%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	ROLAND Douglas	英語	水 3	１年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Exploring Cognitive Science in English
授業の目標概要	Students will be able to improve their reading, listening, speaking, and presentation ability while learning about how the mind works. We will read various newspaper and magazine articles, and watch videos covering topics related to the field of cognitive science. We will discuss the readings and videos in class. In addition, students will give group and individual presentations related to the topics discussed in class.
成績評価方法	Quizzes 20% Class participation 30% Assignments 50%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 3	１年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces
授業の目標概要	This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50564	Ａ１	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 3	１年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations
授業の目標概要	This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.
成績評価方法	- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60178	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 3	１年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations
授業の目標概要	This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.
成績評価方法	- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60179	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 3	１年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces
授業の目標概要	This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60180	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	ROLAND Douglas	英語	水 3	１年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	Exploring Cognitive Science in English
授業の目標概要	Students will be able to improve their reading, listening, speaking, and presentation ability while learning about how the mind works. We will read various newspaper and magazine articles, and watch videos covering topics related to the field of cognitive science. We will discuss the readings and videos in class. In addition, students will give group and individual presentations related to the topics discussed in class.
成績評価方法	Quizzes 20% Class participation 30% Assignments 50%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60181	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	Dynamic Presentations: Skills, Structure, and Performance 英語プレゼンの基本と実践
授業の目標概要	本授業では、英語プレゼンテーションを英語コミュニケーションの中核的実践として位置づけ、基礎的な技術の習得から応用的な実践までを段階的に行います。 プレゼンテーションは英語に限らず、日本語や他言語においても、学業・研究・ビジネス・公共的場面など多様な局面で求められる重要なスキルです。本授業では、英語を媒介としながらも、言語を越えて応用可能なプレゼンテーション能力の基盤形成を目指します。 授業では、朗読や自己紹介、短いスピーチから始め、実例を参照しつつ、発声・声量・間の取り方、姿勢や視線、ジェスチャーといった身体的要素、さらにスライドの構成や視覚情報の効果的な使い方など、プレゼンテーションの基本技術を体系的に学びます。あわせて、聴衆を意識した構成、説得力のあるストーリーテリング、明確で簡潔な英語表現についても検討していきます。 とくに後半では、各自の関心や目的に応じたテーマを設定し、学んだ技術を活かした英語プレゼンテーションを実践します。最終的には、自分自身の強みや個性を踏まえた自分なりのプレゼンテーション・スタイルを確立し、今後さまざまな場面で応用可能な発信力を身につけることを目標とします。
成績評価方法	授業への出席・態度（75%）、最終英語プレゼンテーション（25%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60182	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	アルヴィ なほ子	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	英語のテクストを読むプロセスにおける発見（と愉しみ）について
授業の目標概要	目標）テクストの読解を通して、英語の表現を学ぶととともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要) 講義タイトルの隠れた主語は、「学生＝(学ぶ）人間が」です。生成 AI が日常生活の一部となりつつある現代において、外国語（英語）の学習を主体的に行うとはどのようなことかを、New York Times の記事を中心にして考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。英語のテクストを深く読み、調べ、考え、感じることで、テクストから多くの発見をしてください。その過程で、身体を持つ人間が行う読解と機械が行う読解の違いにも目を向け、人間が主体的にテクストの中の世界、テクストの外の自分を取り巻く世界に向き合い、理解するということはどういうことか考えてください。そうすることが他者の書いたテクストを読む力を鍛えると同時に、自身のテクストを紡ぎ出す力を鍛えることになります。
成績評価方法	1)授業中の活動（グループ発表、グループワーク、ディスカッションへの参加等）と授業の準備、復習のために行うコメント、小課題などの提出物：70%、 ２）期末試験：30%。 1）と 2）を基本として、総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook New York Times, 関連資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60183	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60184	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	英語で日本近現代史を読む
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60185	Ａ２	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies
授業の目標概要	This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore . Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50014	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Barnett Tanya Nicole	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Cultures of Adventure, Exploration, and Travel in Modern Japan
授業の目標概要	Setting our sights on the textual, visual, and historical horizons, this course will embark on a quest to explore the culture of adventure, exploration, and travel in modern Japan. Often considered a galvanizing force in the culture of empire, we will chart the course of the spirit of adventure and its emergence in congruence with the advent of science, exploration, and the age of imperial expansion. In this course, we will approach the genre of adventure through the lens of different cultural trends and sociopolitical issues and in the context of Japanese history. Throughout the course, we will engage with translated short-stories, essays, visual media, manga, and film that are expressly classified as ‘adventure’ – or contain elements of adventure involving encounters (sometimes dangerous) with the unknown and the exotic. While we will be reading Japanese literature in translation, students are also free to engage with the original Japanese and incorporate the issue of translation into our class discussions. The course is designed to develop critical thinking, reading skills, and discussion, so students will be asked to prepare by reading the assigned texts in advance and play an active role in class discussion.
成績評価方法	Participation: 30%, In-class Assignments: 25%, Weekly Forum Post: 25%, Final Project: 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールールジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20)理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	M2 Visual Communication and Persuasion
授業の目標概要	The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored. We will study famous posters and paintings, influential photographs, advertising campaigns, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. Topics covered will include: - The mechanics of seeing - Poster Design - Introduction to Typography - Print Advertisements Design - Visual and Linguistic Landscape By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society.
成績評価方法	30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study (or an alternate task is Field Study attendance is not possible) 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20)理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	国家と民族に関わる国際関係論の基礎的知見を英語で読む
授業の目標概要	本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている国家（state）や民族（nation）に関連した諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 （１）移民・難民と国家との関係、さらには紛争終結後における国家建設の問題など、国際政治における国家・民族・ナショナリズムに関する様々なテーマに関して、国際関係論（International Relations: IR）の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 （２）国際政治上の基礎的な単位とされてきた国家や民族について、現代におけるその限界や問題点を理解し、グローバル化とデジタル化の進む時代にふさわしい新しい国際政治のあり方を考察していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 （３）国際政治や国際関係に関しての様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：第６回（１１月９日）と第１０回（１２月２１日）の授業冒頭に１５分程度を使って「小テスト」を実施し、それら２回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出題される。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１８日）に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50017	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Gender, sexuality and society in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50018	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	古典古代の美の礎―Marcus B. Huish, Greek Terra-Cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 N.B. このテキストは本年度前期の授業でも扱いました。このクラスで読むのは、その続きの部分となります。ですが、既読部分については授業開始時に内容を解説しますので、事前に読んでいただく必要はありません。 このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストが、どの時代の、どんな分野のものだろうと同じです―現代英語だろうと、100 年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、1000 年前の修道院文書だろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%）、および学期末レポート（70%：3〜4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの）。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。
教科書	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	落合 一樹	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	アフリカンアメリカン作家の短篇を読む
授業の目標概要	20 世紀アメリカ合衆国で活躍した黒人作家の短篇小説を数篇読みます。前提知識は必要ありません。扱う作品は、ジェイムズ・ボールドウィンの "Sonny's Blues"、アリス・ウォーカーの"Everyday's Use"、トニ・ケイド・バンバーラの"The Lesson"などになる予定です。
成績評価方法	学期末試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加状況および授業への取り組み（40%）を総合評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50020	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry
授業の目標概要	Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine poems by poets who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Louise Gluck, Joy Harjo, N. Scott Momaday, Li-Young Li, and Hyejung Kook. Each lesson will focus on some aspect of poetry, such as metaphor, symbolism, and meter. Students will examine in close reading how poets use language and how they interact with each other's works.
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50021	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51475	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Gio Miole	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Games, Memes and Meaning
授業の目標概要	By the end of the course, students will be able to: 1. Identify the main ideas, supporting details, organization, and purpose of English texts; 2. Use context clues and other reading strategies to understand unfamiliar vocabulary and expressions; 3. Summarize, compare, and respond to texts using their own words; 4. Express and support opinions during pair, group, and class discussions; and 5. Produce original English responses that demonstrate comprehension and personal engagement with the course materials.
成績評価方法	Class Participation – 30% 100-word Post-Class Weekly Response (Tweets) – 35% Final Project – 35%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50085	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	様々なグローバル・イシューに関する国際関係論の基礎的知見を英語で読む
授業の目標概要	本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている多種多様な Global Issues に関しての諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 （１）国際医療・人権・地球環境・宗教といった現代国際社会が直面している様々な Global Issues に関し、国際関係論（International Relations: IR）の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 （２）国境を越えての感染症の拡大や世界各地で頻発している多種多様な人権侵害、温暖化をはじめ深刻化する一方の地球環境破壊、さらには国際紛争の火種となりがちな宗教対立といった問題について、その解決や解消を模索しより良き未来を展望していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 （３）国際政治や国際関係に関しての様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：第６回（１１月９日）と第１０回（１２月２１日）の授業冒頭に１５分程度を使って「小テスト」を実施し、それら２回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出題される。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１８日）に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50086	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50087	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	落合 一樹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	アフリカンアメリカン作家の短篇を読む
授業の目標概要	20 世紀アメリカ合衆国で活躍した黒人作家の短篇小説を数篇読みます。前提知識は必要ありません。扱う作品は、ジェイムズ・ボールドウィンの "Sonny's Blues"、アリス・ウォーカーの"Everyday's Use"、トニ・ケイド・バンバーラの"The Lesson"などになる予定です。
成績評価方法	学期末試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加状況および授業への取り組み（40%）を総合評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50088	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	Social Inequality: Now and in the Future
授業の目標概要	This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.
成績評価方法	20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class
教科書	その他。／Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc).
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50089	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	古典古代の美の礎―Marcus B. Huish, Greek Terra-Cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 N.B. このテキストは本年度前期の授業でも扱いました。このクラスで読むのは、その続きの部分となります。ですが、既読部分については授業開始時に内容を解説しますので、事前に読んでいただく必要はありません。 このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストが、どの時代の、どんな分野のものだろうと同じです―現代英語だろうと、100 年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、1000 年前の修道院文書だろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%）、および学期末レポート（70%：3〜4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの）。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。
教科書	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50090	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Barnett Tanya Nicole	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	Cultures of Adventure, Exploration, and Travel in Modern Japan
授業の目標概要	Setting our sights on the textual, visual, and historical horizons, this course will embark on a quest to explore the culture of adventure, exploration, and travel in modern Japan. Often considered a galvanizing force in the culture of empire, we will chart the course of the spirit of adventure and its emergence in congruence with the advent of science, exploration, and the age of imperial expansion. In this course, we will approach the genre of adventure through the lens of different cultural trends and sociopolitical issues and in the context of Japanese history. Throughout the course, we will engage with translated short-stories, essays, visual media, manga, and film that are expressly classified as ‘adventure’ – or contain elements of adventure involving encounters (sometimes dangerous) with the unknown and the exotic. While we will be reading Japanese literature in translation, students are also free to engage with the original Japanese and incorporate the issue of translation into our class discussions. The course is designed to develop critical thinking, reading skills, and discussion, so students will be asked to prepare by reading the assigned texts in advance and play an active role in class discussion.
成績評価方法	Participation: 30%, In-class Assignments: 25%, Weekly Forum Post: 25%, Final Project: 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51479	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Gio Miole	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	Games, Memes and Meaning
授業の目標概要	By the end of the course, students will be able to: 1. Identify the main ideas, supporting details, organization, and purpose of English texts; 2. Use context clues and other reading strategies to understand unfamiliar vocabulary and expressions; 3. Summarize, compare, and respond to texts using their own words; 4. Express and support opinions during pair, group, and class discussions; and 5. Produce original English responses that demonstrate comprehension and personal engagement with the course materials.
成績評価方法	Class Participation – 30% 100-word Post-Class Weekly Response (Tweets) – 35% Final Project – 35%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50136	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	三吉 美加	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	優れた短編小説を深く味わう Conan Doyle, Truman Capote、Paul Auster の作品を検討している
授業の目標概要	社会的・文化的背景を学びながら作品世界の理解を深め、その魅力を多角的に味わうことを目的とする。作品の時代的風潮、社会通念、文化表象についての知識を深めつつ、作品の世界観を批評的に読み解いていく。風景描写や会話表現における英語の用法、助動詞や冠詞の選択、文体、時制表現に込められた意図にも注目する。また、登場人物の言語表現に表れる階級意識やジェンダー観、ヨーロッパ的世界観と米国的世界観の相違、テクノロジー観などについても、参考資料の読解を通して知識を体系的に習得していく。
成績評価方法	テスト（中間試験＋期末試験） 60% 小テスト 20% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50137	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry
授業の目標概要	Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine poems by poets who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Louise Gluck, Joy Harjo, N. Scott Momaday, Li-Young Li, and Hyejung Kook. Each lesson will focus on some aspect of poetry, such as metaphor, symbolism, and meter. Students will examine in close reading how poets use language and how they interact with each other's works.
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50138	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	野口 大斗	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50139	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	様々なグローバル・イシューに関する国際関係論の基礎的知見を英語で読む
授業の目標概要	本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている多種多様な Global Issues に関しての諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 （１）国際医療・人権・地球環境・宗教といった現代国際社会が直面している様々な Global Issues に関し、国際関係論（International Relations: IR）の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 （２）国境を越えての感染症の拡大や世界各地で頻発している多種多様な人権侵害、温暖化をはじめ深刻化する一方の地球環境破壊、さらには国際紛争の火種となりがちな宗教対立といった問題について、その解決や解消を模索しより良き未来を展望していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 （３）国際政治や国際関係に関しての様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：第６回（１１月９日）と第１０回（１２月２１日）の授業冒頭に１５分程度を使って「小テスト」を実施し、それら２回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出題される。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１８日）に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50140	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	M4 Visual Communication and Persuasion
授業の目標概要	The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored. We will study famous posters and paintings, influential photographs, advertising campaigns, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. Topics covered will include: - The mechanics of seeing - Poster Design - Introduction to Typography - Print Advertisements Design - Visual and Linguistic Landscape By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society.
成績評価方法	30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study (or an alternate task is Field Study attendance is not possible) 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50191	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	逆井 聡人	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	英語圏から読む現代日本――メディア・文学・翻訳 / Reading Contemporary Japan from the Anglophone World: Media, Literature, and Translation
授業の目標概要	概要： 現代日本は、英語圏の新聞、雑誌、ウェブメディア、書評などにおいて、どのように語られているのか。本授業では、現代日本を扱った英語記事を読み、その題材の選び方や語り方を検討する。あわせて、村田沙耶香、柳美里、柚木麻子など、海外で高く評価されている現代日本文学を取り上げ、メディアが提示する日本像と文学作品の描く社会や個人の経験とを比較する。 授業の後半では、学生によるグループ発表を中心に進める。文学作品、英語記事、書評、作家インタビューなどを組み合わせ、自ら問いを設定し、調査と分析の成果を発表する。 目標： 1. 現代日本を扱った英語圏のメディアを批判的に読めるようになる。 2. 文学作品とメディア資料を比較し、両者の語り方の違いを分析できるようになる。 3. 複数の資料を用いて問いを立て、根拠のある議論を構成できるようになる。 4. グループ発表や討論を通じて、自分の考えを他者に伝える力を身につける。
成績評価方法	グループ発表：40% 毎回のコメントシート：35% 授業内での討論・活動への参加：25%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	武田 将明	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	Contemporary Short Stories in English
授業の目標概要	現代の英語圏の作家による短篇小説を読みます。 以下の作品を扱う予定です（変更の可能性あり）。 Kazuo Ishiguro, "A Family Supper" (1980) Ali Smith, "May" (2003) A. S. Byatt, “Medusa’s Ankles” (1993) Salman Rushdie, "The Prophet's Hair" (1981) 特に共通する主題はありませんが、いずれも 20 世紀後半から 21 世紀を代表する英語作家がその個性を存分に発揮した作品なので、日ごろ文学作品に親しんでいない方でも原文で味わう価値は十分にあります。 こう書くとクラシカルな名作をイメージするかもしれませんが、仄かな殺意、樹木との恋愛、ヘアサロンで狂乱する中年女性、聖なる宝が引き起こす混乱と悲劇など、娯楽作品としても楽しめるものばかりです。 親子、性、老い、信仰など、誰でも避けて通れない主題を扱っている点も、必修の英語授業で扱うに相応しいと思います。 精読することで、英語という言語の特徴と可能性を発見する機会にもなるでしょう。
成績評価方法	平常授業への貢献度：50% 最終授業での期末試験：50% ＊「平常授業への貢献度」とは、授業内で当てられたときの解答の仕方や授業時の質問など、円滑な授業の進行や授業内容の改善への貢献を評価するものです。出席だけで点数をつけるわけではありません。 ＊授業への欠席・遅刻が多い場合、個別に理由の説明を求めることがあります。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	土屋 和代	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	ブラック・フェミニズムの歴史―アンジェラ・Y・デイヴィスを読む
授業の目標概要	哲学者として、活動家として、ブラック・フェミニズムの歴史を切り拓いてきたアンジェラ・Y・デイヴィスの論考を読む。デイヴィスはアメリカの黒人自由闘争史、刑罰国家の歴史、ジェンダー史、グローバルな連帯について多数の著書を執筆しており、アメリカ内外の知識人に大きな影響を与えてきた。デイヴィスの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリーを視聴し、背景となる 20 世紀アメリカ合衆国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。
成績評価方法	授業への貢献 30%、期末試験 50%、映像資料へのコメント 20%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts Davis, Angela Y. Women, Race & Class Random House,
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50195	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	American Short Stories
授業の目標概要	Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. 追加登録など、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。
成績評価方法	Grade evaluation depends on the quiz, the short essay, and the final exam.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50437	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中川 映里	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	翻訳で学ぶ英語
授業の目標概要	この授業では、①日本語から英語に翻訳された作品を読む、②英語から日本語へ翻訳する、という二つの活動をつうじて、英語力を向上させるとともに、翻訳について学びます。 日本語で創作された作品の英語訳を読み、日本語に逆翻訳し、英語訳・逆翻訳・日本語原文を比較することで、英語・日本語双方についての理解を深めます。翻訳をするために英語表現とじっくり向き合うことで英語の読解力を高め、日本語原文との比較によって英語と日本語の表現作法の違いを学びます。同時に、英語の日常的な表現を日本語との対応関係を確認しながら習得することを目指します。 また、英語訳と日本語原文の比較検討および翻訳実践をつうじて翻訳がいかなる営みかについて理解を深め、翻訳について学術的な議論をするための基礎知識を身につけます。授業後半に実施する「翻訳プロジェクト」では、自分の選んだテクストを翻訳し、翻訳することの楽しさを体験してもらいたいです。
成績評価方法	平常点（40%） ・予習・課題への取り組み ・授業への積極的な参加・貢献 ・小テスト 翻訳プロジェクト（30%） ・発表 ・まとめレポート提出 期末テスト（30%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50438	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	松本 和子	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	はじめてのニュース英語
授業の目標概要	ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。
成績評価方法	出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles et al. (eds) British News Update 7 金星堂
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50439	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	English Lectures on General Physics
授業の目標概要	This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% W While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	An Introduction to Cultural Geography
授業の目標概要	This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50472	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	American Short Stories
授業の目標概要	Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. 追加登録など、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。
成績評価方法	Grade evaluation depends on the quiz, the short essay, and the final exam.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50473	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	キハラハント 愛	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	Discussion on the United Nations human rights mechanisms 国連人権機関についてのディスカッション
授業の目標概要	This course aims at building students' capacity to engage in discussion. The topic of discussion in this course is the effectiveness of human rights mechanisms at the United Nations この授業では、履修学生さんの英語でのディスカッションの能力を高めることを目標とする。ディスカッションのトピックとして、国連人権機関がどれだけ効果的に機能しているかを扱う。 ／Japanese 国際法、国際人権法、人権 英語用 ／English international law, international human rights law, human rights, the United Nations 授業計画
成績評価方法	Active class participation (including discussion and activities) 40% Reaction papers (2-3 times) 30% Final report 30% 出席とディスカッションやアクティビティへの積極的な参加 40% リアクションペーパー（2－3 回を予定） 30% 最終課題 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50474	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	波戸本 涼子	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	基礎からの The New York Times (等）で学ぶ科学ニュース
授業の目標概要	本クラスは、今後の留学や研究生活を見据え、英語でのディスカッションや発表に慣れることを目的としたクラスです。授業内では受講生が実際に英語を話す時間を多く設ける、ワークショップ形式の活動を基本とします。グループワーク、ポスターセッション、プレゼンテーションなどの活動を中心に進めます。 題材として The New York Times などの科学記事（またはニュース映像）を扱い、基礎的な語彙と内容を理解した上で、それをベースに教室でのグループワークや意見交換を行います。 本コースは、英語での発話に苦手意識や不安があり、「これから英語を上達させたい」と考えている学生を対象としています。そのため、授業内容は英語の「基礎」を重視して進行します。すでに英語が非常に堪能な学生にとっては、物足りなく感じられる可能性がある点をご了承ください。なお、英語が得意な学生が受講される場合は、グループワーク等においてリーダーシップを発揮したり、他の受講生をサポートしたりする役割を担っていただくことを期待します。
成績評価方法	Warm-up 10% Mini-test 20% グループプレゼンテーション 30% ポスターセッション 30% ボランティアプレゼンテーション 10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50700	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	金 信栄	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	This course examines contemporary topics in language learning, multilingualism, and language use through short readings and videos. Class sessions are structured around discussion in English, in which students analyze these topics, compare differing perspectives, and connect course material to their own language-learning experiences. No background in linguistics is expected; materials are selected for their accessibility to a general audience.
授業の目標概要	The goal of this course is to build students' confidence and fluency in discussing everyday topics in English. Materials are a starting point for conversation, not a subject of specialist study. By the end of the course, students will be able to explain and support an opinion in English, respond to others' viewpoints, and lead a short discussion on a topic of their choice.
成績評価方法	Class Participation 20% Group activities 20% Weekly Reflection 20% Presentations 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	The Secret Life of Walter Mitty
授業の目標概要	Ben Stiller 監督、主演の 2013 年アメリカ映画 The Secret Life of Walter Mitty（邦題：LIFE!/ライフ）を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。
成績評価方法	毎週の授業参加と小テスト（ディクテーション、T/F テスト）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。
成績評価方法	学期末試験、提出物、平常点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	野口 大斗	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）木３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50772	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	The Secret Life of Walter Mitty
授業の目標概要	Ben Stiller 監督、主演の 2013 年アメリカ映画 The Secret Life of Walter Mitty（邦題：LIFE!/ライフ）を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。
成績評価方法	毎週の授業参加と小テスト（ディクテーション、T/F テスト）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50773	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。
成績評価方法	学期末試験、提出物、平常点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50774	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	アカデミックリーディング演習―アメリカ史を題材に
授業の目標概要	【概要】 英文を丹念に読む作業を通じて分野を問わず学術で通用する読解力（およびそれに基づくライティング力）の強化を目指します。授業で扱う英文は、アメリカの歴史、思想、社会等に関する論説記事、書籍、論文から選びます。 【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と論点を知ることでアメリカについての理解を深める。
成績評価方法	期末試験（60%）小テスト(20%) 発表（レジュメ含む）(20%) 上記を基準に、態度・貢献度（出欠状況含む）を加減して最終評価を決定する。 欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定不可とします。個人の過失によらない原因（交通機関遅延含む）による遅刻・欠席であっても、程度と頻度によっては単位認定のために追加課題が課されます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50775	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	那谷 洋太朗	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	Contemporary American Society
授業の目標概要	This is an introductory sociology course, with a focus on Reading in English. The aim of the course is to provide a general overview of American society, and strengthen the English abilities of students comprehensively. This will be accomplished through (a) reading assignments, (b) writing exercises, (c) discussion, (d) presentations, and (e) the completion of a research project. During the semester, we will explore the following themes: (1) capitalism and the market economy; (2) race, gender, and class inequality; (3) politics and the crisis of American democracy. Cumulatively, studying these topics will help us understand why the United States today is such a divided society. Through the close reading of texts and discussion in class, we will think about what it means to live in a democratic-capitalist society and the challenges confronting America today. 本講座は社会学の入門科目であり、英語の文献購読（リーディング）に重点を置いています。本講義の目的は、アメリカ社会全般の概要を把握すると同時に、学生の英語能力を総合的に向上させることです。具体的には、以下の学習活動を通じて目標を達成します：(a) 読解課題；(b) ライティング演習；(c) ディスカッション
成績評価方法	Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Erik Olin Wright & Joel Rogers American Society: How it Really Works (3rd Edition) W. W. Norton & Company, Inc. 978-1-324-03329-5 All texts will be provided by the instructor. Students do not have to purchase the book.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50776	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	金 信栄	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	This course examines contemporary topics in language learning, multilingualism, and language use through short readings and videos. Class sessions are structured around discussion in English, in which students analyze these topics, compare differing perspectives, and connect course material to their own language-learning experiences. No background in linguistics is expected; materials are selected for their accessibility to a general audience.
授業の目標概要	The goal of this course is to build students' confidence and fluency in discussing everyday topics in English. Materials are a starting point for conversation, not a subject of specialist study. By the end of the course, students will be able to explain and support an opinion in English, respond to others' viewpoints, and lead a short discussion on a topic of their choice.
成績評価方法	Class Participation 20% Group activities 20% Weekly Reflection 20% Presentations 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50777	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	"Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む
授業の目標概要	本授業では青少年を主人公とする現代アメリカの中編小説を読みます。読解力を中心に総合的な英語力を養うことを第一の目的としますが、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使い方や様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を持てるようにすることも本授業のねらいです。主人公の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカの社会や文化にも興味を持って学習してください。
成績評価方法	授業参加・発表 20%、小テスト 20%、中間課題 10%、学期末試験 50%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Michael Larson 著、日本英文学会（関東支部）編 "Notes on Brotherhood"『兄と弟の記録』 朝日出版社 9784255157030
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50890	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	アメリカ合衆国の短編小説を読む Reading Contemporary American Short Stories
授業の目標概要	1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、ジュンパ・ラヒリ（Jhumpa Lahiri）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげます（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」［“A Small, Good Thing,” 1983］、「地獄／天国」［“Hell-Heaven,” 2004］、「アメリカ人」［“The Americans,” 2010］、「鳩を育てた少女」［“The Girl Who Raised Pigeons,” 1992］を予定）。一部の作家・作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、アメリカ合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページ前後のペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。 ※初回から教室での対面授業です。
成績評価方法	予習やディスカッションへの参加度、発表担当を含む平常点（30%）、毎回提出のレスポンス・ペイパー（10%）、学期中の 3 回の小テスト（30%［それぞれ 10%］）、学期末課題（30%）を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当と学期末課題の提出の両方をこなしていることは単位認定のための必須条件とします。 予習をしていない場合、議論に積極的に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情、およびそれについての教員への連絡がないまま 4 回以上欠席した場合は不可とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50891	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	榊原 知樹	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	エッセイを読む
授業の目標概要	この授業では、英語エッセイの名作を精選したアンソロジー Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes から数篇を取り上げ、精読します。人生、記憶、心の動きといった普遍的なテーマを扱うエッセイを読みながら、英語という言語を通して人間の経験や思考がどのように表現されているかを考えます。 個性豊かな名エッセイストたちの文章を丁寧に読み解くことで、良質な英語に触れながら、英語ならではの表現の豊かさや文の運び方、比喩や構成の工夫を学び、表層的な理解にとどまらない「深く読む力」と、自らの読解や考察を言葉で表現する力を養います。
成績評価方法	学期末試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況および授業への取り組み（予習状況、発言、ディスカッションへの取り組み等）（30%）を総合評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50892	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	川﨑 修一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の 2 大英文法書を中心に
授業の目標概要	本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の 2 大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language. を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。
成績評価方法	毎回の小テスト（30%）と授業最終日の学期末試験（70%）
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50893	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	Gender, sexuality and society in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	朝岡 浩美	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う
授業の目標概要	本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
成績評価方法	期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	Gender, sexuality and society in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.
成績評価方法	Homework assignments 25% Weekly quizzes or Class Participation 25% In-class Presentations and Media Projects 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	英語で書かれた現代の短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献、諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、（クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む） 5 0%；授業後の Reflection 提出状況、 5 0%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	アメリカ合衆国の短編小説を読む Reading Contemporary American Short Stories
授業の目標概要	1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、ジュンパ・ラヒリ（Jhumpa Lahiri）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげます（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」［“A Small, Good Thing,” 1983］、「地獄／天国」［“Hell-Heaven,” 2004］、「アメリカ人」［“The Americans,” 2010］、「鳩を育てた少女」［“The Girl Who Raised Pigeons,” 1992］を予定）。一部の作家・作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、アメリカ合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページ前後のペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。 ※初回から教室での対面授業です。
成績評価方法	予習やディスカッションへの参加度、発表担当を含む平常点（30%）、毎回提出のレスポンス・ペイパー（10%）、学期中の 3 回の小テスト（30%［それぞれ 10%］）、学期末課題（30%）を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当と学期末課題の提出の両方をこなしていることは単位認定のための必須条件とします。 予習をしていない場合、議論に積極的に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情、およびそれについての教員への連絡がないまま 4 回以上欠席した場合は不可とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50973	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	鈴木 哲平	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	ニュース・リスニングと英文学
授業の目標概要	授業の目標は２つです（統一感がありませんが、入試後にちょうど良い内容を選んでいるつもりです)。 １つ目は、リスニング力の向上と学習法の確立を目指します。BBC ニュースのテキストを使用します（すでに十分なリスニング力がある学生さんには易しいかもしれません)。 ２つ目は、教養としての英文学作品の一部に原文で触れます。文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんを想定しています（関心のある学生さんももちろん歓迎です)。受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。文学作品は学生さんがお互いに紹介してもらいます。
成績評価方法	・授業内での発表：30%（原則 1 名 1 回 15 分程度） ・授業内テスト：30%（最終回に実施） ・コメント提出（等）：30%（授業出席を前提に、毎回提出） ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles ほか British News Update Kinseido (金星堂） 9784764742413
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51017	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.
成績評価方法	Homework assignments 25% Weekly quizzes or Class Participation 25% In-class Presentations and Media Projects 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51018	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	朝岡 浩美	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。
授業の目標概要	本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
成績評価方法	期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51019	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life
授業の目標概要	この授業では､ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier（邦題は『ハーバードの人生を変える授業』）を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」（特に要約の技法）の実践を試みます。 また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力（即興の会話ではなく、事前に準備をした上で臨むプレゼンテーション）に重点を置きます。 授業は教科書を軸にして進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。 授業の到達目標は、以下の通りです。 ・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。 ・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。 ・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語ることができる。 ・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。
成績評価方法	授業参加 50% 期末テスト 50% ※成績評価方法の詳細については、初回授業で説明します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Tal Ben-Shahar Even happier: A gratitude journal for daily joy and lasting fulfillment McGraw Hill 978-0071638036 紙媒体のものは品切れ状態ですので、各自、Amazon などで電子版（Kindle）の購入をお願いします。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51020	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	藤尾 美佐	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	このコースではビジネスコンテキストで使われる英語(海外に進出する日系企業の例など）を中心に学習していく。 In this course, we will focus on learning English as used in business contexts, in particular Japanese companies expanding overseas.
授業の目標概要	グローバルな視野を持つリーダーになるためには 、英語力だけでなく異文化に関する知識や専門知識、リーダーシップなどにも習得することが不可欠です。このコースではマーケティングミックスや海外ビジネスにおけるマーケティングローカライゼーションについてケーススタディーを通じて学ぶだけでなく、グループディスカッションを通じてそれらの課題に対する理解をさらに深めていきます. To become a globally－minded leader it is essential to develop not only English language proficiency but also global knowledge, leadership skills and more. In this course will you will explore the marketing mix, international marketing and localization through case studies and deepen your understanding of the topics through the group ,
成績評価方法	平常点評価 30% （提出物、授業内での発言など） 授業内での発表 30% 期末テスト３０％
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Nakatani, Y. & Smithers, R. (2024) Global Business Case Studies (3rd Edition) Seibido 978-4-7919-7266-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51021	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	鈴木 哲平	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	ニュース・リスニングと英文学
授業の目標概要	授業の目標は２つです（統一感がありませんが、入試後にちょうど良い内容を選んでいるつもりです)。 １つ目は、リスニング力の向上と学習法の確立を目指します。BBC ニュースのテキストを使用します（すでに十分なリスニング力がある学生さんには易しいかもしれません)。 ２つ目は、教養としての英文学作品の一部に原文で触れます。文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんを想定しています（関心のある学生さんももちろん歓迎です)。受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。文学作品は学生さんがお互いに紹介してもらいます。
成績評価方法	・授業内での発表：30%（原則 1 名 1 回 15 分程度） ・授業内テスト：30%（最終回に実施） ・コメント提出（等)：30%（授業出席を前提に、毎回提出） ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles ほか British News Update Kinseido (金星堂） 9784764742413
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51022	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	英語で書かれた現代の短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献、諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、（クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む） 5 0%；授業後の Reflection 提出状況、 5 0%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級・上級

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	英語中級	西川 杉子	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	History Today を読む					
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 また、テーマに関連した DVD などを視聴することもある。					
成績評価方法	毎回の小テストおよび授業への参加度。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50164	A	英語中級	野口 大斗	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	英語中級	松本 和子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	はじめてのニュース英語					
授業の目標概要	ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。					
成績評価方法	出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles et al. (eds) British News Update 7 金星堂					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50643	A	英語中級	牛村 圭	英語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	New York Times で世界を読む					
授業の目標概要	New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。					
成績評価方法	担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記課題による（予定）。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Scarcity and Excess ニューヨークタイムズ社会点描 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50656	A	英語中級	髙橋 和子	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Pronunciation and Listening
授業の目標概要	概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（1）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（2）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（3）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（4）英語リスニング力を向上させる。
成績評価方法	・個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（出席、プレゼンテーションを含む）20% を総合して評価する予定である。 ・個別発音テストにおいては、44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 ・感染症対策など、状況によっては評価方法を多少変更しなくてはいけない場合もあるが、個別発音テストに一番大きなウエートが置かれることは変わらない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鷲見由理 DVD＆CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 ナツメ社 13: 978-4816344640
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	英語中級	野口 大斗	英語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50851	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Weird Fiction
授業の目標概要	This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.
成績評価方法	Final Report: 40%, Written assignments (including Midterm Report): 30%, In-class assignments and Participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50918	A	英語中級	小野 五弥子	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Gender, sexuality and society in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51478	A	英語上級	Zane Mackin	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	“What is my motivation?”: Screenplay Study Group and Dramatic Workshop, This class will be exploring films and their screenplays as a way to better understand how English works in speaking situations. These films are acknowledged as masterpieces especially for their dialogue, and as such the language the use is often more clever, eloquent, and funny than the kind of things that people say in ordinary situations. However dramatic dialogue has to sound real and natural before anything else, so we can still trust the language in these films as good models for the following questions: What kind of words do people deploy in which speech registers/contexts? How are collocations used in natural language? What is the cadence and the music of natural English? Digging more deeply, we will look into the psychology behind dramatic language: What motivates people to speak? Why do people say one thing when they mean something else? How to people use language when they need to get someone else to do something for them?
授業の目標概要	The course is composed of five units of two weeks each. Each unit is dedicated to a single film. For every unit students will view a film outside of class time (hopefully more than once), and also study the screenplay. In independent reading and in class discussion, attention will be paid primarily to how dialogue is written to sound “real” or “natural.” Coming to understand what “simply sounds good” is an important step towards gaining authentic, deep, fluency. This course is not just theoretical; it is a workshop. In every class we will read through scenes aloud, and perform them in front of others, as a way to get familiar with the feeling of speaking natural English. Most of this work will be be graded only on participation, but there will be a final graded performance of a script, which students must memorize and rehearse beforehand. This is not a test of how good an actor you are, but rather a way to show your preparation and efforts to diligently and creatively make sense of the dialogue you are given. This class will likely appeal to lovers of film and theater, but there is no requirement to be a good actor, or know a lot about movies. All that is needed is a desire to study and understand these scripts and a willingness to play and experiment with language in the presence of others.
成績評価方法	Attendance (50%) In class exercises (25%) Final performance (25%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50919	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		20th Century American Sci-Fi				
授業の目標概要		In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.				
成績評価方法		Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51061	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Crime Fiction				
授業の目標概要		Crime fiction is an important subset of speculative fiction that focuses on solving a mystery. Classic crime fiction focuses on detectives and the mechanics of the crime committed, while later iterations of the genre focus on character studies and character types, atmosphere and suspense, and the motives of the criminal. Crime fiction may also include depictions of legal processes and prominent figures such as judge (and jury), witnesses, and police. The genre continues to evolve today , crossing over into various other areas of speculative fiction, such as horror and sci-fi. This course will provide an overview to several of the major subsets of crime fiction. In addition to literary fiction, students will be introduced to historical contexts, social criticism, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand legal, psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				
成績評価方法		Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments: 30%				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

総合科目 L ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsübungen durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird.
一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。

成績評価方法　出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
出版社
ISBN

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50026	月 2	ファイファー マティアス	1 年 文一二(21)
50534	水 2	EINS Wieland	1 年 文三(16)
50815	木 4	ヤン シュトラースハイム	1 年 文一二(20)
50978	金 3	フランク ゾーデ	1 年 文一二(22)
51024	金 4	ヤン シュトラースハイム	1 年 文三(15)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	ドイツ語初級（演習）［高度］	斉藤 渉	ドイツ語	火 2	1 年 理科

講義題目	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50852	A	ドイツ語初級（演習）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 理科

講義題目	ドイツ語初級（演習）
授業の目標概要	一列・二列の授業で学修した文法知識の定着を図り、今後のドイツ語学習に向けた基礎固めをする。各自の関心に沿ったドイツ語テキスト読解にチャレンジする。
成績評価方法	毎回の単語確認テスト、授業内での積極的な発言や貢献、学期末の提出課題により総合的に成績評価を行う。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51069	A	ドイツ語初級（演習）［高度］	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	ドイツ語初級（演習）②［高度］	斉藤 渉	ドイツ語	火 2	1 年 文科

講義題目	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51071	A	ドイツ語初級（演習）②［高度］	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 文科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51062	A	ドイツ語初級（会話）	フランク ゾーデ	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen
授業の目標概要	初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.
成績評価方法	平常点（授業への参加・宿題・出席率）・期末試験を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die mündliche Mitarbeit im Unterricht, Hausaufgaben, Anwesenheit und die Abschlussprüfung werden zusammen verrechnet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50244	A	ドイツ語初級（作文）	板倉 歌	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（作文）
授業の目標概要	Ｓセメスターにドイツ語文法の基礎を学んでいる学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。
成績評価方法	テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50920	A	ドイツ語初級（作文）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（作文）
授業の目標概要	Ｓセメスターにドイツ語文法の基礎を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。Ａセメスターに必修クラスで学習する文法の進度も考慮しながら、授業を進めます。
成績評価方法	テストと平常点によって評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Friedrich Clamer / Erhard G. Heilmann Übungsgrammatik für die Grundstufe Verlag Liebaug-Dartmann 978-3-922989-70-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51063	A	ドイツ語初級（表現練習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（表現練習） Deutsch für Anfänger:innen: Redemittelübungen
授業の目標概要	授業は文法の基礎知識がある初心者を対象とし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの 4 技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit grammatischen Grundkenntnissen. Geübt werden grundlegende Ausdrucksfähigkeiten in alltäglichen Szenen. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel auf dem Sprachniveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens für Sprachen (CEFR). Der Unterricht umfasst praktische Übungen für die vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）と期末試験で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50165	A	ドイツ語初級 （インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ） Intensivkurs Deutsch für Anfänger:innen
授業の目標概要	授業は文法の基礎知識（A1-1 レベルぐらい）がある初心者を対象とし、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1-2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit leichten Vorkenntnissen (ca. Niveau A1.1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1. und 2. Reihe Deutsch lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1.2 an. Die Teilnehmenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe-Zertifikats A1.2.
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Evans et al. Momente A1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-501791-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50171	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	フランク ゾーデ	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50853	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ） Intensivkurs Deutsch für Anfänger:innen
授業の目標概要	授業は文法の基礎知識（A1-1 レベルぐらい）がある初心者を対象とし、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1-2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit leichten Vorkenntnissen (ca. Niveau A1.1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1. und 2. Reihe Deutsch lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1.2 an. Die Teilnehmenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe-Zertifikats A1.2.
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Evans et al. Momente A1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-501791-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	Ruben Kuklinski	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	フランク ゾーデ	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51070	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	Ruben Kuklinski	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	ドイツ語初級（第三外国語）	フランク ゾーデ	ドイツ語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語・通年）
授業の目標概要	この授業は、ドイツ語を学んだことがなく、第三外国語としてドイツ語を学びたい学生を対象としています。1 年間かけてドイツ語の基礎を学びます。 Dieser zweisemestrige Kurs richtet sich an Studierende, die noch über keine Deutschkenntnisse verfügen und Deutsch als dritte Fremdsprache lernen wollen.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を５０％で、期末試験を５０％で総合的に評価する。累積欠席回数が 5 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei fünfmaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-501791-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	ドイツ語初級（第三外国語）	高橋 亮介	ドイツ語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語）／German Language (Introductory)
授業の目標概要	１学期で入門レベルのドイツ語文法を扱う。やさしい文章を読み解く力と初歩的な表現力の習得を目指す。
成績評価方法	中間試験、授業期間を利用した期末試験、出席状況などの基準に基づき、総合的に成績評価を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋亮介・川名真矢 新・アプライゼ 伝え合うドイツ語 朝日出版社 978-4-255-25473-9
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50854	A	ドイツ語初級（第三外国語）	森 芳樹	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語・通年）
授業の目標概要	２セメスター（週１回１コマ）通年でドイツ語の文法項目をひと通り習得する。
成績評価方法	授業への積極的な出席、レポートの提出などの平常点と試験で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部ドイツ語部会編 ドイツ語共通教科書『Einblicke』第４版（2018 年） ドイツ語部会のホームページ上で、共通教科書の音声が利用できるので、活用してください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50166	A	ドイツ語中級（演習）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語中級（演習）
授業の目標概要	ドイツ語の初等文法を復習しながら、ドイツ文学の作品をドイツ語原文で読んでいきます。
成績評価方法	平常点（出席、宿題、演習への参加等）および試験によっておこないます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50921	A	ドイツ語中級（演習）	林 志津江	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語テクストを読み、考え、楽しむ
授業の目標概要	（目標）ドイツ語のテクストを読む楽しさや奥深さを共有しつつ、ドイツ語テクストを自力で読む力の習得とともに、資料を精読する意味や、文献研究に対する理解を深めていきます。 （概要）文学・歴史・法律など、複数のジャンルのドイツ語テクスト（詩、短編、エッセイ、法文、文化論的記述など）の精読を通じて、ドイツ語初級文法の復習と中級文法の導入を行います。ドイツ語初級文法の知識があることを前提としますが、１年生（S セメスターのみ既習）の履修者にも配慮する形で、文法事項の学習も適宜補足します。
成績評価方法	授業への積極的な参加・貢献および学期末課題の得点をあわせ、総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51013	A	ドイツ語中級（演習）	工藤 達也	ドイツ語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語中級（演習）
授業の目標概要	ドイツ語の初等文法を復習しながら、実践的な表現力、運用力、読解力を身につけます。
成績評価方法	平常点（出席、宿題、演習への参加等）および試験かレポートを実施しておこないます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50836	A	ドイツ語中級（会話）	Ruben Kuklinski	ドイツ語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Konversationskurs Deutsch (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende etwa auf dem Niveau A2 (CEFR). Ziel ist es, in der Fremdsprache Deutsch über aktuelle Themen aus dem Alltag zu lernen, zu recherchieren und zu sprechen. Die Themen richten sich nach dem Interesse der Teilnehmenden und nach aktuellen Entwicklungen. Im Vordergrund stehen transnationale Vergleiche zwischen Japan und dem deutschsprachigen Raum (DACHL). Der Kurs ist ein "shared course" mit den Kursen: "Language-Global Liberal Arts (Advanced German)" und "Konversation Deutsch (30)". A1 レベルを終えた、A2 レベル（CEFR）を学びたい学習者向けのコースである。目標は、日常生活における時事的なテーマについてドイツ語を使って学び、調査し、議論し、発表することによって、外国語であるドイツ語を実践的に活用することである。 テーマは、参加者の関心や最新の動向に基づいて決定される。特に、日本とドイツ語圏との国際比較に重点が置かれる。このコースは、「グローバル教養言語科目（ドイツ語上級）」及び「共通ドイツ語（３０）（会話）」との共有コースである。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, der Hausaufgaben und Präsentationen. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 成績評価は平常点によって行う。授業への参加、宿題、小さな発表などが総合的に評価される。積極的な参加が前提となる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50151	A	ドイツ語中級（作文）	フランク ゾーデ	ドイツ語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger:innen (Mittelstufe)
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を１年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテクスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar sowie der Hausaufgaben. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Ein Test findet nicht statt. 成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献と宿題の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。小テスト・期末試験は行わない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	ドイツ語上級（演習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Deutsch für Fortgeschrittene (Oberstufe) ドイツ語上級（演習）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse (Niveau B1～) verfügen und ihre Deutschkenntnisse erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle gesellschaftliche Themen sowie wissenschaftliche Fragen in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、現在の社会問題及び学問の問いを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。
成績評価方法	評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und den gestellten Aufgaben.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51043	A	ドイツ語上級（会話）	Ruben Kuklinski	ドイツ語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Oberstufe) ドイツ語上級（会話）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse (Niveau B1～) verfügen und diese erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle Themen in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Die Themenauswahl richtet sich nach den Interessen der Teilnehmenden und der aktuellen Tageslage. Im Vordergrund stehen transnationale Vergleiche zwischen dem deutschsprachigen Raum (DACHL) und Japan. Der methodische Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. Der Kurs ist ein "shared course" mit dem Kurs: "Konversation Deutsch (31)". 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、現在トピックを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。テーマは、参加者の関心や最新の動向に基づいて決定される。特に、日本とドイツ語圏との国際比較に重点が置かれる。練習の重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。 このコースは、「共通ドイツ語（31）（会話）」との共有コースである。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und an den gestellten Aufgaben. 評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50245	A	ドイツ語上級（読解）	桑山 裕喜子	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Lektürekurs Deutsch für Fortgeschrittene
授業の目標概要	中級文法を習得済みの受講者を対象とした科目です。文法と語彙の知識を増やし、短いテキストや抜粋を使って総合的な読解力の向上を目指します。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits Grammatikkurse der Mittelstufe belegt haben. Ziel ist es, bestehende Deutschkenntnisse mit Blick auf das Leseverständnis zu erweitern. Bestehendes Wissen zu Grammatik und Wortschatz soll dabei anhand kurzer Texte oder Textauszüge erweitert, angewandt, abgewandelt und verfeinert werden.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を５０％で、期末課題（レポート）を５０％で総合的に評価する。理由の申し出のない欠席が 4 回以上あった場合、単位取得が不可となることがあります。 Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50124	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50404	火 4	CAPEL Mathieu	1 年 文一二(24)
50532	水 2	BELOUAD CHRIS	1 年 文一二(27)
50533	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(28)
50596	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
50625	水 4	Steve Corbeil	1 年 文三(20)
50888	金 1	マニゴ ヴァンサン	1 年 文一二(23)
50989	金 3	BELOUAD CHRIS	1 年 文三(17)
50990	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(19)
51026	金 4	プヨ バティスト	1 年 文三(18)

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	フランス語初級（演習）［高度］	プヨ バティスト	仏語・伊語	火 2	1 年 理科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	フランス語初級（演習）②［高度］	プヨ バティスト	仏語・伊語	火 2	1 年 文科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	フランス語初級（会話）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語での会話
授業の目標概要	この授業では、初級レベルの学生（学習歴 6 ヶ月から 1 年）が会話の練習を行い、大学でのフランス語学習を通じて習得した語彙や文法の知識を実践的に活用することになります。
成績評価方法	評価は、最終成績の 10%を占める継続的な評価（宿題）と、学期末に行われる、教員が指定したテーマについて学生同士で行う 10 分間の会話試験によって行われます。この口頭試験は、最終成績の 90%を占めます。 本授業では、通常の宿題の代わりに、有料の e ラーニングサイト「Furago.io」を活用した課題を実施します（受講料：1 学期あたり 990 円）。授業外の学習活動として、このプラットフォーム上で指定されたエクササイズを行っていただきます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50855	A	フランス語初級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Compréhension orale et écrite, production orale et écrite en français フランス語の聴解・読解、および口頭・書面による表現力
授業の目標概要	Nous partirons d'exercices simples sur les formes actives et passives, puis nous travaillerons sur le récit d'un événement récent (l'incendie de Notre-Dame-de-Paris). Nous travaillerons ensuite sur la transformation des sites industriels désaffectés en sites cuturels (Orsay, La Villette). Et nous finirons sur un cas japonais (Inujima). Les supports seront divers: photographies, documentaires, sites web.
成績評価方法	Les étudiants seront évalués sur deux travaux: l'un sous la forme d'un exposé oral, l'autre sous la forme d'un examen écrit.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50657	A	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	この授業では必修の「フランス語初級（演習）」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習）」の復習をしながら理解を更に深め「フランス語初級（演習）」のA+を狙いましょう。
成績評価方法	講義に関する宿題が 50%、毎回のレッスン課終了毎に行う小テストが 50%（期末テスト無し）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50490	A	フランス語初級（読解）	赤羽 悠	仏語・伊語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語の新聞記事を読む
授業の目標概要	比較的平易なフランス語の新聞記事を丁寧に読んでいきます。フランス語の読解力を向上させると同時に、実際のフランス語がある程度読める、という手ごたえをつかんでもらうことを目指します。 なお、まだ初級文法を学習途中の 1 年生でも無理なくついてこられるような授業にするつもりです。文法事項の先取りになってしまう箇所も多々あると思いますが、そのような箇所は特に丁寧に説明していきます。まだ初級文法が学び終わっていなくても、実際のフランス語に触れてみたい、あるいは文法の学習をどんどん先に進めたいという意欲のある学生は歓迎します。
成績評価方法	平常点（授業への参加）、学期末試験等により総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	フランス語初級（インテンシヴ）［高度］	Julien Agaesse	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50167	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 なお、正当な理由のない欠席 1 回につき、最終評価から 1 点を減点する。 また、最終評価の 10%は、e ラーニングサイト（https://furago.io/）上での学習・課題の取り組み状況を評価対象とする。 本サイトの利用には、各学期ごとに個人ライセンス（990 円）の購入が必要である。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Debot, Catherine Lavoye Klose, Véronique Rigaud, Anne Guilaine André Prêt-à-parler 1 A1 Maison des langues 978-8411570039 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50658	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 なお、正当な理由のない欠席 1 回につき、最終評価から 1 点を減点する。 また、最終評価の 10%は、e ラーニングサイト（https://furago.io/）上での学習・課題の取り組み状況を評価対象とする。 本サイトの利用には、各学期ごとに個人ライセンス（990 円）の購入が必要である。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Debot, Catherine Lavoye Klose, Véronique Rigaud, Anne Guilaine André Prêt-à-parler 1 A1 Maison des langues 978-8411570039 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	フランス語初級（インテンシヴ）［高度］	Julien Agaesse	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）					
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50247	A	フランス語初級（第三外国語）	冨成 信	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語初修					
授業の目標概要	フランス語文法および講読の基礎を固める。					
成績評価方法	平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook S.D.F.G （学習院フランス語教育研究会） グラメール・フランセーズ 朝日出版 978-4-255-35280-0					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	フランス語初級（第三外国語）	原 和之	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。					
授業の目標概要						
成績評価方法						
教科書						
ガイダンス						

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50922	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（第三外国語）
授業の目標概要	フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習状況、課題等）および学期末試験によって、総合的に判断する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 太田浩一、前田保、渡辺仁 新・フランス語文法の＜基礎＞ 駿河台出版社 978-4-411-00775-9
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50052	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Communication orale en français – Niveau intermédiaire
授業の目標概要	L'objectif principal est de développer les compétences de communication orale des étudiants à travers des interactions spontanées et régulières avec leurs camarades de classe (jeux de rôle, simulations et activités de substitution). Le travail sur le manuel sera régulièrement enrichi par des documents complémentaires (photocopies) fournis par l'enseignant. Le cours comprend également la préparation et la présentation d'exposés oraux (durée indicative : 2 à 3 minutes) devant la classe, afin de renforcer l'aisance à l'oral et la confiance en soi. Note sur la progression : La progression dans le manuel est donnée à titre indicatif. Le rythme pourra être accéléré, allégé ou adapté en fonction du niveau réel de la classe et de la progression des étudiants.
成績評価方法	Participation active et interactions orales en classe : 40 % Jeux de rôle thématiques et exposés oraux : 60 %
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Yamina AOKI-LAIEB, Françoise FUJII, Jean-François GRAZIANI, Noriyuki NISHIYAMA Sur le pont 2e édition フランス語コミュニケーション入門 朝日出版社 978-4-255-35340-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50743	A	フランス語中級（会話）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	【中上級・上級】Compréhension orale et interaction
授業の目標概要	Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français oral. Nous travaillerons la compréhension orale (écoute) et la production orale (prises de parole, présentations et discussions). Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - 共通フランス語（４）（会話） : pour les étudiants de 3e et 4e années. - フランス語中級（会話）: pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（４）（会話）. Les étudiants inscrits en 1re et 2e années sont donc invités à posséder un niveau de français suffisamment avancé (par exemple avoir étudié le français avant d’avoir intégré l’université). Dans la grille du CECR/CEFR, ce cours correspondrait principalement à un cours de niveau intermédiaire-avancé (B1-B2). Il reste ouvert à des étudiants de niveau plus avancé (B2 confirmé et C1-C2) souhaitant continuer à pratiquer et améliorer leur français. À chaque fois, nous prendrons quelques semaines pour traiter chaque thème. Pour préparer chaque thème, nous commencerons par lire de courts textes, écouter des extraits d’émissions de radio ou regarder de courtes vidéos ensemble. Les étudiants participeront ensuite à différentes activités orales sur ce sujet : présentations de différents types, discussions, jeux de rôle, etc. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne. ※ Les cours de printemps et d’automne suivent la même structure (et donc le même syllabus) mais les contenus sont différents.
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et exercices en classe) 2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe 3) Contrôle final (en fonction du nombre d’étudiants)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50923	A	フランス語中級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	【中上級】Écriture de la vie quotidienne
授業の目標概要	Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français écrit, et plus particulièrement à l’écriture de la vie quotidienne : écrire un message, décrire une photographie ou une œuvre d’art, imaginer la suite d’une histoire, etc. Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - 共通フランス語（８）（作文） : pour les étudiants de 3e et 4e années. - フランス語中級（作文）: pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（８）（作文）. Les étudiants inscrits en 1re et 2e années sont donc invités à posséder un niveau de français suffisamment avancé (par exemple avoir étudié le français avant d’avoir intégré l’université). Dans la grille du CECR/CEFR, ce cours correspondrait principalement à un cours de niveau intermédiaire au sens large (A2/B1/B2). Il reste ouvert à des étudiants de niveau plus avancé (B2 confirmé et C1-C2) souhaitant continuer à pratiquer et améliorer leur français. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne.
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe) 2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe 3) Contrôle final (en fonction du nombre d’étudiants)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Non. Les documents nécessaires seront communiqués en classe au fur et à mesure.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50800	A	フランス語中級（表現練習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級レベルの口頭・筆記表現講座
授業の目標概要	このコースは、すでに少なくとも 1 年間フランス語を学んだことのある学生を対象としています。これは、書く・話す・読む・聞くという 4 つの主要な言語技能を向上させたいと考える学生のための、中級レベルのフランス語コースです。
成績評価方法	期末評価は、学期中に学習した言語内容に関する筆記試験と口頭試験で構成されます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50248	A	フランス語中級（読解）	谷口 奈々恵	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語圏の文化と社会
授業の目標概要	初級文法を一通り学習した方を対象に、中級レベルのフランス語の文章を正確に読解する力を養うことを目的とします。 扱うテクストは受講者の関心や文法レベルに応じて決めますが、主として、フランス語圏の文化・芸術、ジェンダーやフェミニズム等に関する時事問題や歴史のテーマを扱う予定です。 新聞・雑誌・Web メディアの記事を中心としつつ、映画・ドラマの口頭表現や小説など、可能な範囲でいろいろな性質のテクストに触れ、語彙・文法・表現の運用力を高めていくことを目指します。
成績評価方法	平常点、期末試験等（受講者数等に応じて決定します）
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50249	A	フランス語上級（演習）	Julien Agaesse	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Préparation intensive au DELF/DALF : Cours individuel et collaboratif pour maîtriser les compétences linguistiques (compréhension orale/écrite, expression orale/écrite) et les stratégies d'examen. Adapté à tous les niveaux (A1 à C2), avec focus sur les attentes spécifiques du CECRL et les critères d'évaluation.
授業の目標概要	Acquérir les compétences clés pour réussir l'examen (compréhension, expression, interaction). Alternance de travail individuel (exercices ciblés, simulations) et d'échanges entre apprenants (débats, corrections collectives). Approche personnalisée selon le niveau et les besoins de chacun.
成績評価方法	Réussite à l'examen DELF/DALF** : Résultat obtenu . Présence et participation : Assiduité aux séances et implication active lors des échanges. Engagement dans les travaux préparatoires : Qualité et régularité des exercices à la maison, participation aux échanges Devoirs et projets : Rendus ponctuels, respect des consignes, et progression visible entre les productions.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50837	A	フランス語上級（演習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Cours d'expressions orale et écrite de niveau avancé (B1-B2)
授業の目標概要	Ce cours est destiné aux étudiants ayant déjà étudié le français pendant au moins deux à trois ans. Il s'agit d'un cours de français de niveau avancé destiné aux étudiants désireux de progresser dans les quatre grandes compétences langagières : productions écrite et orale, compréhensions écrite et orale.
成績評価方法	L'évaluation finale comportera un examen écrit et un examen oral portant sur les contenus linguistiques travaillés durant le semestre.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51044	A	フランス語上級（演習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	本授業は、フランス語能力が A2〜B1 レベルの学生を対象とし、主に日仏翻訳において生じる特有の困難点を扱う。とりわけ、日本語に厳密な対応表現を持たないフランス語の慣用表現や定型表現の翻訳に焦点を当てる。					
授業の目標概要	Perfectionnement linguistique et discrimination sémantique 本演習の目的は、学生の言語運用能力を継続的に育成するとともに、対象言語における表現の文化的・意味的側面に重点を置いて理解を深めることである。					
成績評価方法	翻訳課題およびマッチング形式の問題から成る期末試験。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50209	A	フランス語上級（会話）	Julien Agaesse	仏語・伊語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語上級（会話）／French Language (Advanced) Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus)					
授業の目標概要	Argumenter de manière structurée (oral/écrit) : thèse + arguments + exemples + contre-arguments. Produire des textes cohérents (essais, synthèses) avec des connecteurs logiques variés. S’exprimer avec fluidité, en structurant ses idées Élargir son lexique dans des domaines spécifiques Produire des textes cohérents avec des connecteurs logiques variés. Découvrir des jeux français et francophones, travail sur la francophonie.					
成績評価方法	Présentations, autoévaluation, contrôle continu, rapports, attitude et participation en classe.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51045	A	フランス語上級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　【フランス研究コース・卒業論文執筆準備演習】Formation à l’écriture universitaire

授業の目標概要

Ce cours est une formation à l’écriture universitaire en français. Il vise à développer chez les étudiants les compétences nécessaires à la rédaction de textes académiques (argumentation, structuration, citation, distinction des registres, formulation d’opinions) dans un cadre universitaire francophone.

Le cours s’adresse principalement aux étudiants de la section française en 2e, 3e et 4e années. Il peut être suivi par les étudiants d'autres sections qui ont un niveau suffisant de français. Ce cours nécessite un travail régulier : lecture de longs textes (5 à 10 pages), présentations orales sur ces textes, devoirs écrits à rendre régulièrement. Il n'est donc pas adapté aux auditeurs libres.

Ce cours est un cours conjoint (合同授業) :

- 共通フランス語（２２）（論文）: pour les étudiants de 3e et 4e années.
- フランス語上級（作文）: pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université.

Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（２２）（論文）.

Les étudiants de 1re et 2e années sont toutefois invités à ne s’inscrire que s’ils remplissent l’une des conditions suivantes :

1. ils prévoient d’intégrer la section française en troisième année ;
2. ils possèdent déjà un niveau avancé en français écrit (par exemple après une scolarité ou un séjour prolongé dans un pays francophone).

※ En fonction du nombre d’inscriptions, le nombre de participants pourra être limité afin de préserver un bon environnement de travail.

※ En fonction du niveau de français des étudiants inscrits, le professeur pourra recommander le choix d’un autre enseignement plus adapté. Si cela s’avère nécessaire au bon déroulement du cours, certaines inscriptions pourront être refusées.

※ Les étudiants ayant des profils ou des objectifs ne correspondant pas à ceux décrits dans le syllabus sont invités à consulter le professeur avant le début des inscriptions (voir adresse électronique ci-dessous), ou à envisager d’autres cours communs de français si cela est plus adapté à leurs besoins.

本授業は、フランス語によるアカデミック・ライティング能力の習得を目的とする。議論の構成、論証の方法、引用の仕方、文体・レジスターの区別、意見の表現など、フランス語圏の大学教育において求められるアカデミック・ライティングの基礎的能力を養う。

本授業は主にフランス研究コースの 2・3・4 年生を対象とするが、十分なフランス語能力を有する他コースの学生も履修することができる。授業では、5〜10 ページ程度の長文読解、読解内容に関する口頭発表、定期的な作文課題など、継続的な学習が求められる。そのため、聴講のみを希望する者の受講には適さない。

本授業は合同授業である。

- 共通フランス語（２２）（論文）：3・4 年生対象
- フランス語上級（作文）：2 年生、および大学入学前にフランス語を学習した 1 年生対象

ただし、本授業の基準となる科目は「共通フランス語（２２）（論文）」である。したがって、1・2 年生は、次のいずれかの条件を満たす場合に履修することが望ましい。

1. 3 年次にフランス研究コースへ進学する予定であること。
2. すでに高度なフランス語の文章読解・作文能力を有していること（例えば、フランス語圏での就学経験や長期滞在経験がある場合など）。

※ 受講者数によっては、授業運営上の理由から受講人数が制限される場合がある。

※ 受講者のフランス語能力によっては、担当教員がより適した科目の履修を勧める場合がある。また、授業運営上必要と判断される場合には、受講を認めないことがある。

※ 上記に示した履修条件と異なる場合には、履修登録前に担当教員へ相談することが望ましい（連絡先については、以下を参照すること）。学習背景や履修目的によっては、他の共通フランス語科目（「会話」や「作文」など）の履修を検討すること。

成績評価方法

1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe)
2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe
3) Contrôle final (en fonction du nombre d’étudiants)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

Non. Les documents nécessaires seront communiqués en classe au fur et à mesure.

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50548	A	フランス語上級（読解）	中尾 沙季子	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス語で読む〈アフリカ〉

授業の目標概要　現代フランス語圏作家の作品を読むためのフランス語力を身につける

成績評価方法　授業への参加の度合い、および、最終授業時におこなう試験で評価する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L 中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項
★クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。
★「高度」科目を選択の場合は上記の限りではない。「初級演習（高度）②」（担当：鄧芳先生もしくは白春花先生）を履修すること。

成績評価方法　定期試験を行わず繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
著者（訳者）　毛 興華
出版社　白帝社
ISBN

関連ホームページ　中国語部会連絡掲示板 https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/chinese
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50326	火 3	林 立梅	1 年 文一二(16)
50339	火 3	郭 馳洋	1 年 文三(13)
50402	火 4	林 立梅	1 年 文一二(14)
50403	火 4	喬 志航	1 年 文一二(19)
50523	水 2	毛 興華	1 年 文一二(12)
50623	水 4	王 牧	1 年 文三(14)
50722	木 2	毛 興華	1 年 文三(12)
50782	木 3	銭 俊華	1 年 文三(11)
50812	木 4	銭 俊華	1 年 文一二(13)
50886	金 1	斉 金英	1 年 文一二(17)
50887	金 1	王 英輝	1 年 文一二(18)
50976	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(15)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50173	A	中国語初級（演習）［高度］	Fang Deng	中国語	月 5	1 年 理科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要　高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。

この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。

旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。

下記の①②③を、各一科目選択してください。

①
初級演習 月５ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 月１ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 火２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生

「中国語初級[高度]」は、所定の３科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」２科目および「中国語初級（演習）[高度]」１科目）をセットで履修することを原則とします。

2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。

履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。

【注意事項】

☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。

☆原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。

☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50924	A	中国語初級（演習）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 理科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。

1 年生理系生のみを対象とした授業です。

成績評価方法　一回目の授業で詳しく説明する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト
白帝社
978－4－86398－555－ 1

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	中国語初級（演習）[高度]	Chunhua Bai	中国語	金 2	1 年 理科

講義題目	中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要	高度科目は、「グローバルリーダー養成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。１，２年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目指します。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ１ 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ２ 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を１５名まで計３０名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
成績評価方法	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50172	A	中国語初級（演習）②［高度］	Fang Deng	中国語	月 5	1 年 文科

講義題目
中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要
高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。【3/30 修正】一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
下記の①②③を、各一科目選択してください。
①
初級演習 月 5 鄧芳先生
初級演習 金 2 白春花先生
②
初級インテンシヴ 1 月 1 鄧芳先生
初級インテンシヴ 1 火 2 鄧芳先生
③
初級インテンシヴ 2 火 2 白春花先生
初級インテンシヴ 2 木 1 白春花先生
「中国語初級[高度]」は、所定の 3 科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」2 科目および「中国語初級（演習）[高度]」1 科目）をセットで履修することを原則とします。
2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。
履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。
【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。

成績評価方法
定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	中国語初級（演習）②［高度］	Chunhua Bai	中国語	金 2	1 年 文科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要　高度科目は、「グローバルリーダー養成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。１，２年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目指します。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。
下記の①②③から一科目ずつ履修してください。
①初級演習 鄧芳先生・白春花先生
②初級インテンシヴ１ 鄧芳先生
③初級インテンシヴ２ 白春花先生
【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を１５名まで計３０名）
【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50925	A	中国語初級（作文）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級作文

授業の目標概要　この授業は半年から一年程度で中国語を履修した学生を対象とした授業である。自分のことや日常生活などで必要なことを中国語で表現する能力を養成するのが目的である。中国語の文法事項や重要な構文を学習した上、短文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身に付けていきます。

成績評価方法　授業の予習、復習、トレーニングの完成度、授業の参加度、試験によって総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
井田みずほ・小園瑞恵
初中級 中国語作文トレーニング
白帝社

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	Fang Deng	中国語	月 1	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
下記の①②③から一科目ずつ履修してください。
①
初級演習 月５ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生
②
初級インテンシヴ１ 月１ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 火２ 鄧芳先生
③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生
【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆S セメスターに履修した学生を優先します。
「中国語初級[高度]」は、所定の３科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」２科目および「中国語初級（演習）[高度]」１科目）をセットで履修することを原則とします。
2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。
履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。

成績評価方法　小テスト、期末試験など

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 牧	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。定員を超えた場合、S セメスターに履修した受講者を優先する。
A クラス：火２ 王牧 先生 金２ 毛興華
☆A クラスは必ず金２（担当教員：毛興華 先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とし、ネイティヴ・ニアネイティヴの受講は認めない。

成績評価方法　授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社
978－4－255－45377－4

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	中国語初級（インテンシヴ）[高度]	Fang Deng	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]
授業の目標概要	基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ① 初級演習 月５ 鄧芳先生 初級演習 金２ 白春花先生 ② 初級インテンシヴ１ 月１ 鄧芳先生 初級インテンシヴ１ 火２ 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生 初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆S セメスターに履修した学生を優先します。 「中国語初級[高度]」は、所定の３科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」２科目および「中国語初級（演習）[高度]」１科目）をセットで履修することを原則とします。 2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。 履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。
成績評価方法	小テスト、期末試験など
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	Chunhua Bai	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要	高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ１ 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ２ 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を１５名まで計３０名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。【3/30 修正】 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
成績評価方法	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 『聞いて話す 初級中国語インテンシブ』 白帝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B
授業の目標概要	基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 B クラス：木１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生 ☆B クラスは必ず金２（担当教員：王英輝先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
成績評価方法	授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 978－4－86398－454－7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	Chunhua Bai	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要	高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムII」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ 1 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ 2 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（1 クラス定員を１５名まで計３０名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。【3/30 修正】 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
成績評価方法	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 『聞いて話す 初級中国語インテンシブ』 白帝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50926	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A
授業の目標概要	基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは 2 クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。定員を超えた場合、S セメスターに履修した受講者を優先する。 A クラス：火 2 王牧 先生 金 2 毛興華 ☆A クラスは必ず火 2（担当教員：王牧 先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とし、ネイティヴ・ニアネイティヴの受講は認めない。
成績評価方法	授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 978－4－255－45377－4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50927	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B
授業の目標概要	基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 B クラス：木１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生 ☆B クラスは必ず木１（担当教員：賈黎黎先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
成績評価方法	授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 978－4－255－45377－4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語初級（第三外国語）
授業の目標概要	この授業は、中国語学習をゼロから始める受講者を対象とし、中国語の基礎力の養成を目的として学習を進める。授業修了時には、中国語の基本的な発音を習得し、約 500 語の語彙を用いて身近な話題について簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。
成績評価方法	授業への参加状況・授業中のパフォーマンス、小テスト、期末試験などを総合的に評価し、成績を判定する。 評価方法の詳細については、初回授業時に説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 『読む力・書く力を鍛える初級中国語』雷桂林 賈黎黎 朝日出版社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	中国語初級（第三外国語）	賈 黎黎	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語初級（第三外国語）
授業の目標概要	この授業は中国学習をゼロからスタートする学生を対象とし、中国語の基礎を身につけることに重点を置いて学習を進める。学び終わった段階で中国語の発音ができ、500 語程度の単語を運用して簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。
成績評価方法	受講態度、発表、期末試験などによって成績を判定する。詳しいことは初回授業の時に説明する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 『読む力・書く力を鍛える初級中国語』 雷桂林・賈黎黎
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	中国語初級（第三外国語）	菊池 真純	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	中国語初級（第三外国語）
授業の目標概要	第二外国語を中国語以外で履修している学生向けの授業であり、0から中国語を学ぶ。 聞く・話す・読む・書くの四技能をバランス良く身につけることを目標とする。 この授業は通年での開講となるため、通年で履修できる者の履修が望ましいため、履修者が３０名を超える場合には、Sセメスターでの同じ科目を履修した学生の履修を優先する。 Aセメスターでも同じ教科書（後半部分）を使用する。
成績評価方法	平常点と期末試験の点数。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 孫路易 中国語標準テキスト＜初級＞ 郁文堂
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50152	A	中国語中級（演習）	三村 一貴	中国語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	老舎の随筆を読む
授業の目標概要	この授業では、20世紀中国の文学者・老舎の随筆を、語彙・文法・発音など、言語そのものの特徴に注目しながら読んでゆきます。 老舎は北京語を駆使して著述を行った作家として知られていますが、北京語はいわゆる普通話とさまざまな面で異なっています。老舎の操る言葉は我々が学習してきた中国語と同じなのか、異なるのか、中国語に関する我々の知識でどの程度理解できるのかを探究してゆきます。老舎の文章を言語学的観点から分析しながら読むことで、中国語の読解力を高め、中国語の文を分析する力を養います。 老舎の作品はかつての中国の生活文化をいきいきと伝えてくれるものでもあります。授業担当者は言語学的観点に重きを置いた分析を行いますが、歴史学的観点など、さまざまな方向からのアプローチを歓迎します。
成績評価方法	平常点とレポート課題によって評価します。 平常点：授業での発表・議論への参加 レポート課題：授業での議論を踏まえ、発表資料を改訂したものを提出。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50549	A	中国語中級（会話）	賈 黎黎	中国語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	中国語中級会話
授業の目標概要	中国語中級会話の習得目標は以下の通り。 ① 聞き取りやすい発音 ② 中国語でのコミュニケーションへの慣れ ③ 待遇を含む、場面・状況・相手を考えた談話構成・談話展開 ④ 定型表現・慣用表現・オノマトペ ⑤ 研究活動で必要とされる文法知識
成績評価方法	期末試験は行なわず、受講態度、課題、口頭発表に基づいて評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50928	A	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級中国語会話
授業の目標概要	中級レベルの文法を習得しながら、中国や日本の現代文化や社会事情が織り込まれた文章に触れ、テーマごとの会話練習を通して、中国事情に対する理解を深めつつ、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。
成績評価方法	期末試験(60 点)や授業への参加度（40 点）により総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 及川淳子 『2 年めの伝える中国語 自分のこと日本のこと』 白水社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50856	A	中国語中級（作文）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「伝わる文章」を書く技術を習得し、中国語の表現能力を高めるための実践的授業
授業の目標概要	初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、「書く」能力を高めるための実践的授業である。中国語の特徴、文章表現技術についての基礎的な知識を学び、作文、評価（添削）など、一連の文章作成の過程を通して、中国語の運用能力を身に付けることを目指す。
成績評価方法	平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	中国語中級（読解）	大橋 義武	中国語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語中級（読解）
授業の目標概要	1.中級レベルの文法を習得する（正確な読み/書きができる） 2.文章読解に要する語彙を習得する 3.一定の長さをもつ文章を読んで理解する力を習得する 4.中国文化に対する適切な理解ができる
成績評価方法	授業内試験と平常点により評価する。 ※授業内試験：最終回の学期末授業内試験、および、適宜実施の小テスト。 ※平常点：授業への積極的参加と課題（宿題）提出。 【成績評価基準】 1.正確な翻訳ができているか 2.重要表現や頻出語句等を用いて適切な文を作れているか 3.まとまった文章を読み、中国の文化等について理解することができているか
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 胡金定監修 『中国文化散歩』 白帝社 9784891746773
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51046	A	中国語中級（読解）	石井 剛	中国語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代中国の人文学
授業の目標概要	今日の中国についてわたしたちがジャーナリズムを通じて知りうることはきわめて限られている。ソーシャルメディアには匿名の不確かな情報があふれている。ではアカデミアはどうか？ 地域研究や国際関係学の領域でデータやフィールドワークに基づく精緻な分析が多く行われている一方で、今日の中国における言論の内部に入り込んでその思想史的意義を明らかにしてくれる研究は残念ながら乏しいと言わざるを得ない。インターネットを利用すれば豊富な言論に触れることができるにもかかわらず、わたしたちはそれを文脈化しマッピングしてくれる言説に恵まれてはいない。 そうであれば、自らの手でその作業を担うほかない。 この授業では、現代中国において人文学 Humanities がどのように問題化されているのかをテクスト精読の方法によって理解する。森を俯瞰するのではなく、森の中の一本の木をクローズアップするだけでも、その木を生かしている生態系の一端を知ることはできるだろう。生態系 ecosystem は開放的な共生の現場である。現代中国の思想に内包される生態系の豊かさに触れるのがこの授業の目的である。
成績評価方法	授業参加の積極度（70%）、期末レポート（30%）
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	中国語上級（演習）	菊池 真純	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（演習）
授業の目標概要	授课语言为汉语。这不是“学习汉语的课”，而是“用汉语学习的课”。 这门课要介绍在中国农村实施的林业政策、环境政策，以及在此政策之下的当地居民生活。 这门课的内容是关于森林保护政策和当地生活。每节课都会介绍任课教师在中国农村进行实地调查时获得的一手资料。环境社会学、农村社会学及现代中国论的学术领域。 这门课的最终目标是让学生们从中国农村的案例中学会思考各种问题，并思考这些问题在整个中国社会中具有什么样的意义？它们跟日本有什么关系？对国际社会有什么影响？
成績評価方法	平时表现 60%，期末考试 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51014	A	中国語上級（演習）	王 牧	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（演習）
授業の目標概要	本授業では、一般言語学および現代中国語文法論に関する諸問題を扱い、中国語で執筆された学術論文の講読を行う。専門的内容の正確な理解と学術的文章読解力の養成を図るとともに、言語現象の背後にある思想・文化・認知メカニズムの差異への理解を深める。あわせて、論文要約、口頭発表、レポートおよび小論文作成等の課題を通じ、アカデミック中国語運用能力の向上を目指す。
成績評価方法	平常点（出席状況、予習状況、授業への参加態度等）、授業内での演習および発表、期末課題を総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50352	A	中国語上級（会話）	王 牧	中国語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（会話）
授業の目標概要	この授業では、中国語による会話能力のさらなる向上を目的とし、実際の会話場面や抽象的なテーマ、公共的・社会的な話題について、自分の意見を論理的に述べる力を養う。また、自然な発音、適切な語彙の運用、文化的背景への理解も重視し、中国語で思考し表現する態度を身につけることを目指す。
成績評価方法	期末発表の成績、課題の提出状況、授業への参加度（出席状況、プレゼンテーションやディスカッションの参加度など）に基づき、評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	中国語上級（読解）	張 政遠	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	香港の歴史と文学
授業の目標概要	香港の歴史と文学を読む
成績評価方法	平常点 100％
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。
成績評価方法　平常点など。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50810	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50820	木 4	GRECKO Valerij	1 年 文三(4)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50911	A	ロシア語初級（演習）［高度］	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 2	1 年 理科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50912	A	ロシア語初級（演習）②［高度］	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 文科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語会話の基礎
授業の目標概要	ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。
成績評価方法	平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、小テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	ロシア語初級（作文）	居阪 僚子	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語作文初級
授業の目標概要	ロシア語作文の練習を通じて、ロシア語能力の向上を目指します。また、ロシア関係の文学作品や映像作品、音楽作品などに触れることで、総合的なロシア語能力を強化することも目標とします。
成績評価方法	平常点（50 点：宿題の実施状況、授業への取り組みなど）及び学期末の試験（50 点）を目安とし、総合的に判断します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50174	A	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］	Ekaterina Gutova	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］
授業の目標概要	インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜日 5 限と水曜日 5 限）。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。
成績評価方法	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］	Ekaterina Gutova	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］
授業の目標概要	インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜 5 限と水曜 5 限）。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。
成績評価方法	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50857	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	小手川 将	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）
授業の目標概要	ロシア語の初級文法をある程度習得した学生を対象に、必修クラスの内容を補足しながら、ロシア語をより実践的に読み書きする能力を伸ばしていくことを目指します。
成績評価方法	授業への取り組みと課題等をあわせて総合的に評価します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51064	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	Ekaterina Gutova	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級インテンシヴ
授業の目標概要	ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。 ※「初級インテンシヴ」はかならず週 2 回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。
成績評価方法	授業態度、宿題提出状況、小テスト、口頭試験による総合評価。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50931	A	ロシア語初級（第三外国語）	大崎 果歩	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	基礎的なロシア語文法を一通り学び、辞書を引きつつ平易な文章を読めるようになることを目標とします。
成績評価方法	平常点（出席、宿題への取り組みなど）、小テスト、および期末テストの結果で評価します
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒田龍之助 ニューエクスプレスプラス ロシア語 白水社 9784560068472 S セメスターと同じ教科書を使用します。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50644	A	ロシア語中級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語会話表現（中級）
授業の目標概要	ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を 1 年以上学習した者を対象とする。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50838	A	ロシア語中級（作文）	小手川 将	ロシア語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語中級（作文）
授業の目標概要	ロシア語のテクストを読み解きながら、これまでに習った基礎文法を実践的なしかたで捉えなおして、使える語彙や構文、慣用表現を増やし、読んだ内容をロシア語で書きまとめられるようになることを目指します。
成績評価方法	授業の参加状況・課題提出状況などをもとに総合的に判断します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50353	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ロシア語論文購読
授業の目標概要	ロシア語を２年以上学習した学生を対象に、アカデミックな文体で書かれたテクストを正確に読む力を養うことを目標とする。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテクストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。
成績評価方法	１．授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 ２．学期末レポート。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50659	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	居阪 僚子	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ロシア語文章読解
授業の目標概要	ロシア語の基礎文法を学んだ受講者を対象とし、論文や文学作品などの文章をロシア語で読むことで、文法知識を実際に活用する技術を身につけていくことを目的とした授業です。必要に応じて、発展的な文法知識も解説します。
成績評価方法	平常点（宿題の実施状況、授業への取り組みなど）を評価基準とします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51047	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	Ekaterina Gutova	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ロシア語中級（インテンシヴ）
授業の目標概要	ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。
成績評価方法	授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	ロシア語上級（会話）	Ekaterina Gutova	ロシア語	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ロシア語上級（会話）／ Russian Language (Advanced)
授業の目標概要	ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 Занятия с преподавателем-носителем языка направлены на развитие навыков аудирования и говорения продвинутого уровня, а также на формирование способности вести беседы и дискуссии на поднятые темы. ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、ロシア語を「既習外国語」として選択した学生のみ履修できます。「初修外国語」としてロシア語を履修した学生は履修できませんので注意してください。
成績評価方法	授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 Активное участие в занятиях и выполнение домашних заданий будут учитываться для комплексной оценки.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50414	A	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ロシア語の文章表現
授業の目標概要	ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、ロシア語を「既習外国語」として選択した学生のみ履修できます。「初修外国語」としてロシア語を履修した学生は履修できませんので注意してください。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、宿題、レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

成績評価方法　各担当教員に任せられている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Brújula−スペイン語学習の羅針盤』
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55111-1

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50022	月 2	松田 葉月	1 年 文一二(7)
50126	月 4	タランコ ダビド	1 年 文三(10)
50308	火 3	タランコ ダビド	1 年 文一二(10)
50309	火 3	松田 葉月	1 年 文一二(11)
50401	火 4	タランコ ダビド	1 年 文一二(9)
50509	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
50597	水 3	松田 葉月	1 年 文三(7)
50821	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
50822	木 4	松田 葉月	1 年 文三(9)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	スペイン語初級（演習）［高度］	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2 (3ª edición) (総合スペイン語コース中級 三訂版) 朝日出版社 978-4-255-55177-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50932	A	スペイン語初級（演習）	Gregory Zambrano	スペイン語	金 2	1 年 理科

講義題目	スペイン語初級（演習）
授業の目標概要	この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Justified absences up to 3 times. Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 Brújula−スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 9784255551111 大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入しておいてください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	スペイン語初級（演習）②［高度］	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 文科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2 (3ª edición) (総合スペイン語コース中級 三訂版) 朝日出版社 978-4-255-55177-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	スペイン語初級（会話）	若林 大我	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Zoom を用いたメキシコの大学生との会話
授業の目標概要	Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。
成績評価方法	受講者は、1 月初頭までに自分の好きなテーマについて 3 分程度のスペイン語の動画を作成する。UNAM 側の受講者も日本語のビデオを作成する。東大受講者の動画は UNAM 教員が、UNAM 受講者の動画は若林がそれぞれ評価する。1 月初旬に動画を鑑賞し合う機会を設ける。動画の評点に、毎回の授業への参加状況を加えて成績をつける。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50858	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語（初級会話）
授業の目標概要	練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。
成績評価方法	平常点（授業期間内のレポート・テストなども含む）
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51065	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション
授業の目標概要	スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.
成績評価方法	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 東京大学教養学部スペイン語部会 “BRÚJULA. Primer curso de español” スペイン語初級 朝日出版会 978-4-255-55111-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50839	A	スペイン語初級（作文）	内田 兆史	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語をスペイン語にする技術を磨きます。
授業の目標概要	日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語の構文、とくに日本語との相違に注意を払うことでもあります。文法ををを見据えた作文の授業にしていきます。
成績評価方法	授業前提出課題 20%、毎週の小テスト（作文）40%、期末テスト 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木越勉、古川亜矢 表現のためのスペイン語作文 朝日出版社 9784255550862
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50168	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	タランコ ダビド	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級（会話）
授業の目標概要	必修スペイン語に加え、より集中的に学習したい学生のためにインテンシヴクラスを開講する。初学者に必要とされる基礎的な表現、文法、語彙の定着を図るとともに、会話練習を中心に個人やグループでのアクティビティを通じて実践的なコミュニケーション能力を養う。授業はネイティブスピーカーの教員が担当する。
成績評価方法	平常点(クラス参加，グループ作業の成果等): 30% 中間試験: 30% 期末試験: 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50859	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	タランコ ダビド	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級（作文）
授業の目標概要	必修スペイン語に加え、より集中的に学習したい学生のためにインテンシヴクラスを開講する。初学者に必要とされる基礎的な表現、文法、語彙の定着を図るとともに、作文練習を中心に個人やグループでのアクティビティを通じて実践的なコミュニケーション能力を養う。授業はネイティブスピーカーの教員が担当する。
成績評価方法	平常点(クラス参加，グループ作業の成果等): 30% 中間試験: 30% 期末試験: 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	スペイン語初級（インテンシヴ）［高度］	Gregory Zambrano	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 3º edición. ISBN 978-4-255-55177-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51072	A	スペイン語初級（インテンシヴ）［高度］	Gregory Zambrano	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 3º edición. ISBN 978-4-255-55177-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50210	A	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	1 年間で学ぶスペイン語
授業の目標概要	この授業は、これまでスペイン語を学んだことのない学生を対象とし、1 年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。S セメスターと A セメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 A セメスターの授業では、S セメスターで学んだ現在形〜過去形の復習から始め、接続法までを含むひと通りのスペイン語の文法体系全体を学び終えることを目指します。
成績評価方法	小テスト（上記授業計画の★印） 10 点×5=50 点 期末試験（最終授業日） 50 点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	スペイン語初級（第三外国語）	石橋 純	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語の基礎を学びます。
授業の目標概要	スペイン語文法の概要を学びながら、その運用能力の向上をはかる。
成績評価方法	毎回の小テスト、学期末授業中に行うまとめの大テストの総合点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 Brújula：スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50840	A	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Conversación en español スペイン語での会話
授業の目標概要	El objetivo fundamental del curso es que los estudiantes adquieran habilidad y seguridad en la interacción oral en español y puedan tener conversaciones con un hispanohablante sobre diferentes temas. 本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、さまざまなテーマについてスペイン語話者と会話できるようになることを目指します。 Usaremos el presente, el pasado y el futuro. Esto, además, ayuda a los estudiantes a mejorar las otras competencias del idioma: la comprensión auditiva, la comprensión lectora y la expresión escrita. 現在形、過去形、未来形を使っていきます。さらに、補足的に、リスニング能力、読む能力、書く能力も身につけます。
成績評価方法	Examen final 40% Deberes 20% Participación en clase 40% 最終試験 40% 宿題 20% 授業への参加率 40% El profesor evalúa la habilidad de las estudiantes para tener conversaciones de diferentes temas en español. Es importante la fluidez, la comprensión auditiva, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. 教員は履修者のスペイン語でのさまざまなテーマでの会話能力を評価して成績をつけます。 El profesor evalúa estos aspectos en las tareas de conversación diarias de clase. 授業における課題を通じて、履修者のこれらの能力を評価します。 El profesor también evalúa la habilidad de las estudiantes para escribir composiciones en español. Es importante la ortografía, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. El profesor evalúa también las tareas diarias y la participación en clase. 教員は履修者のスペイン語作文能力を評価して成績をつけます。毎回の課題と、授業への参加も評価対象です。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Moyano Juan Carlos, Yoldi María, Rubio Raquel, Vivancos Josefa Entre amigos 2 Editorial Asahi
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51048	A	スペイン語中級（会話）	Gregory Zambrano	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Curso de Español Intermedio: “El mundo hispanoamericano a través del cine”.
授業の目標概要	En este curso, los estudiantes podrán conocer aspectos de la vida de América Latina a través del cine. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas hispanoamericanas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción. También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español.
成績評価方法	Conversación y composiciones (ejercicios de escritura de reseñas): 50% Participación activa en clase: 20% Presentación y reporte final 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	スペイン語中級（作文）	豊田 唯	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語を理解するための単純な文法説明と和文西訳演習
授業の目標概要	初級・中級レベルの独学しづらい文法項目を説明し、和文西訳演習をとおして理解の定着を図ります。
成績評価方法	小テストの点数に授業への貢献度などを加味して評価します。 なお、受講生として不適切な言動（私語、無断退出、内職など）をとった場合には即座に素点を 0 とします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木村琢也、中西智恵美 新訂版・スペイン語作文中級コース 同学社 978-4-8102-0437-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50550	A	スペイン語中級（読解）	丸山 共恵	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを教材として使用し、基本的な文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。
授業の目標概要	ニュースを聞き取るために理解するために必要な文法(S セメスペイン語 1 列の復習から接続法）を確認し、語彙を増やしながら、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12 回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解力を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。
成績評価方法	毎回の小テスト（文法と語彙中心）/出席 /課題 60% 期末テスト 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島聡子 著/ 佐藤佐知 著/ David Taranco ニュースで学ぶ中級スペイン語［改訂版］ 三修社 978-4-384-42021-0 C1087
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50860	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュースや曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしよう。また、短篇の最終段落や長篇の第一段落を読んでラテンアメリカの文学にも触れてみよう。
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。
成績評価方法	リスニングを含めた課題提出 40%、予習に基づいたテクスト読解 40%、期末課題 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 使用しない
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50551	A	スペイン語上級（演習）	タランコ ダビド	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Español avanzado
授業の目標概要	Este curso tiene dos objetivos principales: 1. Competencia lingüística: consolidar los conocimientos previos, ampliar el vocabulario y potenciar la comunicación oral y escrita. 2. Desarrollar destrezas para comprender diversos aspectos del mundo hispanohablante y establecer comparaciones con Japón.
成績評価方法	Participación en clase: 25 % Presentaciones y redacciones de clase: 35 % Examen/presentación final: 40 %
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50801	A	スペイン語上級（会話）	松田 葉月	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Noticias sobre el mundo hispano
授業の目標概要	Este curso tiene el objetivo de profundizar el conocimiento sobre la realidad actual de América Latina a través de los medios de comunicación. Ampliaremos el vocabulario y ejercitaremos diversas expresiones de opiniones y valoraciones mediante el intercambio de ideas en grupo y redactando breves composiciones.
成績評価方法	Presentaciones: 70 % Ensayo final: 30 %
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50744	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語による作文の授業
授業の目標概要	Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。
成績評価方法	評価方法：授業への参加状況、授業内で作成・提出する作文の内容を総合的に評価する。 Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Arturo Escandón Trivium. Manual de composición escrita Liberas Press 978-4-909580-02-3 書名:Trivium. Manual de composición escrita 出版社:Liberas Press ISBN: 978-4-909580-02-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L 韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］					
授業の目標概要	この授業は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。 ★★★［高度］科目の履修希望者は、必ず下記の「履修上の注意事項」を読んでください。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 4	1 年 文一二(5)
講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）					
授業の目標概要	この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：20%、中間試験：20%、期末試験：60% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 80%とする） ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	韓国朝鮮語初級（演習）②［高度］	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科
講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］					
授業の目標概要	この授業は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。 ★★★［高度］科目の履修希望者は、必ず下記の「履修上の注意事項」を読んでください。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50336	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文三(5)

講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）
授業の目標概要	この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：20%、中間試験：20%、期末試験：60% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 80%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ
授業の目標概要	必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	睦 俊秀	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ
授業の目標概要	必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力を身につける。
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 ※活動中心の授業のため、1/3 以上の欠席は成績評価の対象外とする。 ※30 分以上の遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとする。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 李順蓮 /朴珍姫 /金菊熙 とくとく韓国語 1 朝日出版社 978-4-255-55715-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51126	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）［高度］	尹 惠貞	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科

講義題目	［高度］韓国朝鮮語 初級インテンシヴ
授業の目標概要	この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 [高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を確認すること。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51127	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）［高度］	尹 惠貞	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	［高度］韓国朝鮮語 初級インテンシヴ
授業の目標概要	この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 [高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を確認すること。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級
授業の目標概要	S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 必ず「履修上の注意」を読んだ上で受講を検討してください。
成績評価方法	課題、小テスト、期末テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島仁ほか 新・韓国語へのとびら 朝日出版社 9784255556772
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50415	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）
授業の目標概要	本授業は、A セメスター始まりの授業です。初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用の基礎を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、UTOL を通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。 また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授業後の学習内容の復習を持続することをお勧めします。 https://youtube.com/playlist?list=PL0OYQWCBVXi-YUEH08O4V_Fl1lBOzeBA7
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み 10%、小テスト＆課題：10%、期末試験（筆記・口頭）80%を目安に総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬・丁仁京 チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1 朝日出版社 9784255557021
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50416	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級
授業の目標概要	本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は、ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法（特にヘヨ体の作り方）を事前に学習することが望ましい。 授業は「韓国朝鮮語のみ」で行う。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：35%、期末試験：35% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 李英蘭・朴天弘 63 文型で学ぶ初級韓国語 博英社 978-4-911347-09-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50861	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	鄭 宇鎭	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）／ Korean Language (Introductory)
授業の目標概要	韓国朝鮮語は、語順が日本語と似ている上に、共通する漢字語も多いので、日本語母語話者や日本語学習者にとって取り組みやすい言語です。ただ、そうは言っても、手を抜かずに努力をしなければならないことは、他の言語の場合と同じです。 この授業では、(1) 文字・発音の習得に力点をおきながら、(2) 簡単な日常会話を通して、基礎的な文法事項を学びます。
成績評価方法	毎回の小テスト、中間試験、期末試験、平常点（出席、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末の作文課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬 /丁仁京 チンチャ! チョアヘヨ!! 韓国語 1 朝日出版社 978-4-255-55702-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50614	A	韓国朝鮮語中級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	共通韓国朝鮮語（2）
授業の目標概要	韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展させていく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。
成績評価方法	期末課題と平常点（課題、発表、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※活動中心の授業のため、1/3 以上の欠席は成績評価の対象外とする。 ※30 分以上の遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとする。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50552	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	河崎 啓剛	韓国朝鮮語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級					
授業の目標概要	基礎を終えた受講者を対象とし、中級・上級文法を学ぶとともに、漢字音を学んで語彙力の体系的強化を行う。後半では読解やプレゼンテーションを行い、知識の運用を通した定着を図る。					
成績評価方法	定期的な小テスト、発表、授業への取り組み等					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 伊藤英人『韓国漢字音トレーニングブック』白水社、ISBN978-4-560-09935-3 伊藤英人『コリア語中級教材』(非売品、PDF 配布)					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50417	A	韓国朝鮮語中級（読解）	月脚 達彦	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国の歴史教科書を読む					
授業の目標概要	韓国の検定高等学校『韓国史』を読むことにより、平易な論説文を確実に読解する能力を身に着ける。また、日韓の歴史教育について自ら考える能力を身に着ける。					
成績評価方法	授業での貢献度、およびレポートによって評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙を学んでいく。具体的には、主に中級文法の解説と練習を通じて場面に的確な表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「ヘヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51122	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	尹 惠貞	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙用いて自分の考えを表現できることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「ヘヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50211	A	韓国朝鮮語上級（会話）	金 秀美	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語上級（会話）
授業の目標概要	中級まで習ってきた文法や表現などをさらにスキルアップして様々な場面で自由にコミュニケーションができることを目標とする。「聞く、話す、読む、書く」ことも同時に行いながら、自立したコミュニケーションがとれる人を目指す。
成績評価方法	平常点（出席状況、授業態度）：４０％ 課題（小テスト）や発表など ：６０％
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 授業の時、別途配布
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50802	A	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語上級（作文）
授業の目標概要	本授業は、韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、韓国の社会、文化、政治、歴史など、あらゆる分野のテーマについて論理的でよく構成されている文の作成に取り組む。その上、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。
成績評価方法	期末課題（発表）と平常点（出席、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること	

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50029	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
50974	金 3	DANIELI Daniela	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	イタリア語初級（演習）	USICCO Francesca	仏語・伊語	金 2	1 年 理科

講義題目	イタリア語初級演習（理科一類・二類・三類 1 年生のための演習） チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その２）
授業の目標概要	本講座は、イタリア語の基礎からより実践的なコミュニケーション能力の習得まで、体系的な学習を提供します。イタリア語ネイティブ教員の指導のもと、文法知識の確実な定着と実践的運用能力の向上を目指します。 現代イタリアの日常生活や文化に関連した生きた教材を活用し、実際のコミュニケーション場面で必要となる言語スキルを総合的に育成します。ダ・ヴィンチ、ガリレオをはじめとする数多くの偉大な科学者を輩出してきたイタリアの言語を学ぶための、理科生向けの講座です。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 講師配布資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50354	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級会話 / Elementary Italian Conversation チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）
授業の目標概要	ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 講師配布資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50615	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級会話 / Elementary Italian Conversation チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）
授業の目標概要	ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 講師配布資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50645	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)
授業の目標概要	イタリア語文法の基礎的な知識をつけながら、ネイティヴスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることを目指します。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。
成績評価方法	学生の評価は、学期末（最後の授業）の筆記試験だけでなく、各授業への積極的な参加状況（筆記および口頭）、出席率も考慮されます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50841	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（作文）
授業の目標概要	イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。
成績評価方法	平常点と期末試験（最終授業時に行います）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ディ・ルッソ、長神、西本 イタリア語練習問題集 白水社
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50418	A	イタリア語初級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（表現練習）
授業の目標概要	本講義では、イタリア語のライティング、リーディング、リスニング、スピーキングの四技能を総合的に磨くことを主目的とする。ネイティブスピーカーの講師による指導のもと、受講者の言語運用能力の向上を図る。また、受講者のニーズを踏まえつつ、イタリア文化をテーマとした多様な教材を用いて授業を進める。
成績評価方法	授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50862	A	イタリア語初級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（表現練習）／ Italian Language (Introductory)
授業の目標概要	イタリア語文法の基礎的な知識をつけながら、ネイティヴスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることを目指します。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。
成績評価方法	授業中の参加と、学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	イタリア語初級（読解）	木﨑 孝嘉	仏語・伊語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	「世界文学の古典」を読みながらイタリア語を身につけることを目指します。
授業の目標概要	現代イタリア語の文法は、その知識があれば、現代語のテクストも古典的テクストも読めます。S セメスターまででに習得したイタリア語初級文法の定着をはかりつつ、テクストを丁寧に読みながら、イタリア読解能力の習得と、イタリア文化の真髄に直接ふれることを目指します。Italo Calvino の Fiabe Italiane からいくつかの短い笑い話を読みます。
成績評価方法	平常点と学期末試験。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50660	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ・コース）
授業の目標概要	イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシヴコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、金曜 2 限に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。ネイティブスピーカーの教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に運用に重点を置き、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50934	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	木﨑 孝嘉	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ）
授業の目標概要	イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシブコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、水曜 5 限に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。日本人の教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に文法的な側面に注意をしながら、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50053	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語の基本文法の理解。
授業の目標概要	基本文法の習熟と運用。
成績評価方法	学期末試験（最終授業時）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook S セメスター時に使用した教科書の継続使用。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50745	A	イタリア語初級（第三外国語）	横田 太郎	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	基本的な文法事項を理解すると同時に、できるかぎり多く生の言葉に触れることで、イタリア語に慣れ親しんでいきます。
成績評価方法	出席、平常点（授業参加の姿勢）、適宜行う小テスト、最終回に行う期末テストにより総合的に判断します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 白水社 978-4-560-01763-0
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51066	A	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	この授業では、イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。単なる文法知識のインプットにとどまらず、それを活用して実践的にアウトプットできる力を養います。 今学期の目標：教科書の第 5 課からスタートし、初級文法を修了すること。 対象とする受講生：第 1 課～第 4 課の初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）をすでに習得している方。独学でイタリア語を学ばれた方は、初回の授業時に教員へご相談ください。
成績評価方法	・平常点：(授業での積極的な質問や発言、授業後のフィードバックの提出、宿題・課題の提出) ・小テスト（各単元ごとに復習小テストを実施） ・プレゼンテーション（イタリア語でのプレゼンテーション） で総合的に判断します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 白水社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（会話）
授業の目標概要	習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使い、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50646	A	イタリア語中級（会話）	Diego Martina	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（会話）
授業の目標概要	習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50842	A	イタリア語中級（作文）	USICCO Francesca	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（作文） 文法の理解を深め、作文を通してイタリア語の運用力を高める
授業の目標概要	初級段階のイタリア語を一年間学んだ学生を対象に、中級レベルの文法と作文を学びます。作文に重点を置きながら、文法の理解を深め、さまざまな場面でイタリア語を実際に使うための運用力を高めることを目指します。辞書を活用しながら、ある程度複雑な内容のイタリア語を読み、書き、聞き取り、表現できる力を身につけることを目標とします。
成績評価方法	成績評価は最終試験の結果のみに基づくのではなく、授業への参加状況および積極性などの平常点も総合的に考慮して行う。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50451	A	イタリア語中級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（表現練習）
授業の目標概要	本講義では、イタリア語のライティング、リーディング、リスニング、スピーキングの四技能を、中級レベルにおいて総合的かつ発展的に高めることを主目的とする。 ネイティブスピーカーの講師による指導のもと、より自然で適切な表現を用いた実践的な言語運用能力の向上を図る。また、受講者のニーズを踏まえつつ、イタリア文化をテーマとした多様な教材を用い、読解・表現・意見交換を中心とした授業を行う。
成績評価方法	授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	イタリア語上級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語上級（演習）／ Italian Language (Advanced)
授業の目標概要	すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です
成績評価方法	授業中の参加と、学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50647	A	イタリア語上級（作文）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	イタリア語上級作文（Lingua italiana - composizione di livello avanzato）
授業の目標概要	イタリア語で学術的な文章を書く訓練をするコースです。 アカデミックな文章を書くのは簡単なことではありませんが、他の言語で書くとなると、その難易度はさらに上がります。イタリア語で作成される論文について、引用の仕方、注のつけ方などを学ぶほか、論文の中で良く用いられる決まった構文や言い回しについても学んでいきます。
成績評価方法	授業中に提出された課題と期末テストによって評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 講師配布資料
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 Ｌ その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50456	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語初級
授業の目標概要	1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。
成績評価方法	毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男 ・ 飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 9784475018388
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51049	A	アラビア語初級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	アラビア語の基礎的な文法を解説します。今年度の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。
成績評価方法	各課の課題と学期末に行う試験で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 978-4-475-01838-8 2009 年 2 月刊行の第 6 版以降（誤植等訂正済み）を推奨します。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	アラビア語中級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語中級（第三外国語）・共通アラビア語（3）
授業の目標概要	母音符号のないアラビア語を辞書を引きながら読めるようになることを目指します。 ニュース記事や、アラブ圏の教科書（小学 6 年～中学 3 年くらいまで）、比較的平易な短編小説などを扱う予定です。 最初の数回のみ母音符号付きのアラビア語を扱いますが、基本的には母音符号の付いていない読み物を講読します。 原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく既習文法や語彙を確認しながら進めます。
成績評価方法	授業内での発表などによる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50935	A	アラビア語中級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語中級（第三外国語）
授業の目標概要	正則アラビア語のテクストを講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短いアラビア語テクストを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。
成績評価方法	担当となった箇所の訳読などによります。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヒンディー語初級 B
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「現代標準ヒンディー語」を学びます。 現代標準ヒンディー語の基礎文法を理解し、更に学習を進めていくことができるレベルに至ることがこの授業の目標です。
成績評価方法	試験を行い、その合計点で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook R. Snell and S. Weightman Complete Hindi Teach Yourself Books
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50746	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヒンディー語（中級）
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。
成績評価方法	前半は毎回の小試験によって、後半はテキストの理解度（予習・復習）によって評価を行います。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50803	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners)
授業の目標概要	インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。
成績評価方法	学期末テスト
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook テキストは UTOL にて PDF を配布する。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50843	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)
授業の目標概要	この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。
成績評価方法	演習の内容により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook プリント/PDF を配布
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50169	A	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ベトナム語入門 2
授業の目標概要	S セメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。
成績評価方法	授業参加と課題提出および定期試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三上 直光 『ニューエクスプレス ベトナム語』 白水社 ISBN-13 : 978-4560067888
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51050	A	ベトナム語中級（第三外国語）	岩月 純一	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ベトナム語文献講読
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50616	A	広東語初級（第三外国語）	吉川 雅之	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	香港広東語の入門と初級（Hong Kong Cantonese for Beginners）
授業の目標概要	広東語は香港と澳門（マカオ）で第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中華圏の言語の中では現代標準中国語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。
成績評価方法	１．期末試験、小テスト、平常点から算出します。 ２．平常点については授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 ３．小テストは随時行います。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉川雅之 香港粤語［基礎会話］ 白帝社 978-4-86398-094-5
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50648	A	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ヘブライ語文法初歩
授業の目標概要	古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。
成績評価方法	期末にレポートの提出を課す。 以下「履修上の注意」「学習上のアドバイス」を参照せよ。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50649	A	上海語初級（第三外国語）	李 佳梁	中国語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	中国語既習者のための上海語入門
授業の目標概要	本授業では、中国語共通語をすでに学習した学生を対象に、上海語の基礎的な発音・語彙・文法・会話表現を学ぶ。上海語は呉語に属し、普通話とは音声面で大きく異なる一方、語彙や文法には普通話と共通する部分も少なくない。本授業では、普通話との共通点と相違点に注意しながら、上海語の基本的なしくみを理解し、簡単な会話文を読解・音読できるようになることを目指す。 到達目標 ・上海語の音韻体系、声調、連続変調の基本を理解する。 ・教科書に示されたローマ字表記を見て、基本的な上海語の語句・文を音読できる。 ・普通話との対応関係を手がかりに、上海語の基本的な語彙・文法を理解する。 ・上海語と普通話の違いを、音声・語彙・文法の観点から簡単に説明できる。
成績評価方法	成績評価は、授業への参加状況、音読練習・応用練習への取り組み、授業内課題、小テスト、期末課題等を踏まえ、総合的に判断する。
教科書	その他。／Other
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50650	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ペルシア語テキスト講読
授業の目標概要	1）辞書や文法書を参照しながら、中級程度のペルシア語テキスト・資料の読解方法を習得する。 2）読解に必要な文法の習得と復習を進める。 3）授業内でペルシア語会話を活用し、ペルシア語の文と言い回しに慣れる。 4) You Tube の対談番組を活用して、リスニングと文法練習を試みる。
成績評価方法	授業への参加と期末試験に基づいて、総合的に評価する。 期末試験は、辞書・文法書持ち込み可のテキスト読解（和訳）試験を予定。
教科書	その他。／Other ペル日辞書・ペル英辞書を貸出する。文法書と読解テキストは U-TOL で配布する。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51067	A	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	セルビア・クロアチア語(初級)
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能 力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	平常点による。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	ポーランド語初級（第三外国語）	福嶋 千穂	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ポーランド語初級／Polish Language (Elementary)
授業の目標概要	ポーランド語の基本文法、基本の語彙を学び、運用能力の土台をつくることを目標とする。 ポーランド語の正書法、格変化や活用は複雑であり、これらを理解し身に付けることが学習の要となる。
成績評価方法	平素の授業への取り組み姿勢＋学期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井哲士朗、三井レナータ、阿部優子 『ニューエクスプレス+ ポーランド語』 白水社 978-4-560-08849-4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	タイ語初級（第三外国語）	櫻田 智恵	アジア・日本研究コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	タイ語／Thai language
授業の目標概要	S セメスターからの継続です。原則として、S セメスターを履修した学生にのみ受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を有すると教員が判断した場合、A セメスターからの履修も認めます。事前に教員にメールで連絡し、ご相談ください。 A セメスターでは、最初に S セメスターでの学習内容を復習した上で、より実践的な表現や読解力を身につけることを目指します。最終的には、新聞の一面を、辞書を自分で引きながら長文読解ができるようになることを目指します。タイの新聞の記事構成やホットイシューなどについても触れながら、楽しく学習をすすめましょう。
成績評価方法	宿題 20%、各小テスト／中間試験 20%、期末試験 60%。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	ポルトガル語の基礎
授業の目標概要	ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。
成績評価方法	授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、UTOL で配布します。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50844	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ポルトガル語の基礎
授業の目標概要	ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。なお、ポルトガル語既修者の受講がない場合は初心者の受講も可能です。
成績評価方法	出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、UTOL で配布します。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	台湾語初級（第三外国語）	多田 恵	中国語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	台湾語初級／ Taiwanese (Fukienese) Language (Introductory)
授業の目標概要	「台湾語」とはこの 400 年の間、福建南部からの移民により台湾に伝えられ、現在台湾で約 1600 万人の母語話者人口を持つとされる重要な言語である。東南アジアにも起源を同じくする言語ないし語彙が広がっている。台湾の複雑な歴史と社会を反映して日本語や中国語からの影響が混ざり合い、社会言語学的に興味深い。民主化を進めてきた台湾では現在歴史を見直す機運が高まっている。そのような文脈で台湾語にも関心が集まっている。 この授業は、台湾語入門の修了者もしくは同等の能力を持つ者を対象とし、台湾語の談話の構造、また、文と文を組み合わせ複雑な内容を伝え・理解する能力を習得することを目指す。
成績評価方法	課題 30% 試験 70%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 陳麗君・蔡承維・林虹瑛・三尾裕子 『台湾語入門 平成２４年度言語研修 台湾語研修テキスト１』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 978-4-86337-118-7 オンラインで無料入手可：https://www.aa.tufs.ac.jp/projects/training/ilc/20121/
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50938	A	モンゴル語初級（第三外国語）	谷川 春菜	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	モンゴル語
授業の目標概要	本授業は、前学期履修者を前提とした授業です。 モンゴル語は、モンゴル国や中国の内モンゴル自治区のほか、ユーラシア大陸の広い地域で話されている言語です。表記や発音などには地域差があり、例えば表記については、モンゴル国では主に横書きのキリル文字、内モンゴルでは縦書きのモンゴル文字が使われています。 本授業は、キリル文字およびモンゴル文字で書かれたモンゴル語の初歩的な読解能力を身につけることを目標とします。具体的には、【第 2～5 回】前学期に学んだ文法事項や辞書の引き方を復習しながら、キリル文字で書かれた短いニュース記事の読解に取り組み、【第 6～9 回】モンゴル文字の書き方を習得したうえで、【第 10～12 回】モンゴル文字で書かれた短いニュース記事の講読に取り組む予定です。記事の内容に関連して、モンゴルの文化についても紹介します。
成績評価方法	受講姿勢：50％ 教場試験：50％
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50355	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代トルコ語初級文法入門 2
授業の目標概要	現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。
成績評価方法	教科書練習問題による課題の提出と、学期末に課される試験の成績をもとに評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 東京外国語大学生活協同組合出版部 978-4-903386-18-8 一般書店では市販されていないので生協書籍部で購入すること
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50419	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	トルコ語中級文献講読 2
授業の目標概要	文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。
成績評価方法	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水谷智洋 『古典ギリシア語初歩』 岩波書店 4000008293
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	古典語初級（ギリシア語）II	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語初級（後半） Elementary Greek (second half)
授業の目標概要	※当授業は S セメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：私の担当する「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．A セメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている．S セメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと．S セメスターで使用したテキストは，UTOL 上に当授業のコマが設定され次第載せるので，A セメスターからの受講者は確認しておくこと． I. 目標 初級文法を一年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた文章を，辞書と文法書を使えば読めるようにする． II. 概要 A セメスターの授業の主な内容は次の三つである． A. 動詞の活用を覚える． B. 単文の主要な構文を覚える． C. 複文の主要な構文を覚える．
成績評価方法	I. 概要 練習問題・原典講読の発表状況（70 点） 小テスト（30 点） S セメスターとは異なり，学期末試験は実施しない．練習問題・原典講読のうち，授業時間内に扱えなかったものはレポートとして提出してもらい，UTOL 上でフィードバックを行うことがある．その場合の配点は練習問題・原典講読の発表状況のうちに含める． II. 採点基準 おおむね次のようになるように採点を行う予定である． 50 点：形態をある程度理解しており，練習問題を解いてきている． 65 点：形態をだいたい理解しており，練習問題を解く際にそれを用いている． 80 点：形態をほぼ理解しており，構文や語法に注意して練習問題を解いてきている． 90 点：形態や構文，語法をほぼ正しく理解しており，自分の言葉で正しく説明できる． 練習問題を解く際は，単語の形態（名詞なら性・数・格，動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき，また構文や語法については教材のどの項目に説明があるかを調べておくと上達が早い．すなわちそのようにすれば，練習問題をよく理解して解くことができ，ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる．単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ．逆に和訳がぎこちなかったとしても，形態や構文等について教材の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる． III. 小テスト 小テストの内容は主に変化表の単なる暗記であり，90 分授業の時間外（105 分授業との差分）に各自で実施する形式である．そのため公平性を確保した上で厳密に採点することが難しい．したがって採点の際にはその点を考慮する．ただし小テストで扱う内容はいずれも暗記しているものとして授業を進めるので，その点に注意して取り組むこと．
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50747	A	古典語中級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語散文講読
授業の目標概要	古典期（前五〜四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	A	古典語初級（ラテン語）I	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語初級（1）−名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に
授業の目標概要	ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。
成績評価方法	平常点と試験。最後の授業で対面の試験を行う可能性を検討しています。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Hans H. Ørberg LINGVA LATINA PER SE ILLVSTRATA. PARS I: FAMILIA ROMANA; 別冊：LINGVA LATINA PER SE ILLVSTRATA. EXERCIT 複数の出版社があり、いずれのエディッションも使えます。ネットで調べてください。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	古典語初級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語初級
授業の目標概要	辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。
成績評価方法	最終日に行う期末テストに基づいて評価する
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』白水社 ISBN978-4-560-01761-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50054	A	古典語中級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語散文講読
授業の目標概要	初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第 4 巻途中から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。
成績評価方法	平常点に基づいて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 プリントを配布する。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	古典語初級（サンスクリット語）II	加藤 隆宏	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	サンスクリット初級文法 (II)
授業の目標概要	古典サンスクリット語の初級文法を体系的に学び、平易なサンスクリット文を読解するための基礎的運用力を養成することを目的とする。A セメスターでは、動詞の活用および複合語を中心とする文法後半部を扱う。 サンスクリット語は、古代・中世インドにおいて宗教文献や学術文献の主要な言語として用いられ、仏教をはじめとする思想・文化を通じてアジア各地に大きな影響を与えてきた。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語と並ぶ重要な位置を占めている。サンスクリット語の学習は、古典教養の基礎を身につけることにもつながる。 授業は、文法事項の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。
成績評価方法	授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）による。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook J.ゴンダ サンスクリット語初等文法 春秋社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	語学としての漢文
授業の目標概要	中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。 この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。 この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的の一つとするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。
成績評価方法	最終回の授業で行う持ち込みなしの確認テストと、丁寧に辞書を引いて作成するレポート（指定された文献の訳注）との、両方によって評価する。片方のみでは単位は出ない。さらに、通常の授業で行う小テスト等の状況を加味する。
教科書	その他。／Other 教材はプリントを配布する。漢和辞典を準備すること。これから準備するのであれば、『漢辞海』（三省堂）か『新字源』（角川書店）を勧める。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50170	A 1	日本語上級	大久保 雅子、本林 響子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A 1	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	口頭表現のアカデミック･スキルI（プレゼンテーション･ディスカッション）
授業の目標概要	＜授業の到達目標＞ ・事実や、根拠に基づいた意見を論理的に説明できる。 ・質疑応答や議論に積極的に参加し、協働して結論を導く。 ・収集、分析した資料や他者の意見によって視野を広げ、多角的な見方ができる。 ・コミュニケーション上の誤解がないよう相手や場に配慮しながら適切に表現できる。 ＜授業の概要＞ 日本語非母語話者である留学生を対象に、プレゼンテーション、ディスカッションにおけるアカデミック・スキルを伸ばすことを目的とする。テーマについて各自資料を収集し、考えを深め、授業では受講生同士による意見交換などの協働作業によって多角的な視点を持てるようにし、実践練習、まとめの発表、ふり返りを重ねる。文章構成や効果的な文型・語彙、日本語のコミュニケーションにおける適切な配慮を確認し、論理的で説得力ある表現力を習得する。"
成績評価方法	最終プレゼンテーション 20%、プレゼンレポート 20%、ディスカッション 30%、ふり返りシート 10%、授業参加度（積極性など）20%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A 1	日本語上級	木村 政樹、本林 響子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その 6
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A 1	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ケーススタディの場面から学ぶ日本語の待遇表現(1) Formal Japanese Expressions through Case Study Contexts (1)
授業の目標概要	【授業の概要】 この授業は、あらたまった場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。モデル会話を中心に典型的な敬語表現や上級文型、慣用表現などに注目しながら授業を進める。具体的には、大学生活において求められる待遇表現を適切に用いることに加え、就職活動やビジネスなどの対人関係で今後必要となる敬語表現を身につける。特に、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学ぶ。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、敬語表現を積極的に用いることで会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。各場面における機能別のモデル会話を習得し、そのうえで状況に応じて即時的に対応するタスクやロールプレイ、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。必要に応じて、メール、口頭発表、研究調査に関する依頼文など、書き言葉における待遇表現についても指導、添削を行う。 【授業の到達目標】 ・日本社会で必要とされる敬語表現を、場面や関係性に応じて適切に使用することができる。 ・相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた敬語表現が理解できる。 ・学術的な場面だけでなく、就職活用やビジネス場面においても適切で円滑なコミュニケーションができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ルーブリックを授業内で示す。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A 1	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・ライティングI－レポートを書く－
授業の目標概要	この授業では、アカデミック・ライティングに必要な知識や技術を習得し、論理的な文章を書く力を向上させることを目標とします。 授業では、語彙、文体、表記、表現、構成など、大学でのレポートや論文を書くための知識を学び、論理的に相手に説明する表現法をペアワーク等も取り入れながら練習します。
成績評価方法	最終レポート４０％、授業時の課題４０％、グループワークでの活動２０％
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 大学生・留学生のための論文ワークブック くろしお出版 4-87424-127-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50910	A 1	日本語上級	奥川 育子、本林 響子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックプレゼンテーションとディスカッション
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。 学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、クイズ、発表
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特になし
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51068	A 1	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロールプレイで学ぶ待遇表現: 社会的関係を調整するコミュニケーション(1) Formal Expressions through Role-Play: Managing Social Relationships (1)
授業の目標概要	【授業の概要】 この授業は、アカデミックな場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。特に、将来日本語を使用し仕事をしようと思っている、あるいはこれまでに日本語を使った仕事を経験した人を想定し、ロールプレイを中心に授業を進める。具体的には、あらたまった場面で必要とされる自然な敬語の言い回しに着目し、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学び、ビジネス日本語能力、社会人基礎力、社会的関係の調整能力の養成をめざす。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、待遇表現を用いることにより会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。あらかじめ準備された会話の再現ではなく、その場の状況に応じて即時的に対応するタスクや、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。履修者の希望に応じて、調査研究の協力依頼、学会発表と質疑応答など、学術的な場面での待遇表現も扱う。 【授業の到達目標】 ・敬語を単なる文法規則としてではなく、相手の立場、距離、役割、力関係といった社会的な関係性を調整する言語として理解し、具体的な場面に即してコミュニケーションを図ることができる。 ・場面や文脈に応じて適切な待遇表現を選択することができ、方略的に運用することができる。 ・アカデミック、ビジネスなどのあらたまった場面において、状況の変化や相手との関係性を踏まえ、適切な待遇表現を選択し、口頭と文章の両面で適切に運用することができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。 ・日本社会での人間関係の構築や調整の在り方を考察し、日本語の社会文化的特徴や疑問点、納得のできない点などについて自身の見解を述べ、他者と議論することができる。
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ルーブリックを授業内で示す。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60005	A 2	日本語上級	大久保 雅子、本林 響子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60006	A 2	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	口頭表現のアカデミック･スキルII（ディベート）
授業の目標概要	＜授業の到達目標＞ ・資料、根拠に基づいた意見を論理的に説明できる。 ・他者の意見を的確に聞き、多角的な視点から分析、判断できる。 ・わかりやすく論理的に、かつコミュニケーション上の誤解がないよう相手や場に配慮しながら適切に表現できる。 ＜授業の概要＞ 多角的な視点に立って論理的に相手を説得できるようなディベートができることを目指す。テーマについて各自資料を収集して意見をまとめ、授業では受講生同士の意見交換や実践練習を行う。また、効果的な文型・語彙、日本語コミュニケーションにおける適切な配慮を確認する。
成績評価方法	ディベート 60%、ふり返りシート 20%、授業参加度（積極性など）20%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60072	A 2	日本語上級	木村 政樹、本林 響子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代日本の童話を読む： その 2
授業の目標概要	授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテクストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60073	A 2	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ケーススタディの場面から学ぶ日本語の待遇表現(2) Formal Japanese Expressions through Case Studies (2)
授業の目標概要	【授業の概要】 この授業は、あらたまった場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。モデル会話を中心に典型的な敬語表現や上級文型、慣用表現などに注目しながら授業を進める。具体的には、大学生活において求められる待遇表現を適切に用いることに加え、就職活動やビジネスなどの対人関係で今後必要となる敬語表現を身につける、特に、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学ぶ。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、敬語表現を積極的に用いることで会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。各場面における機能別のモデル会話を身につけ、そのうえで状況に応じて即時的に対応するタスクやロールプレイ、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。必要に応じて、メール、口頭発表、研究調査に関する依頼文など、書き言葉における待遇表現についても指導、添削を行う。 【授業の到達目標】 ・日本社会で必要とされる敬語表現を、場面や関係性に応じて適切に使用することができる。 ・相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた敬語表現が理解できる。 ・学術的な場面だけでなく、就職活用やビジネス場面においても適切で円滑なコミュニケーションができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ルーブリックを授業内で示す。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60078	A 2	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・ライティングII－説得力あるレポートを書く－
授業の目標概要	この授業では、アカデミック・ライティングに必要な知識や技術を高め、説得力のある論理的なレポートが書けるようになることを目標とします。授業では、構成ごとに書き進めたレポートを口頭発表し、最終レポートを仕上げます。
成績評価方法	最終レポート５０％、発表２０％、グループワークでの活動２０％、授業時の課題１０％
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 大学生・留学生のための論文ワークブック くろしお出版 4-87424-127-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60079	A 2	日本語上級	奥川 育子、本林 響子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に付ける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査・分析・発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、発表、レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60084	A 2	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロールプレイで学ぶ待遇表現: 社会的関係を調整するコミュニケーション(2) Formal Expressions through Role-Play: Managing Social Relationships (2)
授業の目標概要	【授業の概要】 この授業は、アカデミックな場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。特に、将来日本語を使用し仕事をしようと思っている、あるいはこれまでに日本語を使った仕事を経験した人を想定し、ロールプレイを中心に授業を進める。具体的には、具体的なビジネス場面で必要とされる自然な敬語の言い回しに着目し、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学び、ビジネス日本語能力、社会人基礎力、社会的関係の調整能力の養成をめざす。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、待遇表現を用いることにより会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。あらかじめ準備された会話の再現ではなく、具体的な場面に応じて即時的に対応するタスクや、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。履修者の希望に応じて、調査研究の協力依頼、学会発表と質疑応答など、学術的な場面での待遇表現も扱う。 【授業の到達目標】 ・敬語を単なる文法規則としてではなく、相手の立場、距離、役割、力関係といった社会的な関係性を調整する言語として理解し、具体的な場面に即してコミュニケーションを図ることができる。 ・場面や文脈に応じて適切な待遇表現を選択することができ、方略的に運用することができる。 ・アカデミック、ビジネスなどのあらたまった場面において、状況の変化や相手との関係性を踏まえ、適切な待遇表現を選択し、口頭と文章の両面で適切に運用することができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。 ・日本社会での人間関係の構築や調整の在り方を考察し、日本語の社会文化的特徴や疑問点、納得のできない点などについて自身の見解を述べ、他者と議論することができる。
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ルーブリックを授業内で示す。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	言語比較論	小野 秀樹	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	言語学の各分野から見る中国語・日本語（・英語）の対照研究に関する諸問題
授業の目標概要	現代中国語を主たる対象とする対照言語学（主として日中対照だが一部英語も含む）に関するトピックを、音韻論・形態論・語彙論・統語論・意味論・語用論の各分野からピックアップし、言語学に関する基礎的知識を習得しながら、各トピックにおける問題点や課題を検討しつつ、分析と考察を行なう。
成績評価方法	平常点（毎回の授業時のリアクションペーパー）および期末試験の成績で評価する。 詳細については授業で説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook UTOL を使用して、資料やレジュメをファイル形式で配布する（印刷したものは配布しない）。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	言語応用論	吉川 雅之	言語情報科学専攻	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	漢字音（中国語音）表記史概論
授業の目標概要	中国語を記す文字である漢字は表語文字であり、字形から（声調も含め）発音を窺い知ることは困難です。しかし、古代や近代に於いて漢字音を表記する方法が無かったわけではありません。また、近代以降はラテン文字をはじめとする表音文字を用いた発音表記方法が中国国内外で数多く考案されました。ラテン文字による表記の中には、その機能が漢字音の音写という次元を超越したものもあります。 この授業では漢字音を表記する方法の歴史を概観し、本学の学生として相応しい知識と思考力を身につけてもらうことを目標とします。蔵書目録や文献検索システムで目にするラテン文字表記がどの表記方法であるかを見極める力はその一つです。 尚、この授業で扱う漢字音は基本的に中国語のものです。但し、比較対象として中国語に隣接する言語のために考案された表記体系も取り上げることで、物事を相対化して考察する能力を身につけることを目指します。
成績評価方法	以下のものに基づきます。 ① 期末試験の評点、 ② 平常点（授業に対する積極性、授業中の課題に反映した習熟度・理解度)。 期末試験は本試験（試験期間中）実施を予定しています。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	批評理論	益 敏郎	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	批評理論の系譜学
授業の目標概要	この授業は批評理論入門講義である。 しかしさまざまな理論を通時的に確認する方法はあえて取らない。 むしろ、批評とは何か、文学とは何か、という問いを歴史的、制度的、概念的観点から紐解いて、批評理論がどのように生まれ、大学のカリキュラムに組み込まれるようなディシプリンとなりえたのかを検討し、これを通じて批評理論ならびに批評行為そのものの出発点を準備する。これが本授業の目標である。 その際に以下の二つの仮説を出発点とする。 （1）批評理論は、国民国家時代における世界の認識論的編成を説明する「文学史」に代わって台頭したディシプリンである。 （2）批評理論は、20 世紀以降の人文学の展開をもっともクリアに把握することのできる枠組みである。 この二つの仮説を検証しながら、批評理論が生まれた歴史的前提と展開を明らかにしつつ、同時に現代思想の大まかな地図を手に入れることを目指す。
成績評価方法	参加者の人数に応じて調整するが、授業に対するコメントの内容、期末課題などを総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	文化横断論	小林 宜子	言語情報科学専攻	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史
授業の目標概要	時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12 世紀以降の 8 世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様を詳細に観察し、分析します。
成績評価方法	グループ・ディスカッションへの取り組みと全体討議への参加の度合い、学期末試験の成績を評価対象とし、それらを含めて総合的に判断します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook カズオ ・イシグロ（土屋政雄 ） 忘れられた巨人 (ハヤカワ epi 文庫) 早川書房 978-4151200915
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	テクスト文化論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる
授業の目標概要	そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、ブロンテ、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フローベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが)、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました)。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（１０月８日 授業形態は UTOL で連絡予定）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第 2 回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第 2 回の授業に突然来ても参加は認められない。参加型の授業なので傍観者はご勘弁。
成績評価方法	発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席 4 回以上で期末レポートを提出する権利を失う。発表をしないことについても同様である。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	現代哲学	齋藤 幸平	哲学・科学史	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	２１世紀のマルクス主義
授業の目標概要	近年再評価が進んでいるマルクスやマルクス主義の思想について、多角的な観点から、その内容を検討していく。合わせて、資本主義についての理解を深めることを目指す。
成績評価方法	リアクションペーパー（３０%）、期末試験（７０%）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook マルチェロ・ムスト（編） 『マルクス・リヴァイバル』 地平社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	科学哲学	工藤 怜之	哲学・科学史	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	科学哲学入門
授業の目標概要	概要 いわゆる「英米系／分析系」の科学哲学の入門講義を行う。特に、科学は我々に知識を与えてくれるのか（それはいかなる意味においてか）という問題意識を動機の中心に据えて、科学哲学分野における基本的な概念や論点を学んでいく。 科学は人類に対してすばらしい知識をもたらしてきた、ように思われる。現代社会は、「科学的知識」なるものに特別な権威を認め、様々な実践においてそれを参照している。しかし、科学が知識をもたらしている、というのはいかなる意味においてか？ あるいは、そう考える根拠を問われたら、どう答えたらよいだろうか？ 例えば、科学は実験や観察で得られた事実を基礎として、厳密な論理（あるいは数学）に従って理論を構築していると思うかもしれない。しかし、他方で、科学理論とは結局のところ「仮説」に過ぎない、ともよく言われる。既知の事実と科学理論との間には、常にある種の論理的飛躍があるからである。では、この飛躍は、論理的だとか、厳密だとか、客観的だとか言えるものなのだろうか？ あるいは、科学は確固たる事実を基礎にしていると考えてよいのだろうか？ 科学理論の真偽は、実験・観察事実に基づいて白黒つけるべき問題であり、自説が事実と矛盾するのにその誤りを認めないのは科学的態度とは呼べない、と思うかもしれない。しかし、他方で、ある仮説と実験結果が矛盾するように見えるときでも、実験のほうに何か不具合があった可能性を考えるのは、ごくありふれた態度である（学生実験の場面を考えてみよ）。科学理論とそれが基づくとされる事実との関係は、それほど単純ではないのではないか？ さらに、科学の歴史を遡って考えてみると、ある時期に広く受け容れられていた理論が、後に他の理論に取って代わられるということが繰り返されてきたように思われる。科学史上にこのような断絶が見られるとしたら、科学は着実に人類の知識を蓄積させてきた、とは言えないことになる。さらに、現在の科学理論すら、後に別のものに取って代わられるという可能性は心配しなくてもよいのだろうか？ 以上で触れたような疑問をめぐって、科学哲学がどんな議論を行ってきたかを学んでいく。 目標 科学哲学の基本的な概念および論点を理解すること（自分の言葉で概念を説明したり、論証を構成したりできること）を目標とする。そのためには、言葉の使い方や主張の根拠を明確にすることに注意深くなる必要がある。 また、科学哲学者が（科学者にとっては必ずしも興味をひかないような）ある問題を立てるのはなぜなのか、といったことも理解してほしい（最終的にその価値観に同意することを求めるものではもちろんないが）。 科学哲学を学ぶことで、同時に、哲学とはどんなものかを、具体的トピックを通して知ることにもなるはずである。
成績評価方法	学期末の筆記試験に基づいて評価する予定だが、履修者数が少ない場合はレポート試験に替えることもありうる。後者に替える場合は学期開始後の早い段階で決定し、説明する。 UTOL を利用して、リアクションペーパーに相当するものも回収できるようにするつもりだが、提出は任意とする。提出しなくても成績評価にネガティブな影響はないが、提出すればポジティブに考慮する可能性がある。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	現代思想	星野 太	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代思想（2001-2025）
授業の目標概要	この授業では、およそ 2001 年から 2025 年までの現代思想の概説を行なう。 21 世紀に入ってすでに四半世紀が経過した。この間に生まれた新たな思想は、20 世紀的な問題をそれぞれの仕方で継承することを試みた。その結果として生じたひとつの傾向が、実在論への強いコミットメントである。これは、思想的には「思弁的転回」、人類学的には「存在論的転回」などと呼ばれることもあるが、いずれにしても 20 世紀の哲学・思想が「言語論的転回（linguistic turn）」を経たことへに対する、ある種のカウンターであるという点で共通している。 この授業の目的は、以上の（およそ 25 年間の）現代思想の特徴について、基本的な理解を獲得することである。そうした目的のもと、本授業では（1）思弁的実在論、新しい唯物論、オブジェクト指向存在論といった近年の思想潮流について概説を行ない、あわせて（2）それぞれの潮流を代表する論者のテクストを講読・解説する。 詳細は「授業計画」を参照のこと。
成績評価方法	期末試験：100％
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	記号論理学I（文科生）	浅野 将秀	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	記号論理学入門
授業の目標概要	本講義は古典命題論理と古典一階述語論理の統語論、証明論、意味論を理解することを目標とする。具体的には、形式言語の文法をふまえ自然言語で表現された文を適切に記号化すること、自然演繹の体系に基づいて証明図を構成すること、真理表やモデル、タブローを用いて推論の妥当性を判定することを学ぶ。講義後半には非古典論理についても若干触れる予定である。
成績評価方法	原則学期末テストで評価するが、状況に応じて小課題等を課す可能性がある。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	記号論理学II	秋吉 亮太	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ゲーデルの不完全性定理の数学的内容と哲学的含意
授業の目標概要	ゲーデルが 1931 年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義（無矛盾性プログラム）を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する（七、八回）。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺的な話題を紹介したい。
成績評価方法	学期末テストによって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	精神分析学	原 和之	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	表象文化論	森元 庸介	表象文化論コース	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	『アンナ』をめぐって
授業の目標概要	フランスで 1966 年に制作された TV フィルム『アンナ』を取り上げ、ひとつの作品にセメスタひとつをまるごと費やしてどれぐらいのことを考えられるのか、道なかばで斃れるリスクは多分にあるが、表象文化論の実践／実験（のありうべきひとつのかたち）というつもりで授業をおこなってみたい。ただ、作品内容の把握――本当をいうと、これがけっこう自明ではないのだが――からいわゆる内在的な分析へ進もうとすれば、結局、さまざまな外在的要素を考慮することは避けがたく（両者を切り分けることなどもとよりできないので）、実際、授業のなかでは、同時代の映像作品（とりわけゴダールの諸作品、アントニオーニ『欲望』、クライン『ポリー・マグーお前は誰だ』）、社会・思想的な文脈（とりわけギィ・ドゥボール『スペクタクルの社会』）、しかしまた文学史的なレフェランス（とりわけ 17 世紀の大説教家ボシュエの説教、また、それを経由した「放蕩息子の帰還」という聖書的モティーフ）に言及することになろうし、もう少しプロソポグラフィックには主演を務めるアンナ・カリーナ、また、助演とともにサウンドトラックを担当したセルジュ・ゲンズブールらのキャリアを振り返らねばならない。つまるところ、脱線と飛躍の連続になるにちがいなくて、その点、あらかじめご海容を乞う。
成績評価方法	期末レポート。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50118	A	美術論	桑田 光平	表象文化論コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	デザインを考える／デザインから考える
授業の目標概要	この授業では「デザイン」を単なる意匠や機能性としてではなく、近代における人間の生活様式の設計として考え直し、その視点から近代デザインの歴史を概観しつつ、デザインの観点から現代の諸問題について考察を試みる。また、建築、アート、ファッションはもちろんのこと政策、生活、ビジネスなどさまざまな分野で頻繁に目にする「デザイン」的思考について、社会の中で活躍するデザイナーたちの話を聞き、具体的な実践例から学ぶ。
成績評価方法	授業後のレスポンスシートと学期末のレポートによる評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50175	A	演劇論	針貝 真理子	表象文化論コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	演劇学概論
授業の目標概要	演劇を学問的に扱うには、どのようなアプローチをしたらよいのでしょうか。この授業では、ダンス、パフォーマンス、音楽劇等を含む広義の演劇を研究するための基礎についてお話しします。また、できるだけ多くの実践例を取り上げ、演劇実践と研究の接続についても意識的に触れながら進めていきます。
成績評価方法	リアクションペーパーの内容で判断します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	社会正義論	岡 真理	教養教育高度化機構	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	思想としてのパレスチナ
授業の目標概要	「かくも深く募ってやまない痛みを、あたかも単なる政治的問題のひとつであるかのように、二者間の「紛争」などと、そして双方が「競合する」と称される物語を抱えているなどとよくも言えたものだ。ジェノサイドは物語なのか？ 自由を追い求めることは紛争なのか？」――これはパレスチナ系アメリカ人のジャーナリスト、ラムズィ・バールードが 2024 年 5 月、76 回目のナクバ記念日に X にツイートした言葉です。反語疑問の形で、「パレスチナ問題」の今日的かつ歴史的な本質を端的に言い表しています。 2023 年 10 月 7 日以来、イスラエル占領下のガザ地区で起きている事態は、ジェノサイド条約が定義するジェノサイドにほかなりません。しかし、日本の主流メディアにおける報道は、その破局的事態の規模や内実に見合った質でもなけ

	れば量でもありません。問題の歴史的根源を問うことなく、「ナクバ」以来続くパレスチナの民族浄化を維持する「文化的暴力」として機能しています。 合衆国をはじめ自由や人権や民主主義を掲げる西側諸国においては、紛うことなきジェノサイドと化した民族浄化に見舞われるパレスチナ人に連帯し、イスラエル国家やそのナショナル・イデオロギーであるシオニズムを批判する者たちが「反ユダヤ主義」のレッテルを貼られて弾圧されるという事態となっています。問題を歴史的に文脈化する営為自体が犯罪化され、学知の扼殺、認識の扼殺が進行しています。 パレスチナにおいて、そしてパレスチナをめぐって行使される歴史的かつ今日的な直接的暴力と構造的暴力、そして文化的暴力に抗う一歩として、パレスチナ問題の本質、歴史的根源と、パレスチナをめぐる問題の諸相を学びます。
成績評価方法	平常点（適宜、課題を出します）および期末レポート ・正当な理由なき 5 回以上の欠席は不合格とします。 ・生成 AI の回答を流用して作成したレポートは、不正行為と見なします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	比較文化論	松井 裕美	比較文学比較文化コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス美術史講義（近現代前衛美術におけるジャンルの越境）
授業の目標概要	この授業では、1880 年代から 1970 年代までの 100 年間の近現代西洋の前衛美術の諸相を紹介します。主な地域としてはフランス、ジャンルとしては前衛的な視覚芸術を中心としながら、他地域の芸術関係性や、音楽・文学といった他ジャンルとの関係性についても考察の対象とします。 近現代の前衛美術は、それ以前の芸術との断絶という切り口から理解される傾向にありますが、実のところ、個々の作品にはそれぞれに異なる歴史的背景や同時代背景があり、単一の「歴史」や「意図」で語ることが困難な側面があります。 さらにこの時代は、視覚だけでなく、様々な感覚を刺激するような芸術的実践が、前衛芸術において展開されました。ここでは、次の 3 つの角度から近現代美術を語る基本的な手法を学ぶことを目的とします。 ① 個々の作品や作者の実践はどのような様式や運動と関わっているのか ② 個別的あるいは集合的な芸術実践は、どのような理論や制度と関わっているのか ③ 個別的あるいは集合的な芸術実践と歴史や社会との関連性はどのようなものか とりわけ③に関連して、消費社会やグローバリズム、戦争や植民地主義と芸術的諸動向の関係性についても検討します。
成績評価方法	期末レポート（70%）と平常点（30%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51128	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代日本における出版・読書文化の大衆化
授業の目標概要	近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。
成績評価方法	授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。 コメントシート、学期末レポートは英語で書いても構わない。 （The final grade for the course will be determined by evaluation in the following areas: class attendance and participation; weekly reaction papers; final paper. While the lecture will be de
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	比較文学	佐々木 悠介	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	映画「化」を考える：アダプテーション論への誘い
授業の目標概要	この授業では、文学作品（広義の）の映画「化」の問題を扱う。目標は以下の二点である。 1）アダプテーション（＝翻案）論という分野はどのような分野なのか、世界の最新の研究動向も紹介しつつ、ひいては

	それが比較芸術＜比較文学のなかでどのような位置づけにあるのか、そしてナラトロジー、ニューヒストリシズム、精神分析批評、ジェンダー論、ポストコロニアル批評、階級批評等々の（日本でも馴染みのあるほかの）批評理論とどのような関係にあるのか、ということを知ってもらう 2）小説のほか、漫画、人形浄瑠璃といった広義の文学作品が映画化される際に何が起こっているのか（行われているのか）ということを、具体的な事例を取り上げながら考える
成績評価方法	各回のコメントシートなどの課題と、期末レポートを総合的に評価する
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 今橋映子、井上健監修 比較文学比較文化ハンドブック 東京大学出版会 978-4-13-082047-9
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50176	A	西洋思想史	廣野 喜幸	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生物観の西洋思想史
授業の目標概要	日本は思想的に二重構造をもつ。日本古来の伝統的な思想と、特に明治期以降に咀嚼してきた西洋由来のそれである。つまり、伝統的思想と西洋思想が私たちを大きく規定している。したがって、西洋思想史について基本的素養をもつことは、今を生きる私たちにとって大きな意味をもつ。とはいえ、西洋思想史は実に広大な対象をもち、その大枠を広く浅く学ぼうとすると、あまりにも浅くなり、断片的な知識の単なる集積に終わりかねない。そこで、本講義では、まず、思想史学の初歩を解説した後で、生命観（生物観・動物観・植物観）に焦点を合わせて、それを窓口として、西洋思想史の大きな流れを把握することを目指す。なお、学問の王道は比較にある。随時、日本あるいは東洋思想と西洋思想を対比させる比較思想史のアプローチを随所に取り入れながら、西洋思想史の流れに対する理解を深めていきたいと考えている。
成績評価方法	レポート: 70% 西洋思想史が提起する課題に対して、批判的に考察を加えることができるようになっているかどうかを問う問題が出される。 平常点評価: 30% 講義中に課題を 3 回課す予定である。提出者は 1 回につき 10 点ほどが加点される。まともな解答であればすべて満点が与えられる。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	社会思想史	馬路 智仁	社会・社会思想史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	入植者植民地主義の思想史
授業の目標概要	本授業では、入植者植民地主義をめぐる思想を、初期近代のジョン・ロックから今日の（スペース X など）巨大宇宙企業までたどる。目標は大きく三つある。①一つ目に、入植者植民地主義という帝国的な実践・思想が、いかに現代世界を形作り、また将来の宇宙開発に関わっているかの理解を得ること。②二つ目に、これを通して、政治・社会思想史が過去を見るときのレンズとして、また未来を構想するためのツールとして、いかに有用な役割を果たすかについて考察すること、③三つ目に、本テーマを切り口として、西洋政治思想（ロックやジェレミー・ベンサム、J.S.ミルなど）や近代日本の知識人の思想についての理解を得たり、深めたりすること、である。 入植者植民地主義とは、近代主権国家の内外で展開されてきた移住や開拓に基づく帝国的権力の行使・実践を指す。この植民地主義が企ててきたのは、移住先の人々（先住民）の身体や文化、政治経済を暴力的に周縁化すること、それを通して入植者がその土地・環境を永続的に支配すること、またそこに自らの共同体や市民社会、あるいは国家を形成することである。入植者植民地主義による支配は、20 世紀半ば以降における公式帝国の崩壊のような明確な区切りを持つものではなく、国境の内側の制度や社会のなかに構造的に埋め込まれ、残存し続ける。北米各地、ニュージーランド、オーストラリア、北海道などに見られる先住民問題はその典型である。今日、この植民地主義の射程は地球上から宇宙空間へと伸びている。NASA が牽引するアルテミス計画や巨大宇宙企業スペース X の火星移住構想に象徴されるように、地球外惑星の開発とそこへの入植が可能性として語られるようになっているためである。
成績評価方法	期末試験 100%（A 4 用紙一枚にまとめたメモのみ持ち込み可。記述式の大問 2 つを予定している）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象

51076	A	科学史	武正 泰史	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	数理科学の歴史
授業の目標概要	数学や天文学をはじめ、科学は古代から様々な形で実践されてきており、時代、地域によって内容や目的なども異なっていた。本講義ではいわゆる数理科学について、古代から近代に至るまでの歴史的経緯を学ぶことで、どのような人々が、なぜ、どのようにその知的営為に取り組んできたのか考察する。これによって数理科学知と人（および社会）との関わりを意識し、その知的営為を相対化する視点を養う。主として西洋地域をとりあげつつ、前近代の日本や東アジアにおける関連する話題を紹介する予定である。
成績評価方法	小テストへの回答（40%）、および期末試験（60%）。それぞれで合格点に達する必要がある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51373	A	世界哲学	納富 信留、中野 裕考	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	世界哲学／World Philosophy
授業の目標概要	『世界哲学史』全 8 巻＋別巻（ちくま新書）が完結し、4 年ごとの世界哲学会議（World Congress of Philosophy）の 2028 年東大開催が決定されるなど、「世界哲学」は今日、大きな盛り上がりを見せている。 この言葉にこめられているのは、古代ギリシアに端を発した知的営為のみを人類に普遍的な思考とみなし、アジア、アフリカ、オセアニア、ラテンアメリカなどの諸地域で発展してきた豊かな知的営為を哲学以前／未満のものとして切り捨ててきた従来の態度への鋭い問い直しである。 本講義では、納富、中野が異なる視点から入門講義を行い、三名のゲスト、板東、中島、河野がさらに視野を広げるべく、日本、中国、アフリカの地域の事情を紹介する。これにより西洋を特権的な軸としない新しい哲学のありようを提示することを目指す。
成績評価方法	２名の各担当教員ごとの小課題（小レポートなど）で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	国際関係論	吉本 郁	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要　今日、グローバル化に伴う国内的分断やポピュリズムの台頭、グローバル・サウスによる既存ルールへの異議申し立てなど、政治・経済・歴史が複雑に交錯する現象が顕著になっている。本講義では、これらの事象を理解する前提として、国際関係論の主要な理論と実証研究の知見を学ぶが、特に現代国際社会が直面する最重要課題の一つである「経済格差と貧困」および自由主義的国際秩序（LIO）の動揺を軸に置く。ただし、教員が自ら時事的な問題を論評したり、あるべきと考える政策を提言したりすることはなく、「理論」と「実証（定量的・定性的手法）」の接続を重視し、国際関係論の各種理論が課題をどう概念化してきたか、そしてそれらの仮説がデータや事例検証によっていかに解明されてきたかを紹介するのが目的である。具体的には、19 世紀の帝国主義や植民地支配に遡り、二度の世界大戦、脱植民地化、冷戦後の民主化とその後の再権威主義化に至る歴史的文脈を紐解いた上で、国家間紛争や内戦などの安全保障領域から、貿易・金融、環境問題、人権規範に至るまで、国際関係論が扱ってきた主要課題を探求する。
成績評価方法　小テスト（合計 4 回）：40 点
コメントペーパーおよびピアレビュー：15 点
期末試験：45 点
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　国際社会の動態――パレスチナ／イスラエルとウクライナ・ロシアを事例に
授業の目標概要　イスラエル・パレスチナ紛争とロシア・ウクライナ戦争を題材に、国際社会についての視座を涵養することを目的とする。それぞれの基礎を押さえながら、そこでカギを握る、国際関係論で定番のいくつかのトピックを取り上げ、他地域の、あるいはより広域の問題に応用できるようにする。そのうえで、あたかも自然現象であるかのように、つまり運命論的に捉えられがちな国際社会の動向について、いかに人間に関わるかを考え、体得していく。
成績評価方法　毎回のリアクションペーパー（UTOL で提出）30%、レポート×定期試験 70%*
*レポートと定期試験はそれぞれ半々の配点であるが、前者と後者の整合性に問題がある場合（つまり、レポートで書いた内容やその背景を理解していないと見られる場合）、レポートの評価も、問題の程度に応じて下がることがある。つまり、レポートを生成 AI 等に書かせていては答えられない問いを設定するため、自ら丹念に調べ、練り上げて書くことが、この試験に対する最良の対策となる。なお、定期試験ではレポートに基づく設問と別に、講義の基本事項を確認する設問も配点の半分に含まれる（その個所の評価はレポート評価とは連動しない）。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	国際関係史	前田 亮介	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日本外交史
授業の目標概要　この講義では、18 世紀末から冷戦終結後までの 200 年の日本の外交の軌跡を、①国内政治（社会）との連関、②グローバルな国際環境の作用、の 2 点を重視しながら概観する。①・②とも、国際関係史として日本外交史を理解する上で不可欠の視点となるためである。
日本列島に領域主権国民国家が誕生するまでの「国家形成期の外交」、日露戦争から第二次世界大戦までの「帝国の外交」、独立・講和から沖縄返還までの「敗戦国の外交」、ポスト戦後処理外交としての（現代までの）「経済大国の外交」、という大まかな 4 つの時代区分を念頭に講義を進める。
成績評価方法　期末試験によって評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	現代国際社会論	酒井 啓子	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代の中東政治を国際政治の枠組みで概説する。特に米国を中心としたグローバルパワーとの関係、域内のトランスナショナルなネットワークのありように着目し、国家主体のみならず非国家主体が紡ぐ政治のダイナミズムを読み解く。
授業の目標概要	複雑に見える中東地域における政治実態を、グローバルパワーとの関係、域内における覇権抗争の枠組み、トランスナショナルな政治思想運動の展開に着目して、解明する。中東地域の政治を国際政治、比較政治の一般論からの逸脱事例とみるのではなく、中東政治のさまざまな特徴をむしろ国際政治の矛盾を表象する事象として捉え、中東から「世界」を読み解く視座を獲得する。加えて、中東政治の土台にある近現代史に対する理解を「オリエンタリズム」批判を踏まえて、再考する。
成績評価方法	試験と、映画などの感想文の提出による。出席は問わない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 酒井啓子 9.11 後の現代史 講談社新書
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	現代国際社会論	佐藤 仁	国際関係	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	開発協力のジレンマ
授業の目標概要	「SDG s の問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになっていてほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。 国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらが立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。
成績評価方法	講義と参考文献に基づく試験を成績全体の 8 割、出席とコメントシート、質問などによる議論喚起を合わせて 2 割の比重で成績評価を行う。 成績は 8 割を最終試験でつけ、残りの 2 割を出席と授業中の参加点として加算する。なお、人数が少ない場合は、試験を行わず、レポートに変える。授業中の参加は、教室での質問やコメント（オンライン含む）、毎授業ごとに任意で提出を求めるリフレクションペーパーの質と量で評価する。また出席（成績の 5 %）は、ITC-LMS の出席管理機能を使うこととし、3 回以上欠席した人に「優」以上はつかない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤仁 争わない社会ー「開かれた依存関係」をつくる NHK ブックス
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	平和構築論	外村 大	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	平和構築のための思想、歴史と実践
授業の目標概要	これまでの平和希求の思想的営為にはどのようなものがあるだろうか。また平和を築くため、あるいは進行中の戦争に抵抗したり、それを止めたりするための活動としてどのようなことが行われただろうか。さらに、現在、平和を築くための活動がどのように続けられ、そこでの課題は何であろうか。以上について、日本を含むアジアを主な対象地域として設定し、個別事例に焦点を当てて学んでいく。 その際、まず、前半のテキスト輪読で知識の平準化を図る。その後、関連する研究論文や、様々な地域で活動経験を持つ人々から話を聞く。
成績評価方法	参加者人数によって調整はあるが、コメントペーパーと報告（20~30%）、期末レポート（50~60%）、出席(20%)による総合評価。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50055	A	地域文化論II	藤崎 衛	地域文化研究専攻	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代ヨーロッパ歴史学―ミクロストリア・徴候・証拠
授業の目標概要	受講者が次の 3 点を説明できることを目標とします。 ・20 世紀ヨーロッパ歴史学における社会史・心性史・ミクロストリアの関係 ・カルロ・ギンズブルグが異端審問記録から民衆の文化を再構成した方法と、その限界 ・歴史叙述における物語・レトリック・証拠・真実の関係
成績評価方法	授業内で 3 回ほど課すミニレポートによる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51455	A	地域文化論II	ガーバー ポーラ、橋川 健竜	地域文化研究専攻	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	LGBT Rights in Australia: How the rights of LGBT people in Australia are respected and protected (or not)
授業の目標概要	There have always been LGBT people, but how they have been treated in Australia has varied over time. For example, gay men used to be vilified and persecuted, but these days there is greater understanding and acceptance of diverse sexual orientations. Nowadays, it is trans and gender diverse people who are increasingly being attacked and targeted in hate crimes. This course will introduce students to LGBT communities in Australia and how they are treated by society, governments and the law. Each class will focus on a particular aspect of queer life in Australia; the good, the bad and the ugly. By the end of this course students will have achieved an understanding of LGBT life and culture in Australia, and be able to identify where Australia is doing well in protecting the human rights of LGBT people and where more needs to be done. No prior study of Australia or LGBT people and culture is required to successfully complete this course
成績評価方法	Film Review – 40% Students will view a selected film and write a review of that movie/documentary/TV show, considering how LGBT right are represented in that film. A range of selected films will be available either on DVD provided by the course Professor; through the Center for Pacific and American Studies Library or through a streaming service. Research Essay – 60% Students will prepare a research paper in response to one of a series of topics provided early in the semester. The topics will encourage research and reflection on issues considered in the course. Further information on assessment will be provided in the first class. All assessment must be completed in English.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	比較地域史	杉本 浄	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	鉱物資源開発における比較地域史ー19 世紀から 20 世紀前半のインド、カナダ、南アフリカ
授業の目標概要	本授業では、19 世紀から 20 世紀前半までのイギリス帝国各地における鉱物資源開発史に注目する。石炭・石油といったエネルギー資源とともに、鉱物資源は帝国の拡大と各地の工業化を支え、その全体の採掘量は年々増加の一途をたどった。1924 年にロンドンで初めて開催されたイギリス帝国鉱山・冶金学会議では、南アフリカ、オーストラリア、カナダといった自治領だけでなく、帝国の植民地や保護領からも代表が集い、資源情報だけでなく、各種技術について議論がなされた。この会議は、その後、第 2 回カナダ（1927 年）、第 3 回南アフリカ（1930 年）へと続いた。帝国各地において資源調査を実施した研究機関や、実際に鉱山開発を行った鉱山会社の人的なつながりについて理解してもらうのが本授業の目的である。
成績評価方法	授業内課題とレポートにより、総合的に評価
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	日本文化論I	矢田 勉	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文化財としての書跡・典籍・古文書					
授業の目標概要	有形文化財としての文字資料（書跡・典籍・古文書を中心とする）を取り上げ、そこから日本文化・日本文化史の特質について考究する。					
成績評価方法	期末レポートによるが、講義期間中に適宜課題を課し、それも評価に加味する。 期末レポートについては、めいめい博物館等で書に関わる文化財を観覧することなどが求められる。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	日本文化論II	常 瀟琳	国文・漢文学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	日本の思想と文化は、中国や西洋との思想的交流を経て独自の展開を遂げてきました。たとえば、江戸時代において、中国宋代の士大夫・読書人官僚の学問として成立した朱子学が日本で本格的に受容されましたが、科挙制度が存在せず、「家（イエ）」の構造も大きく異なる武士社会の日本においては、その思想をそのまま受け入れることは不可能でした。こうした違和感に向き合っていく中で近世日本思想は花開いたのであり、他者との遭遇や対話を契機として思想の変容が生じるという現象は、幕末から明治期にかけての日本における西洋文明の受容においても見られました。この授業では、近世・近代の日本思想史における重要な思想家を何人かを取り上げて、外来思想という異質の他者と出会った時、当時の人々が、目の前のどのような現実と向き合い、何を課題と考え、どのような思想を打ち出したのか、という点について考えます。					
授業の目標概要	1）江戸時代から明治時代の思想の概要を理解する。 2）儒学や西洋思想も視野に収めつつ、日本の思想と文化の背後にある社会構造や歴史的背景、さらに思想的継承のあり方について思索する。 3）自我と他者、伝統と近代といった諸問題について主体的に思考し、自らの視点を形成する。					
成績評価方法	期末筆記試験（60%、記述式） 平常点（40%、授業後のレスポンスペーパー、グループワークや輪読をおこなう場合は課題への取り組み状況・グループへの貢献度で評価する。）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A 1	日本語日本文学I（理科生）	谷口 洋	国文・漢文学	木 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	訓読文学としての『史記』					
授業の目標概要	『史記』は歴史書ということになっているが、それ以上に文学として広く親しまれてきた。また中国の司馬遷が書いたものであるにもかかわらず、訓読の技法によって、日本語で受容されてきた。現在でも、項羽本紀の「四面楚歌」の場面などが、国語の時間にごく当たり前に学ばれている。 高等学校における漢文の授業時間が減少の一途をたどる中、漢文で書かれたものを文学として味わうような機会はなかなか持てなかったのではなかろうか。限られた時間ではあるが、『史記』の中のまとまった話を読むことで、先人がしてきたような漢文学の受容を少しでも体験したい。 また、木版本のコピーや注釈を使って読むことにより、長い年月読み継がれてきた古典を読むことの現場に接し、現代語訳を読むだけではわからない古典の厚みを感じてもらいたい。 理科系の諸君が、こうしたものにふれることは当面ないかもしれない。以上のような経験を通じ、前期課程の間に自分の世界を広げることが、究極の目標である。					
成績評価方法	レポート（65%）を主とする。他に授業中に短い感想を書いてもらうことがあり、これを授業への参加状況として勘案する（35%）。 レポートでは、自ら『史記』と取り組んだものを評価する。教員の話をまとめただけのもの、事実や知識を調べただけのものは評価が低くなる。他人の説や生成 AI の出力に乗っかったものは論外。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50056	A	東洋古典学	宋 晗	国文・漢文学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古代日本漢文学概論
授業の目標概要	日本文学は、漢字漢文による書記を土台にして出発した。『古事記』『日本書紀』が漢文体で記されていること、『万葉集』に収録されている和歌が全て漢字で表記され、漢詩文も載録されていることは、端的な表れである。この授業では、日本文学の一部としての漢文に焦点を絞り、いわゆる日本古典文学が成立する古代における漢文学の展開を考えてみたい。そして日本古典文学と言うと、恋以外に題材はないとさえ言われることがあるが、それは仮名文に限った話である。なぜ仮名文は恋に偏重してしまったのか、という古代日本文学史の変遷を理解する上でも、実は漢文に目を向ける必要がある。日本文学に対する総合的理解を深めることもこの授業の目標に含まれている。
成績評価方法	平常点 4 割 期末レポート 6 割 初回ガイダンス時に詳しく説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50668	A	歴史社会論	浜 由樹子	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア（旧ソ連地域）の多重的政治・社会変動
授業の目標概要	目標：国際関係や地域の「今」を説明するためには、「今」を規定する一つ前の時代と、その時代を生きた人々の経験を理解する必要がある。本講義では、冷戦末期からポスト冷戦期、体制転換期から現在に至る旧ソ連地域（特にロシア）を考察対象とし、①通説やメディアに流れるステレオタイプを相対化できること、②立場による解釈の違いや文脈の複層性を把握し、説明できること、③国際理解や共生社会に必要不可欠な想像力を養うこと、を目指す。 概要：2022 年に始まったロシア・ウクライナ戦争は、両国に対する社会の関心を劇的に高めた。その反面、この戦争を生んだ原因や構造についての理解が深まったとはいいがたい。それを理解するには、遠回りに思われるかも知れないが、1990 年代の旧ソ連の変動を知る必要がある。社会主義から資本主義への体制転換とは、国家の消滅とは、冷戦の終焉とはどのような経験であったのか。幾重もの変化を人々がどう生き抜いてきたのか、それがどのように現在につながっているかを考察する。 また、関連する学説を通じて、解釈の相対化を試みる。比較対象として、冷戦期の「東側」であった中・東欧諸国にも言及しつつ進める。
成績評価方法	学期末試験（60%）と授業内課題（40%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	歴史社会論	田中 創	歴史学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ローマ法から読み解く家族と社会身分
授業の目標概要	本授業では、6 世紀の東ローマ帝国で編まれた、ユスティニアヌス『法学提要』の第 1 巻と、2 世紀に書かれたガイウス『法学提要』の第 1 巻とを読み解くことで、古代における家族のあり方の多様性や、社会身分・人の権利の歴史的変化を理解し、現代社会の諸課題を歴史的な視点から考察するための幅広い視野と論理的思考力を身につけることを目標とする。『法学提要』はローマ法を学び始める学生が最初に読むために作られた教科書であり、単に古代ローマ法の初等教育に使われただけでなく、中世以降のヨーロッパにおけるローマ法学習においても一定の地歩を築いた著作である。その構成は現在のフランス民法にも刻印を残している。ただし、本講義は法学、法概念を学ぶというよりも、歴史学の手法を用いて、現代にもつながるような法概念を生み出す素地となった古代社会の実態を考えることを主眼とする。
成績評価方法	事前予習に基づく平常点（20%）と期末試験（80%）で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	近現代史	外村 大	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本帝国の総力戦と朝鮮・朝鮮人
授業の目標概要	日本帝国がアジアの新秩序建設・アジア解放を掲げて行った総力戦では、朝鮮が兵站基地として位置づけられ、食料供給の重要任務も課された。さらに、日本帝国の軍人・軍属となった者、軍需生産にかかわる事業所で仕事をさせられた朝鮮人、あるいは、慰安所に連れられた朝鮮人女性もいる。こうした直接的な動員の対象外となった朝鮮人も、日本帝国への忠誠を誓い、日本人に同化し、国策に協力することが強いられた。 その実態は、日本の学校教育ではあまり詳しく教えられない。そもそも、80 年以上前に起きた出来事であり、現存する資料も少なく、語りにくい事実も多いことから、十分に史実が解明されているとは言い難い。そのため、不正確な情報が流され、この問題に真剣に向き合おうとする者の間でも、何がどこまでわかっているか自体が把握できていない様相を呈している。 そこで、できるだけ、同時代の史料を多く提示して、そこから何が読み取れるかを確認しつつ、日本帝国の総力戦のもとで朝鮮でどのようなことが起きていたのか、朝鮮人がそこで何を経験したのかを論じていく。 それを通じて歴史学の基礎的な手法を学ぶことも目指す。
成績評価方法	毎回の課題提出と期末レポートをもとに成績を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	近現代史	鰐淵 秀一	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アメリカを中心とする近現代環境史
授業の目標概要	本講義は、植民地時代から現代に至るアメリカ（北米／アメリカ合衆国）の歴史を通じて、近現代環境史の諸トピックを扱う。気候危機が世界全体の課題となっている今日、現在の状況がいかなる歴史的背景から生じているのかを理解するためには、人間と自然環境との関係を組み込んだ歴史像を構築することが必要である。北米における人間と自然の関係史を通して、それを世界史のマクロな展開に位置づけつつ、近現代史の理解における環境アプローチの重要性を認識することが目標となる。
成績評価方法	平常点と期末試験によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	歴史と文化	佐川 英治	歴史学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国古代史論
授業の目標概要	文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。
成績評価方法	授業の出席と最終回の筆記試験（持ち込み不可）による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	歴史と文化	桜井 英治	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	嗷訴の世界
授業の目標概要	嗷訴（強訴）とは、古代末から中世にかけて大寺社の僧侶や神職が、宗教的権威を背景に朝廷や幕府にたいしてとったひとつの訴訟形態をいう。院政期には白河上皇が天下三不如意のひとつとして延暦寺の嗷訴（山法師）を嘆いたことはよく知られているが、15 世紀になると下火になり、16 世紀にはほとんどおこなわれなくなる。嗷訴は神仏みずからがおこした訴訟（神訴）と理解されていたため、朝廷や幕府などの俗権力は、嗷訴がおこされたばあい、理非の判断をせず、無条件に寺社の要求を呑むのが暗黙のルールとされた。嗷訴がしばしば理を尽くさない訴訟という意味で「理不尽の訴訟」とよばれた所以である。とすれば、その縮小と消滅は、神仏の権威の低下、呪術性からの解放という大きな歴史的転換とも無関係ではなかったであろう。また嗷訴は、武力衝突をともない、死傷者も出す深刻な事件でありながら、他方では儀礼化し、嗷訴する宗教勢力側とそれを迎える俗権力側とが同一の台本に沿って演じるある種の演劇と化していた一面もある。この劇場性は、前近代社会において「政治」とは何かを考えるさいにも重要な観点となろう。本授業では嗷訴の発生から消滅までの歴史をたどりながら、その宗教的、法制史的、政治的意義等々を探っていきたい。
成績評価方法	期末試験を実施する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	歴史と文化	山口 輝臣	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本「宗教」史
授業の目標概要	日本人が宗教について考えるようになってすでに 150 年ほど経った･･･ いきなりこんなことを書くと、怪訝に思われるかもしれない。仏教伝来は 538 年か 552 年、キリスト教の伝来は 1549 年と歴史の教科書に載っていたし、神道に至ってはそれより以前からあるはず。そもそも宗教というものはずっと昔からあるし、どこにでもある。日本での歴史が 150 年やそこらということなどありえない、と。 しかし、しばし立ち止まって考えてみてほしい。その伝来したキリスト教や仏教は宗教と考えられていたのだろうか？間髪入れずに答えれば、否。聖徳太子は仏教を宗教とは考えていなかったし、高山右近や大友宗麟はキリスト教を宗教と考えていなかった。どうしてそんなことが言えるのか？ 宗教というコトバが、その当時の日本語にはなかったからである。 この授業では、そうした宗教というコトバが出現してきたところからはじまる日本「宗教」史を試みたい。 宗教という語の出現とともに生まれたのは、神社は宗教なのかとか、儒教はどうなのかなど、あるものが宗教かどうかを問われる「場」であった。具体的な「場」は、あるときには論壇であったり、法廷であったり、議会であったり、メディアであったりと様々であるが、現在に至るまでこうした「場」は常にどこかにあり、宗教とはなんであるかについての最前線を形成してきた。この授業では、19 世紀から現在に至る日本におけるそうした「場」を見ていくことで、日本「宗教」史を語ろうという試みである。よって、授業の目標は、日本近現代史における宗教とそうでないものとの関係の変遷を理解すること、そしてそれを通じて現在を歴史的視点から考察できるようになることとなる。
成績評価方法	平常点と期末試験とを 1 対 4 の割合で評価する。なお、受講生の数によっては期末試験を小論文に代えることもあり得る。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	世界史論	牧野 元紀	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	18 世紀末のイエズス会解散以後、近現代の東アジア・東南アジアの諸地域においてカトリック布教を主導したのはパリ外国宣教会である。日本も例外ではなく、幕末維新期に潜伏キリシタンを「発見」し、カトリックの再興に努めた。しかし、日本国内における同会の認知度は、前近代のイエズス会ほどには高くない。 本講義では、パリ外国宣教会の布教活動の実態を解明すべく、同会が布教対象とした東アジア・東南アジアの諸国家・諸地域ごとに比較考察を行う。外来宗教であるキリスト教（カトリック）に対して、国家と地域を超えて見られた「受容」あるいは「弾圧」という事象を通じ、各地域の政治・社会・文化の諸面における構造的特性を明らかにしていく。 本講義の具体的な到達目標は以下の 3 点である： 1．近現代東・東南アジア史の多元的理解： 各国史の枠組みにとどまらず、宣教会のネットワークという広域的な視座から、近現代アジアの変容を動的に捉え直す視点を修得する。 2．史料批判の基礎力の獲得： 宣教師側の言説（書簡・報告書等）と現地社会側の史料双方を複眼的に読み解き、そこに内包されるバイアスや政治的意図を主体的に批判検証する能力を身につける。 3．比較史的アプローチによる論述力の確立： 単なる歴史的事実の暗記ではなく、異なる地域における「受容と拒絶」のメカニズムを比較分析し、自らの歴史解釈を論理的かつ説得力のある文章で記述・論弁できるようになる。
成績評価方法	期末試験：60% （ただし、期末試験の得点が 6 割に満たない場合は、他の評価に関わらず一律で「不可」とします。試験は持ち込み不可の論述式を予定しています。） レポート課題：15% （史料批判と論理的構成力を問います。剽窃・生成 AI の不正利用には極めて厳しく対処し、発覚時は即「不可」とします。） 授業後のリアクションペーパー：15% （単なる出席確認ではなく、記述内容の学術的質を毎回 3 段階で厳格に査定します。不十分な記述は 0 点とします。） 授業への参加と関与の度合い：10% （ディスカッションへの能動的貢献度を評価します。私語や内職など受講態度の悪い者は、この項目を 0 点とするだけでなく、総点から大幅に減点します。）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	文化人類学I	関谷 雄一	文化人類学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文化人類学入門 （Introduction to Cultural Anthropology）
授業の目標概要	本講座は文化人類学に関心のある学生向けに、同学問の特色、史的経緯から現代の展開そして残されている課題や今後の可能性に至るまでを、基礎的な説明を中心に講義を行ってゆく。初学者向けの内容となるが、既に関心があり、自己学習をしている者にとってもコースワーク（毎回のリフレクションペーパー等）を通してさらに理解を深められるような工夫もしていきたい。
成績評価方法	授業への出席や議論への貢献度（25%）、リフレクションペーパーの内容（25%）そして期末試験（50%）を鑑み総合的に評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	文化人類学II	箭内 匡	文化人類学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	文化人類学の思考法ー映像／イメージを通して学ぶー
授業の目標概要	文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。
成績評価方法	・学期末試験を行う予定。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本国憲法
授業の目標概要	日本国憲法について，その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ，その概要について講義を行う。
成績評価方法	学期末試験によって評価を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 山元 一 基礎コース 憲法 新世社（今秋刊行予定）
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50913	A	ダイバーシティと法	中坂 恵美子	教養教育高度化機構	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	「ダイバーシティと法」は、「D&I 科目」の 1 つとして、法制度の視点から多様性や社会的公正を論じる科目として位置づけられるものであり、本年度は、難民や移民の課題について取り上げる。授業では、ときに歴史的な視点も含めて、移民や難民に関する国際法と日本の法制度、いくつかの国の移民について学ぶ。人の国境を越えた移動と国家主権の緊張関係や国際人権の可能性と限界を考察することによって、現代社会の課題の 1 つである多文化共生や排外主義を考えるための法的視角をもつことができるようになる。
成績評価方法	毎回の授業への参加（コメントペーパーの提出など）と定期試験による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50182	A	比較社会論	佐藤 成基	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国籍とネーション ー「国民」とは誰のことなのかー
授業の目標概要	グローバル化が進んでいる（近年は後退する兆しもあるが）とはいえ，現代世界が「国民国家」という政治単位から成り立っている事実に大きな変化はない。国民国家はその国籍制度を通じてその「国民」を定めている。我々が日常「○○人」と言う時，それは国籍によって規定された「国民」を指すことが多い。この授業では，この国籍が，歴史上どのように形成されてきたのか，それは政治や人々の生活とどのように関連し，どのような役割を果たしてきたのか，そして，今後国籍制度はどのようになっていくのか。国籍をめぐるこれらの諸問題を，この授業では比較歴史社会学の観点から考察していく。
成績評価方法	期末試験で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤成基 『国民とは誰のことか ドイツ近現代いおける国籍法の形成と展開』 花伝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50669	A	日本の政治	鹿毛 利枝子	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。
成績評価方法	初回授業時に提示する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50153	A	ジェンダー論【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会学的視点で考えるジェンダー問題
授業の目標概要	性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会学的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。
成績評価方法	定期試験によって評価する。評価の基準は、講義で学んだ基礎的な知識を習得しているかどうか（60%）、与えられたテーマについて根拠を示しながら説得的に論ずることができるかどうか（40%）の 2 つの観点から行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51324	A	現代と政治	五百籏頭 薫	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代と政治
授業の目標概要	政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、大学院法学政治学研究科・法学部／公共政策大学院の教員のうち 13 名が、1 人 1 コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。 政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2 年生も歓迎しますが 1 年生を念頭に置いて進めます。
成績評価方法	毎回の授業において出題するお題について学生が短い分量で回答するリアクションペーパーによって成績評価をします。各回の教員の判断により、授業終了後に UTOL 経由で、または授業中に紙に筆記して提出します（それぞれ「授業計画」の項における各回の末尾に①または②と記載）。 期末試験や期末レポート出題は、実施しません。 リアクションペーパーの「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」に照らして成績評価を行います。 「提出回数」とは、リアクションペーパーの内容を通じて授業に出席のうえ理解・考察をしたことを授業担当者が「確認できた」回数のことであり、これが 13 回あれば多くの学生は 65 点となります。 「回ごとの A 評価」は、毎回の講義担当者が、リアクション提出者数の 3 割程度の数の学生に付けます。学生には回ごとの評価は知らせません。 「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」を総合して、最終成績を決定します。90 点以上と 80 点以上については、それぞれ教養学部のルールで許容される範囲内で、なるべく多めとします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 授業資料がある場合は、オンラインまたは授業時に配布します。どちらの方法によるかは教員によります。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	性の政治 II	本山 央子	教養教育高度化機構	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フェミニスト国際政治経済学～グローバル資本主義の危機をフェミニスト視点から考える
授業の目標概要	グローバル資本主義の危機はさまざまな側面で顕著となっています。フェミニスト研究は、たんに市場経済におけるジェンダー不平等を問うだけにとどまらず、男女の自然で本質的な差異というジェンダー化された観念が、どのように労働力を差異化し、また市場経済の見えない「外部」を生み出しているのかを明らかにすることによって、資本主義のあり方そのものに根本的批判をくわえてきました。この講義では、資本主義に対する批判理論の系譜をたどりつつ、グローバル資本主義と国家システムの変容およびジェンダー関係の変容がどのように相互に関連してきたのかを見ていきます。そして暴力と排除を剥き出しにしつつある今日のグローバル資本主義に対してどのような抵抗が可能かについても議論したいと思います。
成績評価方法	各回レスポンスおよびレポート。ただし AI を用いたものは大幅な減点ないし失格となります。 また初回をのぞいて 3 回以上欠席の場合は単位は認められません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求
授業の目標概要	人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野に属します。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 皆さんの多くは大学受験のために世界史あるいは日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。また、受験のために歴史を勉強したことがない人でも授業を理解し、興味が持てるように努めます。
成績評価方法	期末試験 50% レポート 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51129	A	計量社会科学	石田 賢示	経済・統計	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会調査研究の考え方と実際
授業の目標概要	こんにち，さまざまな場で「データ」にもとづく議論，意思決定の重要性が認識されるようになっている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが，その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では，（1）「社会調査」がどのようなものか，（2）社会調査を実施するためには何をしなければ（しては）ならないか，（3）社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか，（4）得られたデータをどのように整理するか，（5）社会調査を実践する上での倫理的問題，などを取り上げる。以上の点について理解し，自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが，本授業の目的である。
成績評価方法	（1）第 2 回以降、毎回 UTOL 等で回答する課題の評価（30%） （2）一部の回における課題の提出内容の評価（30%） （3）学期末近くに実施するオンライン上でのテストの得点（40%） ※授業の進捗状況によって、（2）の内容を（3）と統合する場合がある。必要な説明は授業中におこなう。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50845	A	現代経済理論	中西 徹	経済・統計	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	グローバル化の光と影：貧困緩和と格差拡大をめぐって この授業は，現代経済理論を精緻に展開するのではなく，現代社会において経済理論がどのように変容し，どのように現実社会の問題に対応してきたのかを，発展途上国の開発問題を中心に考察することを目的としている。 グローバル化は，貧困緩和を実現する一方，国際的にも，また多くの国の国内においても，それまでの歴史では想定できなかったほどの格差拡大をもたらしたと論じられている。この授業では，第二次大戦後の発展途上国の開発を対象に，経済学の変容を追いつつ，この現象の原因と解決策について検討したい。
授業の目標概要	この授業では現代経済理論の初歩を用い，発展途上国における貧困，格差，あるいは構造的問題を考察します。理論的背景を身につけた上で，現実の課題に応用する方法を学びます。数学は可能な限り使わないようにします。
成績評価方法	期末試験による
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	経済政策を問い直す
授業の目標概要	経済政策が常に論争の的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実は逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。
成績評価方法	期末試験 90% 出欠 10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	教育・学校心理学
授業の目標概要	この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の実務経験に基づいて説明する。 授業担当者は、スクールカウンセラーや教育相談所相談員という教育領域の心理臨床家（心の専門家）としての実践経験が有る。 具体的には下記の内容を取り扱う。 1．教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2．教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教員による教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。
成績評価方法	学期中にレポートの提出を求める。レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 橋本和幸 相談・指導のための面接技法【第 2 版】 ムイスリ出版 978-4-89641-332-8
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	臨床心理学概論
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。 今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。
成績評価方法	期末試験を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 齋藤憲司・石垣琢麿・高野明 大学生のストレスマネジメント－自助の力と援助の力 有斐閣 978-4-641-17456-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	臨床心理学概論
授業の目標概要	近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。
成績評価方法	定期試験（期末試験）による。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51410	A	教育実践・政策学入門	村上 祐介、橋野 晶寛、河村 俊太郎、宮田 玲、影浦 峡、北村 友人、勝野 正章、髙橋 和子、李 正連、藤江 康彦、浅井 幸子、新藤 浩伸	教育学部	木 4	1 年 文科 理科

講義題目	教育実践・政策学入門
授業の目標概要	この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践･政策学コースの教員が各回を担当し、学校教育学、教育行政学、社会教育学・生涯学習論、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。
成績評価方法	出席および授業内提出課題によって総合的に評価する。なお、課題未提出が 4 回以上の場合、単位は認められない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51409	A	教育学のフロンティア	平石 晃樹、山名 淳、片山 勝茂、大塚 類、隠岐 さや香	教育学部	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	教育基礎科学で読み解く現代社会と教育
授業の目標概要	「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。 教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。 本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、倫理学、歴史学、人間学、臨床哲学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。
成績評価方法	各担当教員によるレポート試験と、授業での平常点を総合する形で評価する。レポート試験については、詳しくは授業時に説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	物質循環と環境化学
授業の目標概要	環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。
成績評価方法	定期試験で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	生態学	池田 啓、平尾 聡秀	生物	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生態学
授業の目標概要	生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで，自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。 生物の生活史や環境適応といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用，生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。
成績評価方法	期末試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50154	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地域開発と地域の動態
授業の目標概要	地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。
成績評価方法	成績はレポートによって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50282	A	気候変動と社会	江守 正多	学際科学科	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	気候変動と社会
授業の目標概要	本講義では、現代社会の最重要課題の一つである気候変動問題について、受講生が最新の研究知見を含めて俯瞰的に学び、自ら考える契機を得ることを目標とする。 地球の気候システムはさまざまな時間スケールで変動しており、それにかかわる海洋環境の変化や極端気象の発生などの自然現象は、生態系はもちろん農林水産業といった人間社会の営みに影響してきた。20 世紀後半以降、気候の温暖化が顕著となり、科学的な評価にもとづき、産業革命以降の文明社会が排出してきた温室効果ガスがその主な原因であることが明らかになっている。温暖化による社会への負の影響を最小限に抑えるため、2050 年までに二酸化炭素の正味排出をゼロにするカーボンニュートラルが国際的な流れとなってきた。 気候変動あるいは地球温暖化の問題は、もはや自然科学の枠を超えている。気候変動を理解し予測する理学的なアプローチ、気候変動の影響を明らかにする水文学・農学・水産学・生物学・医学等のアプローチ、カーボンニュートラルを実現する工学的なアプローチに加えて、将来の社会の在り方に依存する温室効果ガスの排出経路推定、気候正義に代表される社会の格差解消に対する公共政策、個人から組織、国家までのさまざまな階層でカーボンニュートラルを達成するための行動変容、制度構築など、人文社会科学的なアプローチを組み合わせたトランスフォーマティブサイエンスの実施が必要である。 そこで本講義では、変わりゆく気候のもとで持続可能な社会を実現するための分野横断的な自然科学・社会科学・人文学研究を俯瞰する。
成績評価方法	出席点および試験を予定している。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学 気候と社会連携研究機構 気候変動と社会：基礎から学ぶ地球温暖化問題 東京大学出版会 978-4-13-062732-0
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	社会生態学	田中 雅大	人文地理学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地理学からみる都市と社会
授業の目標概要	本講義では，都市をめぐる様々な社会的問題を地理学的視点で理解するための方法を学ぶことを目標とする．まず，都市を生態系のように捉える人間生態学を取り上げ，その歴史的展開と方法論的限界を検討する．その上で，その先に登場した都市社会地理学という分野について概説する．
成績評価方法	復習用の課題（40%）と期末レポート（60%） ※期末レポート未提出者は評価対象外とする ※課題を 1 度も提出せず，期末レポートのみ提出している場合は，可または不可とする（可になるには期末レポートで満点近く必要）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50057	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	産業立地と都市空間の変化
授業の目標概要	・この授業では、（1）産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、（2）産業立地政策の歴史的展開、（3）産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。
成績評価方法	毎回の授業後に実施する確認テストと、最終試験による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50670	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	水 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。
成績評価方法	レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、授業後に実施）、期末レポート（40%）の 3 つから総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	木 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義で゛は、出発点として「コミュニケーションの機能不全（うまくいかなくなった）」事態を想定し「と゛のような対応か゛ありうるのか」という問題を経由しつつ、最終的に「心」か゛何なのかということについて各自か゛なんらかの答えにたど゛り着くことを目指して、人の心の理解のために現在まで゛に蓄積されてきた心理学の知見をたど゛るという方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び゛働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」「社会性」「身体論」なと゛の視点を持ちなか゛ら、現在まで゛に蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学・臨床心理学の成り立ちにも触れる予定で゛ある。 解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニス゛ムの解説というよりは、機能的な側面からの解説か゛主で゛ある。 半期の講義か゛終わった後に、受講者か゛人間理解の各自の地平をそれそ゛れのやり方で゛拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点を用いたり、心理学の知見を援用してみたりといったことか゛で゛きるようになることか゛最終目標で゛ある。 心との付き合い方を考えなか゛ら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで゛、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。
成績評価方法	期末試験によって評価する（持ち込みは許可しない）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	情報認知科学	岡田 浩之	心理・教育学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	知覚・認知心理学
授業の目標概要	記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。 人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能（機械の知性）との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。
成績評価方法	学期末試験（100%）による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50058	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神経・生理心理学

授業の目標概要

＜目標＞
・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。
・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。
・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。
・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。
・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。
＜概要＞
本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。

成績評価方法　学期末試験により評価を行う。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ヒトの心と行動を進化から考える

授業の目標概要

【目標】
・一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得する。
・進化論について正しく理解し、それを人間行動の解釈に適用できるようになる。
【概要】
ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の影響を受けたものと考えることが可能である。本講義では、そのような視点から、ヒトと他の動物の心の連続性を前提に、ヒトの心理や行動を理解する学問である進化心理学について紹介する。前半で進化とは何か、進化と心がどのように関連しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念について説明する。次に、ヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを産んだ系統である霊長類の特徴と人類の進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。

成績評価方法　以下の通り予定している。
授業への参加 15%
期末試験 85%

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
長谷川寿一・長谷川真理子・大槻久・齋藤慈子・香田啓貴
進化と人間行動 第 3 版
東京大学出版会
978-4-13-062237-0

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	社会行動論	藤島 喜嗣	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会・集団・家族心理学
授業の目標概要	この科目では、社会行動を導く諸要因に関して、社会心理学の視点に基づく研究知見を概説する。社会心理学とは、 他者存在が人々の思考、感情、行動に与える影響についての科学である。社会心理学は、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を検討すると同時に、心が社会環境に関わる情報を適応的に処理していると考え、この情報処理過程について検討している。この授業では、社会環境が人の態度及び行動に影響する過程とその情報処理過程について古典的な理論、基礎的な内容を中心に概説する。社会環境の影響過程については、二者間の対人関係だけでなく、複数メンバーからなる家族、集団および文化が個人に及ぼす影響まで視野に入れて概説する。 社会心理学をはじめとして、心理学は科学的実証アプローチを重視した学問である。そのため、授業では適宜、実験や調査データについて言及する。これらの研究手法についての理解も同時に深めることを目的とする。
成績評価方法	平常点（リアクションペーパー、小レポートなど）30 点、期末試験によって 70 点とする。リアクションペーパーは各回 2 点相当とする。100 点満点中 60 点以上を収めないと単位取得できないので注意をしてほしい。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

スポーツ・身体運動実習	開講区分	A

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。
2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画
"第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する）
第 2 回から第 13 回 選択した種目での対面授業
天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9 号館前の掲示板や UTOL のお知らせをよく確認すること。
以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。
"

授業の方法
第 1 回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。
基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。
ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3 回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。

成績評価方法
出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

履修上の注意
実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。
種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
同一セメスターに 2 コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は 1 コマ目の登録者が優先的に履修できる。また、2 年生は 1 年生よりも優先的に履修できる。
同一セメスターに 3 コマ以上登録することは認めない。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス
盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。

関連ホームページ
https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
51284	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
51285	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
51286	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
51287	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	"第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する） 月 3、火 2、水 2、金 2 のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第 2 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業） "
授業の方法	各自の状況に応じて、処方された運動やリハビリテーションを行う。 身体運動・健康科学について学び、議論する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
履修上の注意	健康診断等で保健センターから指示された者や本人の申し出があって担当教員が認めた者だけが受講できる。またセメスターの途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元々選択していた種目に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50010	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50491	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50183	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50213	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51132	A	スポーツ・身体運動実習II	吉岡 伸輔、小谷 鷹哉、筒井 和詩、竹井 尚也、田名辺 陽子	スポーツ・身体運動	集中	1 年 文科 理科

講義題目	スキー・スノーボード実習
授業の目標概要	スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、生涯スポーツとしての知識・技能の獲得を目指す。 実習のための交通、宿泊、傷害保険、リフト代等の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。 受講要件もあるため、受講を検討する者は下記リンク先の「オンラインガイダンスおよび受講要件」を必ず読むこと。詳細は 10/9 開催のオンラインガイダンスで説明する。 https://docs.google.com/document/d/18Xx7nzGvvOakI3VFerWOBZ8ee4xjj4mv/edit?usp=sharing&ouid=117436257426015575532&rtpof=true&sd=true 1 年生のみ履修可能。 募集定員（予定）：スキー28 名、スノーボード 15 名 （希望者多数の場合は抽選、 スキーはスキーの未経験者～中級者（目安：生涯滑走日数 30 日程度）を、 スノーボードはスノーボードの経験 1 日以上～初級者を優先） 実習日程：2/9(火)~2/12(金) ※A セメスター第 2 週目にオンラインガイダンスを開催する。 内容：授業概要、費用、受講手続き等について 日時：10/9(金) ①12：30～12：50 ②18:40～19:00 （①と②は同内容。いずれか一方に参加すること）
成績評価方法	実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・身体運動	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	身体運動科学
授業の目標概要	授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。
成績評価方法	出席状況。小テスト、レポートを総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中澤公孝 パラリンピックブレイン 東大出版
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	身体生命科学	高橋 祐美子	スポーツ・身体運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	食事や運動で(あるいは運動をやらないことで)起こる身体の変化
授業の目標概要	日頃の生活の中で、身体は食事や運動などの刺激に対して様々な応答をしています。応答の積み重ねが適応となって、皆さんの健康を決める因子となります。この授業では、運動や食事が身体の中で起こす応答や適応について、生命科学的な知見を中心に概説します。 授業内容は鵜呑みにするのではなく、皆さん自身で考えて取捨選択してください。本授業で得た知識、あるいは考えたことを、自身および身近な人の健康に役立ててられるようにしてください。 この授業は生物選択でなくてもついていける内容にする予定です。高度に専門的な内容は扱わないつもりです。本授業で沸いた興味を深めたい場合は、ご自身で勉強するか、進学選択で教養学部統合自然科学科のスポーツ科学コースをぜひ選んでください。
成績評価方法	平常点（授業内での簡易レポートを含む）を 35%、中間・期末レポートを 65%として評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50671	A	情報メディア伝達論	酒井 麻千子	情報メディア委員会	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「イメージ」の/を取り巻く技術の発展と法の対応
授業の目標概要	デジタル化の進展やインターネットの普及によって、絵画、イラスト、写真といった「イメージ」の制作・流通・消費は身近で日常的なものとなった一方、著作権・肖像権侵害等をはじめとするトラブルも頻繁に生じている。さらに近年の画像生成 AI の発展により、新たな法的問題も提示されている。この講義では、「イメージ」と法をめぐり生じた・現在進行形で生じている様々な問題について、関連する法律等の基礎的な知識を獲得し、履修者自身の研究分野・興味関心とも紐付けながら、多角的に検討する能力を培うことを目標とする。 法学を専門としない履修者も、興味のある問題についてアンテナを張り、考えるきっかけを作る一助として授業を活用できるように、身近な事例や、話題となった事例を積極的に取り上げて授業を進める予定である。
成績評価方法	①授業への出席・各回終了後の課題（コメントシート）の提出・ディスカッションへの参加：50% ②最終レポートの提出：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	情報メディア表現論	佐藤 宏樹	情報メディア委員会	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	医薬品ライフタイムマネジメント：医薬品情報から考える情報の評価・伝達・意思決定
授業の目標概要	創薬を経てこの世に生を受けた（開発・上市された）医薬品は、市販後に適正に使用され、その有効性や安全性に関する情報が蓄積されることによって、その力を十分に発揮することができる。このように、医薬品をその誕生から使用、評価、改善まで一連の「ライフタイム」として捉え、より適切に活用していく考え方を医薬品ライフタイムマネジメントという。医薬品を安心・安全に使用するためには、薬そのものだけでなく、それに関する「情報」が重要である。医薬品に関する情報は、研究者、企業、行政、医療者、患者、メディアなど様々な立場から発信され、伝えられ、受け取られる。その過程では、同じ情報であっても、立場や伝え方、受け取り方によって評価や理解が異なることがある。また、私たちが接する情報は、必ずしも完全あるいは中立なものとは限らない。 本講義では、医薬品ライフタイムマネジメントの中で生じる様々な問題を「情報」という観点から捉え、医薬品情報がどのように作られ、評価され、伝えられ、理解され、意思決定や行動につながるのかを考える。医療者と患者とのコミュニケーションに加え、デジタルメディアや新しい情報技術など、現代の情報環境についても取り上げる。 医学・薬学に関する専門的知識の習得そのものを目的とする授業ではない。医薬品という身近で社会的にも重要な題材を通して、履修者が情報を鵜呑みにせず、根拠や背景を確認し、異なる立場や考え方を踏まえながら、自ら考え、判断する力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	授業への参加および各回終了後の課題（コメントシート等）：50% 期末レポート：50%
教科書	その他。／Other 授業スライドを配布する
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	科学技術基礎論II	渡部 麻衣子	哲学・科学史	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	科学と社会的公正-ジェンダー科学論を起点として
授業の目標概要	この授業では、科学と社会的公正性の関係を、ジェンダーを起点として理解することを目指します。 社会的公正とは、人が属性に関わらず公正に機会を得られる社会的状況を指す概念です。社会的公正の観点が、科学のあり方を理解する上で重要であることを、はじめに論じたのは、ジェンダー科学論と呼ばれる領域の論者たちでした。彼女（／彼）らは、科学から女性が制度的に排除されてきたことをまず指摘しました。同時に、その視座は、科学が男性優位なだけでなく、西洋中心主義的な営みであることにも光を当てました。つまり科学は、不公正な社会的状況を、制度的に反映した営みであることを明らかにしたのです。そしてさらに、そのような科学の制度的偏りが科学の成果に影響してきたことも明らかにしました。 科学が不公正な社会的状況によってどのように歪められるのか理解し、どのようにこれを是正し得るかを考えることは、科学の成果に依って立つ社会を持続可能なものとしていくために不可欠です。 そこで、この授業では、ジェンダー科学論の議論を参照しながら、科学と社会的公正性がどのように関係しており、今後どうすれば科学を社会的公正に寄与する営みとし得るのかを考えていきたいと思います。
成績評価方法	授業参加：45% 最終レポート：60% テーマ「より公正な科学のための提案」 授業内容を踏まえた独創的提案を期待します。文字数も含めた詳細は第十回に授業内でお伝えする予定です。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	科学技術社会論	寿楽 浩太	情報・図形	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	科学技術社会論入門
授業の目標概要	【授業の目標】 科学技術社会論（STS: Science and Technology Studies）の学術的な基礎を理解する。 STS の視座や知見を科学技術と社会のあいだで生じる現実の諸課題に適用できるようになる。 科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係について、批判的思考（物事を当たり前とばかり見なさず、健全な懐疑の姿勢をとり続けること）を身につける。 【授業の概要】 科学技術は現代社会を支える基盤であり、その発展の原動力であり、しかし多くの社会的問題・争点の焦点ともなっている。科学技術を社会から切り離され、それとは全く独立に存在するものとはみなさずに、社会と相互作用し、あるいは社会のなかで展開される人間の活動として捉え、そこで生じるさまざまな課題に取り組む手がかりを見つけようとするのが科学 技術社会論（STS: Social Studies of Science）と呼ばれる分野である。 STS は、様々な人文・社会科学の知見や方法を縦横に活用しながら、自然科学を単なる観察や分析の対象とばかりはみなさずに、積極的に関与したり協働したりすることもいとわない。あるいは、従来は学術的な活動の枠外と見なされがちだった、科学者・技術者・研究者以外の人びと（典型的には、さまざまな生業を持ち、公共的活動にも関与する市民）の役割を重視し、その力を引き出すことにも積極的だ。STS のこれまでの取り組みとその成果は、すでに現実の科学技術と社会の関係の変容を促してきたし、STS 研究者は今日この瞬間もそこで生じるさまざまな問題に最前線で取り組んでいる。 本科目では、そうした STS のものの見方やそこから得られる含意、現実の諸課題への対処の手がかりを初学者向けに概説し、履修者が科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係についての批判的思考を身につけることを促す。
成績評価方法	学期中、何度か小レポートを課し、平常点を評価する（最終評価の 35%分）。学期末に期末レポートを課す（最終評価の 65%分）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51367	A	現代工学概論	川中 孝章、飯田 史也、峯松 信明、内田 建、 片山 浩之、船瀬 龍、野崎 京子	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	工学概論
授業の目標概要	工学とは､科学技術を用いて経済的･社会的価値を生み出すための学問である｡対象は宇宙､地球､地域､都市､社会､産業､製品､生活から生命､分子､原子まで､多岐にわたる｡生み出される価値も､地球環境の保全､経済発展､利便性､快適性､安全安心から心の豊かさまで､幅広い｡一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。 本講義では､現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ 2 回ずつ講義を行い､初回は専任教員による学術面からの講義、2 回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全 13 回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに､工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。
成績評価方法	・6 つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと、出席により総合的に評価する。 ・ただし、レポート提出 3 回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しないので、注意すること。 ・レポートの締め切り：各サブテーマの 2 回目講義の 1 週間後。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51360	A	現代工学基礎I	石井 秀明、堀崎 遼一、中井 智也	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	物理情報システム工学 ーあらゆる工学を計測・制御・認識で斬るー
授業の目標概要	物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際， 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析， 2) 計測による物理現象の本質の情報化， 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識と実世界の理解， が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する． 1)「コンピュテーショナルイメージング」 カメラやディスプレイに代表される光学システムでは，光学系と信号処理系が独立に設計されることが多く，システム全体としての革新の余地は，なお多く残さ れている．近年の情報科学技術の急速な進歩を背景に誕生した「コンピュテー ショナルイメージング」は，光学系と信号処理系を相互に補完させることで，光学システムの高機能化や小型化を実現する技術として注目を集めている．本講義では，光コンピューティングを含むコンピュテーショナルイメージング技術を紹介するとともに，フーリエ変換を含む信号処理や逆問題の観点から，その原理と設計手法について議論する． 2) 「マルチエージェント系の分散協調制御」 サイバーフィジカルシステム（CPS）では，物理世界のシステムと情報・通信技術が連携し，多数の機器やエージェントが通信ネットワークを介して協調動作することが求められる．本講義では，その基盤となるマルチエージェント系の分散協調制御に関して，制御工学に基づく数理的なアプローチを概説する．とくにエージェント系の基本的な考え方，モデリング，分散アルゴリズムの解析や制御系設計について紹介する．さらに，群移動ロボット，電力システム，脳神経・社会ネットワーク，サイバーセキュリティなどへの応用についても解説する． 3)「ヒト脳システムへの計算論的アプローチ」 ヒトの脳は，外界からの入力を内部状態へと変換し，行動や判断として出力する複雑な情報処理システムである．本講義では，fMRI などの非侵襲的脳機能イメージングデータを用いて，脳システムを解析する計算論的手法を概説する．脳活動から入力情報を読み解くデコーディング，刺激特徴量から脳活動を予測するエンコーディング，脳表象構造を比較する表現類似性解析，さらに脳活動の時間発展や状態遷移をシステムとして扱う近年の研究についても紹介する．また，これらの手法が，ブレインマシンインターフェイスや脳情報の解読・制御へどのように応用されうるかについても議論する．
成績評価方法	レポート課題 3 つで評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51359	A	現代工学基礎II	関 真一郎、高三 和晃 、香取 秀俊、塚崎 敦	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	物理をエンジニアリング
授業の目標概要	物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展してきました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を紹介するところから初めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の４つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 １、未来材料 ー サステイナブルな社会へ ２、量子技術 ー 量子をつくる、はかる、つかう ３、光の物理学 ー 光と原子の物理学：レーザーで原子を冷やす ４、理論物理学の挑戦 ー 基礎方程式の力
成績評価方法	成績評価は出席とレポートで行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60220	A 2	現代工学基礎II	梅田 靖、三竹 祐矢、太田 順、原 辰徳	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	デザイン思考によるイノベーション入門
授業の目標概要	イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2022 年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」、2023 年度は「学生生活のモチベーション維持」であった。2024 年度は「スマホ依存対策とモチベーション向上を支援する製品/サービス を考える」、2025 年度は「『「AI に代替されない自分』を作る/高めるための製品/サービス」であった。今年は何が出てくるか？
成績評価方法	出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51370	A	社会システム工学基礎II	羽藤 英二、井料 隆雅、柴崎 隆一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	人間社会と交通システム
授業の目標概要	交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。
成績評価方法	1)課題内容：各講義で出されるレポート課題に対して、全 13 回から 2 課題を選んで提出してください。(各 50 点) 2)提出方法：1/27 24:00 までに UTOL 上で教員ごとに作成されたフォルダに提出。採点期限が近いので少しでも遅れたものは受け付けない。 3)レポートの体裁：表紙は不要。1 課題ずつ別ファイルとして提出のこと。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。ワードまたは pdf ファイルのみ受け付ける。自分のレポートが正しくアップロードされたことをよく確認すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51371	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹、中島 直人	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	TOKYO: 東京の都市計画
授業の目標概要	さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。
成績評価方法	出席点およびレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51356	A	総合工学基礎II	寺本 進	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学—
授業の目標概要	"重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。
成績評価方法	出席および期末レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51366	A	総合工学基礎II	石川 顕一、高田 孝、藤井 康正	工学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	原子力概論
授業の目標概要	原子力技術の誕生と発展は、X 線や放射能、核分裂の発見、相対性理論や量子力学といった、ノーベル賞級の発見や研究と歩みを共にしてきました。原子力発電や核融合のように原子核エネルギーの解放を平和利用する技術はもちろん、放射線やレーザーをものづくり、医療、生命分野へ応用するなど、原子力は現代社会を支えています。 本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを応用した技術の代表例である原子力、核融合、放射線医療について解説します。 人工知能（AI）の拡大で増え続ける電力需要と脱炭素の両立、2050 年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、原子力・核融合技術が世界的に注目され投資が加速しています。 さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。
成績評価方法	出席状況およびレポートにより評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51357	A	生体医工学基礎II	小谷 潔、高木 周、小林 英津子、小穴 英廣	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－
授業の目標概要	周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します．生物を学んだことのない学生も，また文系理系を問わず，学びにつなげていただければ幸いです．
成績評価方法	レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51372	A	生体医工学基礎II	西川 昌輝、太田 誠一、杉原 加織、稲垣 奈都子、伊藤 大知、酒井 康行	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	次世代社会の化学と工学 A –医療と材料–
授業の目標概要	本科目では、人間社会が直面している課題（医療、材料など）に対する本質的な解決策を見出すために必要な、「化学」「工学」そして「システム」の方法論を講義します。特に、最も「ミクロ」な化学の視点から現実の「マクロ」な問題へと結びつける方法論を中心に学んでもらいます。 各分野で最先端の研究を行っている工学部化学システム工学科の教員が、2 回ずつオムニバス形式で講義を行います。
成績評価方法	毎回の講義の出席および期末レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51368	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮、藤田 壮、馬場 旬平	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering
授業の目標概要	本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること
成績評価方法	レポート（3 パートからそれぞれ 1 課題ずつ、各 A4 で 2 から 3 枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第 1 回目の講義でのオリエンテーションで説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51364	A	環境・エネルギー工学基礎II	松島 潤、高谷 雄太郎、辻 健	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	エネルギー資源論
授業の目標概要	本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。 エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。
成績評価方法	出席状況とレポートにて成績評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51365	A	環境・エネルギー工学基礎II	多部田 茂、今野 義浩、小平 翼、和田 良太、横田 裕輔、鈴木 克幸、佐藤 徹、早稲田 卓爾、林 昌奎、平林 紳一郎、巻 俊宏	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～
授業の目標概要	人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の 7 割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。
成績評価方法	授業への参加状況 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51453	A	看護学概論II	山本 則子、麦田 裕子、松本 博成、米澤 かおり、沼田 華子、浅岡 紘季、友滝 愛、國光真生、池田 真理、野口 麻衣子	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	看護学概論II－社会で活躍する看護プロフェッショナル－
授業の目標概要	高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。
成績評価方法	出席および毎回のレポート得点で評価を行う。出席した回のレポートのみを受け付ける。 最終レポートはない。出席回数およびレポート提出回数が全授業回のうち 2/3 以下の場合（全 13 回の場合、8 回以下の場合）は、単位取得できない。15 分以上の遅刻は原則として出席と認めないので注意すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51395	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ
授業の目標概要	2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。
成績評価方法	試験および課題等により総合評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60235	A 2	農業と環境	戸石 七生	農学部	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	人口爆発と食糧需要の増加、農業を取り巻く環境と資源、穀物市場におけるエネルギー需要と食糧需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業はかつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、1）世界の農業システムはいかなる座標軸（気候風土・生産方法・営農形態）の上で多様化してきたか、2）そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、3）食料供給網（フードサプライチェーン）の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味や途上国農業の発展方向について考えてみたい。
成績評価方法	・小レポート（毎回実施）と授業への参加姿勢により、総合的に評価する。期末試験は行わない。原則として、小レポートの提出回数が半分に達しない場合には、単位は与えない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51408	A	教育心理学の世界	岡田 謙介、清河 幸子、一柳 智紀、 大瀧 玲子、藤村 宣之、針生 悦子、滝沢 龍、 遠藤 利彦、植阪 友理、宇佐美 慧	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	教育心理学の世界
授業の目標概要	教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。
成績評価方法	最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 E（物質・生命）

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．
また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
  ・単振動
  ・減衰振動
  ・強制振動，共鳴，Q 値
  ＊パラメーター励振
  ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
  ・2 自由度系
  ・基準振動，うなり
  ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
  ・弦，弾性体，気柱
  ・縦波と横波
  ・波動方程式
  ・反射と透過
  ＊波のエネルギー
  ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
  ・考え方，基本事項，線形性
  ・波束
  ・位相速度と群速度
  ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
  ＊波動方程式
  ＊平面波
  ＊球面波
  ＊水の表面波
  ＊反射と屈折
  ＊干渉，回折

成績評価方法　主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50184	月 5	鈴木 康夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50284	火 2	加藤 雄介	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50871	木 5	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50958	金 2	山口 哲生	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	宇宙科学II（理科生）	服部 公平	宇宙地球	月 1	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	現代銀河天文学入門：天の川銀河から銀河の形成・進化へ
授業の目標概要	銀河とは、恒星、星間ガス、ダークマター（暗黒物質）、ブラックホールなどから構成され、重力のもとで時間とともに進化する巨大な集合体である。本講義では、私たちが住む天の川銀河を出発点として、銀河の構造、運動、形成および進化について、観測と理論の両面から学ぶ。はじめに、銀河を観測するための測光、分光などの基本的手法を概説する。続いて、天の川銀河を構成する円盤、バルジ、棒状構造、恒星ハロー、星間物質、ダークマターハローについて学び、恒星の軌道や銀河の回転から質量分布を推定する考え方を理解する。特に、Gaia 衛星によって得られた恒星の位置、距離、運動の大規模データを例として、銀河円盤の力学、恒星ストリーム、過去の銀河合体、銀河考古学など、現在進展している研究を紹介する。 さらに、天の川銀河以外の銀河（系外銀河）の形態、星形成、化学進化、銀河同士の相互作用、活動銀河核を取り上げ、天の川銀河と系外銀河の研究を宇宙の歴史の文脈で結びつける。
成績評価方法	中間レポート課題および最終試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	宇宙科学I（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics
授業の目標概要	宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。
成績評価方法	期末試験 + 希望者による発表(もしくは中間レポート)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計物理学
授業の目標概要	多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例を通じて、ミクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する．特に、相転移の統計力学では、ミクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。
成績評価方法	定期試験と数回のレポートによる総合評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	進化学
授業の目標概要	[授業概要] 生物学には、生物を物質として還元的に解析する分野と、生物間あるいは生物と環境の関係性に注目する分野が知られています。進化学は主に後者を担う学問とされ、本講義では進化的側面から見た生物の様々な疑問に取り組みます。具体的には、生物多様性はどのように生まれてきたのか、協力はどのようにして進化しうるのか、なぜ性や性差が存在するのか、生物の形質は本当に適応的な観点だけで説明しうるのかなど、進化学の幅広いトピックを扱います。 [授業の進め方と特徴] 進化学の基礎とされる「進化機構の解明」と「進化史の推定」という 2 つの柱を軸に、系統学・生態学・行動学・集団遺伝学・分子進化学・ゲーム理論など、関連分野の知見や手法を紹介しながら講義を進めます。各項目には独立性を持たせ、途中からの参加でも理解できる構成とします。また、具体的な生物の例を多数取り上げつつ、進化学の面白さと奥深さに触れていきます。 [授業方針] 本授業では以下の方針を重視します： 1. 過去の授業で特に学生の皆様の関心が高かった話題から講義を始め、後半ではそれらを俯瞰的に捉え直し、進化学の総合的な見方を紹介します。 2. 授業内で取り上げる研究や用語について、教科書・論文・辞典などの出典を明示し、授業後にも参考にできるよう配慮します。 3. 高校で生物を履修していない方々への配慮のため、早い段階で最低限の分子生物学の資料と解説を提供します。 4. 国際的な紛争や HIV や COVID-19 感染の流行など、現代社会の問題を進化学の視点から捉える試みも行います。 5. 学術論文を紹介することで、教科書的には解決済みとされる現象にも、未解明の謎が多く存在することを説明し、将来的に生物学の研究に進む学生にとっての道しるべとなることを目指します。 [到達目標] この授業を通じて、遺伝子・個体・集団といった異なるレベルから生物を進化の視点で考える面白さを実感してもらうとともに、将来にわたって進化学的思考を活かせる基盤を築いてもらうことを目指します。「面白い・わかる・未来につながる・あたたかい」授業を心がけて進めます。
成績評価方法	履修の手引きに従います。期末試験を実施する予定です。成績評価はリアクションペーパー、宿題、試験の提出状況や点数、出席状況を総合的に考慮します。また、授業への積極的な取り組みの姿勢も重視します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	生物物理学	若本 祐一、市橋 伯一、澤井 哲、 矢島 潤一郎	統合自然科学科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生物物理学 ー実験から理論までー いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきている。生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。
授業の目標概要	生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。
成績評価方法	平常点及び小テスト 各教員が出すレポート課題 詳細は各教員の指示による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	量子論	高木 隆司	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	量子力学入門					
授業の目標概要	量子力学は古典力学が破綻するミクロスケールの物理を記述する枠組みで、素粒子物理、物性物理、量子情報科学を含む多くの学問分野の基礎となっている。本講義では、量子論を初めて本格的に学ぼうとする方を対象に、量子力学の基本的な枠組みを議論し、今後の発展的な学習・研究の下地を作ることを目指す。必要な数学は適宜補いつつ進める予定。					
成績評価方法	レポートによる。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	物理科学II（文科生）	鳥井 寿夫	物理	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	実験して学ぶ物理科学					
授業の目標概要	物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われている。このような誤解を解消したい。 この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験し、体感することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室（KOMCEE East 地下 1 階）で実施する。					
成績評価方法	毎回の授業後に提出されたレポート課題に基づいて成績を評価する。期末試験は行わない。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目	化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics					
授業の目標概要	化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。特に化学ポテンシャルについて、深い理解を得ることを目指す。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を、いくつかの反応メカニズムの例を通して解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。					
成績評価方法	定期試験。必要に応じて演習（クイズ）や出席状況を勘案する。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A 1	現代生命科学I（文科生、理一生）	坪井 貴司	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目	人体の不思議をめぐる旅					
授業の目標概要	生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、 精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。					
成績評価方法	期末テスト（対面試験）によって評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 坪井貴司 そうだったのか！ヒトの生物学 丸善出版 9784621304518					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	解析力学	菊川 芳夫	物理	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　解析力学

授業の目標概要　解析力学の基本を学ぶ。
解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。

1．Newton 力学の復習
 1－1．運動の法則
 1－2．運動量と角運動量
 1－3．仕事とエネルギー
 1－4．拘束力
2．Lagrangian と一般化座標
 2－1．仮想仕事の原理
 2－2．D'Alembert の原理
 2－3．一般化座標
 2－4．Hamilton の原理
 2－5．Lagrange の未定乗数法
 2－6．簡単な応用
3．対称性と保存則
 3－1．cyclic 座標
 3－2．力学的エネルギー保存
 3－3．連続対称性
4．Hamiltonian と位相空間
 4－1．Hamiltonian
 4－2．変分原理からの導出
 4－3．位相空間
 4－4．cyclic 座標
5．正準変換と括弧式
 5－1．正準変換
 5－2．正準変換の母関数
 5－3．いくつかの例
 5－4．積分不変量
 5－5．括弧式
6．重要な正準変換
 6－1．Hamilton-Jacobi 方程式
 6－2．作用変数と角変数
7．古典力学から量子力学へ
 7－1．前期量子論
 7－2．量子力学と解析力学の概念の対応

成績評価方法　主に定期試験による。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	惑星地球科学II(理科生)	黒川 宏之	宇宙地球	木 1	1年 理科 2年 理科

講義題目　地球惑星科学II：惑星地球の起源と進化／Earth and Planetary Science II: the Origin and Evolution of Planet Earth

授業の目標概要　惑星地球科学I・IIを通じて，我々が暮らす惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する．惑星地球科学IIでは，地球の大気圏・水圏・固体圏・生命圏の進化とその起源について解説する．地球をその他の惑星と比較しながら理解するため，太陽系や太陽系外の惑星についても紹介する．／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Earth and Planetary Science II focuses on the evolution of Earth's atmosphere, hydrosphere, lithosphere, and biosphere, as well as the origin of Earth. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.

成績評価方法　毎週の小課題レポートと期末試験によって評価する．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	惑星地球科学I(理科生)	小久保 英一郎	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)
授業の目標概要	太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。
成績評価方法	課題レポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎
授業の目標概要	相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、 アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。
成績評価方法	期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 風間洋一 相対性理論入門講義 培風館 ISBN978-4-563-02321-8 C3342
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	化学平衡と反応速度	永田 利明	化学	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	化学平衡と反応速度
授業の目標概要	化学反応を定量的に理解するには、熱力学に基づく化学平衡についての考察と、熱力学が対象とする平衡状態に至る以前の変化を扱う反応速度論が重要である。本講義ではまず熱力学の基礎知識を踏まえて、ある化学反応が進行するか否か、十分な時間が経過した後にどのような平衡状態になるかといった化学平衡の理論を理解する。その後、平衡でない系の変化に関して速度論の考え方を導入し、反応速度、反応次数、反応機構といった概念を学ぶ。化学平衡や反応速度の理論が実際の化学変化でどのように働くか、具体例を交えて理解していく。
成績評価方法	期末試験を重視し、授業の出席や授業内で行う演習の状況を加味する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス
授業の目標概要	身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。
成績評価方法	各回での復習問題の解答を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	宇宙科学I（理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。/ Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.
成績評価方法	中間レポートおよび期末試験。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	惑星地球科学II（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	地球惑星科学概論 II／ Introduction to Earth and Planetary Sciences 2
授業の目標概要	地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）
成績評価方法	レポートにする。 出席をとり、成績に反映させる。 出席は授業中に UTOL を用いて行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51362	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘、齊藤 英治、鈴木 勉、 高井 まどか、柴田 直哉、川原 圭博、 酒井 雄也	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物質・生命工学概論
授業の目標概要	本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。
成績評価方法	出席およびレポート。 第 2 回～第 13 回の講義に関連して出題される課題（全 6 課題）のうち，3 つを選択してレポートを提出。 最終提出期限は 2027 年 1 月 29 日（金）の予定ですが、詳細は第一回ガイダンスおよび UTOL にて告知しますので、ガイダンスでの情報を必ず確認してください。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51363	A	物質・生命工学基礎II	長汐 晃輔	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門
授業の目標概要	「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．高校物理で出てきた電子の質量は，真空中に存在する“自由な“電子の質量である．この講義では，高校までの講義内容をもとに，学部 1 年生から理解できるように構成している．”固体中の“電子は，真空中とは異なる質量をもち，動き回っていることを学ぶ．さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し，どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する．この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います． （履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載，参考にしてください） 以下の項目を具体的な題材として議論したい． 光ファイバー，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，半導体レーザ，高速トランジスタ等
成績評価方法	できる限り毎回の簡単なレポート(6 割)＋最終レポート(4 割)での評価 （出席は取りますが，あまりにレポートの出来が悪いときに救済措置用に参考にする程度です）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51382	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫、池田 昌之、宇野 正起、 遠藤 一佳	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth
授業の目標概要	本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源や持続可能な社会の実現などの地球惑星科学の基礎知識や最先端のトピックスを専門が異なる 4 人の講師で解説する。
成績評価方法	出席，レポート，テスト
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51384	A	分子生命科学	竹内 春樹、反町 典子、上村 想太郎、眞田 佳門、濡木 理、塩見 美喜子	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	分子から見た生命現象
授業の目標概要	生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 6 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。
成績評価方法	毎回の授業の最後に実施する小テストにて評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子） 細胞の分子生物学（第 6 版） ニュートンプレス 4315520624
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51396	A	微生物の科学	大西 康夫、原 啓文、加藤 創一郎、丸山 潤一、妹尾 啓史、西山 真、野田 陽一、伏信 進矢、山次 康幸、五十嵐 圭日子、野尻 秀昭、古園 さおり	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	微生物の世界
授業の目標概要	微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。
成績評価方法	講義の出席点（比重 3 分の 1）と定期テスト（比重 3 分の 2）により成績を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51397	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅、森田 隆太郎、矢守 航、山次 康幸、伊藤 純一、有村 慎一、樋口 洋平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	植物の機能とその利用
授業の目標概要	前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。
成績評価方法	授業への参加姿勢、出席点、筆記試験の成績によって総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51398	A	応用動物科学II	村上 晋、富安 博隆、平山 和宏、内田 和幸、望月 学、山内 啓太郎、伊藤 公一、村田 幸久、関澤 信一、角田 茂、中川 貴之、松田 二子、平松 竜司	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない
授業の目標概要	高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。
成績評価方法	・レポートによる（UTOL で提出）。 ・レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見を A4 で 2 枚以内にまとめ、次回の講義時までに提出（英文可、表紙不要、1 枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 ・間に合わない場合は後で提出しても良いが、減点対象となる。 ・レポートの提出がない回は 0 点として判定し、全回のレポートの平均点を最終成績とする。 ・最終回の講義のレポートは令和 9 年 1 月 25 日までに提出すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51399	A	海の生命科学	岡田 茂、大久保 範聡、浅川 修一、潮 秀樹	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	海の生命科学（Marine Life Science）
授業の目標概要	水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の有機化学、（2）海洋生物の生理、（3）海洋生物のゲノム科学、（4）海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。
成績評価方法	授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、50%）およびレポート（50%）を基に評価する。ただし、4 名の教員から課される 4 題のレポートを全て提出することが単位取得には必須である、未提出分のレポートがある場合は、出席点も含めて成績評価を行わない（未受験扱いとする）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60007	A 2	現代生命科学II（文科生、理一生）	晝間 敬	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

講義題目	植物は周囲の生物及び環境とどのように作用して適応しているのか？
授業の目標概要	生命たらしめている要因についてこれまでの生命科学の研究の成果から一般的に認められている考え方を学び考察する。 全生物の生存に欠かせない植物（宿主）と微生物と環境の相互作用やそれが植物の成長や生存にどのような影響を与えるのかを紹介するとともに、ヒト、植物という一見異なる生物間を様々な切り口（特に周囲の環境との相互作用の視点）で比較し、その共通性・独自性の一端も学び考察する。 それにより、生物の持つ普遍性と多様性を理解する。
成績評価方法	出席、授業中の質疑応答、小課題と学期末の大課題（テストもしくはレポート）によって評価する予定です。 授業中にその日の内容の理解度を確認する小課題を出すことがあります。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学生命科学教科書編集委員会 現代生命科学 3 版 羊土社 ISBN978-4-7581-2103-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidanceww

総合科目 F（数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	数理科学概論I(文科生)	平良 晃一	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数理科学概論I（文科生）
授業の目標概要	一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う文科生向け科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって扱う順序が異なる場合がある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	数理科学概論II(文科生)	本多 正平	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数理科学概論 II（文科生）
授業の目標概要	行列が定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルの求め方およびその応用を扱う文科生向け科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって扱う順序が異なる場合がある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51361	A	数理工学入門	鈴木 大慈、 松田 孟留	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	数理工学入門
授業の目標概要	人工知能やデータ科学は，機械学習と統計学という数理基盤によって支えられている．これらの方法論は，いかにして有限個のデータからその背後にある構造の情報を獲得するかという目的のために構築されており，数学的には確率論・幾何学・関数近似理論といった学問と繋がっている．これらの方法論は情報に関わる工学的応用だけでなく科学的な知識発見においても重要である．本講義では，機械学習と統計学について，基本的な定式化から始め，その数理基盤について説明する．
成績評価方法	2 回のレポート課題（前半・後半各 1 回）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	統計データ解析I	増田 弘毅	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	統計データ解析I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太,村田昇,吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要　3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.
1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. リンク機構とモーションの表現
5. レンダリング（透視投影、色彩、テクスチャー、陰影）

成績評価方法　出席、レポート（実習課題）、期末試験によって評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　3D-CAD で学ぶ図形科学入門
著者（訳者）　横山ゆりか，金井崇，舘知宏，三木優彰 共著
出版社　サイエンス社
ISBN　978-4-7819-1555-5

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50040	月 2	奈尾 信英、黄 宇航	1 年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2 年 文科 理科
50067	月 3	黄 宇航、奈尾 信英	1 年 文科 理一(6,12,19,37) 2 年 文科 理科
50230	火 2	金井 崇、早川 大地	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50343	火 3	早川 大地、金井 崇	1 年 文科 理一(10,15,21,26) 2 年 文科 理科
50600	水 3	加戸 啓太、天童 智也	1 年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2 年 文科 理科
50627	水 4	天童 智也、加戸 啓太	1 年 文科 理一(4,27-29,33) 2 年 文科 理科
50677	木 1	柏原 賢二、今田 凛輝	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50733	木 2	今田 凛輝、柏原 賢二	1 年 文科 理一(13,32,34,36,38) 2 年 文科 理科
50992	金 3	田中 一郎、三木 優彰	1 年 文科 理一(18,20,22,25) 2 年 文科 理科
51027	金 4	三木 優彰、田中 一郎	1 年 文科 理一(1-3,8-9,24,31) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51138	A	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	基礎統計
授業の目標概要	Undergraduate (Junior Div.)
成績評価方法	宿題 (50%) 中間試験 (20%) 期末試験 (30%) の結果により、総合的に評価する。括弧内は目安。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51139	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	基礎統計
授業の目標概要	統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。
成績評価方法	考え方の理解を中心にして授業を進めるため、向いている人と向いていない人とにある程度わかれる。初回の授業などを聞いて、その点もふくめて履修するかどうかを判断してほしい。 成績評価は理系と文系別々で行い、成績区分の比率もほぼ同じくらいにする。「A」の比率は教務課のガイドラインに基本的に準拠するが、履修者が多いか少ないかによって、２割近くになる場合もあれば４割近くになる場合もある。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要
コンピュータやインターネット、人工知能などの情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。これらは「アルゴリズム」に従い動作しています。アルゴリズムは、目的地までの経路検索、観測データからの気象予測、おすすめ商品の提示、動画の圧縮と再生など、あらゆる処理の基礎をなしています。
本科目の目的は、アルゴリズムに関連する情報科学・情報工学の基礎的な概念、例えばアルゴリズムを作るための考え方やアルゴリズムを分析するための方法などを、Python 言語によるプログラミングを通して習得することです。

成績評価方法
試験および演習課題の成績によって評価します。
試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト 第２版 アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者（訳者）　森畑明昌
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062469-5

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50042	月 2	田中 哲朗	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50130	月 4	金子 知適	1 年 文科 理一(6,8,10,15) 2 年 文科 理科
50160	月 5	杉山 麿人	1 年 文科 理二三(5-6,8,12-13,15,17) 2 年 文科 理科
50965	月 5	森畑 明昌	1 年 文科 2 年 文科 理科
50229	火 2	千葉 滋	1 年 文科 理一(12,17,19,32) 2 年 文科 理科
50291	火 2	森 純一郎、山肩 洋子	1 年 文科 2 年 文科 理科
50537	水 2	山本 直輝	1 年 文科 理一(9,25-26,29) 2 年 文科 理科
50626	水 4	高野 保真	1 年 文科 理一(1-3,5,7,35-36) 2 年 文科 理科
50732	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(11,16,37,39) 2 年 文科 理科
50849	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,7,9-10,14,16,24) 2 年 文科 理科
50898	金 1	加藤 弘之	1 年 文科 理一(20-22,30) 2 年 文科 理科
50914	金 2	塚田 学	1 年 文科 理二三(4,11,18-23) 2 年 文科 理科
50991	金 3	笠浦 一海	1 年 文科 理一(13,24,31,33) 2 年 文科 理科
51028	金 4	馬場 雪乃	1 年 文科 理一(4,14,23,34) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51369	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦、 鶴岡 慶雅、 高木 剛、 駒木 文保、 二瓶 美里、 齋藤 大輔	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	情報・システム工学概論
授業の目標概要	近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。
成績評価方法	出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51355	A	情報システム基礎II	岡田 慧、葛岡 英明、伊藤 太久磨、 深尾 隆則、椋田 悠介、鄭 銀強、 Venture Gentiane、伴 祐樹、 浅野 悠紀、趙 漠居、大黒 達也、 NIE MINGHAO、小島 邦生、 白松 知世、杉浦 広峻、 河原塚 健人、中嶋 浩平、 高橋 宏知、二瓶 美里、國吉 康夫、 原田 達也、福井 類、竹内 昌治、 鳴海 拓志、谷川 智洋	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロボット・バイオ・モビリティ / Robots, Biotechnology, Mobility
授業の目標概要	人間の機能や能力を、工学的なシステムによって部分的に再現・代替・拡張する、あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援したりすることを目指す。本講義ではロボット、バイオ、モビリティの入門から、実際の最先端のロボット・バイオ・モビリティ研究、人間支援研究を取り上げ、それらの基本原理、人間との本質的な関係、最新の研究成果や社会実装、今後の展望について、各分野の第一線で活躍する教員・研究者が解説する。また、本講義は夏学期に開講される「情報システム基礎 I：ロボット・AI・VR」とも密接に連携して講義を実施し、情報システムが拓く未来を体系的に概観する。
成績評価方法	講義への出席とミニレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51358	A	情報システム基礎II	三田 吉郎	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	わかる電子回路
授業の目標概要	電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。。
成績評価方法	出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題）によって総合的に判断する。 2026 年度の最終課題発表の機会は 2 回用意する。 2027 年 1 月 4 日 2027 年 1 月 18 日
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51354	A	モデリングとシミュレーション基礎II	長山 智則、菊地 由佳、渡邉 健治、高橋 佑弥、下園 武範	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	力学で解く自然災害
授業の目標概要	地震，津波，洪水，台風，高潮など，我が国は世界的に見て自然災害の多い国である．多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが，一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで，被害を食い止めようとしてきた． 本講義では，圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し，工学モデルを築き上げてきたか，また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか，工学部社会基盤学科の教員が解説する．構造被害，地盤災害，沿岸災害に関連する力学数理モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し，実社会の防災への適用の現状を解説する．
成績評価方法	3 回のレポート提出および出席をもとに評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60221	A 2	モデリングとシミュレーション基礎II	鳥海 不二夫、和泉 潔、陳 昱	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	経済物理・金融情報学・計算社会科学
授業の目標概要	現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える． ※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う．（2027 年 1 月 21 日（木），2 月 1 日（月）を予定） ※受講希望者は 10 月 2 日(金)までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2
成績評価方法	講義後に行われる試験によって評価. 試験は持ち込み可
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50674	A	Introduction to Japan in East Asia	前島 志保、KUHN Felix	PEAK 前期	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program. The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture. 教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行うレクチャー・シリーズです。教養学部英語コース（Programs in English at Komaba/PEAK）の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回授業にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。
成績評価方法	50 % Class participation (reaction papers) 50% Final paper
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51304	A	教養学部生のためのキャリア教室 ――キャリアとその舞台裏――	山上 揚平、堀 まゆみ、高橋 史子、平井 正人	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	みなさんは、東京大学に入学した今、自分の将来についてどのように考えていますか。 グローバル化や AI 技術の発展など、社会が大きく変化する現代において、卒業後の進路やキャリアはどのように考えればよいのでしょうか。 将来に期待を抱いている人もいれば、漠然とした不安や焦りを感じている人もいるでしょう。まだ何をしたいのか分からない人や、将来について深く考えたことがない人もいるかもしれません。あるいは、自分のやりたいことが「職業」として成り立つのかわからないという人もいるかもしれません。 また、同じ大学で学ぶ学生たちは、自分の将来をどのように考えているのでしょうか。 本授業は、国内外で活躍するさまざまな分野の方々をゲストスピーカーとしてお迎えするオムニバス形式の授業です。 ゲストには、進路選択の経緯や現在の仕事だけでなく、キャリアの変遷、人生の転機、迷いや試行錯誤、仕事と生活の両立など、キャリアの「舞台裏」についても率直に語っていただきます。 キャリアには順調な時期もあれば、そうでない時期もあります。キラキラに見える経歴の方も、実際には悩んだり失敗したりしたことがあるかもしれません。 また、現在の仕事に就くことを最初から目指していた方ばかりでもないでしょう。偶然の出会いや予期せぬ出来事をきっかけに、新しい道が開けた方もいます。 この授業はそのようなキャリアとその「舞台裏」を知ることで、自分自身の将来を少し前向きに考えるヒントを得ることを目指します。 授業では、講義を聞くだけでなく、ゲストへの質問、受講生同士のディスカッション、ワークショップなどを通して、自分自身の興味・関心や強みについて理解を深め、それらが将来の進路やキャリアとどのようにつながるのかを考えます。 ディスカッションでは、まだ考えがまとまっていなくても構いません。将来への期待や不安、迷いを共有しながら、多様な価値観や生き方に触れ、自分自身のこれからの歩み方について考えていきます。 これからの歩み方に「正解」はありません。 だからこそ、専門課程へ進む前に、多様なキャリアに触れながら、自分自身のこれからについて考えてみましょう。 すでに具体的な進路を考えている人はもちろん、「社会人の生活や仕事について知りたい」「何をやりたいのかまだわからないから、とりあえず高い点数を取っておこう」「将来に漠然とした不安がある」という人も歓迎します。 過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/omnibus/）で確認することができます。 授業関連図書：標葉靖子、岡本佳子、中村優希編『東大キャリア教室で 1 年生に伝えている大切なこと：変化を生きる１３の流儀』東京大学出版会, 2019 年
成績評価方法	各回のミニッツレポート（50%）＋期末課題（50%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51313	A	思い乱れるリベラルアーツ：「触れる」	原 和之、白 佐立	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本講義は、文系・理系あわせて 13 名の教員によるオムニバス形式で行われます。年度ごとに一つのテーマを設定し、それぞれの専門領域から多角的にアプローチします。 この講義では、以下の点を重視しています。 ① 学生が多様な視点や考え方に触れ、物事を多角的に捉える力を身につけること ② 出講教員が研究を進めるうえでの問いの立て方や思考のプロセスを提示し、それを通じて履修者自身の問題意識や知的な姿勢を育むこと 今年度は、この講義を「思い乱れるリベラルアーツ」と名づけました。12 の分野が同じテーマに触れるとき、立てられる問いも、前提も、答えの形もそれぞれに異なります。半期を終えたときに残るのは、整理された一つの結論ではなく、「そういう見方もありうるのか」という戸惑いかもしれません。しかし、思いが乱れること――手持ちの枠組みでは受けとめきれない何かに触れてしまうこと――こそが、専門を越えて考えはじめる出発点だと私たちは考えています。 ■テーマ：触れる ■講義趣旨 私たちは、ものに触れ、他者に触れ、さまざまな環境と接触しながら生きています。触れることは、世界を知るための最も基本的な経験の一つです。同時に、何かに触れるとき、私たち自身もまた触れ返されています。「触れる」とは、一方向の働きかけではなく、自分と外部との境界が揺れ動く出来事だといえるでしょう。 しかし、「触れる」ことは、いつも同じ意味をもつわけではありません。ある接触は安心や親密さ、ケアを生み、別の接触は不快感や侵入、支配、暴力として経験されます。触れることが許される場面もあれば、禁じられる場面もあります。誰が、誰に、何に、どのような条件で触れてよいのか。その境界は、身体の感覚だけでなく、社会的な規範、文化、歴史、権力、技術によって形づくられています。 本講義では、「触れる」ことを皮膚に生じる触覚に限定せず、人と人、人と物質、身体と空間、人間と技術、現在と過去、自己と他者のあいだに生じる多様な接触の出来事として捉えます。そしてそのうえで、自然科学、工学、人文社会科学、芸術など、多様な分野から提示される知見や問いを手がかりに、そのさまざまな側面をまず考察します。一つの定義や結論を求めるのではなく、分野によって異なる問いの立て方を学び、同じ接触が別の角度からどのように見えるのかを考えます。 さらに本講義では、学生自身が身の回りの触覚を「集める・記録する・再現する」ワークショップに一回を充てます。このワークショップでは、言葉、図、音、映像、素材などを用いて触覚を捉え、別の場所や身体に伝わる形へと翻訳した成果を授業内で発表し、講評を受けます。この一連の試みを通して、触覚は保存できるのか、他者と共有できるのか、別の媒体へ翻訳できるのかを考えます。 「触れること」と「触れられること」から、自分と世界との関係を捉え直すこと、そしてそれぞれの学生が、自分にとっての「触れる」ことを発見し、そこから新たな問いを立ち上げること。それが本講義の狙いとします。
成績評価方法	出席状況や毎回の講義内容に対するコメントの提出などの平常点、ワークショップ回における課題の提出と発表・講評への参加、および期末の小論文を総合的に評価して成績を決定する。ただし、期末の小論文を締切までに提出することは、単位取得のための必須条件である。 その他の評価基準については、ガイダンス時に説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51330	A	越境スタートアップ・ラボ（駒場）	長藤 圭介、杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	テクノロジー×ビジネス×アートのスタートアップ手法を未来構想と社会実装を通じて身に付ける、東大発イノベーター着火プログラム IGNITE のトレーニング・パートです。 AI が「正解」を量産する時代、本当に問われるのは君が何をやりたいのか。自分の「火」と向き合い、リベラルアーツで本質を探り、飛躍的な未来を妄想する。社会の声に耳を傾け、作って試して磨きながら、現代に実装する。 東大生だけでなく、東京藝術大学、デジタルハリウッド大学、そして全国の大学から選抜された学生たちと切磋琢磨し、第一線で挑戦を続ける起業家・トップランナーと越境しながら、共に価値をカタチにしていく。 人生を賭けて挑みたいテーマを見つけ、本気で挑戦したい学生を、地域・専攻・学年を問わず歓迎します。 IGNITE への参加には選考がありますので、公式サイトで最新情報をご確認ください。 https://ignite-your-ambition.com トレーニングは以下の２つがあります ・越境スタートアップ・ラボ 毎週水曜 20:00-21:30@Zoom、全 13 回 IGNITE 選考通過者 40 人 それ以外の東大生 20 人 ・越境リベラルアーツ・ラボ 隔週金曜 18:00-19:30+交流会 21:00 まで@本郷、全 6,7 回 IGNITE 選考通過者 40 人 それ以外の東大生 20 人 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	完走して最終発表に参加したか、発表内容、終了時のフォーム提出
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51331	A	越境リベラルアーツ・ラボ（駒場）	長藤 圭介、杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	テクノロジー×ビジネス×アートのスタートアップ手法を未来構想と社会実装を通じて身に付ける、東大発イノベーター着火プログラム IGNITE のトレーニング・パートです。 AI が「正解」を量産する時代、本当に問われるのは君が何をやりたいのか。自分の「火」と向き合い、リベラルアーツで本質を探り、飛躍的な未来を妄想する。社会の声に耳を傾け、作って試して磨きながら、現代に実装する。 東大生だけでなく、東京藝術大学、デジタルハリウッド大学、そして全国の大学から選抜された学生たちと切磋琢磨し、第一線で挑戦を続ける起業家・トップランナーと越境しながら、共に価値をカタチにしていく。 人生を賭けて挑みたいテーマを見つけ、本気で挑戦したい学生を、地域・専攻・学年を問わず歓迎します。 IGNITE への参加には選考がありますので、公式サイトで最新情報をご確認ください。 https://ignite-your-ambition.com トレーニングは以下の２つがあります ・越境スタートアップ・ラボ 毎週水曜 20:00-21:30@Zoom、全 13 回 IGNITE 選考通過者 40 人 それ以外の東大生 20 人 ・越境リベラルアーツ・ラボ 隔週金曜 18:00-19:30+交流会 21:00 まで@本郷、全 6,7 回 IGNITE 選考通過者 40 人 それ以外の東大生 20 人 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席回数、終了時のフォーム提出
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51338	A	模擬人工衛星開発を体験しよう B	五十里 哲、 永綱 浩二、船瀬 龍	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	本講義では、 本講義では、学生主体で模擬宇宙機（模擬人工衛星、ローバー、ペットボトルロケットなど）を開発し、ものづくり能力、システム統合能力、プロジェクトマネジメント能力を身につけることを目標とする。 具体的には、国内外で開催される模擬宇宙機関連コンペティション（能代宇宙イベント、ARLISS など）の参加を目指し、学生オリジナルの模擬宇宙機（模擬人工衛星、ローバー、ペットボトルロケットなど）を開発する。学生を 2, 3 チームに分け、チームそれぞれでどのようなミッションを行う模擬宇宙機を開発するかというアイデア出しから、実際の設計・製造、試験、コンペティションの参加まで全てを体験することで、短期間で衛星プロジェクトの一連の流れを体験する。 本講義は 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される。A から継続的に参加することで、より効果的に知識・経験を得ることができるが、途中からの参加や途中までの参加も可能である。 ―――――――――――――――――――――――――――― ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ――――――――――――――――――――――――――――
成績評価方法	講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51339	A	模擬人工衛星開発を体験しよう D	五十里 哲、 永綱 浩二、船瀬 龍	工学部	集中	2	2 年 理科

授業の目標概要	本講義では、 本講義では、学生主体で模擬宇宙機（模擬人工衛星、ローバー、ペットボトルロケットなど）を開発し、ものづくり能力、システム統合能力、プロジェクトマネジメント能力を身につけることを目標とする。 具体的には、国内外で開催される模擬宇宙機関連コンペティション（能代宇宙イベント、ARLISS など）の参加を目指し、学生オリジナルの模擬宇宙機（模擬人工衛星、ローバー、ペットボトルロケットなど）を開発する。学生を 2, 3 チームに分け、チームそれぞれでどのようなミッションを行う模擬宇宙機を開発するかというアイデア出しから、実際の設計・製造、試験、コンペティションの参加まで全てを体験することで、短期間で衛星プロジェクトの一連の流れを体験する。 本講義は 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される。A から継続的に参加することで、より効果的に知識・経験を得ることができるが、途中からの参加や途中までの参加も可能である。 ―――――――――――――――――――――――――――― ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ――――――――――――――――――――――――――――
成績評価方法	講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51349	A	宇宙資源：サイエンス x テクノロジー x ビジネスの最前線	宮本 英昭	工学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	宇宙には、地球とはまったく違うチャンスが眠っています。たとえば小惑星。地球から宇宙に出るには大量のエネルギーが必要ですが、小惑星ならジャンプするくらいの勢いで脱出できるほど重力が小さいのです。そして、その中には鉄、レアメタル、水といった、将来の宇宙産業を支える資源が大量に含まれています。 こうした宇宙資源の活用は、「次の産業革命」とも言われるほど注目されています。すでに各国で研究やビジネスが動き出しており、月面探査の ispace 社、小惑星開発の Karman+社といった企業が世界の先頭を走っています。NASA や ESA、JAXA のミッションに関わる専門家たちも、実践の最前線で活躍しています。 この講義では、そうした最前線の研究者や企業のリーダーが実際に登壇します。宇宙を舞台に、資源・産業・法律・国際協力などが交差する、まったく新しい世界を一緒にのぞいてみましょう。海外からの講師も登場しますが、必要に応じて日本語でのサポートも行います。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席を兼ねたアンケートに毎回回答してもらいます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51350	A	海研究のフロンティアII	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ --- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	出席および授業内レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51351	A	UT チャレンジャーズ・ギルド D	廣瀬 明、永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノやサービスを創ってみようではないかというのが本講義の狙いである。 まずは、「作ってみた」「やってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、講義に参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々の学生諸君の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築したモノやサービスは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。 ※受講人数：10 名 ※開講場所：授業実施場所欄を参照 受講を希望する学生は、永綱までメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選） ガイダンス/ Guidance： 合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加する。 ※個別ガイダンスは第一回講義の10.月 6 日 18：45 からオンラインで行う。 Zoom のリンクは UTOL を参照のこと --- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 --- The spread and advancement of IT has brought a steady stream of new products and services into our everyday lives — ones that can, at times, dramatically reshape our lifestyles or even upend the very framework of business itself. As buyers or users, it is easy enough to simply enjoy the benefits that such products and services provide. It is far harder, however, to be the one who creates a product or service that excites and opens the eyes of buyers and users. This seminar's aim, then, is precisely this: to try our hand at creating something — a product or service — that makes buyers and users exclaim, "This is amazing!", "This is so convenient," "This feels great," or "This is fun." Our hope is that participants will start out at the level of "I gave it a try" and, ultimately, work their way up to a level of creation that is conscious of the "social goal" a product or service is meant to fulfill. Accordingly, when joining the seminar, participants are asked to come in with a concrete goal in mind as to what they want to challenge themselves with. Based on each participant's individual goals, I also intend to arrange guidance from outside experts and site visits to relevant locations. In addition, once a product or idea has been built or devised, the plan is to have prospective users try it out and provide feedback. Furthermore, this seminar has a track record of supporting student entrepreneurship, and warmly welcomes students who wish to take on the challenge of starting a business.
成績評価方法	ガイダンス、講義、実習、システム構築、事業計画書、プレゼンテーション、発表会への参加。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51380	A	「現代の数学 ー その源泉とフロンティア ー」	權業 善範、BEZ Richard Neal、毛塚 由佳子、逆井 卓也、増田 弘毅	理学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。						
成績評価方法	出席とレポートによる合否判定で行う。レポートは 4 名の先生の中から一人選んでその先生の講義に対するレポートを出してください。(提出方法の詳細は初回ガイダンス時に指示します。)						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51381	A	惑星科学のフロンティア	瀧川 晶、諸田 智克、宮本 英昭、吉岡 和夫、田近 英一、三河内 岳、橘 省吾、笠原 慧、生駒 大洋、関 華奈子、桂華 邦裕、今村 剛	理学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう．そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また，太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて，太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する．						
成績評価方法	出席のみ．ガイダンスはありませんので，12 回の講義に参加してください． 出席に関する問い合わせは，授業当日の講義時間内に各担当教員におこなってください．						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51430	A	医科学研究最前線	武川 睦寛、小沢 学、鈴木 洋、根岸 英雄、前島 亜希子、武田 憲文、LI SIHAN、井元 清哉、長谷 耕二	医科学研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（ゲノム・エピゲノム解析、分子病態解析、腸内細菌、感染症・自然免疫、がん、疾患モデル動物、循環器医療など）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 <12月12日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) <12月13日> 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) ※ガイダンスは本年度は行わない。
成績評価方法	レポート ＜レポートについて＞ ・レポート内容 ：8 講義全てについて、自分が興味を持った内容をまとめる。 ・形式 ：一つの PDF ファイルで提出（講師 1人につき A4用紙 1 ページ、計 8 ページ（表紙含まず））・・・ファイル名は、学籍番号＋氏名とすること ・提出先 ：以下の URL の受取フォルダにアップロードしてください。 https://univtokyo-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/9558378034_utac_u-tokyo_ac_jp/IgC6ZLgkbmzoR5yOdHo5mCVBAcaKPa9ngJaNkPIgGEIRmAw ・提出期間：令和 8 年 12 月 14 日（月）～12 月 18 日（金）（厳守） ・その他：A4 用紙 1 ページごとに、氏名、所属科類もしくは学部・学科、学年、学生証番号を必ず明記すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51437	A	リベラルアーツとしての工学：工学の歴史・現在・未来を俯瞰するオムニバス講義	戸矢 理衣奈、松永 行子、菅野 裕介、石井 和之、宍戸 常寿、川添 善行、小野塚 知二、志村 努、吉川 暢宏、平本 俊郎、今井 公太郎、芳村 圭、本間 裕大、池内 与志穂、枝川 圭一	生産技術研究所	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義では、教養学部 1-2 年生が文系理系を問わず、人間・社会との関係性のなかで総合的に科学技術の概念を学ぶことを目的とする。 我々は、AI、半導体、情報工学、有機 EL 等の先端科学技術に日々接しながら過ごしている。現代では先端科学技術が社会そして人間をも大きく規定しており、それは、エンジニアだけではなく社会全体で共有して考えるべきテーマであり、人類に共通する課題ともなっている。これまでも科学技術にまつわる意思決定にはエンジニアのみならず様々な社会的立場の者が関与してきたが、いまや文系理系に拘らず、現代人に必須の教養としての「リベラルアーツとしての工学」が求められている。 本講義では、工学の主要領域にて先端研究に携わる研究者がオムニバス式に講義を担当する。専門領域の過去、現在、未来を踏まえつつ、人間や社会との関係性を考えるうえで焦点をなす研究や事例に着目し、数式を基本的に使わずに講義を実施する。 教養学部生が社会を構成している先端科学技術の起点及びその発展に接することで、未来を拓くための基盤となる知見を得るとともに、俯瞰的な視点を涵養する機会となることを期待している。
成績評価方法	前半（A1 相当期間）4 回、後半（A2 相当期間）4 回以上の出席を最終レポート提出の必須要件とする。 ※特別な事情により前半、後半各 4 回の出席が難しい場合は予め相談すること（全 8 回以上の出席は必須）。 ・毎回の出席 「講義で学んだことを 500 字以内にまとめよ」 ※ UTOL で講義終了 10 分前から講義終了後 30 分までに提出すること ・レポート 「興味をもった講義を複数選び、その内容に関して独自に調査したうえで、未来の工学のあり方を提案せよ。分量は A4 用紙 2 枚程度とする」 ※ UTOL で指定する期日までに提出すること
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	多様な視点からジェンダーを見る	小川 真理子	多様性包摂共創センター	金 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	社会が大きく変動する中で、「ジェンダー研究」そのものが問い直しの対象となっている。このような問いに応えるべく、本講義では、ジェンダー、男性性／女性性が、文化、階級、人種、国籍、エスニシティ、ナショナリズム等とどのように交差し、相互に作用しているのか、さらに、それが国や社会によってどのように異なるのかについて考えていく。 本講義では、教育、 心理、社会問題、健康、医療、公衆衛生、災害、科学技術に関するテーマ、国内外の事例などのジェンダーにかかわるトピックを各講師の専門分野の視点から取り上げる。 本講義は、ジェンダー、セクシュアリティに関する基礎的な概念を確認したうえで、ジェンダーをめぐる多様な問題について自ら考える機会を持つことを目的としている。ジェンダーの多様性を批判的に理解し、自らの立場や社会構造との関係を分析できる力を養うことを目指している。初回はイントロダクション、2 回目から 11 回目までは各講師の専門領域の切り口からジェンダーに関連したトピックについて講義を行う。第 12 回、第 13 回は講義を踏まえグループに分かれて発表を行い、最後にまとめを行う。
成績評価方法	ディスカッションへの参加度、毎回の授業後のコメントカード（300 字～400 字）、期末レポート（1,000 字）を総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	ジェンダード・イノベーション入門	小川 真理子	多様性包摂共創センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意 2】この授業は、履修者 15 名を上限とする。15 名を超える履修希望があった場合については、以下の「授業の方法」の項を参照。 本講義では、ジェンダード・イノベーションの基礎から応用までを、お茶の水女子大学、東京大学、東北大学の教員によるリレー講義で学際的に学ぶ。 学生は、三大学（お茶の水女子大学、東京大学、東北大学）の混成チームによるグループワークで議論をすることで理解を深め、新しいアイデアについて考察する。 本講義を通して、学生は多様な領域の研究・開発を自分自身の関心領域と関連付けて、未来のジェンダード・イノベーション展開について創造的に考察する。
成績評価方法	発表=40%、グループでの活動=40%。三大学の混成グループで活動する。積極的な意見交換や議論を期待する。授業への参加態度=20%。出席確認フォームで出席確認をとる。 8 割以上の出席率を求める。 最終日に自己評価シートを提出する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51452	A	アジアでがんを生き延びる困難がひらく邂逅――困難は世界を分断するのか、つなぐのか	河原 ノリエ	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

授業の目標 概要

本講義は、がんを疾病として学ぶための講義ではない。がんという切実な現実を通して、人間、社会、制度、技術、身体、仕事、地域、国家のあいだに走る断絶を発見し、その断絶が、ときに新たな邂逅や連携の契機となりうることを、アジアの具体的な現場に即して考える授業である。

2011 年以来、全学横断型の大学院講義として継続し、302 回の講義を重ねてきた。

https://late-beppu-9864.hacca.jp/acf/history.html

大学院生が専門領域への入口に立つ受講生が、がんという一つの切実な課題を、多様な視点から考えることにより、個別の専門を超えた普遍的な問いの輪郭をつかみ、進もうとする領域の前提、限界、社会的意味を相対化するための場として機能してきた。

今回、初めて学部生にも開講する。専門領域を選び、進路を形づくっていく学生にとって、一つの課題を複数の領域から捉えるイシュー・オリエンテッドな学びは、専門を孤立した知としてではなく、他の領域や社会との関係のなかに位置づけ直す機会となる。本講義は、がんを通して社会を考えると同時に、受講生が、自らの進むべき領域とその意味を問い直すための授業でもある。

講義を構成する「ひと」と問い

2011 年の開講以来、「ひと」の語りを通して学ぶことを大切にしてきた。講師には、がんという疾病に関する科学的知識よりも、この重く切実な共有課題に向き合い、いかに生き延びていくのか、そのための智慧を、自らの経験と思索に根ざした言葉で語っていただける方をお呼びしている。

各講義は独立した専門性をもちながら、身体、技術、社会、制度、戦争、希望、食、表現などをめぐる問いが、回を越えて互いに交差するように構成されている。受講生は、異なる領域を生きる講師の言葉に触れながら、それぞれの問いのあいだに補助線を引き、自らの専門や将来の進路を、より広い社会的・公共的文脈のなかで捉え直していく。

第 1 回 10 月 5 日 がんという鏡――日本はアジアにとって何者なのか 河原ノリエ（東京大学）・野田哲生（UICC-ARO）
日本が 1933 年から参画してきた UICC（国際対がん連合）のアジア支局 UICC-ARO は、本講義の歩みを支えてきた。2011 年以来 16 年間の軌跡を振り返り、がんという困難が、身体、制度、地域、国家をどのようにつなぎ、何をなおつなぎ損ねてきたのかを考える。がんという鏡を通して、日本とアジアの関係を問い直し、本講義全体の出発点とするガイダンスである。

第 2 回 10 月 12 日 大学は世界の困難に間に合うのか――人文知を「役に立つ道具」にしないために 東浩紀（ゲンロン）×吉見俊哉（國學院大學）切実な課題を前に、大学と人文知は何ができるのか。人文知を、ビジネスや政策に役立つ答えの供給源ではなく、社会が当然とする進歩、効率、正しさの前提を疑い、「解決」の名のもとに切り捨てられるものを可視化する知として捉える。学際とは知識の寄せ集めではなく、異なる知のずれや矛盾を消さずに引き受け、答えのない問いを社会にひらき続ける実践であることを考えたい。

第 3 回 10 月 19 日 治療は戦場で生き残れるか――がんと AMR から問う医療のレジリエンス 坂野哲平（GENARK） ウクライナにおけるがん支援を起点に、医療が壊れる場所で生命をつなぎ続けるために、技術、支援ネットワーク、国際協力は何ができるのか。ウクライナの経験を、災害や紛争の危機を抱えるアジアの医療レジリエンスへ接続する

第 4 回 10 月 29 日 がん研究はアジアの未来をつなげるか 中釜斉（AMED） 基礎研究、診断、治療、予防、政策、社会実装のあいだにある時間差と断絶を問い直す。疾病構造、医療制度、研究資源の異なるアジアにおいて、科学的成果をいかに共有し、それぞれの社会に届く医療へ翻訳できるのか。がん研究を、アジアの知、人材、制度をつなぐ基盤として考える。

第 5 回 11 月 2 日 未来はいかに政策になるのか――理念を制度へ翻訳する 武見敬三（元厚生労働大臣） 望ましい未来を構想し、現在の政策課題を逆算する「創造的未来」の発想を起点に、理念や科学的根拠が、政治的優先順位、予算、制度、国際的枠組みへと翻訳される過程を学ぶ。人間の安全保障、保健システム強化、UHC が、いかに議題化され、交渉を経て政策として実装されてきたのかをたどる。

第 6 回 11 月 16 日 科学は次世代に何を手渡すのか――人の可能性から未来を開拓する山海嘉之（筑波大学・CYBERDYNE） 人、身体、AI・ロボットを融合するサイバニクスは、人間の限界を補う技術にとどまらず、社会の未来をどう設計するかという試みである。科学を研究室から社会へひらき、人の自立と尊厳を支える未来をいかに実装するのか。

第 7 回 11 月 30 日 AI はがんを詠めるか―経験を生きる身体と、言葉を生成する知性
茂木健一郎（東京大学）×堀田季何（俳人） AI が言葉を生成する時代に、病、痛み、死の予感を生きた身体から生まれる言葉には、何が宿るのか。脳と意識をめぐる科学と、がん俳句という表現を交差させ、人間に固有の経験、創造性、共感の条件を問い直す。

第 8 回 12 月 7 日 習慣という「狂気」――人は自分をどこまで変えられるか 田中渓（投資家・アスリート）×佐々木一茂（東京大学） 日々の反復は、身体、思考、人生をどこまで変えうるのか。徹底した習慣化の実践と、運動科学の知見を交差させ、意志、身体、継続の関係を考える。同時に、健康を個人の努力や自己責任だけに還元せず、習慣を可能にする環境を問い、投資家の視点から身体活動と予防がもつ社会的価値を検討する。

第 9 回 12 月 14 日 希望は足元から始まる――喪失を抱えて歩く 玄田有史（東京大学・希望学）×垣添忠生（日本対がん協会） 希望を、遠い未来の光ではなく、困難のなかでも一歩ずつ進む手応えとして捉える。希望学と「歩く」実践を通して、喪失を抱えながら希望をつくるとは何かを考える。

第 10 回 12 月 21 日 都市しかない未来でいいのか 本講義が問い続けてきた「過疎地域でがんになったらどうするのか」を起点に、人口減少のなかで、地域で生きるための基盤をいかに組み直すかを考える。DX や AI を都市の利便性を地方へ移植するだけの手段ではなく、都市に過度に依存せず暮らせる、存続可能で魅力ある地域をつくるものととらえ、「都市しかない未来」に代わる選択肢を構想する。

第 11 回 1 月 4 日 売るのではなく、よきことを伝える 「予防医学」「健腸長寿」「誰もが手に入れられる価格で」とい

	う思想を起点に、健康に資する知恵を人から人へ伝え、日々の暮らしの習慣として根づかせたシロタイズムとは何かを考える。 第 12 回 1 月 18 日 固有性は、公共性をつくれるか――United by Unique 一人ひとりの問いを、世界に共有する 北風祐子（電通） がんの経験は一人ひとり異なる。その固有性を物語に回収することなく、他者に届き、社会を動かす言葉へどのように翻訳できるのか。World Cancer Day の実践を通して、表現が共感と連帯を生む力と、他者の経験を代弁・消費する危うさを考える。 第 13 回 1 月 23 日 Better Together／United by Unique 困難を共有することから始まるアジア連携を構想する。異なる業種や専門領域に属する企業・組織の連携を通して、持続可能な未来を築くためのパートナーシップのあり方を討議する 本講義における邂逅とは、困難によって裂かれていた世界が、別の身体、別の制度、別の知、別の地域と接触し、問いの形そのものを変えてしまう臨界点である。受講者は、思想家、研究者、政策担当者、医療者、企業人、技術開発者、表現者らの議論を通じて、人間や社会のなかに隠れている困難を発見する力、その困難が何を断ち切り、何を新しくつなぎうるのかを考える力、異分野と異地域を横断して知と人を結び直す力、そして一人ひとりの固有の経験を公共的かつ国際的に共有可能な問いへ翻訳する力を身につけることを目指す。 ―― 本講義は、集中の枠であるが、主として月曜日の 5 限に、オムニバス授業として実施する。やむを得ず出席できない回については、オンデマンドでの受講も可能とする。
成績評価方法	出席 （オンデマンド受講も可能）と最終課題 出席 40%（リアクションペーパーの提出を出席とみなす。内容は評価対象ではないが最終課題への補助線として取り組むこと)、最終課題 60%（レポート）を基本とする。評価基準は講義にて説明
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60219	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。 本講義では、経営工学のベーシックな理論を中心に解説します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の応用事例を紹介します。取り上げるテーマは以下を予定しています。 ・生産管理 ・ファイナンス ・品質管理 ・人的資源管理 ・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント（SCM） ・マーケティング ・プロジェクトマネジメント 学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席およびレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60222	A 2	医学・生命科学への量子計算の応用（医学系・理学系・新領域創成科学による合同講義） Applications of Quantum Computation in Medicine and Life Sciences (Joint lecture by Schools of Medicine, Science, and Frontier Sciences)	角田 達彦	理学部	木 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	この講義シリーズでは、将来、医学・生命科学へ量子計算を応用する事を目的に、量子計算機の計算原理、プログラミング、などを学ぶ。また、医学・生命科学における計算についても、医学・生命科学を研究している研究者からの問題提示をして貰うことにより、量子計算によってどのような課題の解決が期待されているかを学ぶことができる。 In this lecture series, students will learn about the principles of quantum computation, programming, and other aspects of quantum computers, with the aim of applying quantum computation to medical and life sciences in the future. In addition, by having researchers working in the medical and life sciences present problems about computation in the medical and life sciences, students can learn what kind of problems are expected to be solved by quantum computation.
成績評価方法	期末試験を基本とするが、状況により、小テストやレポートなどに変更する可能性もある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50059	A	Fundamentals of Physical Sciences (PEAK)	ウッドワード ジョナサン ロジャー	PEAK 前期	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	In this course, we cover some key topics across the physical sciences to help ensure students who have studied differing amounts of chemistry and physics in high school have a solid foundation of key principles.
成績評価方法	Grades for the course will be awarded based on attendance and participation in the group work activities (30%), performance in live online quizzes (10%), short written assignments (10% and a final exam (50%).
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50216	A	Introduction to understanding public policy and the field of policy sciences	鈴木 早苗、SVENSSON Sara	PEAK 前期	火 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	The course gives an introduction to understanding public policy and the field of policy sciences. Upon completing the course students will understand the distinction between analysis of policy and for policy, and they will have a good insight into and be able to apply major theories of the policy process. They will have the skill and capacity to write a short policy brief based on the analysis of a policy problem.
成績評価方法	participation 20%, Policy Brief (40%), final exam (40%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50553	A	Introduction to Biology	シェファーソン リチャード 、小見 美央	PEAK 前期	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This course introduces fundamental concepts in modern biology, with a focus on understanding life at the molecular, cellular, and organismal levels. Students will explore how molecules form cells, how genes and genomes store and express information, and how these processes shape organisms, immunity, and populations. The main objectives are: 1) to acquire essential vocabulary and core concepts in life science (genes, genome, cells, molecular biology, immunity, and population genetics) 2) to understand how these concepts are connected across different biological scales 3) to practice explaining biological ideas clearly in English Non-native English speakers are welcome. The course is designed as an accessible introduction to biology in English, and provides opportunities to interact with English-speaking peers while building confidence in both scientific understanding and communication.
成績評価方法	Presentation (30%), participation (40%), and final exam (30%). The participation score includes attendance at face-to-face sessions, scores for short quizzes given at each session, and a short reaction paper after each session.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50617	A	Introductory course in linear algebra	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercises and related problems.
成績評価方法	Final examination, attendance, and class participation.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50675	A	渋谷まちづくりゼミ	小泉 秀樹	学生による全学自由研究ゼミナール	水 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	渋谷をケースとして、まちづくりに関する基本的な理解を深める。 渋谷まちづくりゼミは、東京大学駒場キャンパスを拠点に、渋谷のまちづくりを知り、考え、実践するためのゼミです。100 年に一度と言われる再開発が進む渋谷を舞台に、講義と実践の両輪で最前線を学びます。
成績評価方法	各回講義での参加状況
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50804	A	Single variable calculus	長谷川 立	PEAK 前期	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential means the slope of the tangent line of a function at a given point, and integral measures the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. Power series will also be introduced. In the end, we discuss how to solve some simple differential equations.
成績評価方法	Quizzes (50%) + a final (50%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50873	A	笑って学ぶ狂言講座	内藤 連	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	「狂言」は六百年以上続く日本の伝統芸能。現存する世界最古の舞台芸術として能とともにユネスコ無形文化遺産に登録されています。室町時代のコントのようなもので、近年はアニメ「鬼滅の刃」が能狂言として舞台化されたことも注目を集めました。 東京大学教養学部の学生が、多様な授業の一環として狂言について学び、それを緒に日本文化への造詣を深めることを推進する。 人間国宝・野村万作師に師事する、内藤連の指導のもと、狂言を多面的に学びます。狂言のイロハを学び、「映像鑑賞」と「ワークショップ」を中心とします。「映像鑑賞」では、狂言の様々な演目を鑑賞し如何なるものか知り、講師の軽妙な解説とともに狂言の描く豊かな世界を堪能します。「ワークショップ」では、姿勢や歩き方、台詞や発声方法の「型」を習得します。参加者の関心に応じて短い狂言のワークショップを行い、身体を通して狂言の面白さをより実感でき、狂言とは何かを具体的に学びます。 特別な知識や経験は必要ありません。
成績評価方法	出席にて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50874	A	国際化を読み解くゼミナール	須田 洋平	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	1945 年以降発展してきた国際法に基づく秩序が近年危機に瀕している。他方で、国際的に基づくルールが重要になっている分野（ビジネス、環境問題等）もあり、国際法をベースにした国際社会における「法の支配」の帰趨に関心が高まっている。そこで、2026 年時点での国際法の現在地を知るべく、国際情勢を意識しつつ、様々な角度から分析し、議論をしていきたい。 このゼミナールを通じて、学生には国際法についての知見を深めること、国際情勢への関心を持つこと、そして国際法が今後どうあるべきかについて自分なりの意見を持つことを期待したい。
成績評価方法	学生の参加姿勢と学生発表の内容をもとに評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51083	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り，人権を学び考える－	中川 素充	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	当ゼミは、１９９２年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て、当ゼミの出身者である中川素充弁護士が担当する。矢野領弁護士、石原詩織弁護士及び笠置裕亮弁護士（当ゼミＯＢ・ＯＧ）も協力する。 Ａセメスターのテーマとしては、国際、政治・司法、地方・福祉、文化共生、科学技術、教育を予定している。 文Iは勿論，文II・文III・理I・理II・理IIIの学生も歓迎する（例年，文I以外の学生も多く参加している）。 人権問題を考えるにあたって大切なことは，社会の実態をよく知ることである。このゼミでは，従前より，普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場，ＮＧＯ，法律事務所，官公庁，企業，労働組合，裁判所，少年院，刑務所，テレビ局，新聞社，病院などに出向き，様々な当事者，専門家，弁護士，医師，公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。 これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降，土日祝日に実施）は，今学期を通じて１５回以上実施予定である。いずれかを選択して、計１回以上参加すること。 金曜５限の授業では，１０月～１２月上旬は講義形式（各分野の最前線で活躍している人たちをゲストとして）を中心にし，１２月～１月はテーマ班ごとに，授業やフィールドワークで学んだことをまとめて，論考を作成してもらうとともに，学生発表を実施する。 ※ ガイダンスは１０月２日５限（第１回授業時）におこなう。
成績評価方法	日常のゼミ活動，学生発表及び学期末レポートにもとづく合否判定 講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして，上記発表を行い，かつ学期末レポートを作成すること
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 川人 博 編著 『テキストブック現代の人権第４版』 日本評論社 978-4-535-51725-7 なし
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51290	A	SDGs を学べる授業をつくろう/ Designing a Lesson Plan for High School Students to Learn About the SDGs	中澤 明子、草本 明子	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べる授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることそのものや、授業を設計する過程での調査や議論は、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いた授業を設計することを目指す。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGs について学習者の学びを深める 50 分間の授業を設計することができる
成績評価方法	最終成果物＝授業案（50%）、平常点＝議論への貢献（50%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51291	A	AI 社会を生き抜くための教育・学習を考える	中澤 明子	教養教育高度化機構	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	ChatGPT 等の生成 AI が登場してから、人と AI との関わりがより日常的になり、AI を適切に、効果的に使うことが求められています。すなわち、AI 社会を生き抜くため、求められる能力・スキルが変化しつつあると考えられます。これから社会に出ていく大学生自身が AI について理解し、どのような能力・スキルを身につけるべきかを考え、認識することも重要です。 本授業の目的は、授業での文献・資料の読解や体験・議論を通じて、AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方を自分なりに考えて示すことです。 授業の目標 ・AI や教育・学習に関する資料を読み内容を説明できる。 ・AI や教育・学習に関するトピック、キーワードについて定義や内容を自分の言葉で説明できる。 ・文献・資料、ゲスト講義の内容について疑問・質問を考え、口頭もしくはテキストで示せる。 ・問いに対する考えや教育・学習の在り方についての自分の考えをテキストもしくは口頭で他者に説明できる。 ・AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方をレポートもしくは口頭発表で示せる。
成績評価方法	最終成果物（40%）、毎回のふり返りシートの提出（40%）、グループワーク/ディスカッションへの参加・貢献（20%）により総合的に評価します。 最終成果物は、AI 社会を生き抜くための教育・学習に関するパンフレット（教育・学習のコンセプトやプログラム、方法などを記したもの）をグループで作成してもらう予定です。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51292	A	AI 時代の探究的な学習を考える	土畑 重人、草本 明子	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

＜授業の目標、概要＞

ChatGPT 等の生成 AI の普及により、問いの設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現、振り返りといった学習活動のあり方は大きく変化しつつある。特に探究的な学習では、学習者が自ら問いを立て、さまざまな外部資源を活用しながら、自分の考えを形成していくことが求められる。しかし、生成 AI やクラウド環境が日常的に利用できることで、探究的な学習は従来想定されてきた過程とは異なる過程となる可能性がある。よって、本授業では、探究的な学習を固定的な手順としてではなく、問い、情報、考察、表現、他者との関わり、生成 AI との対話等が相互に行き来しながら進む学習過程として捉え、検討していく。

授業では、最終的な成果物を作ることだけでなく、自分たちがどのように探究を進めたのか、学習過程を分析することを重視する。生成 AI を使った場面、他者の考えを参照した場面、迷った場面、つまずいた場面、先生や友達に助けを求めた場面等を各自が記録し、分析することで、AI 時代の探究的な学習について考える。

受講者は、第一に、生成 AI やクラウド環境を活用しながら、自分たちの問いに基づいて探究活動を行う。探究活動では、教員が一律の手順を指定するのではなく、受講者自身が学習過程や学習形態を自己決定しながら学習を進める。その際、探究の過程を「探究ジャーナル」として記録する。探究ジャーナルとは、問いの変化、参照した情報、生成 AI との対話、他者の考えを参照した場面、判断や方針を変更した場面、迷いやつまずき、支援を求めた場面等について、そのときの考えや判断とともに継続的に記録するものである。第二に、成果物の過程とあわせて探究ジャーナルの記録を見返しながら，自分たちの探究的な学習過程がどのように展開したのかを分析する。第三に、探究の成果と学習過程の分析結果に基づき、AI 時代の探究的な学習のあり方について考察し、自分なりの考えとして言語化する。

＜授業の目標＞

本授業の目標は、AI 時代における探究的な学習のあり方を自分なりに考え、説明できるようになることである。

・自ら問いを立て、生成 AI、クラウド環境、他者、文献・資料等を活用ながら探究を進めることができる。

・探究ジャーナルをもとに、自分たちの探究的な学習過程を分析できる。

・AI 時代の探究的な学習のあり方について、探究の成果と学習過程の分析に基づいて言語化できる。

成績評価方法

成果物により評価する。

成果物は、①探究的な学習のまとめ ②探究的な学習過程の分析に関するまとめ ③AI 時代の探究的な学習のあり方についての発表・まとめ ④探究ジャーナル とする。

（①②とも、授業の中で作成していくものである。）

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51293	A	科学的コンセンサス論	平井 正人	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 生成AIの回答は、どこまで信じてよいのだろうか。 「この食品は安全です」と専門家に言われたら、何を根拠に納得すればよいのか。 気候変動について科学者の意見はほぼ一致しているのに、なぜ社会では疑念や否定がなくならないのか。 医薬品やAI、公共空間は、そもそも誰の身体や生活を「標準」としてつくられているのだろうか。 SNS、動画、生成AIを通じて、私たちは毎日、膨大な「もっともらしい情報」に接している（私たちは、SNS、動画、生成AIをはじめ、さまざまなコミュニケーション手段を通じて、事実や推測、誤情報などが混在する膨大な情報に接している）。しかし、情報が増えるほど、何が確かなのかは見えにくくなる。この授業では、「専門家が言うから信じる」「専門家も間違うから信じない」という二者択一を離れ、専門知が信頼に値する条件を考える。 本授業では、科学的コンセンサスを、多数決で「真理」を決めることではなく、専門家共同体が証拠を集め、互いに批判し、検証と修正を重ねるなかで形成される暫定的な合意として捉える。気候変動、食の安全、ジェンダード・イノベーション、AIを事例に、科学的知見が行政の政策や規制、企業の製品・サービス、私たちの日常的な判断へどう結びつくのかを学ぶ。 各回には、大学の研究者に加え、行政・公的機関や企業で研究評価、政策形成、技術の実装や意思決定に携わる講師が登壇する。同じ問題を異なる立場から見ることで、何が証拠とされ、どのような不確実性や制約のもとで判断が行われているのかを比較する。 目指すのは、専門家の意見をそのまま受け入れることでも、根拠の異なるすべての意見を同じ重さで並べることでもない。自分が十分に知らない問題に直面したとき、何を手がかりに判断するのか。誰を、なぜ信頼するのか。信頼できる知識や制度をどうつくるのか。そのための考え方を身につける。 最終課題では、少人数のグループで特定の科学的主張を取り上げ、科学的コンセンサスを社会にどう「見える化」すればよいかをデザインする。ポスター、図解、ウェブ画面等を用い、誰を専門家とみなすのか、どの資料を調べるのか、支持・判断保留・反対をどう分類するのか、誰が公開・更新・訂正するのかを検討し、市民や政策担当者が専門知の状況を理解するための仕組みを提案する。 本授業の到達目標は、将来、受講者が研究、行政、企業、メディア、NPO等のどの立場に進むにせよ、科学的コンセンサスをめぐる情報を吟味し、責任ある判断と対話に結びつけるための基礎的なリテラシーを身につけることである。 （1）科学的コンセンサスが形成・更新される過程を考察できる。 （2）研究者、行政機関、企業等が、異なる目的・責任・制約のもとで科学的知識を用いていることを理解できる。 （3）科学的不確実性、少数意見、価値判断、利益相反、意図的につくられた疑念を区別できる。 （4）複数の事例を比較し、専門知が信頼に値する条件を自分の言葉で考察できる。 （5）科学的コンセンサスの存在・不在・不確実性を可視化する方法と制度を提案できる。 文系・理系を問わず、専門知識は前提としない。AI、食、環境、ジェンダー、社会問題、メディア、政策、デザインなどに関心を持つ学生の参加を歓迎する。 なお、2027年3月上旬に、本授業に関連する海外研究者による公開講演会を開催する方向で調整している。実現した場合には授業内で案内する。参加は成績評価上の必須要件とはしない。
成績評価方法	成績は可・不可で評価する。各回のリアクションペーパー40%、授業内の討論・グループ活動への参加20%、最終グループ課題および発表40%により総合的に評価する。最終課題については、成果物に加え、各自の役割と振り返りも評価する。集中講義の全日程への参加を原則とし、やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員へ連絡し、指示された代替課題を提出すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51294	A 1	グローバルシチズンと持続可能な社会 Global Citizens & Sustainable Society	宮崎 彩	教養教育高度化機構	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

What is it that we can do as "global citizens" to tackle the universal issues to build a more sustainable future??
このようなクエスチョンを念頭に、グローバル人材からグローバルシチズンについて学生の皆さんと考えてきました。
今年度の本全学自由研究ゼミナールでは、2030 年以後の国際社会に何が求められているのか、そのために学生たちがどう羽ばたいていくべきか、に焦点をあて、国際的に活躍されている様々なゲストにお話を伺います。
特に今年は「文化」に着目したいと考えています。
変わり続ける国際政治の中で、21 世紀に求められるグローバル・シチズンとはどのような人であるのか、その姿を考え、学生による新たなグローバル・シチズン像を打ち出すことを目標としています。
持続可能な社会を実現するために、様々な分野で国境を超えてそれぞれの道を切り拓いてきた方たちとのディスカッションを通して、グローバル・シチズンに求められる資質とは何か、2030 年以後の持続可能な社会を構築していくために何が必要なのかについて、正面から向き合います。
これまでお呼びしてきたゲストは次のようなバックグラウンドの方達でした。
・前 UNDRR（国連防災）長 水鳥真美さん
・国際人道支援の専門家
・国際機関・国家機関・NGO で働く専門家
・国会議員（モンゴル）
・大学、研究機関の研究者（シンガポール、アメリカ、日本）
・海外ビジネスを展開するビジネスマン
今年度は「文化」をキーワードに活躍する世界中の先輩方をお招きします。
到達目的：
国境を越えて道を切り拓いてきた先輩やそのような人々を輩出しようとする既存の施策などから、いわゆる「グローバル・シチズン」として求められるファクター（ツール、マインドセット、スキル、経験など）を学び、構造化することを目的とします。そのうえで、国内外の社会問題・情勢に対応するために必要なファクターを言語化し、2030 年以後の未来を見据えて、「グローバル・シチズン」に求められる資質を学生主体で定義します。
到達目標：
1：グローバル・シチズンに求められている諸要素・条件などを知り、批判的に分析できる。
2：すでに世界で活躍する人々との対話を通じて、グローバル・シチズンに求められるファクターを抽出し、定義を考える。
3：グローバル・シチズンを育成するために求められるファクターと、それを獲得するために必要なツール・場などを考え、定義を作る。
What is it that we can do as "global citizens" to tackle the universal issues to build a more sustainable future??
With these questions in mind, we have been exploring the concept of “global citizens” alongside you, our students, building on the idea of “global talent.”
In this academic year’s Seminar, we will focus on what will be required of the international community after 2030 and how students should spread their wings to meet those demands, while hearing from a variety of guests who are active on the international stage.
In particular, this year we intend to focus on “culture.”
Amid the ever-changing landscape of international politics, our goal is to consider what kind of person constitutes a global citizen in the 21st century and to propose a new vision of the global citizen developed by the students themselves.
To realize a sustainable society, we will engage directly with the qualities required of global citizens and what is necessary to build a sustainable society beyond 2030 through discussions with individuals who have blazed their own trails across borders in various fields.
The guests we have invited in the past have had the following backgrounds:
・Director Mami Mizutori, former Executive Director of UNDRR (United Nations Office for Disaster Risk Reduction)
・Experts in international humanitarian aid
・Professionals working at international organizations, government agencies, and NGOs
・Members of Parliament (Mongolia)
・Researchers at universities and research institutions (Singapore, the United States, Japan)
・Businesspeople expanding their operations overseas
This year, we will invite leaders from around the world who are active in the field of “culture.”
Objectives:
The goal is to learn from and systematize the factors—such as tools, mindsets, skills, and experiences—required of so-called “global citizens,” drawing on the experiences of mentors who have blazed trails across borders and existing initiatives aimed at fostering such individuals. Building on this, students will articulate the factors necessary to address social issues and global situations both domestically and internationally, and—with an eye toward the future beyond 2030—student-led initiatives will define the qualities required of “global citizens.”
Learning Objectives:
1: Understand and critically analyze the various elements and conditions required of a “global citizen.”
2: Through dialogue with individuals already active on the global stage, identify the factors required of a “global citizen” and consider how to define them.
3: Consider the factors required to cultivate “global citizens,” as well as the tools and environments necessary to acquire them, and formulate a definition.

成績評価方法

25% 授業への参加状況
75% 課題の提出状況及び質的評価
内訳：
25% ディスカッション参加

	25% グループプレゼンテーション 50% 最終「グローバル・シチズン」定義作成・提出
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51295	A	企画の研究所 ― こころと社会を動かすコミュニケーション ―	桑田 光平	教養教育高度化機構	月 5, 月 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	この講座では、「人の気持ちの動かし方」を研究します。 人の気持ちが動くとき、社会は動く。そのスイッチを探していきます。 電通のクリエーティブと東京大学が手を組み、 人のこころを動かす「企画」を探究する研究所を立ち上げました。 社会のためになること、あたらしい体験の創出、研究やサービスの立ち上げ。 どんな挑戦にも共通するのは、「人のこころを動かす」ことです。 気持ちが動かなければ、人は動きません。 AI が発達し人間性への回帰が進む時代に、 人の気持ちと向き合い、動かす力はますます重要になります。 映像、言葉、体験、空間、ビジュアル。 私たちが培ってきた多様な表現の中心にあるのが「企画」です。 本講座では、映画、漫画、音楽、ファッション、落語、短歌などを手がかりに、 人の気持ちはいつ、なぜ動くのかを探究しています。 目指すのは、誰もが「企画」を力にできる社会です。 何か面白いことを考えてみたい。そんなあなたとの出会いを、楽しみにしています。 ■進め方について 各回テーマを持ちながらも、大きく 4 つの力を鍛えていきたいと考えています。 見る力：課題を見つける。表現を見る。世界を見る目の解像度を上げる。 分析する力：伝え方を収集する。人の気持ちが動く瞬間を収集する。類型化して一般的な手法にしていく。 表現する力：人の心を動かす企画をする。それに伴う表現方法を学ぶ。 実践する力：実際のクライアントを巻き込んで、上記の研究を実践する。 このどれもが、社会人、表現者の基礎体力となるような力となるのは間違いありません。 研究のみならず表現・実践まで落とし込んでいくことが、本授業の醍醐味となるはずです。 ＜昨年の授業の内容例＞ ・コピーライティング、デザイン ┗専門講師による言葉とビジュアルのワークショップ ・駒場祭にて「もやけ屋敷(2024 年)」「東大 VS〇〇(2025 年)」を展示 ┗毎年駒場祭で企画を考案・出店しています。 ・学食副菜バトル ┗班ごとに副菜を担当し、プロモーション企画を考え、実装。一番売り上げが上がった副菜を競いました。 ・渋谷の新しい地図作り ┗渋谷を班ごとに散歩し、自分なりの解釈で渋谷のあたらしい地図を描きました。 ・ゲスト講師特別講義 ┗映画プロデューサーや CM/映画監督、起業家などゲストによる講義。 ・パラアスリートと遊びの開発 ┗パラアスリートをお呼びし、班ごとに「みんなが楽しめる新しい遊び」を開発し、実践。
成績評価方法	全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、プレゼンテーションの内容により評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51296	A	スタートアップを考える：社会課題を解決するビジネスエコシステムの視点	桑田 光平	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	授業の目標概要： スタートアップを、技術・アイデア勝負という視点だけでない、より俯瞰的かつ実践的な視点で現役のコンサルタントと共に考えてみませんか。日本経済の抱える課題解決の観点から、スタートアップを取り巻くビジネスエコシステムとその課題を取り扱います。 近年スタートアップは急成長を遂げており、日本のスタートアップ企業はおよそ2万社を超えていると言われています。学生のみなさんにとっては大企業よりもむしろ身近な存在になりうるほどかと思います。一方でスタートアップ自体は失敗するケースも少なくないというのも事実です。成功に届かなかった要因は技術・アイデアが評価されなかった、それだけでしょうか。数多くのスタートアップが生まれる中において、本来であれば社会に還元されるべき多くの技術・アイデアが埋もれてしまっていれば、それは看過できない社会課題の一つです。その課題について、スタートアップを取り巻く「ビジネスエコシステム」を主題として、「ステークホルダー」・「ファイナンス」・「M&A」などといった観点も用いつつ紐解いていきます。本授業の計画やファシリテーションは、現役コンサルタントが行います。
成績評価方法	・出席数とリアクションペーパーを総合的に勘案して評価 ※具体的な評価方法についてはガイダンスにて説明します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51297	A	脱植民地主義的フェミニズム／クィア研究	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本講義では、「脱植民地主義的フェミニズム／クィア研究」をテーマに、主に東アジアの地域を念頭に置いた関連の学術論文を講読し、脱植民地化プロジェクトへの批判的参与を促すことを目的とする。 東アジアにおいては、19世紀から20世紀にかけて、伝統的な華夷秩序が崩れ、「大東亜共栄圏」へと国際秩序が再編された。その中で、日本は帝国化を進め、北海道や沖縄、朝鮮半島、台湾といった地域に対する植民地支配をとおして、これらの地を近代化のプロセスへと巻き込んだ。この過程において、「性の政治」は日本の帝国主義および植民地主義のプロジェクトにおいて極めて重要な位置を占めていた。 1990年代、グローバル冷戦の終焉以降、かつて植民地支配を受けた諸地域では、脱植民地化をめぐる議論が活発化した。一方で、敗戦後の日本は、脱帝国化を十分に果たすことなく、こうした議論に応答する言説や運動を欠いたまま、歴史修正主義の台頭を許してきた。 本講義では、(脱）植民地主義および（脱）植民地化の諸相を、ジェンダーやセクシュアリティの観点から批判的に検討する。受講生は、これらの議論を通して、脱植民地化のプロジェクトに自らの立場から参与するための視座を獲得することを目指す。
成績評価方法	授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51298	A	「ダイバーシティ／Diversity & Inclusion」再考	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要
【授業の概要】
近年、経済や政治や文化といったさまざまな領域で「ダイバーシティ／Diversity & Inclusion／Diversity, Equity & Inclusion」が関心を集めている。日本では 2010 年代以降、「ダイバーシティ」言説の広がりとともにそれを推進する取り組みが注目を集め、企業では女性や性的マイノリティをはじめとするマイノリティの「活用」が「ダイバーシティ・マネジメント」や「D&I」「DEI」というスローガンのもとで進められている。行政や自治体でも、いわゆる「同性パートナーシップ条例」の制定や、防災・減災活動におけるマイノリティ視点の導入といった施策が「ダイバーシティ」言説によって正当化されている。東京大学も 2022 年に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を公開し 、2023 年 4 月には教養学部に D&I 関連授業とセーファースペース（KOSS）を提供する「Diversity & Inclusion 部門」を設置した。
「ダイバーシティ」の取り組みは、国連が推進してきた SDGs や、近年のフェミニズムや性的マイノリティ運動、障害者運動、反レイシズム運動といったマイノリティの社会運動に対する関心の高まりとも親和性が高いように見える。しかし、そもそも「多様性を包摂すること（Diversity & Inclusion）」は、国家や組織に対していかなる変化をもたらすプロジェクトなのだろうか。
もとより「包摂」と「排除」は表裏一体で、メンバーシップの境界設定をめぐる政治である以上、包摂されるメンバーシップには臨界点がある。とするならば、どのような政治力学によって特定のメンバーが歓迎すべき人として包摂され、あるいは歓迎されないヒトとして排除されるのか。およそあらゆる組織にはさまざまなマイノリティが「すでにいる／た」はずだが、かれらは「包摂」されていなかったのだろうか。とするならば、どのような意味においてそういえるのか。D&I のプロジェクトは、このような困難や難題といかに向き合ってきたのだろうか。
【目標】
この授業では「ダイバーシティ／D&I／DEI」言説をラディカルに考える／考え直すことを目標とする。そのために、そもそも「差別」とはいかなる現象なのか、どのように解消することができるのか／できないのかを、多様なマイノリティの歴史的・理論的実践から検討する。そのうえで、近年の「ダイバーシティ」をめぐる言説を批判的に読み解き、社会正義を実現するアプローチとしてのダイバーシティを模索する。
成績評価方法　授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51299	A	サイバーフェミニズム	飯田 麻結	教養教育高度化機構	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　サイバーフェミニズムの歴史的な隆盛とその代表的な作品・プラットフォームを参照した上で、https://cyberfeminismindex.com/に掲載された文献を中心に、デジタル・テクノロジーとジェンダー、セクシュアリティに関する多角的な視点を獲得することを目的とする。その上で、同時代的な科学技術が身体に関する理解をどのように変容させているのか、具体的な事例とともに批判的に考察する力を身に着けることが望ましい。
成績評価方法　出席、ディスカッションへの貢献、授業内での発表(15 分程度)、期末レポートに基づき総合的に判断する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51300	A	フェミニスト／クィア障害学	清水 晶子、 井芹 真紀子	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　※詳細は UTAS をご確認ください。
成績評価方法
教科書
ガイダンス

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51301	A	デジタルヒューマニティーズの最前線	土畑 重人、曹 芳慧	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本授業では、「AIやデジタル技術によって人文学研究はどのように変わりつつあるのか」「文学作品などのテキスト資料の量的分析・可視化によってどのような新たな特徴や傾向が見えてくるのか」「古典籍や歴史資料はどのようにデジタル化・分析できるのか」といったテーマを取り上げながら、デジタル・ヒューマニティーズの最前線を実践的に学ぶ。 デジタル・ヒューマニティーズ（Digital Humanities: DH）は、人文情報学とも呼ばれ、人文学とデジタル技術を融合させ、新たな研究手法や知見を生み出す学際的な分野として急速に発展している。本授業では、TEI（Text Encoding Initiative）、OCR（Optical Character Recognition）、IIIF（International Image Interoperability Framework）、GIS（Geographic Information System）、ネットワーク分析（Network Analysis）、感情分析（Sentiment Analysis）、自然言語処理（Natural Language Processing: NLP）などの技術や分析手法を取り上げ、その基本的な考え方と活用方法を実践を通して学ぶ。 初めて耳にする用語が多いかもしれないが、授業では講義で各手法の背景や基本的な考え方を分かりやすく説明するとともに、Google Colabなどのクラウド環境を利用し、実際にデータを扱いながら体験的に学ぶ。プログラミング未経験者でも受講できるよう基礎から丁寧に進めるため、これらの技術や手法について事前の知識は必要ない。専門的な知識の習得よりも、デジタル技術が人文学研究にもたらす新たな可能性を理解することを重視する。 授業を通して、多様なDH手法の特徴や可能性を理解するとともに、自らの関心に応じて適切な手法を選択し、今後の学習や研究に活用するための基礎的な視点を身につけることを目標とする。授業で紹介するすべての手法を習得する必要はなく、自分が興味を持った手法や今後活用してみたい手法について理解を深めることを期待する。 なお、授業ではノートパソコンを使用するため、各自持参すること。 --- 到達目標： 1. 授業で紹介した各種デジタル手法について、その基本的な考え方と人文学への応用の特徴を理解できる。 2. 授業で学んだ内容を、自らの今後の学習や研究に活用できる。
成績評価方法	成績は、平常点50%（授業への参加・演習への取り組み：20%、各回の授業後に提出する振り返り：20%、授業内容に応じて実施するミニ課題：10%）、グループプロジェクトおよび成果発表（50%）を総合的に評価する。 各回の振り返りでは、授業で学んだ内容や気づいたこと、感想などを記述し、期限内に提出することを求める。振り返りは内容の正誤ではなく、提出状況を評価の対象とする。 ミニ課題では、授業で学んだデジタル・ヒューマニティーズ（DH）の手法を実際に活用し、各手法の基本的な理解と活用状況を評価する。ミニ課題は各回の授業で課すものではなく、授業内容に応じて適宜実施する。原則として1問程度の小課題とし、学生同士での議論、インターネットでの検索、生成AIの活用を認める。目的は評価・試験ではなく、授業内容の理解を深めることにある。 グループプロジェクトでは、授業で学んだ、あるいは授業外で学んだDH手法を活用した分析計画を立案し、分析テーマの設定、分析方法の妥当性および実現可能性を踏まえ、その内容を分かりやすく論理的に発表できているかを重視して評価する。 生成AIの利用を積極的に推奨するが、グループプロジェクトでは、使用した生成AIのプロンプトを提出物と併せて提出すること。生成AIはアイデアの整理や情報収集、文章の推敲などの支援ツールとして活用し、その出力をそのまま提出するのではなく、自ら検討・修正を加えたうえで、自分自身の成果物としてまとめること。なお、提出物および発表内容については、自身で内容を十分に理解し、必要に応じて説明できることを前提とする。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51302	A	企画を創る～実践から学ぶ教養としてのアートマネジメント	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	芸術と社会をつなぐ役割を担うアートマネジメントには、多岐にわたる能力が求められます。中でも企画力は、コロナ禍を経て新たな社会的フェーズを迎えた現在、イベント実施の意義そのものをより一層明確に提示する必要がある為、今後さらに重要となっていく能力であると考えられます。 そして、企画を考えるプロセスとは、社会と芸術との関係のみならず、それらと自分自身との繋がりをも俯瞰しつつ、興味と関心を掘り下げていく必要のある、まさに「教養」の問われる知的営為とも言えるでしょう。 本授業は、社会の一線で企画づくりに携わって来たプロフェッショナルを講師に迎え、実体験に基づくレクチャーの他、グループワークを通じて企画立案に必要な資質、構成力、発信力を学びます。最終成果発表では、グループ毎に企画を立案し、企画書の作成・ブラッシュアップからプレゼンテーションまでを行います。以上の様な実践を通して「企画を創る」ことを共に考え学び、これからの時代の「教養」としての企画力を身に付けることが、本授業の目標となります。 ●ゲスト講師紹介 鐘ケ江織代 （アートマネジャー、コーディネーター、リサーチャー） 株式会社しろばら百藝社代表取締役。パレイドリアン代表。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、京都コンサートホールの各事業課を経て、トーキョーワンダーサイト（現トーキョーアーツアンドスペース）では「若手のための現代音楽企画ゼミ」を企画するなど、コンサートやワークショップの企画・制作、若手クリエーターの育成・支援事業等に携わる。 山本和智（作曲家・プロデューサー） 独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範にわたり、2006年モリナーリ国際作曲賞第1位(カナダ)、2007年AIC / Mostly Modern 国際作曲コンクール第1位(アイルランド)、2009年度武満徹作曲賞第2位、2010年第5回JFC作曲賞、2011年TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL- SOUND, ART & PERFORMANCE vol.7奨励賞受賞など。2020年にはサントリーサマーフェスティバルにてオーケストラ作品の新作を初演。2009年より『特殊音樂祭』をプロデュースする。 和光大学表現学部総合文化学科非常勤講師、音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバー。 眞崎光司（学習環境デザイン研究家） 青山学院大学大学院社会情報学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。大学卒業後、大学図書館に勤務し、大学生がワークショップや展示の形で自らの学習機会を創出することができる空間（ラーニング・コモンズ）のデザインと運営を担当。現在は音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバーとして現代音楽の普及活動や作曲家の創造性に関する研究を行う。
成績評価方法	出席状況、授業への貢献度、最終プレゼンテーションによって合否判定をおこなう。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51303	A	ブランドデザインスタジオ 34「恋」をブランドデザインする	真船 文隆、山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本プログラムは、東京大学教養学部と博報堂生活者発想技術研究所が連携し、「21KOMCEE」を舞台に『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。多様なチームで連携しながら、広告会社社員・ブランドコンサルタントのファシリテーションのもと、ワークショップ形式で「共創」の手法（思考法やグループワーク、各種スキル）を実践的に学びます。 今期の授業のテーマは「『恋』をブランドデザインする」です。 古今東西、「恋」に関する書物は数多く存在します。日本では『万葉集』や『源氏物語』、古代ローマではオウィディウスの『恋の技法（アルス・アマトリア）』など、古くから人は「恋」を語り、その登場人物の心情には、現代の私たちが読んでも深く共感できるものが多くあります。 一方で、「恋」にまつわる経験は、決して「どの時代でも同じ」ものではありえません。顔を合わせられない二人の距離を縮めるものが、かつては「和歌」であり、現代では「SNS」や「マッチングアプリ」であるように、ツールやメディアもまた恋愛観に影響を与えてきました。ただ、写真やプロフィールしか知らない相手と最初に言葉を交わす現代の体験は、顔も知らぬまま和歌を贈り合った平安時代の恋愛に、どこか通じるものがあるのかもしれません。あるいは、ロマン主義以前のヨーロッパでは「理性を脅かす狂気」として、人を破滅に導くものとして描かれたこともあります。「恋」の経験は決して個人的な感情だけでは片づけられず、その時代の社会制度や価値観を反映し、変化してきたものといえるでしょう。 さて、ひるがえって現代、「恋」の経験はどんなものに変化しているでしょうか。博報堂生活総合研究所の調査では、約 30 年前と比較し、「今欲しいもの」に「恋人」を挙げる割合は低下しています。また、他者に恋愛感情を抱かない、あるいは抱きたくない登場人物のドラマにも多くの共感が寄せられました。一方で、アイドルやキャラクターに対する「ガチ恋」や、音楽や映画に「恋する」など、「恋」という単語の使われ方は多様になっています。現代は、恋をするもしないも自由であり、またその対象も人間には限らない、「恋」の経験が非常に多様で豊かな時代と言えるでしょう。 この時代において、「恋」とは一体何なのでしょうか？ この授業では、個人の感情でありながら、強く時代の影響を受け、変容し続ける「恋」について深く思索していきたいと思います。そして、その探求をもとに、人々を豊かにし、真のつながりを育む製品やサービスを具体的に構想いただき、新しい「ブランド」として提案していただきます。 なお、テーマを鑑み、本授業（ワークショップ）では、参加するメンバーの誰もが「何を言ってもいい」「ほかの人（の発言・意見）に否定的な態度をとらない」「ワークショップで話されたことは、（本人の許諾がないかぎり）他の場では口外しない」ことをグラウンド・ルールとします。 詳しくは 10 月 8 日（木）17：30～開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明します。関心を持っていただける方は、ぜひご参加ください。
成績評価方法	全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51305	A	ミューオンを知ろう	松本 悠	教養教育高度化機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	ミューオン、あるいは素粒子と聞くと何やら難しい感じがするかもしれません。確かに、きちんと理論を勉強するには、基礎知識が必要です。しかし“素粒子”は、非常に身近な存在です。そこで、この授業では、理論的な背景はある程度割愛して（希望があれば説明します）、素粒子の種類や性質、相互作用といった観測事実を基に、どのように分類できるのかを自ら考えながら理解してもらいます。 そして簡単な実験装置を使い、宇宙から飛来する素粒子、ミューオンを観測し、その実験結果から何が分かるか、考えてもらいます。ただ装置を使ってデータを解析するだけではなく、実験装置自体に改良を加えて、独自の観点から実験計画・実施し、検証をするという素粒子物理実験の、簡単な体験をしてもらいたいと思います。
成績評価方法	出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51306	A	STEAM 教育の実践～物理とアートの実験教室～	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	皆さんは、教える側に立ったことがあるでしょうか？友達に授業でわからないところを教えた、弟や妹の勉強を見てあげた、あるいは親にパソコンの使い方を教えてあげた、など色々あると思います。これらは知識や技術をピンポイントに効率よく伝えられますね。家庭教師や塾講師で授業した場合は？じっくり時間をかけて問題の解き方や考え方を教えられますね。ではさらに、最近増えてきた「実験教室」では、何を教えられる（伝えられる）でしょうか？「実験教室」ならではの、伝える内容・深さ・効率（効果）があります。それを議論し、目的を達成できそうな教材開発・授業計画を行い、実践し、検証するのがこの授業の目標です。 「実験教室」の内容は、科学は基本的に物理系で進めたいと思いますが、話し合って生物・化学系でも良いかと思います。一方で STEAM の”アート”は、根底にはリベラルアーツという意味の教養ですが、何を教養としてフォーカスするかはその都度目的を設定していかなくてはなりません。非認知能力の強化や、まさに芸術としての自己表現を取り入れた STEAM 教育になればと考えています。 実践の場は、埼玉県のとある地域の一般市民向け実験教室で、対象は小学生、日時は１１月、１２月、２月の日曜です。必須ではありませんが、極力１回は参加するようにしてください。詳細は授業でお話します。 サークルでも「実験教室」活動を精力的に行っているところもあり、実験教室で教える側に立った方もいるかと思います。それぞれの活動場所で、それぞれの目的があると思いますが、皆さんの知見を合わせ、さまざまな視点から実験教室を組み立てていきたいと思います。
成績評価方法	出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51307	A	University of Tokyo – Accenture "Hack the Future: Provoke, Imagine, Impact"	高橋 史子	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

Overview

Look around you. There are probably things in your daily life that make you think, "Why does this still work this way?"—or, "I wish things looked different." The world isn't going to change by itself. This seminar is about developing the confidence to see what needs to change, design a better version, and make it happen.

Now, generative AI can answer almost anything you throw at it—and what felt impossible a few months ago keeps becoming possible faster than anyone expected. That raises a genuinely hard question: what's left for us to do? One answer: the things that still take a human. Getting to the heart of the problem. Designing a smarter fix. Bringing the right people on board. That takes both logic and gut instinct—and the only way to build either is by doing the work by yourself.

That's what this seminar is built around. You'll tackle problems you've never thought about before, look at them from angles you haven't tried, and work your way to answers that are genuinely your own. You'll get sharp feedback along the way, and finish by pitching your ideas directly to professionals with real-business experience.

Accenture works with organizations all over the world to solve complex, high-stakes problems—and we know firsthand what it takes to drive meaningful change. In this seminar, Accenture consultants will guide you through the process—sharing frameworks, offering feedback at key moments, and helping you find your own path from problem to solution to pitch. No prior experience required. Just bring your curiosity—and your appetite to hack.

Expected outcomes

-From the lectures on various themes, understand the situations of the “companies” that you may interact daily. Learn new techniques to investigate the situation.

-Deepen your thinking through discussion with your teammates.

-Get trained to define your own “guiding questions” and find answers for each.

Examples of the “guiding questions”:

•How can I reduce the waiting time at a store I frequently visit?

•How can I encourage people who don’t usually go to the movies to want to visit theaters regularly?

•How can I make makeup more enjoyable and accessible for men?

•How can I express our reactions in Zoom meetings in a way that feels as natural as face-to-face conversations?

•How can I make crowded train commutes more enjoyable?

•How can I make the experience of waiting for trains at Komaba-Todaimae Station more comfortable, without reducing the number of users?

-Learn techniques to tell a convincing story to gain understanding from the audience.

-Understand skills and approaches required to accomplish the task when working as a team with diversity.

成績評価方法

Self-reflection form (80%)

-It is required to submit a filled form after the end of each lesson.

-You should reflect on what you learned each week. You may also share your questions or thoughts.

-Attendance of the lesson is only recognized if the form is submitted.

Final presentation (20%)

-Each student will make presentations on either Week 12 or 13.

-Each will identify a problem related to themselves that they wish to resolve.

-Lecturer (10%) and Accenture (10%) will determine the points.

Evaluation points

-Is the presentation following the standard format and including all the topics to be covered?

-Was the story logical and convincing?

-Is the time managed well?

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51308	A	駒場で「食」を考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

この授業は身近な野菜の問題からスマート農業、そして海外の食品市場のことまで、「食」をキーワードとして文系・理系の枠を超えて学び合い、議論しあう授業である。最終的に、学んだ内容を活かし、グループで政策提言をまとめて発表してもらう。農業政策に関わる実務家をゲストに迎え、コメ、野菜、農村振興など多岐にわたるイシューについて、多角的な視点から検討する。

成績評価方法

授業へのコミットメントと課題によって評価する。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51309	A 1	平和のために東大生ができること I	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	冷戦の終焉から 30 年経過した今、世界は再び核の脅威にさらされている。また、エネルギーや食料の価格高騰をはじめ、遠い国での戦争が我々の生活に大きく影響することを学生のみなさんも実感していることであろう。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合うことを目的とする。今学期は SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」を主なテーマにかかげ、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題に加え、ウクライナ戦争の影響等の現在進行中の問題についても探求する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。なお、本授業は A2 ターム（集中）に実施予定の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」（渡航先はカザフスタンを予定）の準備授業を兼ねる。国際研修の履修希望者が定員を上回る場合はこの全学ゼミの平常点とレポートによってセレクションを行う。同国際研修を履修希望の学生はこの全学ゼミを必ず履修すること。国際研修に参加しない学生の全学ゼミ参加ももちろん歓迎する。
成績評価方法	授業へのコミットメント（60%）と宿題・レポート（40%）によって評価する。ただし授業出席のみでは単位は付与しない。必ず課題も提出すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51310	A	茶わんの湯からホリスティックに科学を考える 科学・文化・感覚をつなぐ眼差しのトレーニング Lessons from a Tea Cup: Toward a Holistic View Connecting Science, Culture, and the Senses	鹿島 勲、 堀 まゆみ	教養教育高度化機構	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

時間と空間を超越、普遍性を追求、多様性を受け入れ 学問分野を自由に横断する、日常生活の中にある茶碗から 私たちのホリスティックな挑戦

Transcending time and space, pursuing universality, and embracing diversity, freely traversing academic disciplines, beginning with a teacup in everyday life, our holistic challenge continues.

==========

普段は意識しない、何の変哲もない茶わんと湯。物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点に、素朴な疑問を大切にしながら、身近なものごとに潜む本質を、授業内の作業や実験を通じて科学的・多面的に考察します。多様な要素を相互につなぎ、全体として理解しようとする視点、学際的に知をつなぎ、知性と感性のバランスを意識し、多面的な気づきを育む視点、すなわち「ホリスティック（全体的・統合的）な視点」を重視します。加えて、観察・実験・交流を通して、寺田寅彦的思考（身近な事象の本質を見抜く眼差し）を養うことが本ゼミの主目的です。

【到達目標】

1. 身近な事象から自分の問いを立て、観察・実験にもとづいて自分の言葉で説明できる。
2. 一つの対象を科学・技術・文化・歴史など複数の視点から記述し、それらを関連づけてホリスティックに論じる。
3. 生成 AI を活用したハイブリッド執筆・評価のプロセスを記録し、自分なりの活用方法を設計・説明できる。
4. 他者（クラスメート・ゲスト・学外協力者・AI）の視点からのフィードバックを受け止め、自分のエッセイと問いを更新できる。
5. このような取り組み、交流と時間の過ごし方を楽しむ余裕を持つ。

【授業構成】

オブジェクト・ベース・ラーニング（Object-Based Learning）のスタイルで進めます。身近な「モノ」や「現象」を Slow Looking（時間をかけてじっくり観察すること）から始め、そこから展開するストーリーを通じて分析・探究を行い、対象を変えながら学びを深め、各自が自分の問いを探します。今シーズンは、湯・光・水・茶から茶碗、そして石やコトバへと対象を広げ、参加者は自分のエッセイの執筆準備をしつつ、ゲスト講師の眼差しに触れながら授業は進行します。

【ゲスト講師】（敬称略・順不同）

登壇日はガイダンスで発表

片岡弘樹（ノリタケ株式会社）

「茶碗と科学」: ものづくり・器・セラミックス・歴史・社会・文化 ・芸術

＊2015 年から今シーズンで 12 回目！全ての授業「茶わんの湯」に登壇

堀まゆみ（教養学部附属教養教育高度化機構 EX 部門）

「茶わんの湯」から水環境を考える

＊環境分析化学、本授業の担当教員

鳥井寿夫（東京大学総合文化研究科広域科学専攻 相関基礎科学系, 物理部会）

「液滴の魔術：ニュートンの虹と現代光科学」

＊2015 年授業「茶わんの湯」立ち上げメンバー

トム・ガリー（東京大学グローバル教育センター）
言語教育、辞書学、翻訳論
＊2015 年授業「茶わんの湯」立ち上げメンバー
舘野繁彦（タテノイト, 地球惑星科学者保育士）
「何の変哲もない石が語る 46 億年」地球科学の視点
＊新規メンバー
Shigehiko Tateno et al. The Structure of Iron in Earth's Inner Core. Science, 330(6002): 359-361, 2010.
【備考】
エッセイ・ルーブリックの執筆も授業時間内に行います。宿題は基本的にありません。
テキスト入力・ネット接続が可能な端末をご持参ください。
【問い合わせ】
kashima+Lesson_from_Teacup@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
===EN===
An ordinary teacup and hot water — things we rarely stop to notice. Starting from physicist Torahiko Terada's essay "Lesson from a Tea Cup/Chawan-no-yu/ちゃわんのゆ/茶碗の湯", we look closely at everyday things and explore the essence hidden in them through hands-on work and experiments. The course values a holistic view: connecting knowledge across fields, balancing intellect and sensitivity, and nurturing many-sided awareness. Our main aim is to cultivate Terada's way of seeing — perceiving the essence of familiar things — through observation, experiment, and exchange.
[Learning Objectives]
1. Raise their own questions about everyday things and explain them in their own words, based on observation and experiment
2. Describe one object from several viewpoints — science, technology, culture, history — and connect them into a holistic account
3. Record their own process of AI-assisted writing and evaluation, and design and explain how they use these tools
4. Take in feedback from others (classmates, guests, outside collaborators, AI) and revise their essay and questions
5. Keep enough room to enjoy the work, the exchange, and the time spent together
[Structure]
The course runs in an *Object-Based Learning* style. We begin with *Slow Looking*, taking time to observe familiar objects and phenomena closely, then move through analysis and inquiry, changing subjects as we go, while each person searches for their own question. This season we widen our focus from hot water, light, water, and tea to the teacup, and further to stone and words, guided along the way by our guest speakers.
[Guests] Lessons from:
Hiroki Kataoka (Noritake Co.) #ceramics
Mayumi Hori (environmental chemistry) #water
Toshio Torii (physics) #light
Tom Gally (language, translation) #words
Shigehiko Tateno (Tatenoito, Earth and Planetary Science) #stone
[Notes]
Essay and rubric writing are done in class. There is generally no homework. Please bring a device with text input and internet access.
Contact: kashima+Lesson_from_Teacup@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

成績評価方法　80 点以上で合格。点数化そのものを目的とせず、ホリスティックな学びのプロセスを評価します。

項目（点）
課題への回答・提出、グループワークへの参加（40 点／到達目標 1・2）
ルーブリック・キューブ・エッセイのプロセス提出（40 点／到達目標 2・3）
クラス内フィードバックへの参加（20 点／到達目標 4）
合計 100

＊エッセイは、クラス内での相互評価に加え、生成 AI と人によるハイブリッド評価や、世代・専門を越えた学外協力者による評価など、多様な視点を取り入れる企画を予定しています（内容は変更の可能性あり）。
===EN===
Pass: 80% or above. Scoring itself is not the goal; we value the holistic process of learning.
Items (points):
Answering and submitting tasks, and taking part in group work (40 / Objectives 1 & 2)
Submitting the Rubric Cube and essay process (40 / Objectives 2 & 3)
Taking part in in-class feedback (20 / Objective 4)
Total: 100
Essays may be assessed through several perspectives — peer review in class, hybrid human-and-AI evaluation, and evaluation by outside collaborators across generations and fields (details may change).

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51311	A 1	余白と気づきのための Calendar Mindfulness Calendar Mindfulness: Making Room for Awareness	鹿島 勲、 堀 まゆみ	教養教育高度化機構	木 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

「余白」や「気づき」はどのように生じますか？
この授業の【前半】では、紙のカレンダーを手でつくることから始め、自分の時間の使い方をじっくり観察し、そこにある「余白」や無意識のパターンに気づくことを大切にします。マインドフルネスの専門家をゲスト講師として招き、参加者全員でセッション、この試験的な授業への意見交換会も企画しています。
【後半】では、Google カレンダーや生成 AI といった道具に触れます。各自の余白や気づきとそれらの道具との良いバランスを皆で考えながら、参加者一人ひとりが手を動かしながら、個別の仕組みを考えます。具体的には、個別ダッシュボード、便利 Google カレンダーの作成、参加者が個別に持続可能に運用できるようになることを目標とします。
【到達目標】
1. 紙のカレンダーを手でつくり、時間や予定を「見えるかたち」にして、じっくり観察できる。
2. 自分の時間のなかにある「余白」や無意識のパターンに気づき、自分の言葉にできる。
3. デジタルツールや生成 AI が時間や注意に及ぼす影響を意識し、それらと距離を取ったり付き合ったりする自分なりの工夫を試せる。
4.「道具の便利さ」が「余白・気づき」を与えるのかという点を、どのように評価すべきか、個別・グループ・クラス全体で向き合う。
【授業構成】
前半は紙のカレンダーづくりと Slow Looking（じっくり観察すること）を中心に、道具に頼らず「余白・気づき」そのものと向き合います。後半は、Google カレンダー・Google Apps Script（GAS）・生成 AI などを、専門知識がなくても安全に触れられる環境を準備して試します。ここでは、共通の型をもとに自分に合わせた個別ダッシュボードを作ることを試みます。コードやツールの扱いは生成 AI の補助を得ながら進めるので、プログラミングの経験は必要ありません。クラス全員で「東大の学事暦を入れた Google カレンダー」を共同でつくる活動も予定しています。
本授業は今年度はじめての開講です。個別ダッシュボードの土台はまだなく、完成版まで到達できないかもしれません。けれど、その土台を参加者と一緒につくること自体が、この初回開講で探究したいことのひとつです。担当教員の鹿島も、プログラミングや AI の専門家ではありません。専門知識がなくても、参加者どうしや生成 AI と協力しながら、”安全でシンプルで、余白と気づきを与えてくれる、そんなカレンダーの仕組み”をつくれるか？それを一緒に探求する試験的な授業です。
【ゲスト講師】
齊藤弘久（社会科学）（マインドフルネス）
名古屋大学 未来社会創造機構 Future Society Studio 教授
コー・イノベーション大学 共創学部地域共創学科 教授
【備考】制作やふりかえりも授業時間内に行います。宿題は基本的にありません。テキスト入力・ネット接続が可能な端末をご持参ください
＝＝＝En＝＝＝
Contact Information
kashima+calendar@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
How do "yohaku" (open space) and "awareness" arise?
In the first half, we begin by making a paper calendar by hand — observing closely how we use our own time, and noticing the yohaku and the unconscious patterns within it. We will also invite a guest mindfulness specialist for a session with the whole class, along with an exchange of views on this experimental course.
In the second half, we turn to tools such as Google Calendar and generative AI. Thinking together about a good balance between these tools and our own yohaku and awareness, each participant builds their own small system — a personal dashboard and a more useful Google Calendar — with the aim of running it sustainably on their own.
[Learning Objectives]
1. Make a paper calendar by hand, give time and plans a "visible shape," and observe them closely
2. Notice the yohaku and unconscious patterns within their own time, and put them into their own words
3. Be aware of how digital tools and generative AI affect their time and attention, and try out their own ways of keeping distance from them or living with them
4. Work through — individually, in groups, and as a whole class — how we should judge whether "the convenience of tools" truly gives us yohaku and awareness
[Structure]
The first half centres on making paper calendars and Slow Looking, engaging with yohaku and awareness without relying on tools. In the second half, we safely try out Google Calendar, Google Apps Script (GAS), and generative AI in an environment prepared so that no specialised knowledge is needed. Working from a shared template, each person builds a personal dashboard suited to them. Since tools and code are handled using generative AI, no programming experience is required. The whole class will also build a Google Calendar containing the University of Tokyo academic calendar together.
This is the first time the course is offered. There is not yet a foundation for the personal dashboards, and we may not reach a finished version — but building that foundation together with participants is part of what this first offering sets out to explore. The instructor, Kashima, is not an expert in programming or AI either. Can we, without specialised knowledge, work together with one another and with generative AI to build a calendar system that is safe, simple, and gives us yohaku and awareness? This course is where we find out together.
[Guest]
Hiro Saito (social science; mindfulness)

Professor, Nagoya University, Future Society Studio
Professor, Co-Innovation University
[Notes]
Work is done in class; no homework. Bring a device with text input and internet access.

成績評価方法	点数化そのものを目的とせず、制作と気づきのプロセスを大切に評価します。以下の提出・共有をもとに総合的に評価します。 ・制作した紙のカレンダー、および紙ならではの余白・気づきの記録（到達目標 1・2） ・後半で試した「道具との付き合い方」の記録――共通の型をもとにつくった個別ダッシュボード（アプリ・スクリプト・HTML 等）を含む（到達目標 3） ・クラスでの共有・共同制作（学事暦カレンダー）への参加（到達目標 3・4） ・全体をふりかえる記録（到達目標 4） ＝＝＝En＝＝＝ Rather than making scoring itself the goal, this course values the process of creation and awareness in its assessment. Evaluation is holistic, based on the following submissions and shared work: The paper calendar you make, and a record of the yohaku and awareness that only paper can offer (Objectives 1 & 2) A record of "how you engaged with the tools" in the second half — including a personal dashboard built from a shared template (app, script, HTML, etc.) (Objective 3) Participation in class sharing and in the collaborative creation of the academic-calendar Google Calendar (Objectives 3 & 4) A reflection on the experience as a whole (Objective 4)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51314	A	生活誌聞き書きフィールドワーク実習@高知	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
高知の職人や日曜市に店を出す人びとのライフストーリー、そしてものづくりや商いに込められた思考を聞き取るとともに、彼らの暮らしに密着するフィールドワークを通して、ミニマガジン（ZINE）の制作と聞き書きルポルタージュの執筆に取り組んでもらいます。
高知は、とても不思議な場所です。経済統計の上では、決して上位に位置する地域ではありません。人によっては「なにもない田舎」と思うかもしれません。
けれど実際に足を運ぶと、「なにもない田舎」にしかないこと・もの・人に、いくつも出会うことになります。
300 年以上続く日曜の定期市では、約 300 の店が軒を連ね、前日に収穫された農産物や手づくりの加工食品が、行き交う人でにぎわう通りにずらりと並びます。港近くの海産物加工場の直売所には、数時間前に水揚げされたばかりのドロメが並びます。山あいの小さな工房では、炭とかまどを使った昔ながらの製法で、1 日 70 丁だけの豆腐が今も丁寧に作られ続けています。県外に展開していない地元の飲食店の多くは、それぞれ独自のコンセプトをもち、個性的な空間とゆったりとした時間のなかで料理を提供しています。そして海辺に並ぶビニールハウスでは、真夏の日中には 80 度にもなる過酷な環境のなか、鋭くも優しいまなざしで塩と向き合う「塩杜氏（しおとうじ）」が、塩なのに甘い不思議な塩を生み出しています。
高知でしか出会えないものには、たしかな「エネルギー」が宿っています。このエネルギーの正体は何なのか。それを生み出している人びとは、どのような人生を歩み、どのように今の暮らしを築いてきたのか。
ただし、この「エネルギー」ということば自体、外から来た者が驚きとともにつけた仮の名前にすぎません。現地で暮らす人びとにとって、それは特別なことでも何でもない、ただの日々かもしれない。自分が持ってきたこの枠組みを疑い、出会った人びとのことばに触れながら、自分自身のことばへと置き換えていく。それが、この研修の重要の作業になります。
この研修では、高知の「ふつうの暮らし」に流れる時間を体感し、そこで生きる人びとの声に耳を傾けます。ただ話を聞くだけでなく、彼らと時間をともにし、その生活のリズムのなかに入り込んでいきます。
そのうえで、2 つのアウトプットに取り組んでもらいます。
① チームでミニマガジン（ZINE）を企画・制作する
② 個人でルポルタージュを執筆する
フィールドワークで出会った人びとの声を、あなた自身の視点とことばで形にする。「観光」ではなく「記録」と「対話」を通して、高知のリアルを掘り起こしていきます。
なお、人の語りを聞き、記録し、それを作品として外に出すという行為には、相応の責任がともないます。本研修では、聞き取りと撮影にあたっての事前の同意、記録の取り扱い、そして書いたものを公開する前に本人に読んでもらうことを含め、記録する者としての手続きを重視します。具体的な作法については事前講義で扱います。
【ガイダンス】
・日時：2026 年 10 月 9 日（金）12:20〜12:50
・場所：国際教育研究棟（KIBER）314 教室
・受講人数は 10 名程度とし、履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を行う。レポートの課題、字数、提出方法および期限は、ガイダンスで説明する。
＊授業計画・方法についてはガイダンス時に説明する。
＊駒場キャンパスから現地までの往復交通費および現地での宿泊費の一部は、大学が負担する場合がある。自己負担額の概算は、ガイダンスで提示する。
＊南京大学短期留学生の参加可否を含む 1 回目フィールドワークの実施体制については、確定次第 LAP ウェブサイトで告知する。
＊講義に関する最新情報は LAP ウェブサイト（http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/）を参照すること。問い合わせも同サイトの問い合わせ欄から行うこと。
【開講・作業期間】
・単位取得には、ガイダンス、事前講義（対面）、2 回のフィールドワークすべてへの参加と、フィールドワークの成果

	を作品として提出することが必須条件となる。 ・フィールドワークは、①2026 年 11 月 20～24 日（予定）の 4 日間、②2026 年 2 月下旬に 5 日間の計 9 日間、2 回にわたって実施する。 ・1 回目の ZINE フィールドワークには、南京大学からの短期留学生が参加し、本学の履修生とともに活動する予定である。ただし、国際情勢および相手校との調整状況により参加の可否は現時点で確定しておらず、2026 年 9 月下旬を目途に確定する見込みである。最新の情報はガイダンスにて周知する。 ・事前講義およびフィールドワークの詳細日程は、ガイダンスで説明する。
成績評価方法	単位取得のためには、ガイダンス、事前講義、2 回のフィールドワークに参加し、ZINE 制作に取り組むとともに、個人で聞き書きルポルタージュを執筆・提出することが必須となる。 成績は、事前講義およびフィールドワークへの参加状況、調査の準備と記録、チームでの ZINE 制作への貢献、個人聞き書きルポルタージュの内容などを総合して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51315	A	生活誌聞き書きフィールドワーク実習@南京	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【授業概要】

本研修は、中国・南京で暮らす人びとの仕事や生活について、現地での観察と聞き取りを行い、その経験を「生活誌の聞き書き」として記録するフィールドワーク型の授業です。

南京は、長い歴史をもつ都市であると同時に、急速な都市開発や社会の変化が進む現代都市でもあります。市場や商店、屋台、集合住宅、地域に根ざした小規模な店舗など、日常生活のさまざまな現場を訪れ、そこで働き、暮らす人びととの対話を重ねます。

一人ひとりは、どのような経緯で現在の仕事や暮らしを選び、南京という都市の変化をどのように経験してきたのでしょうか。また、家族、仕事、地域社会との関係のなかで、どのような価値観や生活のあり方を築いてきたのでしょうか。本研修では、こうした問いをもとに、南京大学の学生と本学の履修者がチームを組み、調査テーマの設定、調査対象の検討、聞き取り項目の作成、現地調査、記録の整理と執筆に共同で取り組みます。

ただし、南京大学の学生との共同活動および南京での現地研修の実施については、現在の国際情勢ならびに両大学の調整状況を踏まえて決定します。国際情勢および相手校との調整状況により、南京大学の協力を得ることが困難となった場合には、フィールドワークの内容を変更することがある。その場合も、可能な限り現地への派遣を行う方針である。

【授業の方法】

本研修では、教員があらかじめ用意した調査課題を履修者が遂行するのではなく、調査の問いを立てる段階から、履修者自身が研修の内容を構想します。

南京大学の学生とのオンラインミーティングや担当教員によるチュートリアルを通して、次の事項を検討します。

・南京でどのようなテーマを調査するか
・どのような場所を訪れ、誰に話を聞くか
・相手との関係をどのように築くか
・どのような質問を設定するか

履修者には、調査を自ら構想する企画力に加え、異なる文化的・言語的背景をもつ学生と協働しながら、計画を具体化していく行動力と調整力が求められます。

現地では、人びとの仕事や暮らしの場を訪れ、観察と対話を重ねます。短時間のインタビューだけで相手を理解したと考えるのではなく、語られた内容がどのような経験や社会的背景と結びついているのかを検討します。また、調査する側である自分自身の立場や先入観についても振り返ります。

なお、中国語の運用能力は履修の要件としません。現地での聞き取りにあたっては、南京大学の学生が言語面での協力をしてくれます。

本研修を通して、次の力を身につけることを目標とします。

・フィールドワークの問いを設定し、調査を計画する力
・インタビュー、参与観察、フィールドノート作成の基礎的な方法
・異なる文化的背景をもつ人びとと対話し、協働する力
・他者の語りを整理し、文脈を踏まえて文章化する力
・他者の人生や生活を記録し、発信する際の倫理について考える力

【ガイダンス】

・日時：2026 年 10 月 16 日（金）12：20～50
・場所：国際教育研究棟（KIBER）314 教室

※受講者数は 10～15 名程度を予定している。履修希望者が多い場合は、レポートによる選抜を行う。
※授業計画、選抜方法、研修の実施方法などの詳細は、ガイダンス時に説明する。
※原則として、ガイダンス、事前講義、南京大学の学生との合同ミーティングおよび現地研修の全日程に参加できることを履修条件とする。
※駒場キャンパスから南京までの往復交通費および現地での活動費の一部を、大学が補助する予定である。補助の対象、自己負担額その他の費用については、ガイダンス時に説明する。
※海外渡航に必要となる旅券、査証その他の手続きについては、大学からの案内に従い、履修者自身が所定の期限までに行う必要がある。
※国際情勢、渡航安全情報、感染症の流行、両大学の事情その他のやむを得ない理由により、日程、実施方法、訪問先などを変更することがある。
※授業に関する最新情報は LAP ウェブサイトを参照すること。問い合わせも、LAP ウェブサイトの問い合わせフォームから行うこと。

LAP ウェブサイト：
http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/
【実施スケジュール】
・事前講義（対面）：2027 年 1 月下旬
・南京大学の学生との合同オンラインミーティング：2027 年 2 月～3 月上旬
・調査計画の作成および担当教員とのチュートリアル：2027 年 2 月～3 月上旬
・南京での現地研修：2027 年 3 月中旬～下旬の約 1 週間
・調査記録の整理および作品執筆：現地研修終了後
・作品提出：2027 年 4 月中、下旬
具体的な日程は、渡航条件および南京大学との調整を踏まえて決定し、ガイダンスまたは授業内で通知する。
【成績評価】
成績は、次の事項を総合して評価する。
・事前講義および合同ミーティングへの参加状況
・調査テーマと調査計画の内容
・チームでの活動および南京大学の学生との共同作業への貢献
・現地でのフィールドワークへの取り組み
・フィールドノートなどの調査記録
・最終成果物である「生活誌の聞き書き」の内容
単位取得のためには、原則として、ガイダンス、事前講義、合同ミーティングおよび現地研修の全日程に参加し、所定の成果物を期限までに提出することが必要となる。

成績評価方法　成績は次の事項を総合して評価する。
・事前講義および合同ミーティングへの参加状況
・調査テーマと調査計画の内容
・チームでの活動および南京大学の学生との共同作業への貢献
・現地でのフィールドワークへの取り組み
・フィールドノートなどの調査記録
・最終成果物である「生活誌の聞き書き」の内容
単位取得のためには、原則として、ガイダンス、事前講義、合同ミーティングおよび現地研修の全日程に参加し、所定の成果物を期限までに提出することが必要となる。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51316	A	中国社会文化研修～深思北京 2026	原 和之、朱 芸綺	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
北京だけを見て、中国全体を理解することはできません。しかし、北京という一つの都市を深く見つめることは、中国社会の複雑さや多様性を考える重要な入口になります。
北京には、長い歴史と現代の政治・経済・文化が幾重にも重なっています。中国各地、さらには世界各地から多くの人びとが集まり、首都としての大きな制度が動く一方で、そこには北京ならではの空気、生活のリズム、そして、この都市で暮らす人びとが培ってきた知恵があります。
本授業では、北京を単なる「中国の縮図」として捉えるのではなく、一つの固有な都市として丁寧に観察します。学生自身が「何を見るのか」「どのように見るのか」「そこから何を考えるのか」を問いながら、対話、観察、記録、共同研究に取り組みます。
授業名にある「深思北京」とは、北京について多くの知識を得ることだけを意味しません。目の前の人や出来事をすぐに理解したつもりにならず、先入観をいったん脇に置き、自分自身のものの見方まで問い直すことを意味します。
本授業では、日中の学生による混成チームを編成し、学生主体の自由研究を研修の中心に据える予定です。あらかじめ用意された答えを再確認するのではなく、自ら問いを立て、実際に歩き、話を聞き、観察し、考えることが求められます。
現在、提携先の大学における学生交流、ワークショップ、家庭訪問等を実施する方向で調整しています。社会・文化関連機関等への訪問についても検討していますが、国際情勢、渡航条件、受入先との調整状況により、実施内容や形式が変更される可能性があります。
この授業を通じて、以下の力を身につけることを目標とします。
・都市や社会を、既存のイメージだけに頼らず、多角的に観察する力
・自ら問いを立て、観察や対話を通じて考察を深める力
・異なる言語的・文化的背景を持つ相手と協働する力
・不確実な状況のなかで、自分で判断し、行動する力
・他者との出会いを通じて、自らの価値観や社会の見方を問い直す力
語学力や中国に関する知識の多さだけが、この授業への参加条件ではありません。知らない環境に一歩踏み出し、自分の目で確かめ、他者とともに考えてみたいという意欲を重視します。
【注意】
この授業は、開講日程および参加者選抜の都合上、通常の授業とは参加申込方法が異なります。履修を希望する学生は、必ず「関連ホームページ」に掲載される案内を確認してください。
【使用言語】
中国語・英語・日本語の使用を想定していますが、3 言語すべてを使用できることが求められるわけではありません。自分と相手の言語能力に応じて、使用する言語や伝え方を柔軟に工夫しながら、意思疎通を図ってください。語彙や文法の正確さだけでなく、相手を理解しようとする姿勢と、伝えるための工夫を重視します。

成績評価方法	研修中のパーフォーマンスと研修後提出課題を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特になし
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51317	A	災害復興と法・社会	米村 滋人、 清水 亮	法学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や能登半島地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。
成績評価方法	平常点とレポートによる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51318	A	ラテンアメリカ現代政治に触れる	馬場 香織	法学部	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本演習では、民主主義、ポピュリズム、貧困・格差、組織犯罪、ジェンダーなど、ラテンアメリカ現代政治にまつわるさまざまなテーマについて、政治家の演説や統計資料、映像などを手掛かりに問題の所在を把握し、履修者同士の討論を通じて、地域各国の政治の現状と課題に関する理解を深めることを目標とする。ラテンアメリカに関する予備知識は前提としておらず、履修者が具体的な事例を入り口に「ラテンアメリカのいま」に触れ、比較政治の視点から現象を分析的に捉える基礎的な力を習得することを目指す。
成績評価方法	授業への積極的な参加によって評価する。 事例に対する分析的視点、疑問点の提示、他者との対話から学びを深める態度など。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51319	A	現代中国政治基礎	李 昊	法学部	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本演習では、現代中国政治外交に関する日本語の研究書籍を講読します。 担当者は本郷において、英語文献を購読する演習を開講していますが、その導入として想定しています。
成績評価方法	議論への参加 100％
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51325	A	『世界開発報告』を読む 2026A	森川 想	工学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	最新版の『世界開発報告』を会読します。開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると担当者は考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。 ガイダンスは第一週に Zoom にて実施します。この日時に出席できない方は別途相談もできますのでその場合はメールでご連絡ください。
成績評価方法	議論への貢献
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51335	A	カーボンフリー社会のための燃焼の科学	LEE MIN HYEOK、秋葉 貴輝、鈴木 雄二	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	炎を使った料理が人類を人類たらしめたという説がある一方、最近では「モノを燃やすのは悪」という風潮が広まっています。「燃やす」という行為は必然的に環境に悪影響を与えるのでしょうか？本ゼミナールでは、カーボンフリー社会のための燃焼について講義と実験を通じて学びます。 近年、カーボンニュートラルの達成は緊急の課題となっていますが、国土が狭く平野の少ない日本では再生可能エネルギーで需要を全て賄うことは困難です。そのため、自然エネルギー由来の水素、あるいは水素の運び手としてのアンモニアをカーボンフリー燃料として海外から輸入し、火力発電所、工業プロセス、船舶などで燃焼させて用いるための取組みが精力的に行われています。 本ゼミナールでは、国内外のエネルギー事情、カーボンフリー燃料の燃焼、宇宙における燃焼についての講義と、燃焼の先端計測の実験を通じて、将来のエネルギー変換でさらに重要性が増す水素、アンモニア燃料について学習します。 ―――――――――――――――――――――――――――――――― ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ――――――――――――――――――――――――――――――――
成績評価方法	出席（全 3 回の出席が必須です）および発表会での評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51340	A	製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖、三竹 祐矢、木下 裕介	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金)（予定）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	講義中の積極性、レポートから総合的に判断する
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51341	A	Building Robots Inspired from Nature	飯田 史也	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	This seminar introduces students to the fundamental principles of animal locomotion and explores how these concepts can inspire robotic design. Participants will study key mechanisms behind natural movement and apply this knowledge by constructing a simple robot. The hands-on project will allow students to analyze motion and understand the connection between biological systems and engineering solutions. ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	Course attendance and final presentations.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51342	A 1	The Value of Language - From Multilingualism to Technology (言語の価値 - 多言語主義から技術まで)	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI	工学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	This seminar explores how language and language use creates and enables the exchange of value in the global society from the historical perspective to the 21st century digital era. We begin with an introduction to the history and philosophy of language, discuss how language shapes the way we think and interact, and how verbal and non-verbal communication influence how we perceive ourselves and other actors in our daily lives. We will then look at the role of language in the creation of economic and societal value, as well as explore the role of technological innovations, including machine translation, automated speech recognition and the Internet in general, that enable and enhance value creation through mediating and transforming language use. This seminar will also introduce guest speakers from the field of language training and linguistics. ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。
成績評価方法	Active participation / 出席・授業への積極的な参加 Final report / ファイナルレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51345	A	化学システム工学の研究を体験しよう！	小畑 圭亮、高鍋 和広、岸本 史直、HU PEIDONG、林 勇佑、SIMANCAS COLOMA RAQUEL、竹本 晶紀、山崎 友香理、杉山 弘和、脇原 徹	工学部	集中	2	1年 理科

授業の目標概要	「環境・エネルギー・医療」を柱とする化学システム工学。本郷キャンパスの研究室に実際に入って、研究体験します。触媒化学とエネルギーの研究室（高鍋・小畑・岸本研）、環境浄化作用を持つ多孔性材料の研究室（脇原研）、そして医薬品の製造プロセス設計の研究室（杉山・Badr 研）が参加します。化学を基盤に、様々な知識をネットワーク状に組み合わせて、社会の実課題を解決し、あるべき姿を示す化学システム工学の真髄に触れます。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	実習への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51346	A	生体を化学システムとして捉えてみよう！	太田 誠一、西川 昌輝	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学システム工学科の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間）。研究を体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 【ガイダンス】 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	実習への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51347	A	化学・生命系 3 学科 全学自由研究ゼミナール 化学生命工学科「分子の世界に飛び込もう：化学と生命の最前線に触れる」	正井 宏、西増 弘志、川口 大輔、酒井 崇匡、山東 信介	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間）。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。 【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。工学部合同説明会にて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	実験等への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51376	A	「物理系のための複素幾何入門」を読む	高山 茂晴	理学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	普段の数学の講義とは幾分異なるアプローチで、やや進んだ複素幾何とよばれる分野に触れてみる。テキストには特に理論物理で必要となる数学の理論について書かれている。特徴としては、物理系の学生、研究者が必要な数学の知識を、見よう見まねではなく、少しはじっくり勉強してみようという動機、欲求を満たすように書かれている（らしい）。例えば、定義、定理、証明のように進むのではなく、使い方に重点をおいて「実践的な」仕方で読み進めることができる（らしい）。授業ではテキストの本題までは到達できないと思われるが、何かのきっかけになることを目標とする。授業担当者は複素幾何学を専門とする数学者である。物理の知識は全くない。
成績評価方法	発表を中心とした授業への参加状況、およびレポート（発表のノート、スライド、その準備についてまとめたもの）により評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 秦泉寺雅夫 物理系のための複素幾何入門 サイエンス社 978-4-7819-9059-0 SGC ライブラリ 151 臨時別冊・数理科学 2019 年 7 月
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51377	A	深谷賢治著「双曲幾何」（岩波書店）を読む	小木曽 啓示	理学部	木 3	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要	深谷賢治著「双曲幾何」を輪講形式でよみすすめることで、微分積分学や線形代数学で学んだことが、 より進んだ幾何学において使われる様子を理解するとともに、セミナー形式で発表する経験を通じて、 数学での発表能力を身に着ける。
成績評価方法	出席と発表により評価します。人数によって発表回数が十分に確保できない場合にはレポート等の代替措置も考えます。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 深谷賢治 双曲幾何 岩波書店 4-000006882-2
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51385	A 1	遊んで学ぶ！ゲノム育種ゲームでひもとく遺伝学とデータ科学	師田 郷太、 櫻井 建吾、岩田 洋佳	農学部	火 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本授業では、シミュレーションゲームを通じて、ゲノム情報を活用した育種戦略や遺伝学・データサイエンスの応用を体験的に学ぶ。育種とは、優れた形質をもつ作物や家畜を選び出し、交配や選抜を通じて次世代へと受け継がせる営みであり、農業の根幹を支える重要な技術である。育種はこれまで、育種家の経験と観察によって大きく進められてきた。近年では、ゲノム情報という新たなデータを活用し、より効率的かつ高精度に選抜を行うゲノム育種が注目されている。新しい品種を開発するには、選抜個体、選抜強度、交配様式、交配組合せ、各形質に対する選抜の重みなど複雑な要因が絡み合う。本来、これらの要因の効果を定量化するには長期間の栽培試験が必要であるが、コンピュータシミュレーションを活用することで、効率的に育種戦略を探索でき、どの程度遺伝的に改良できるのかが予測できる。授業では、ゲノム情報を活用しながら選抜を行うゲノミック選抜を中心に、優れた品種改良戦略とは何かについて議論し、実際に設計・検討する。また、育種設計における最適化手法の有無がシミュレーション結果に及ぼす影響についても検討し、理論と実践の両面から理解を深める。 さらに、本授業を通して学生は以下のスキルを身につける。 1) ゲノム情報を利用した選抜戦略の立案力 2) 育種過程をモデル化し、最適化を考える力 3) シミュレーションデータの解析および結果解釈の力 4) データサイエンス的視点から農業課題を解決する応用力
成績評価方法	本授業の成績は、出席、小レポート、最終レポートを総合的に評価して決定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51386	A	伊豆に学ぶプラス上級編 A「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します この自由研究ゼミは本講のみ単独で履修するものではなく、後述するいくつかの体験ゼミ既修者向けのゼミであることを初めにお断りしておきます。この講義の目的は受講済みの体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「続伊豆に学ぶ」「秩父に学ぶ」「森に学ぶ」を振り返り、しっかりと咀嚼することです。 体験ゼミでは日常生活では体験し難い活動に参加すること自体に目が行くあまり、しっかりと咀嚼することの重要度は見過ごされがちと思われます。体験したにも関わらず、見過ごしてしまうことは多々あります。体験したことの意味・意義を十二分に噛みしめることから、自分がどのような体験をしたのかをとらえ直すことが可能になります。それらを通して、今後自分は社会とどのような接点を持つべきかが、見えてくることがあるかも知れません。大学生活の早いタイミングで、有意義な体験をして、そこから自分は何を引っ張り出すことができるのか。東京大学の学生の皆さんにはそういう経験を積んでもらいたいと考えています。その一つのアプローチとして、この「伊豆に学ぶプラス上級編」を受講することをお勧めします。 このゼミの活動を通して、学生の皆さんには、次のゼミで自律的にゼミを楽しみ、その楽しみ方を他のゼミ生と率先して共有する役割を果たす「手法」や「手順」を身に着けてもらいます。ご自身の体験ゼミへの理解を深めそれを基本として、ゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す存在です。ファシリテータ的なものです。 これは大役ですが、大役であればこそ、ご自身が大きく成長する機会となります。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「それができる様に育てるのがプラスの講義です」「案ずるより産むが易しです」と励ましています。上級編の学生の皆さんの、「毎週楽しみにしている」と言ってもらえることを励みに、なお充実したゼミを皆さんと一緒に目指したいと思っています。 この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」の事前講義（「続伊豆に学ぶ」「秩父に学ぶ」「森に学ぶ」と共同開催）と事後講義を企画・運営することです。 本講義「伊豆に学ぶプラス上級編」は、伊豆ゼミ（秩父ゼミ・たたらゼミ・研磨炭ゼミも包含）の果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にします。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行ってしまうと、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になります。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を具現することが、すべてのゼミの究極的な目標と言えます。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることや、実際にどう動くことができるかを模索できることを期待しています。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生（上級編生）が果たす役割です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。 本ゼミは「感じる・考える・行動する」のサイクルの中で、「考える」ことにフォーカスしているが、考えるだけではもちろん不十分で実際にどの様にふるまうことができるかというところも大切にします。 本ゼミとは別仕立てで、「行動する」ことにフォーカスする企画系自由研究ゼミを用意しています。こちらは体験ゼミで感じたこと・考えたことを発信（行動）することを目的としています。履修しないまでも、何らかの関りを持っていただきたいと考えています。
成績評価方法	授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。真剣に取り組むことが一番大切です。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51387	A	獣害問題とは何の問題か A（自由自主の企画系ゼミ）～獣だけの話ではない。見えにくい防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この自由研究ゼミは、下敷きとなる体験ゼミで学んだことを社会に発信することを目的とします。発信の場として来年の五月祭に、企画を立ち上げていただきます。この企画の責任者になったり、責任者を強力にサポートしたりすることを楽しみたい方向けのゼミであることを、初めにしっかりとお伝えしておきます。 この自由研究ゼミは発信するゼミです。 ゼミでは、「獣害問題とは何の問題か」と「日本は林業を放棄してよいのか」との二つの視点を提示しています。 これらの切り口で、実際に現場であなたが何を感じたか、どのようなことを考えたか。さらには、社会の理解が不十分なところは何であるか、どうしてその様な状態から脱却出来ないのかといったことについて、ご自身の考えや理解・変容について発信して、一般の来訪者の皆さまと問題意識を共有する場を作りましょう。 そのために現場に足を運んでインプットする機会を設定します。 講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。 なぜ近年野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。 「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」 という話を耳にすることがあります。 オオカミの再導入でこの問題は簡単に解決するのでしょうか？ 問題はそれほど単純な話では済まないと思われますが、その前に、オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。なぜオオカミを絶滅させてしまったのか、この点について総括・反省をし、それに立脚した考察に基づく判断がされる必要があるでしょう。 ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないことを前提に話を進めることは合理的ではありません。 （2025 年 12 月に多摩動物公園内でオオカミの脱走騒ぎがありました。本論に直接関係する話題ではありませんが、人里にオオカミが出現すれば、相応の警戒は必要になると思われます。） 現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴われにくくなっています。その結果、当事者意識が希薄になり、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルが生じていると思われます。体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」「秩父に学ぶ」ではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。 ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」「秩父に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、体験ゼミとは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいます。 この自由研究ゼミの目的は「獣害問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目的としてしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることを目指してしまう恐れがあります。また、提案として体裁が整っていることを重視しがちになります。聞きかじったことや、目立つ現象を結び付けて、理屈としては解決に向かうはずだという形式を整えることは、このゼミでは目指さないことにします。本ゼミでは形式を整えたり提案体験をしたりすることではなく、社会に伝えたいこと・伝えるべきことを自分の言葉で表現して伝えることを目的とします。表現の仕方は自由です。来訪者の皆さまの理解が深まるボードゲームを創作したという実例は、自由の象徴と言えるかもしれません。 複雑な問題に対して何とか「解（のようなもの）」を捻り出して政策提案することを目的とせずに、複雑な問題とじっくりと向き合い、自分の視点から感じたこと・考えたことを社会に向けて発信することを目的とします。既にいくつかの体験ゼミで気づきを得たあなたは、ゼミを通して自分の内に起こった「変容」を意識できていることでしょうか。ご自身の内に起こった変容こそが、発信の中核に値するものではないでしょうか。あなたの変容を社会が変容していく切っ掛けとして活用する、それもこのゼミが目指している学園祭における社会への発信の重要なテーマになると考えています。 繰り返しになりますが、このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題とは何の問題か」と来訪者の方々へ発信する企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。来訪者に良いモノを提供する企画を立ち上げるゼミですが、もちろん、この企画体験を通して、もっとも実りが多いのはあなたご自身です（情けは人の為ならず的）。 学園祭企画を創作していきましょう。 ※少し気になった方は、ガイダンス（初回講義）だけでもどうぞ。 ※学園祭に自分たちの企画を出展することを本ゼミの最終目標とする ※企画への拠出金などは不要です。心配無用です。
成績評価方法	授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51388	A	日本は林業を放棄してよいのかＡ（自由自主の企画系ゼミ）__日本国民は国土面積の２５％に及ぶ人工林をどうするつもり？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この自由研究ゼミは、下敷きとなる体験ゼミで学んだことを社会に発信することを目的とします。発信の場として来年の五月祭に、企画を立ち上げていただきます。この企画の責任者になったり、責任者を強力にサポートしたりすることを楽しみたい方向けのゼミであることを、初めにしっかりとお伝えしておきます。
この自由研究ゼミは発信するゼミです。
ゼミでは、「獣害問題とは何の問題か」と「日本は林業を放棄してよいのか」との二つの視点を提示しています。
これらの切り口で、実際に現場であなたが何を感じたか、どのようなことを考えたか。さらには、社会の理解が不十分なところは何であるか、どうしてその様な状態から脱却出来ないのかといったことについて、ご自身の考えや理解・変容について発信して、一般の来訪者の皆さまと問題意識を共有する場を作りましょう。
そのために現場に足を運んでインプットする機会を設定します。
日本は国土面積の７割近くが森林で覆われています。その４０％に当たる１，０００万 ha が人工林です。人工林は管理をし続けないと、健全性を保つことができず、また、収穫し、再造林しなければ若返り（更新）が担保されません。それらを担うのが林業です。
つまり、林業がちゃんと回らなければ、人工林が若返る機会が生じることがなく、劣化が進んで破綻してしまうのです。
その林業を日本は放棄して良いのでしょうか？
林業を取り巻く環境は非常に厳しいものです。現在の日本において、林業には全方位に解決しなくてはならない問題があると言っても過言ではありません。林業従事者が少ない問題、森林所有者の問題（５００万ｈａにおよぶ森林が私有地であり、所有者の３／４は５ｈａ以下の小面積所有、そして所在不明案件が１０万件に及ぶなどの問題)、獣害の問題、コストの問題（大型草本の問題や獣害の問題とも関係する）など、枚挙すれば切りがありません。
林業従事者は５万人に満たないというのが現状です。仮に５万人として、人工林の面積１，０００万 ha を５万人で割り算すると、従事者一人当たり２００ｈａとなります。仮に就業年数を４０年とすると、従事者一人が毎年５ha（1 日当たりに換算すると２００ｍ２ほど）の森林を割り当てられる勘定になります。
そういった状況にある「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにしたいと思っています。
それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。
そういった問題一つ一つへの理解と、社会全体に理解を広めることが、日本が林業を手放すという選択肢を選択しないために不可欠なことなのではないでしょうか。
企画系自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
その活動を発展する形で、垣根を低く設定して林業についてじっくり考えて発信するゼミを立ち上げることにしました。
講義タイトルにはあえて「日本は林業を放棄してよいのか」と書きました。もちろん放棄してよいとは考えていません。現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴われにくくなっています。その結果、当事者意識が希薄になり、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルが生じていると思われます。体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」「秩父に学ぶ」ではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」「秩父に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、体験ゼミとは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいます。
この自由研究ゼミの目的は「林業問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目的としてしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることを目指してしまう恐れがあります。また、提案として体裁が整っていることを重視しがちになります。聞きかじったことや、目立つ現象を結び付けて、理屈としては解決に向かうはずだという形式を整えることは、このゼミでは目指さないことにします。本ゼミでは形式を整えたり提案体験をしたりすることではなく、社会に伝えたいこと・伝えるべきことを自分の言葉で表現して伝えることを目的とします。表現の仕方は自由です。来訪者の皆さまの理解が深まるボードゲームを創作したという実例は、自由の象徴と言えるかもしれません。
複雑な問題に対して何とか「解（のようなもの)」を捻り出して政策提案することを目的とせずに、複雑な問題とじっくりと向き合い、自分の視点から感じたこと・考えたことを社会に向けて発信することを目的とします。既にいくつかの体験ゼミで気づきを得たあなたは、ゼミを通して自分の内に起こった「変容」を意識できていることでしょうか。ご自身の内に起こった変容こそが、発信の中核に値するものではないでしょうか。あなたの変容を社会が変容していく切っ掛けとして活用する、それもこのゼミが目指している学園祭における社会への発信の重要なテーマになると考えています。
繰り返しになりますが、このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題とは何の問題か」と来訪者の方々へ発信する企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。来訪者に良いモノを提供する企画を立ち上げるゼミですが、もちろん、この企画体験を通して、もっとも実りが多いのはあなたご自身です（情けは人の為ならず的)。
学園祭企画を創作していきましょう。
※少し気になった方は、ガイダンス（初回講義）だけでもどうぞ。

	※学園祭に自分たちの企画を出展することを本ゼミの最終目標とする ※企画への拠出金などは不要です。心配無用です。
成績評価方法	授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51400	A	教養として考えるデモクラシー・AI・ジェンダー・人間・動物	山本 浩司	経済学部	木 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本ゼミの目標は、現代世界を大きく左右する政治・経済・科学・文化的事象について、文理の枠組みを超えて考え抜く教養的素養を身につける場の創出です。キーワードとして注目するのは、「デモクラシー・AI・ジェンダー・人間と動物」です。受講者の皆さんには、世界を覆い尽くした資本主義、目覚ましい速度で生活の隅々に浸潤する AI 関連イノベーション、「社会」の構成要素を根底から問い直すジェンダー・フェミニズム論、そしてそれらの背後にいる「人間」なる動物について、自分なりの分析視点を見つけ、意見を練り上げてもらいます。 答えのない大きな問いに向き合うための素材・土台として本ゼミが使うのが、英米圏の文芸記事やジャーナリズムです。特に、New York Review of Books や New Yorker など、定評の高い教養英文雑誌から記事を選び、精読を行います。開講する教員は歴史的アプローチを専門とする研究者です。世界をめぐる様々な問題とそれを分析する諸学問について、そして関連する事象・問題類型・分析方法・エビデンス生産などのあらゆる観点について、それぞれの成立背景や歴史をふまえ、時に俯瞰し、時に仔細に分析することになるでしょう。 本ゼミが目標とする研鑽の場の創出の主体となるのは、受講者の皆さんです。参加者には、毎週チームに分かれ、指定の記事について発表をしてもらいます。記事の内容についてはもちろん、文章の構成、一つの段落やセンテンスの持つ機能についても批判的に考えることで、分析的読み手としてのスキルを培っていただきます。授業時間中は、受講者の発表をベースにディスカッションを行います。学生間での議論をふまえ、担当教員からのフィードバックと対話も行います。このように、本ゼミでは受講者の議論や問題提起を起点として、ボトムアップで教員も議論に参加していきます。具体的トピックを通じて文系・理系の諸学問をまたがる様々な理論や分析概念の特徴について学ぶきっかけがえられるのも、このゼミの大きな特徴となるでしょう。 授業時間外のグループワークを前提としますので、負担は決して軽くありません。しかし、文系理系の垣根を越えて最先端の英文記事と格闘しながら大きな問題に取り組む経験は、大学での進学選択はもちろん、その後のキャリアを考える上でも、替え難い機会となるはずです。 知的好奇心旺盛な学生の受講を歓迎します。
成績評価方法	プレゼンテーション・ディスカッションおよびリアクション・ペーパーをもとに評価を行います。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51401	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之	スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【授業の目的】 この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。 【到達目標】 目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。 目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。 目標③ 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。 目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。
成績評価方法	・以下の 3 点の項目から評価します 1．エントリー得点（受講者得点です）（5 点：達成目標の①、②に対応） 2．ボーナス課題 （各 10 点を加点：達成目標の③に対応） 3．学期末プレゼン （45 点：達成目標の④、⑤、⑥に対応） ・上記を総合して以下の基準で評価します （合：50 以上、否：49 以下、#：評価なし） ・100 点満点ではないので、奇妙に見えるかもしれませんが、得点が 50 点を超えれば「合」、下回れば「不合」とします
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51402	A	異文化間能力・葛藤解決能力養成実践講座ーケーススタディとASトレーニングを通して学ぶー	園田 智子	国際交流センター	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	現代社会において、人々は国境や文化的背景を越えて日常的に接触し、協働する機会が急速に増加しています。こうした多文化的環境では、価値観や行動様式の違いに起因する摩擦や誤解、対立（＝異文化間コンフリクト）が生じることは避けられません。しかし、それらの衝突は「トラブル」ではなく、互いの文化理解を深め、共生への道を切り開く契機ともなり得ます。 本講義では、異文化間における対立の構造や原因、そしてその対処法について、異文化間コミュニケーション学の視点から、理論的知見と実践的スキルの両面を学びます。ケーススタディ、ロールプレイ、アサーション・トレーニング、さらには異文化の現場で活動するゲストスピーカーの講話などを通じて、異文化的状況下での対話力と問題解決力を高めることを目指します。 将来、国際的なフィールドでの活躍を目指す学生はもちろん、多様性に富む現代日本社会で他者と協働して生きていくすべての学生にとって、必須の素養となる「異文化間能力」を養う実践型の授業です。 本講義の具体的な目標は以下の通りです。 １．異文化間の価値観やコミュニケーション様式の違いを理論と実例を通じて理解する ２．異文化間で生じるコンフリクトの背景・構造・心理的要因を分析する力を身につける ３．異文化状況において、自他を尊重しながら自己表現できるアサーティブな態度を育てる ４．ロールプレイ・実践演習・ゲスト講義などを通じ、現実世界の対立に対処する実践力を高める ５．自分自身の文化的価値観を内省し、多様な立場を理解・尊重する姿勢を身につける
成績評価方法	１．講義ごとの小クイズ・リフレクションシートの提出（70%） ２．個別・グループ発表（30%）
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 久米昭元他 ケースで学ぶ異文化コミュニケーション 有斐閣選書 9784641281080 ※毎時資料を配布しますので、本を購入する必要はありません。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51404	A	全学自由研究ゼミナール (地球社会におけるリアリズムの探求 II)	馬路 智仁	社会・社会思想史	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、 ● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起こっているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、 ● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、 ● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。 なお本ゼミは、履修人数を 18 名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。
成績評価方法	授業での報告・ディスカッション、論考を基に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51405	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する /Experiencing cutting-edge life science research at Komaba	吉本 敬太郎、加納 純子、畫間 敬、北西 卓磨、野本 貴大、谷崎 祐太、長谷部 政治、佐藤 守俊、道上 達男	統合自然科学科	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が進学選択が可能となる条件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。 研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。 統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。 生命科学およびその関連・融合分野に興味があり、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。
成績評価方法	各研究室における研究活動への取り組み、成果報告会での発表をもとに評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51406	A	表象文化論入門	竹峰 義和	表象文化論コース	火 2	2	1年 文科 2年 文科

授業の目標概要	本授業では、映画・写真・絵画・音楽・アニメーション・マンガ・テレビ・ファッション・政治・ファンダムなどにおける「表象」(representation）をめぐる問題について、表象文化論に関する基本文献を読みながら考察・議論することで、この学術分野の基本的な考え方や方法論を学ぶ。シニアの表象文化論コースを紹介する入門ゼミという位置づけ。
成績評価方法	発表と授業への貢献度をもとに総合的に評価する。全学自由研究ゼミナールであるため、合否の判定しかないことに注意されたい。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51407	A 1	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学部	月 1, 木 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。なお、例年は、受験勉強のために十分根付かなかった読書習慣を身につける目的で受講する者もいるので、そうした活用法もありうる。
成績評価方法	成績は、授業参加度（報告＋出席）が中心となるが、簡単なレポートを提出してもらうこともある。それらを総合的に評価する。
教科書	その他。／Other
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51412	A 1	核融合 -地上の太陽をめざして-	篠原 孝司、田辺 博士、 梶田 信、佐藤 雅彦、 齋藤 晴彦	新領域創成科学 研究科	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	持続可能な社会の重要な基盤の一つが、持続可能なエネルギー源である。人類社会が数千年単位で持続することを考えた時、既存のエネルギー源は、その燃料や供給源の観点から十分とは言えない。水素を燃料とする核融合はこの問題を克服できる。核融合は太陽で起きている反応で、まさに地上に太陽のエッセンスを実現しようというプロジェクトとも言える。本講義では、この核融合がどういうものであるのか、そして、その課題がどのようなもので、どのように研究が進められているのかを多角的に理解する。 なお、第一回目を含め、全て対面にて実施する。
成績評価方法	レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51415	A	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	担当者は本学理学部物理学科・理学系研究科に学んだが、幼時から学んだクラシック系統の音楽を職業として 20 世紀末年はテレビ番組」「題名のない音楽会」芸術監督などで生計を立てながら音楽の脳認知で学位を取り、自然科学を正確に適用しつつ音楽を創り出す世界に類例のない研究室を解説して 28 年目になる。実技は東京藝術大学などで教えてきたが、音楽を専門としない本学学生にも、趣味道楽でなくこの専門と正面から向き合う方法を扱うようにしている。 作曲：長年私は「ハーモニーなどの音楽理論はヤマハなどで学んだほうが安価で丁寧」と、藝大で教えるような書法の講義やゼミは行ってこなかった。だが東大の残りも 4 年となり、また数理物理や脳認知の手法を活用する私自身の体系化で既存の和声を包摂する議論を構築しつつあることもあり、今期はそうした話題も扱おうかと考えている。私自身はポストセリエールの作曲家であるが、近年はそれを包含する響きの枠組みを情報幾何などの方法を用いて体系化する仕事もしている。 18 世紀初頭、ラモー「和声学 Traité de l'harmonie réduite à ses principes naturels」(1722)以来の和声は、自然科学といいながら鍵盤やフレット、ならびに大譜表を前提とし、音程関係を障壁の個数で表象してきた。これに対して 19 世紀中葉、非常に耳の良いピアニストでもあったヘルマン・ヘルムホルツは和声進行の生理を決定づける法則を求めて、よく知られた大著「楽音知覚教程 Die Lehre von den Tonempfindungen」(1858/63)を現したが、多くの誤謬を含む楽理に関わる部分は忘れ去られている。古典的な和声進行は T-S-D-T（T＝トニカ、D＝ドミナント、S＝サブドミナントなどの術語は前提としよう）のような進行を許容するが、その時間反転 T-D-S-T は禁止される。この方向性は事前に S を前提とする D と、D を前提とする S という二つの関係をベイズ統計的に扱い、KL ダイバージェンスなどの統計量を検討することでモデル化出来そうである。甘利俊一先生との雑談から発展した、現在手掛けているこうした話題にも触れることを考えて居る。 指揮：ピエール・ブーレーズと私の「スペクトラル・コンダクティング」のメトードを扱う。今期は 11 月にベートーヴェン「交響曲第八番」「ピアノ協奏曲第三番」などの録音、また子供のための指揮教室なども予定しているので、それらと関連づけて実技を扱う。
成績評価方法	出席と実習 提出物など
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51417	A	AI と社会――科学技術から読み解く社会と文化	田中 東子、筧 康明 、久野 愛、OH SUNJIN	情報学環	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	生成 AI がつくり出す絵や文章、日々の関心を先回りする SNS、亡くなった人がデジタル空間に残していく痕跡。こうした光景は、すでに私たちの日常の一部となっている。AI をはじめとする高度なデジタル技術の進展は、民主主義や資本主義、ジェンダー規範など、社会制度の変容をもたらすだけでなく、死生観や身体性、感覚、親密性といった根源的な生のあり方にも深い影響を及ぼしている。こうした技術的変容を前に、私たちはそれに単に受動的に反応するのではなく、思想的かつ実践的な応答の可能性を模索することが求められている。 本ゼミナールでは、「創作活動」「情報メディア」「身体・感覚」「ジェンダー」「環境問題」「死後産業」など、私たちの日常から切り離すことのできないさまざまな領域が、AI 技術といかに学問的・実践的にかかわっているかを検討し、さらに、複数回にわたってゲスト講師を迎え、各領域の最前線の知見との対話を重ねることで、科学技術と社会の関係についての多角的な理解を深める。技術が不可避的に組み込まれていく現代社会において、望ましい技術と人間の関係とはいかなるものか、その可能性を共に考え、描いていく場を提供する。
成績評価方法	議論への参加度（50%）＋レスポンスペーパー（50%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51418	A	研究入門：現代社会を深堀りする（情報学環・開沼博ゼミ）①	開沼 博	情報学環	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	◆本ゼミの概要 このゼミでは社会学・社会心理学・メディア論やその周辺領域の知見をベースに、政治・経済・文化・科学技術・医療福祉・教育等多様な領域を越境しながら現代社会の流行や課題、あるいは普段は意識されていないが多くの人が目撃しているはずのテーマをとりあげます。 「文献ゼミ」と「論文ゼミ」とがあります。 ◆そもそもゼミって？ この「研究入門」の受講者には情報学環・開沼研究室が主催するゼミに参加していただきます。 （ゼミといっても色々ありますが）ここでいうゼミとは、担当者のプレゼンテーションと、それを元にした参加者同士でのディスカッションで構成される形式の授業を指します。講義を聞く、書籍を読む、それによって知識を補完したり体系的に理解したりするという勉強方法ではなく、参加者が調査や実験を自らの手で進めて得られた知見と、それについての質問やコメントとで成立します。 ◆文献ゼミではどんな書籍を扱う？ これまで扱った文献の例は以下です。 『ブルックリン化する世界ージェントリフィケーションを問い直す』『暇と退屈の倫理学』『パンツをはいたサル：人間は、どういう生物か』『不寛容論』『2.5 次元文化論 舞台・キャラクター・ファンダム』眼差しの地獄』 ◆論文ゼミどんなテーマを扱う？ 2026 年度 S セメスターでとりあげたテーマは以下です。 ・アニメは現代人を救うのか：聖地巡礼・ボーカロイド・Vtuber・生成 AI・災害復興等に注目して ・海外マスメディアは日本をいかに描いているのか ・ももクロファンとウェルビーイング ・日本の新宗教の信者とコミュニティの現場 ・東京の最先端はいまどこにある：クラフトカルチャーの現在地 ・訪日外国人から見える日本社会の特異性 ・「風評」が生まれるメカニズムとは ・富裕層はどんな人とつながり、何を楽しみに生きているのか といったことを時間の限り扱っていきます。 ◆何を学べる？どんな力がつく？ 上記のテーマを見て何を感じるでしょうか。 全てではないにしても、どれかは面白そうだなと思ってくれる人もいるでしょう。 一見軽薄に見えるかもしれないし、「そんなの学問の対象としてよいの？」と思うかもしれません。 ですが、これらは立派な学問であり、現代社会を論じる上で避けては通れないといっても過言ではない、価値ある研究対象です。 まず、上記のテーマを見て、これは面白そうだなと思えるならば、それぞれのテーマについて深く学ぶことができます。ただそれ以上に学べることは「研究とはなんぞや」ということです。 このゼミでは「学術的な研究とは何か？どういう方法や観点で進めていけばよいのか？」ということに触れ、論理的思考はじめ未知のことにどう向き合うかという点で必要なスキルを学ぶことができます。 人によっては、普段学んでいること、3 年生から学ぼうとしている専門領域とは離れていると思う人もいるかもしれませんが、それでも「学術的に研究をする」ということの根本は同じです。 現代社会を深堀りするということは、身近で具体的なことを扱うということにつながります。それ故、「研究」にふれる機会がまだ少ない学部生に、「研究」とはいかなる営みなのか、学んでもらいやすい内容でもあります。
成績評価方法	以下の割合で評価します。

	▼ゼミでのレジュメ作成（文献ゼミ）or コメントシート記入（論文ゼミ） ＆グループディスカッション参加　１００％ 毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。 ただし、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。 【履修上の注意と評価方法】 本授業は①と②があります。よく確認の上、①と②の両方を履修登録してください。 ３単位付与の場合：文献ゼミと論文ゼミのいずれにも十分に参加したとみなされる場合「①」「②」計３単位を付けます。 ２単位付与の場合：文献ゼミか論文ゼミのいずれかに十分に参加した、あるいは文献ゼミと論文ゼミのいずれにも一定の参加をしたとみなされる場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。 １単位付与の場合：文献ゼミか論文ゼミのいずれかに一定の参加をしたとみなされる場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：いずれもが欠けている場合には単位を付けられません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51419	A	研究入門：現代社会を深堀りする（情報学環・開沼博ゼミ）②	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	◆本ゼミの概要 このゼミでは社会学・社会心理学・メディア論やその周辺領域の知見をベースに、政治・経済・文化・科学技術・医療福祉・教育等多様な領域を越境しながら現代社会の流行や課題、あるいは普段は意識されていないが多くの人が目撃しているはずのテーマをとりあげます。 「文献ゼミ」と「論文ゼミ」とがあります。 ◆そもそもゼミって？ この「研究入門」の受講者には情報学環・開沼研究室が主催するゼミに参加していただきます。 （ゼミといっても色々ありますが）ここでいうゼミとは、担当者のプレゼンテーションと、それを元にした参加者同士でのディスカッションで構成される形式の授業を指します。講義を聞く、書籍を読む、それによって知識を補完したり体系的に理解したりするという勉強方法ではなく、参加者が調査や実験を自らの手で進めて得られた知見と、それについての質問やコメントとで成立します。 ◆文献ゼミではどんな書籍を扱う？ これまで扱った文献の例は以下です。 『ブルックリン化する世界ージェントリフィケーションを問い直す』『暇と退屈の倫理学』『パンツをはいたサル：人間は、どういう生物か』『不寛容論』『2.5 次元文化論 舞台・キャラクター・ファンダム』眼差しの地獄』 ◆論文ゼミどんなテーマを扱う？ 2026 年度 S セメスターでとりあげたテーマは以下です。 ・アニメは現代人を救うのか：聖地巡礼・ボーカロイド・Vtuber・生成 AI・災害復興等に注目して ・海外マスメディアは日本をいかに描いているのか ・ももクロファンとウェルビーイング ・日本の新宗教の信者とコミュニティの現場 ・東京の最先端はいまどこにある：クラフトカルチャーの現在地 ・訪日外国人から見える日本社会の特異性 ・「風評」が生まれるメカニズムとは ・富裕層はどんな人とつながり、何を楽しみに生きているのか といったことを時間の限り扱っていきます。 ◆何を学べる？どんな力がつく？ 上記のテーマを見て何を感じるでしょうか。 全てではないにしても、どれかは面白そうだなと思ってくれる人もいるでしょう。 一見軽薄に見えるかもしれないし、「そんなの学問の対象としてよいの？」と思うかもしれません。 ですが、これらは立派な学問であり、現代社会を論じる上で避けては通れないといっても過言ではない、価値ある研究対象です。 まず、上記のテーマを見て、これは面白そうだなと思えるならば、それぞれのテーマについて深く学ぶことができます。ただそれ以上に学べることは「研究とはなんぞや」ということです。 このゼミでは「学術的な研究とは何か？どういう方法や観点で進めていけばよいのか？」ということに触れ、論理的思考はじめ未知のことにどう向き合うかという点で必要なスキルを学ぶことができます。 人によっては、普段学んでいること、3 年生から学ぼうとしている専門領域とは離れていると思う人もいるかもしれませんが、それでも「学術的に研究をする」ということの根本は同じです。 現代社会を深堀りするということは、身近で具体的なことを扱うということにつながります。それ故、「研究」にふれる機会がまだ少ない学部生に、「研究」とはいかなる営みなのか、学んでもらいやすい内容でもあります。
成績評価方法	以下の割合で評価します。 ▼ゼミでのレジュメ作成（文献ゼミ）or コメントシート記入（論文ゼミ） ＆グループディスカッション参加　１００％ 毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。 ただし、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。 【履修上の注意と評価方法】 本授業は①と②があります。よく確認の上、①と②の両方を履修登録してください。

	３単位付与の場合：文献ゼミと論文ゼミのいずれにも十分に参加したとみなされる場合「①」「②」計３単位を付けます。 ２単位付与の場合：文献ゼミか論文ゼミのいずれかに十分に参加した、あるいは文献ゼミと論文ゼミのいずれにも一定の参加をしたとみなされる場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。 １単位付与の場合：文献ゼミか論文ゼミのいずれかに一定の参加をしたとみなされる場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：いずれもが欠けている場合には単位を付けられません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51426	A	読み紡ぐ政治学・読み破る政治学 －多読・乱読・精読そして議論を楽しむゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	このゼミは対面で行います。説明会は第一週にオンラインで開催します。各回については、体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した後、対面のゼミに参加して下さい。 牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を配信しています。 URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。 今年で１４年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み紡ぐ」そして「読み破る」ことを目標にします。「読み紡ぐ」は歴史をひもとき、互いの議論をつないでいくという意味をこめ、「読み破る」はこれまでの自分の読みを乗り越えていくことを目標としています。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後、ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、応答する、質問を重ねる、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問に驚いたり新たに考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。 こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。理系の人は、もう一つの「実験」の授業と思って参加していただいてかまいません。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。 ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。ゼミでは著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のアフター・ブック・サロン、その他ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでに多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、春休みには「合宿」（宿泊が難しい場合は、一日講義室でゼミを行う形をとります）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は重要と目される本の集中的な講読、後期に継続開講するゼミでの冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。 ※受講人数：あらかじめ制限はしない。
成績評価方法	平常点による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51427	A	最先端バイオテクノロジー開発・生命科学研究への誘い@駒場 II キャンパス Invitation to Advanced Biotechnology Development and Life Science Research @ Komaba II Campus	西増 弘志、 太田 禎生	先端科学技術研究センター	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	研究や専門は本郷でと思っていませんか？駒場 II キャンパスに、世界が注目する若い研究室（https://www.lsbm.org）が集まっているのを知っていますか？ 本ゼミは、駒場 II キャンパスで進む最先端バイオテクノロジー開発や生命科学研究の内容を、学部生の皆さんに伝え、実際の研究に関わっていくきっかけとすることを目指しています。12 月 19 日（土）12 時～15 時に、駒場 II キャンパスの先端研 4 号館講堂（2 階）にて開催される「駒場 II 生命科学シンポジウム」に参加してください（集中講義）。冒頭に、本全学ゼミのガイダンスを行い、その後、駒場 II キャンパスで行われている研究・開発内容や、学生の関わり方に関して発表します。 さらに同日シンポジウム後の 15 時～18 時に、駒場 II キャンパスの生命科学・技術系の研究室合同でポスター発表会があります。希望者は参加して各研究室の教員や研究者・学生と交流し、より深く学ぶ機会もできます。また、担当研究室に個別に連絡（email）をして各研究室に独自に見学・体験（実践的な研究に携わる）することもできます。 同シンポジウムで紹介される先端バイオテクノロジー開発・生命科学研究に関して、興味のある研究室の研究内容に関して、レポート課題（https://www.sadaotalab.net/; https://sadaotalab.com/ に掲載）を提出してください。 シンポジウム後にポスター発表会に参加してより深く学ぶことが可能です。担当研究室に個別に連絡（email）をして各研究室に独自に見学・体験（実践的な研究に携わる）することも可能です。 本授業は出席と提出するレポートの内容で成績評価を行います。 【LSBM とは】 LSBM は、次世代生命医科学を開拓すべく有機的に協働する、先端科学技術研究センターのメンバーを中心とするバーチャルな十以上の研究室集合体です。工学・理学・情報科学・医学の研究者が、積極的なコラボレーションを展開しています。					
成績評価方法	本授業は出席と提出するレポートの内容で成績評価を行う。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51428	A	ボーカロイド音楽論	稲見 昌彦	先端科学技術研究センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	「ボーカロイド音楽論」を、稲見を代表教員とし鮎川ぱて氏によるリードで開講します。 本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、音楽自体の本質に迫ろうというものです。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。 最初に「ボーカロイド音楽シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲ーーアンチ・ラブソングが人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。 講義全体の 1/3 以上を、ジェンダー／セクシュアリティの議論が占めることになります。フェミニズム、LGBTQ をはじめとする性の多様性理解、クィア理論など、ジェンダー論の基礎を知ることはもちろん、それらが先端工学と関わった先にある、新しい身体論（身体情報学）を考えることにも、本講義は役立つはずです。 主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みます。 ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。 ボカロ、表現、科学、ジェンダー。これらのうちどれかひとつにでも高い関心を持っていれば、どの立場の人も主役です。ボーカロイド音楽についての前提知識は必要ありません。科類も問いません。「感覚を思考の俎上に載せること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。 ＜鮎川ぱてプロフィール＞ ボカロ P／音楽評論家 ／東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程（身体情報学分野 稲見・門内研究室） ／東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 非常勤講師					

／16～23 年度 東京大学教養学部非常勤講師として「ボーカロイド音楽論」を開講
／25 年 ロンドン・バービカンセンターにて国際共同作品 TRANS VOICES, ILĀ & MONOM, with contribution from Patty Ayukawa「UN/BOUND」を発表。受講生も制作に参加。
https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/news/report/page_00389.html

成績評価方法　出席および、中間提出物と学期末レポートなどで評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
鮎川ぱて
東京大学「ボーカロイド音楽論」講義
文藝春秋
4163913629
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51429	A	公共に奉仕する――経済安全保障の世界	武見 綾子	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　「夜道を歩くとき、人はポリツァイに感謝しない」というのはヘーゲルの言葉だが、この社会は、数限りない人々の多大の努力によって成り立っている。そうした努力のあり方を理解するのが、この演習の目的である。

日本はいま、大きな転換期にある。戦後 80 年にわたって平和を享受することができたのは、大きな幸運だった。だが、いまや東アジアの安全保障環境は緊迫しており、その維持には主体的な努力が不可欠である。デフレ・低金利・円高を基調とした平成の 30 年間はもはやまったくの昔となり、インフレと円安が経済政策の課題である。少子化と高齢化の趨勢は止まらず、社会保障費と医療費による財政の窮迫の下で、採りうる選択肢は限られている。権威主義の猖獗と跋扈は国際的に留まるところを知らず、民主主義の破壊に対しては、いっそうの警戒を要する。

この隘路からの出口を見つけるのは容易ではないが、そのための鍵があるとすれば、科学研究に支えられた技術革新、利他精神に富む社会の健全さ、そして自ら公共のために挺身しようとする人々の努力だろう。個々人ができることに限りがあるとはいえ、「公共」に奉仕するためにどのような役割がありうるか、それを考えることも、この演習の目的である。

現在の世界を特徴づけるキーワードの 1 つが、経済安全保障である。それはさまざまなテーマの複合体であり、大学における研究が最も遅れたジャンルの一つでもある。そこで、この演習では多彩なゲストに来講をお願いすることとしている。

具体的なテーマとゲストは開講までに決めるが、財務省、経済産業省、警察庁、国土交通省、厚生労働省には、ご協力をいただける見込みである。半導体材料に経営資源を集中しつつあるレゾナック（旧昭和電工・日立化成）には、髙橋秀仁社長、今井のり常務取締役にご出講をお願いしている。また、経済安全保障に通じた国会議員の講演も企画している。

本講義は、主に玉井克哉東京大学名誉教授が担当する。

成績評価方法　平常点による。クラスにおけるディスカッションに積極的に参加し、全体の議論の水準を高めることで、「合格」となる。（全学自由研究ゼミナールにおいては成績は「合格」「不合格」のみであり、点数による評価は行わない。）参加する諸君の希望により課外活動を設定することがあるが、その参加・不参加は成績評価の対象としない。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51431	A	日本近世史料の読解と近世政治史入門	荒木 裕行	史料編纂所	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　日本近世政治史研究のための初歩的な能力を身につける。日本近世史料の読解・研究目的の設定・議論の構築などを学ぶ。
成績評価方法　履修者数により変更の可能性もありますが、基本的に毎授業中に行う小テストにより評価します。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51432	A	ミュオグラフィと諸科学との連携による地球-社会-医療-におけるテーマ開拓 Looking for new research subjects in the field of the Earth-Society-Health in collaboration with muography	田中 宏幸	地震研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	透視、ナビゲーション、時間計量学、暗号通信等に成果を上げてきた「ミュオグラフィ」。本全学自由研究ゼミナールでは、海洋、エネルギー/環境、情報、医学、放射線工学における専門家が課題を洗い出す。そしてミュオグラフィを今後どのような価値ある形で社会へとつなげていけるのかについて集中的に考えることを目的とする。（1）海洋センシングの新展開の可能性について議論する．（2）石油天然ガス資源とそれに伴う温暖化対策（二酸化炭素地中貯留（CCS））の両輪について議論する。（3）放射線工学技術の応用について議論する。（4）大規模ストレージ開発の歴史と技術やIOTについて議論する。（5）医療画像の機械学習による自動診断技術についても考察する。特に大規模データ活用の議論については総合研究博物館見学会として総合研究博物館のデジタルアーカイブ技術やIOTに対する理解を深める。 Muography, the novel imaging technique to visualize gigantic objects such as volcanoes, pyramids, and nuclear reactors, has been restricted to its performance on the ground. In this seminar, the experts in the fields of marine, natural resource and planetary scientists will clarify the restrictions in the current observation techniques, and will extensively discuss the following topics to address how muography can be applied to benefit their fields. (1) In the field of ocean sensing technologies, it is now possible to collect marine and ocean floor information with GNSS-A and DAS. However, the spatiotemporal windows of these techniques are still limited. (2) The target of the oil and natural gas resources are deepened, more complicated, and down-sized, and more technological developments are required. （3）Controlling and safe operation of carbon capture and storage (CCS）could be an essential technique for realizing the carbon neutral society. In this lecture, the current CCS techniques will be introduced and muographic applications to CCS will be discussed. (4) In the field of medical science, the techniques of machine learning of medical images have been highly developed. In this lecture, the recent trend of medical machine learning will be introduced and its possible application to muographic diagnosis of active volcanoes will be discussed. (3) Planetary sciences. Furthermore, in order to realize sharing and machine learning large-sized muographic data, and to utilize the muographic results between researchers and/or researchers and society in the valuable way, (4) large-sized storage and networking technologies will be discussed.
成績評価方法	出席 Attendance
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51433	A	地震火山史料を読む	加納 靖之、 大邑 潤三	地震研究所	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。 この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、加納靖之・大邑潤三（地震研究所）が担当する。 【目標】 ・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。
成績評価方法	授業での報告や討論への参加。課題（毎回のゼミナールに関する簡単なメモ）の提出。期末レポート。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51434	A	マハーバーラタを読む	川村 悠人	東洋文化研究所	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	古代インドの叙事詩マハーバーラタを、神と英雄、そして英雄たちが振るう神々の武器という観点から分析していく。その過程において、古代インドの神話・伝説、世界観、文化などについても詳細に立ち入って議論する。これらを通じて、南アジアの地にあった世界の見方や思考法を学びつつ、南アジア文化を根底から規定する国民文学について一定の理解を得る。さらに、現代社会との連続性や非連続性を考えながら、議論を整理して展開していく手法を身につける。
成績評価方法	出席具合（20%）および期末試験（80%）により評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 川村悠人 古代インドの神器学――弓と魔法と英雄と 法蔵館
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51435	A	学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜、 大島 まり	生産技術研究所	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。 研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員 と相談しながら決めること。 このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。 授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。 ※履修人数を 20 名に制限する。 ※開講場所：生産技術研究所 ※ガイダンスは、10 月 6 日（火）および 10 月 8 日（木）の 2 日間、12 時 20 分より オンラインにて行う。2 回とも同一内容で実施。
成績評価方法	日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51440	A	スポーツ自主分析科学研究入門	佐々木 一茂、秋山 英文	スポーツ先端科学連携研究機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構＝UTSSI にて、「スポーツ自主分析科学研究入門」（1 単位）の全学ゼミを開講します。前期 S セメスターと後期 A セメスターに、同じ講義題目で開講します。複数回、履修することも可能です。 担当教員は、総合文化研究科の佐々木一茂、工藤和俊、中澤公孝、教育学研究科の野崎大地、物性研究所の秋山英文です。 この全学ゼミは、スポーツを題材に、データ計測・解析・統計処理など科学的ツールを含めた分析を行い、自主的な研究を実践し体得する企画です。運動部などで選手としてスポーツをやっている学生、アナリストとしてデータ分析を行っている学生、その他、同好会・地域クラブ・趣味などでスポーツの上達や分析に興味をもつ一般の学生に、研究を試行してもらうためものです。UTSSI の教員がガイダンスやアドバイスを行います。 大学は、学問の中心たる場所です。「学問」は、人類がこれまでに得てきた知識や方法を、体系的に整理しつて積み上げたものです。「研究」は、先人がまだ答えを得ていない未解決の問題を解き明かす活動です。研究の積み上げにより、学問領域は常に発展しています。現在までに積み上げられた学問を「勉強」「学習」することは重要ですが、単にそれを続けているだけでは、研究にはなりません。研究は、もっと能動的で創造的な活動です。未解明の問題に着目し、深く興味を持ち、解決の手段を自分で見つけ、あるいは新たに創り出し、正解にたどり着く活動が、研究です。 論語の中に、「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）」という一節があります。学習と研究の両者の重要性を説いています。勉強が中心の高校生とは異なり、大学生には研究とその魅力を是非知って欲しいです。 社会人の多くも広義には研究をしています。新しい味を生み出そうとする料理人、新しい販路を開拓しようとする営業職、新製品や新サービスを開発したい技術者など、いくらでも例示できます。東京大学の学生は、既にかなりの勉強や学習を経験し、それらに長けている人も多いです。一方で、研究は殆ど未経験でしょう。大学生が、早く研究に接してその面白さを感じ、学部卒業時には社会や大学院で本格的な研究を開始できるようになって欲しいと、大学教員たちは強く願っています。 スポーツに真剣に取り組む選手たちは、殆ど皆、日々強い意欲を持って、自分の技量向上の糸口を探し、課題克服の試行錯誤を重ね、上達に努めています。いわば、自分自身の技量能力向上をテーマにした研究をしているわけです。研究は、一見、難しいもののようにも感じますが、実は、スポーツ選手にとっては身近な活動です。指導者・先輩・教本などに習うのが勉強や学習であり、自分で考えて試行錯誤を繰り返して上達の道を切り拓くのが研究でしょう。 研究においては、対象となるテーマに強い興味・好奇心など動機を持つことが重要なポイントです。「三度の飯より××が好き」という表現がありますが、××は野球、サッカー、ゴルフなどかもしれません。スポーツ選手やスポーツ好きな人は、既に、研究テーマに恵まれているのです。あとは、研究のスキルを身に着ければ、面白い有意義な研究ができ、自分の上達も達成できるのではないかと思います。 大学で学問として行う研究では、論理性や客観性が重要で、「科学」のアプローチを用います。この全学ゼミでも、各人が興味をもつスポーツのテーマに対して、計測、データ、統計、分析、計算、シミュレーション、数学、物理など、様々な学問の科学的な知識や方法を活用して、研究を試みたいと思います。 例えば、 •新しい計測技術を使って自分や友人のデータを取る。 •取得したデータに対して、自分の視点からの分析・統計処理を加え、考察する •ボールや用具や体の動きをモデル化し、シミュレーションし、機構を理解する •自分で練習法や練習器具をつくり、データを取り、効果を検証する •他者が出しているデータ・動画・解説・論文などを調査し、自分なりに整理・体系化する •上記の組合せ などが想定されます。より具体的な例は、ゼミの中で議論したいと思います。 以上のような趣旨で、このゼミの標題を「スポーツ自主分析科学研究入門」、前期 S セメスターと後期 A セメスターにそれぞれ 1 単位で開講する予定です。 始めて履修する学生に対しては、まず、担当教員が、スポーツの自主分析を科学的に行う研究の例や手法の紹介・指導などを行います。それらを参考にして、学生自身に、研究テーマや進め方を立案してもらいます。個人単位でもグループ単位でも構いません。自分（たち）の興味あるスポーツ関連の課題についてどんな研究を行いたいか、さらに、どんなデータの収集や分析、シミュレーション、調査など、科学的なアプローチを使って研究を進めるかなどの具体的な計画を考案してもらいます。最後に発表の場を設け、研究テーマの立案ができた学生やグループにはそれを発表してもらい、皆で討論をしたいと思います。期間中、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設けます。 2 回目以上の履修になる学生さんには、自分で決めたスポーツ科学のテーマで、学生自身に研究を実施してもらうことを考えています。期間中、質問や相談に応えるための機会を対面あるいはオンラインで設けます。もし、面白い研究が進んだ場合には、スライドを用いた発表のみではなく、成果をレポート、公表記事、論文などにまとめることも目指します。一方、中間時点で上手く研究が進まない学生には、適宜、担当教員が状況を聞きアドバイスを行います。研究は、必ずうまくゆくとは限りません。むしろ、順調に進まないことの方が多いです。順調に進まないときでも、その記録を残し、その状況を発表したりレポートにまとめることは極めて重要です。皆で、その発表を聞き、レポートに目を通し、議論することで、新展開が生まれ膠着状態を脱出できることが良くあります。このようにして、学生に身近なスポーツのテーマで「研究」というものを体験してもらうことがゼミの目標です。
成績評価方法	発表会での発表、レポート提出により、評価する。授業を聞くのみでは、単位は出ない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51441	A	裏事情から語る産業政策II	鈴木 寛	公共政策大学院	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	AI、エネルギー転換、人口減少など、社会課題が複雑化する中で、政府には制度や市場そのものを設計する役割がこれまで以上に求められています。産業政策とは何か。市場を設計するとはどういうことなのか。各テーマを通じて、政策形成の考え方を具体的に学びます。本講義は、S セメスターに引き続き、鈴木寛教授と、経済産業省で 35 年間勤務し、デジタル庁統括官も務めた村上敬亮特任教授が担当します。 今期は、 ・未来のエネルギー政策（再生可能エネルギーの課題と温暖化対策の今後） ・AI 時代の産業政策（AI とベンチャーから、産業社会を縦から横に変えていく） ・これからの地方創生（本当に持続可能な地域社会とは何か） という三つの切り口から、表からは報じられない産業政策の裏側を語りつつ、産業や市場を作って行くに当たり、パブリックは何に取り組んでいくべきか、履修生の皆さんと一緒に考えたいと思います。
成績評価方法	極力リアルの出席を求めます。ただし、事前に事情をメールしていただければ、オンライン参加や欠席も可とします。 毎回、簡単な授業の感想の提出を求めます。単位は，その状況を見ながら付与します。 なお、単位は不要だが、聴講したいという方の参加も歓迎します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51443	A	海のアジア 2026 東南アジアと付き合う	山口 健介	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	☆受講希望者はガイダンス（オンラインにて実施予定）へご参加ください。(詳しくは下記「履修上の注意」項を参照) 近年アメリカによる保護主義的な関税政策や、中国の力による現状変更の試みが国際秩序を揺るがす中で、日本と東南アジアは、共に自由で安定した地域秩序を守る立場にあります。こうした環境のもと、東南アジアとの連携を強化することは、日本の国家安全保障や経済戦略上、極めて重要な意味を持ちます。 東南アジアは、日本にとって地理的に近く、日本のシーレーン上に位置する戦略的要衝であり、今後の経済成長も期待される地域です。今後日本が国際社会でプレゼンスを維持し、東アジアの秩序を安定させていくために、今こそ東南アジアとの関係を再考するべきです。 ところで、みなさんは、東南アジアと聞くと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。 AI は「ご飯がおいしい」「発展途上」などの印象を抱いているそうです。 しかし、これらの印象は本当に正しいのでしょうか。「機械」的な理解に過ぎないのではないか。本ゼミは「機械」的な理解を乗り越え「人間」的な視点から東南アジアを捉え直していきます。 東南アジアは、国ごとに利害や価値観が異なるにもかかわらず ASEAN という地域共同体を形成し、また国内においても民族・言語・宗教の多様性を抱えながら国民国家を築いてきました。その過程では、国内の少数民族問題や国家間の領土問題など「多様性」と「まとまり」のジレンマが立ちはだかってきました。 このゼミでは、そうした東南アジアの近現代史を紐解いていく中で「東南アジアとはどのような地域か」を理解し、その上で「日本は東南アジアとどのように向き合うべきか」を考えていきます。 講義はアジアの現場経験豊富な経済産業省の現役官僚によって行われ、さらに実務家を招いたセミナーや、春休みには現地を訪問するエクスカーションも予定しています（希望者多数の場合、成績によって選抜します)。いずれも、日本と東南アジアの関係を実践的に考える貴重な機会となっています。 みなさんのご参加をお待ちしております。 ※昨年度のセミナーでは、東南アジア諸国関係の現役官僚をはじめ、ASEAN 地域に深く関与されている方をお呼びしました(下記参照)。 【昨年度開催したセミナー】 ・石井正文氏 (元駐インドネシア特命全権大使) ・山田滝雄氏 (AZEC 担当大使)
成績評価方法	1）授業への出席（エクスカーションやセミナー参加は任意です。)、2）グループによる最終発表、3）希望者は個別レポート提出を認めます。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 岩崎育夫 入門 東南アジア近現代史 講談社
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割 ～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	星野 岳穂、 澤田 恒河	公共政策大学院	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	世界では、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「経済暗線保障（サプライチェーン強靭化）等の大きな課題に直面し、まさに激変の時代に直面しています。 日本では、さらに、超少子高齢化、生産年齢人口の減少（人手不足）や財政赤字、物価上昇、若年層の格差拡大、国内市場の需要飽和、消費者ニーズの多様化・個別化といった新たな構造変化の局面を迎え、国内生産の促進や技術保護、国際的な協力などさまざまな政策を大規模に展開しています。天然資源確保、食糧確保等の枠組みについても再検討する必要があることも強く示唆されます。ロシア・中国・イスラエルをめぐる国際情勢の変化、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等、日本を取り巻く環境のめまぐるしく変化がみられます。このようなグローバルな大変化や出来事1つ1つが、直ちに我々の生活や経済などに大きな影響を与え、これらが様々なリスクを含んでいることに気づかされます。これまで日本が享受してきた「秩序」や「安心」を確保する枠組みは、決して自明なものではなく、持続可能なものではないことを実感する時代に突入しました。 他方、生成型 AI に象徴される人工知能（AI）と機械学習、量子コンピュータ、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、ドローン技術などの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。 本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、 ①激動する国際社会の動向、 ②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、 ③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、 ④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。 本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。 1）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿 2）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること 3）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割 文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の方、国家公務員の業務に関心のある皆さんの幅広い参加を期待しています。
成績評価方法	出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、2テーマを選択し、それぞれ数枚（A4で2－3ページ）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。 詳細はガイダンス時に説明いたします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	Human Psychology in the Age of AI and New Emerging Technologies	FACIUS Michael	東京カレッジ	金 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	Artificial intelligence is rapidly transforming education, work, healthcare, politics, creativity, communication, and everyday life. At the same time, emerging technologies, including robotics, wearable devices, virtual and augmented reality, brain-computer interfaces, autonomous systems, and biotechnology, raise new psychological, ethical, and societal challenges: How are we influenced or behaving in the face of such technological transformations? This course introduces students to the psychological principles underlying human interactions with technology, with a special focus on Artificial Intelligence. Drawing from cognitive psychology, social psychology, behavioral economics, human-computer interaction, cyberpsychology, and behavioral public policy, students will examine human perception, behavior, trust, acceptance, resistance, and collaboration with AI systems. The course also explores ethical dilemmas, privacy concerns, bias, misinformation, mental health, and the future relationship between humans and intelligent machines. Students will also critically evaluate emerging technologies while developing practical skills for designing, assessing, and governing human-centered AI. <<Learning Goals>> The class has the following objectives: (1) … to study key theories and concepts from psychology and artificial intelligence, with a focus on cognition, behavior, and human-AI interaction in everyday life, (2) … to develop an understanding of how people perceive, interpret, and respond to artificial intelligence systems, including issues of trust, mental health, control, and decision-making, (3) … to explore recent literature on AI/emerging technologies and Human Behavior. (4) … to explore real-world examples of human-AI interaction and critically reflect on their implications for autonomy, responsibility, and ethical decision-making,
成績評価方法	Assessment: Student seminar presentation and final assignment (100% of the final grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	Ethnography of Care and Mobility	FACIUS Michael	東京カレッジ	月 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	What is ‘care’? Why do we care—and conversely, why do we often fail to care enough? This course introduces students to the complex dimensions and structural dynamics that shape care, exploring its intersections with gender, the economy, politics, and mobility/migration. Care is fundamental to reproduction and development, and it has regained importance following the awareness during the COVID-19 crisis and in the post-COVID era. There is a pressing need to discuss and support care, amid significant demographic challenges and regional disparities. Yet, care is still undervalued, underpaid (and unpaid), and low-skilled labor, rendering socioeconomic inequalities and marginalized populations. Ethnography is an essential method for understanding the complexities of care. In this course, students will engage with ethnographic literature to explore this field, while also applying ethnographic methods to disentangle their own social surroundings and relationships. Students will conduct short fieldwork to produce a final term paper. The course will culminate in a roundtable session, providing a dedicated space to discuss research ethics and reflect on our shared knowledge. <<Learning Goals>> The class has the following objectives: (1) … to study complex dimensions and structural dynamics that shape care (2) … to explore ethnographic methods to disentangle our own social surroundings and relationships (3) … to refine reading skills for conceptualization and argumentation (4) … to critically place questions of care within broader questions of political economy, gender, and inequalities
成績評価方法	Assessment: Student seminar presentation and final assignment (100% of the final grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A	International Entrepreneurship: In Light of Immigrant Entrepreneurship	Hettige Don Karunaratne	東京カレッジ	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This course examines the theories, processes, and practices of international entrepreneurship with a specific focus on immigrant entrepreneurs and transnational business activities. It explores how migrants identify, create, and sustain entrepreneurial ventures across borders, and how institutional, cultural, and policy environments shape these processes. The course combines theoretical frameworks with empirical case studies, including a focus on Asian and global immigrant communities. By the end of the course, students will be able to: •Understand core theories of international entrepreneurship and immigrant entrepreneurship. •Analyze the role of migration, networks, and institutions in venture creation. •Evaluate challenges and opportunities faced by immigrant entrepreneurs. •Apply theoretical frameworks to real-world case studies. •Design research or policy-oriented solutions related to immigrant entrepreneurship.
成績評価方法	Class Participation: 15% Active participation in weekly reflection discussions: 20% Case Presentation: 20% Midterm report: 15% Final Research Project Report/Examination: 30%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51451	A	ビックデータを用いた量的研究入門	田中 英三郎	相談支援研究開発センター	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	ビッグデータは、その膨大な情報量が様々な社会課題に対して価値ある洞察を生み出す可能性を秘めている。本講義では、公開されている数量データを用いて受講生が、問を立て（研究疑問）、データ分析を行い、1 つの研究プロジェクトとしてまとめあげるまでの一連のプロセス（量的研究方法論）を習得する。取り上げる研究分野は、主に社会科学／行動科学であるが、他の分野を専攻する学生も歓迎する。統計学の素養があれば理解は深まるが、必須ではない。量的研究方法論への興味とモチベーションがあり、基本的な PC の操作ができれば十分である。
成績評価方法	出席（50%）とレポート（50%）で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51454	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	菅谷 佑樹、石川 俊平	医学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	主に駒場の 2 年生を対象とし、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。本郷キャンパスで行う。1 年生も本郷キャンパスまで来られる方は参加可能とする。
成績評価方法	出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Bruce Alberts, Rebecca Heald, Alexander Johnson, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, John Wilson Molecular Biology of the Cell 7th edition W W Norton & Co Inc;
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51457	A	生命科学の最前線	岸 雄介	定量生命科学研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	生命科学の教科書には「答え」が書かれています。しかし研究の現場にあるのは、まだ誰も答えを知らない「問い」です。ピペットを手に取り、顕微鏡を覗き込む。研究室にはそこでしか感じられない空気があります。その最前線に、直接足を踏み入れてみませんか？ 本ゼミナールでは、定量生命科学研究所の研究室を実際に訪れ、世界最先端の研究が行われているその場で、生物材料を使った実験体験や実験設備の見学を行います。研究者が日々向き合っている実験の空気を直接感じることで、これまで教科書で学んできた生命科学の知識が、どのような問いや挑戦の上に成り立っているのかを実感してほしいと思います。 さらに、研究者の仕事とはどのようなものか、研究室とはどんな場所なのかを肌で感じ、実際に研究者と対話できる機会も提供します。将来の進路に迷っている学生も、知的好奇心のままに参加したい学生も、研究の熱気を体で体験しにきてください。文系・理系を問わず歓迎します。 （参考：定量生命科学研究所 HP: https://www.iqb.u-tokyo.ac.jp）
成績評価方法	成績は講義の出席回数によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60215	A 2	Let's try cell culture! 細胞を培養しよう！	ウッドワード ジョナサン ロジャー、 松田 良一	PEAK 前期	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	An adult human body consists of about 30 trillion cells. If cells are separated from the body and isolated into single cells, can cells survive even outside of the body? Attempts to break apart cells and keep them alive in vitro were conducted in Germany and the United States between 1880 and 1919 using frogs and chickens. Cells separated from the body could cultured under appropriate conditions. This cell culture technology became a fundamental technology in biological research, but today it is indispensable for producing vaccines, antibodies, artificial skin, and “cultured meat.” 成人一人の身体はおよそ３０兆個の細胞から成り立っている。では細胞を身体から分離し、バラバラにすると細胞は生きていられるだろうか？実際に細胞をバラバラにして生体外で生かそうという試みはカエルやニワトリを用いて１８８０年から１９１９年代にドイツやアメリカで行われ、身体から分離した細胞は適切な環境下で培養できることが分かった。この細胞培養技術は生物学研究の基本技術であるのみならず、今日ではワクチンや抗体、さらに人工皮膚や培養肉の作成において、欠くことができない技術になっている。
成績評価方法	Course evaluation will be performed based on attendance, commitment to and completion of the experimental work. コースの評価は、実験作業への出席、取り組み、完了に基づいて行われます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60217	A 2	平和のために東大生ができること II	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	この授業は A2 ターム集中の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」の準備授業である。 渡航先であるカザフスタン共和国の政治・経済・文化について知識を深めるとともに、カザフスタンで現地学生に向けて行うプレゼンテーションの土台作りのために、関連する日本の事情についても探求する。 授業内容に関心があれば、国際研修に参加しない学生の履修も歓迎する。
成績評価方法	授業へのコミットメントによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60223	A 2	伊豆に学ぶプラス初級編 A 「感じる・考える・行動する」 サイクルを回してみよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】本ゼミは伊豆で対面で実施します。リモート受講はできません。 【注意】本ゼミを単独で受講することはできません。 本自由研究ゼミは体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」に併設して実施するものです。体験ゼミとセットでお申し込みください。 全学自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」を学びの土台として、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。「伊豆に学ぶ」体験を一層充実させて、大学で学ぶことの本質について考えてみようというゼミです。伊豆に学ぶで訪ねる演習林樹芸研究所において、夕食後のひと時を一緒に過ごしましょう。体験ゼミと自由研究ゼミの重複履修をお勧めしています。 ①大学とは何だろうか、これについて考えたことはありますか。 ・学生が学ぶ機関ですという答えは、不正解ではありません。 ・専門的な考え方や技術を身に着けるところですという答えも然り。 ・友達を作るところですという答えも、もちろん不正解ではありません。 ②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。 ・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とてもそういう話を振れない ・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話しかしない ・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い 全学自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。 社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しない日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方と向き合うことができます。 大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかったことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてもらうことを一つの目的としています。 「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。 本ゼミの参加条件は 2 つあります。 一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、 もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。 この二つはとても大切です。 参加される方は必ず守ってくださいね。 とても大事なことなので、しっかりとお伝えしておきます。 この伊豆に学ぶプラス初級編では、皆が本音で話し合える「場」を作りたいと考えています。それには皆さんの協力が必要です。当たり障りのないことを言って、その場をやり過ごすのではなく、皆さんの本音を吐露し合う場としたいのです。 当たり障りのないことだけ言って、仲良し風を装うのではなく、ある論点に関して本音の意見をぶつけ合って欲しいのです。当たり障りのないことを言って「同じる」のではなく、自由にとことん議論した末に「和する」という体験をしていただきたい。 和して同ぜず。 色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知る「学びの場」を具現したいと考えています。 受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関わりを結ぶのがよいかということについてじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずです。 学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。
成績評価方法	活動に取組む姿勢とレポートで評価する 積極性、自主性を重視します
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	Ａ２	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	片岡 直行、岩間 亮、奥田 傑、小南 友里、宮永 顕正、ブランパン 騰真、正木 聡、堤 研太、田中 智、伯野 史彦、伏信 進矢、福田 良一、五十嵐 圭日子、渡邊 壮一、永田 宏次、潮 秀樹	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この授業は、農学部の実験室において対面で実験を行うため、履修者を対面授業に参加する学生に限定します。 私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。
成績評価方法	出席と実習での活動で評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51288	A	福島第一原発事故からの環境回復を放射線の視点で考える	佐藤 守俊、堀 まゆみ、小豆川 勝見	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 東日本大震災・福島第一原発事故の発生から 15 年の歳月が経過した福島県浜通りの被災地では，除染・帰還・移住・生業など様々な観点から復興が進められています．この災害は地震と津波という視覚的に判断できる被害にとどまらず，環境中に大量の放射性物質が拡散してしまったことが復興の大きな足枷となっています．そのため，他の災害復旧の現場とは大きく様相が異なります． そこで，本講義では避難指示区域内の現場で，実際に放射線計測を行いながら何世代にもわたるであろうこの課題をどのように捉えればよいのか，実体験を伴う理解を深めてもらうことを目的としています． 受講にあたり専門的な知識は不要ですが，座学で事故の経緯や放射線について基礎的知識を共有(1 コマ)・保護具の取り付け方の講習(1 コマ)を教室内で行ったのちに，現場(福島県双葉郡大熊町)における実地(避難指示区域を含む)での測定・見学会(1 泊 2 日を予定)を行います． 野外実習の安全管理および避難指示区域内への立入に関係機関から許可を得る必要があるため，受講可能人数は最大 4 名とします．受講希望者がこれを上回る場合には抽選を行います．
成績評価方法	出席、取り組み姿勢を総合的に評価するが，事前の講義 2 回と現地実習の参加が必須． 詳細はガイダンス時に説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51289	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。 第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（UTOL で提出）をふまえ受講者「40 名」を決定する． ※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る ※ガイダンスはオンラインで，受講者決定後の講義は対面で行う．オンラインでの参加はできない．
成績評価方法	講義への参加状況をもとに合否を判定する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 東大教養囲碁講座 －ゼロからわかりやすく 光文社（新書） 978-4334034108
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51312	A	身近な環境化学実習－身の周りの水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、堀 まゆみ	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？ 蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水道水。採取場所や日時によって水質に違いがあるのか？水道水とペットボトルの水、何が違う？ミネラルウォーターにも種類があるけれど、それぞれどう違うのか？水道水と井戸水の水質はどのような違いがあるのか？このようなさまざまな疑問を、化学実験を通して多角的な視点で解決していきます。 本実習では、キャンパス内の建物や自宅の水道水、ミネラルウォーター、井戸水など、身近な「水」を題材に、自分でテーマを決め、実験を計画し、試料を選び、分析し、考察します。化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に行い、構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察します。実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、学生同士のピアレビューを通して、得られた結果や考察について議論を交わすことで理解を深めます。 専門知識や事前学習を必要としません。実習を通して、研究がどのように計画され、進められていくのかを実体験として学ぶことができます。自分だけの実験プロジェクトを自由に探究し、環境化学の面白さに触れてもらうことを重要視しています。そのため、文科・理科を問わず、環境や水に興味がある学生を歓迎します。 【ガイダンス（授業の詳細説明）】 2026年10月 7日(水)12:15～12:45 Zoom配信 以降、10月19日までオンデマンド視聴可能（UTOLに掲載）
成績評価方法	出席、取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。詳細は、ガイダンスおよび初回授業時に説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51326	A	ロボット競技を体験しよう B	岡田 慧、小島 邦生	工学部	水 6	2	1年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である． 本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う． 専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい． 本ゼミは1年SセメスターのAから2年AセメスターのDまでで構成される．Aに参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である． 発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学RoboTech」の活動への参加も歓迎する． 講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）． ※関連HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/
成績評価方法	講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する． 各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51327	A	ロボット競技を体験しよう D	岡田 慧、 小島 邦生	工学部	水 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要
■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

成績評価方法
講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する．
各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる．

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51328	A	フォーミュラレーシングカーを作る B	山崎 由大	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要
■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは 8 月または 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。
自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)
授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A 及び A セメスター開講の B(A を履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」または「同 B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作る B」を受講した学生は「同 C」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。
※安全教育を実施します（対面で実施予定）。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。

※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法
必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。

教科書
プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス
第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51329	A	フォーミュラレーシングカーを作る D	山崎 由大	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは 8 月または 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。
自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)
授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A 及び A セメスター開講の B(A を履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」または「同 B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作る B」を受講した学生は「同 C」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。
※安全教育を実施します（対面で実施予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51332	A	魔改造技術者養成プログラム	長藤 圭介	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本講義は、NHK 総合「魔改造の夜」にインスパイアされた「魔改造」の世界観を踏襲し、履修者がチームを組んで、身近な家電製品やおもちゃを決められたルール・期限の中で実際に改造し、最終競技会で成果物の性能を競うプロジェクト型演習である。
学部 1 年生から大学院生までを含むグループで「あえて役に立たないものを作る」活動を通して、現場・現物・現人に基づくものづくりを体感し、創造性のある制作経験を積むことを目的とする。
授業の詳細や過去の実施の様子については、下記の Web サイトを参照すること。
https://utmakaizo.nagato-u-tokyo.jp/about/education/

※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　ガイダンスにて説明します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51333	A	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプII	杉田 直彦、吉﨑 れいな	工学部	集中	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の２名の教員が担当します。 杉田直彦 教授 吉﨑れいな 助教 本プロジェクトでは，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します．学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行います．これにより，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，学生がものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組みます．このワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけを作ります． ---------- ※このゼミは10月2日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席を勘案して決定します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51334	A	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプIV	杉田 直彦、吉﨑 れいな	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の２名の教員が担当します。 杉田直彦 教授 吉﨑れいな 助教 本プロジェクトでは，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します．学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行います．これにより，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，学生がものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組みます．このワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけを作ります． ---------- ※このゼミは10月2日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席を勘案して決定します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51336	A	最先端テクノロジーを熱く語るゼミ～熱語（あつかた）ゼミ	泉 聡志、大宮司 啓文、杉田 直彦	工学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端で活躍する現役の外部講師を毎週お招きして、成功談・失敗談などを交えて、日進月歩の専門分野の現状を熱く語って頂きます。ここまで約 40 分。次に学生 3 人組でのグループワークを約 5 分してもらい、あとは残りの約 60 分で外部講師と東大の教授陣を質問攻めにして、本音ベースのディスカッションを展開します。ファシリテーターとして東大宇野ゼミの宇野先生が参加。楽しく分かりやすくガイドしてくれるでしょう。機械工学専攻の大学院生もサポートしてくれます。
文系でも理系でも参加できるゼミです。つまり素人、大歓迎ということです。でも東大工学部の教授陣が、毎回責任を持ってバックアップしてくれます。
このように、その分野の真のプロフェッショナルの方々と東大生の掛け合いによって、テクノロジーの最先端をテーマに、熱く楽しくディスカッションを毎週繰り広げます。素人目線も取り入れて、分からないことは分からないと、素直に質問をぶつけられる雰囲気を大切にします。そして心がワクワクする授業にしたいと思います。
・それ、何の役に立つのですか？何が凄いのですか？
・何が難しいのですか？本当に実現できるのですか？
・いつ実現できるのですか？いくら予算がかかるのですか？
・ビジネスとして成立するのですか？
・この技術が実現すると、世の中はどう変わるのですか？
・その時、自分はどう対応すれば良いのですか？
・誰が世界のトップランナーなのですか？
・勝ち目はあるのですか？最終的な夢は何ですか？
何でも聞いてみて下さい。建前ではなく、本音で熱く語って頂きます。これからの未来は、最先端テクノロジーで変わる、変える、激変するでしょう。その熱気をみんなで分かち合いませんか。文系・理系、学年、性別、バックグラウンドを問わず、全ての東大生を巻き込んだ楽しいコミュニティを目指します。是非、覗いてみて下さい。
自分の人生が良い意味で変わるキッカケになるかもしれません。
この授業は、テクノロジーが社会を大きく変えつつある現実を、より深く理解すると共に、外部講師と教授陣と受講生が緩やかなコミュニティを形成することを目指します。また刺激的な雰囲気に身を置くことで、共に成長し合える仲間が増えて、科学技術の目覚ましい発展と向き合える時間をみんなで共有する貴重な機会となるでしょう。将来の進路に関わらず、誰もが押さえておくべき科学的リテラシーを身に付けて、新しい時代のリーダー育成に寄与することを目的とします。興味のあるコマだけの聴講を歓迎します。興味のありそうな友人を誘ってみてください。終了後、講師を交えた簡単な懇親会を予定しています（軽食付き）。

※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　出席・講義への参加
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51337	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．
――――――――――――――――――――――――――――――――
※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。
――――――――――――――――――――――――――――――――

成績評価方法　授業への参加，貢献度による．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51343	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎、江草 大佑、白岩 隆行、豊島 遼、阿部 英司、近藤 高志、澁田 靖、南部 将一、江島 広貴	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，実際に研究室で体験してみませんか？ ・ナノスケールの極小の世界で起こる出来事は、どのようにして知ることができるのでしょう？ ・ナノスケールの材料を操作して組み立てるには、どうすればいいのでしょう？ ・ナノスケールの材料研究において計算科学やシミュレーションはどのように役に立つのでしょう？ ・mRNA ワクチンなどのナノ医薬はどの様にして調製・評価されるのでしょう？ 本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する最先端研究を実際に体験し，その面白さと奥深さを学んでもらいます。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	講義や実習への参加による評価
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51344	A	応用化学の最先端研究を体験してみよう B	細野 暢彦	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業では、工学部応用化学科の研究室での化学実験を通して応用化学の最先端研究を体験し、化学に対する理解を深めることを目的とする。 ***** このゼミは 10 月 2 日(金)6 限（18：45～）の工学部合同ガイダンス（オンライン開催）に参加予定です。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 *****
成績評価方法	実験への参加状況により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51348	A	鉱物資源はどこでできるのか？～フィールド調査と鉱物採集の旅：海底資源編～	中村 謙太郎、安川 和孝	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 私たちの文明の発展は、多種多様な鉱物資源によって支えられています。特に近年では、持続可能な人類社会を築くためにさまざまな金属（ベースメタル、レアメタル、貴金属）が不可欠となっており、その供給源としての鉱物資源の役割は増大しています。では、これらの「鉱物資源」は一体どこから生まれるのでしょうか？ 水の惑星と呼ばれる地球には、海でできた鉱物資源が数多く存在しています。驚くべきことに、陸地で採掘される資源の中にも、過去に海で形成されたものがたくさん含まれています。そして、東京近郊にも海に由来する鉱物資源が存在し、実際に過去には採掘されていたのです。 そこでこの授業では、東京周辺で野外巡検（日帰り）を行い、過去の海でできた岩石と鉱物資源を実際に観察・分析してもらいます。自ら手を動かし、その実態と魅力に触れてもらうことで、私たちの生活を支える鉱物資源とそれを生み出す海に対する理解を深めてもらうことをを目標とします。 --- ※このゼミは10月2日（金）6限（18：45～）にZoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	野外巡検、講義、化学分析の終了後にレポートを作成してもらい，その内容により成績評価を行います. なお，2回の講義と巡検への参加およびレポート提出の全てが単位認定に必須となります.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51352	A	Virtual Exchange for Global Citizens～プリンストン大学の学生とのオンライン交流～	秋山 友香	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【重要】10月2日（金）6限 18:45~に行われる【工学部、全学自由研究ゼミナール・全学体験ゼミナール・学術フロンティア講義 合同説明会】への参加が必須です。その説明会で事前登録のフォームを共有します。 プリンストン大学の日本語学習者と協力して、様々なタスクに取り組むプロジェクト型の授業です。授業は講義、国際コミュニケーション演習、そして成果発表の3部構成で展開されます。授業での使用言語は英語ですが、プリンストン大学の学生と交流する時には日本語と英語両方を使用します。国境や学問の枠を超えた交流を通じて、世界で活躍するために必要な語学力と異文化コミュニケーション能力を養います。さらに、国と国の表層的な比較に留まらない、多様性に焦点を当てたプロジェクトを行うことで、真のグローバル市民になるのに必要な資質を育てます。 This course offers a project-based collaboration in which students from the University of Tokyo and Japanese language learners at Princeton University tackle various tasks. The course is divided into three key segments: lectures, interactive international communication exercises, and final presentations. By engaging in cross-border and interdisciplinary interactions, the course aims to develop the linguistic and intercultural competencies that are crucial for global effectiveness. Moreover, the projects are designed to foster global citizenship by highlighting the importance of diversity and moving beyond superficial comparisons of nation-states. --- ※このゼミは10月2日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	講義での積極的参加 - 30% パートナーとの交流 - 40% 課題 - 20% 成果発表 - 10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51353	A	医工学ってなんだろう？！	太田 誠一	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムをつくる学問分野として、「医工学(バイオメディカルエンジニアリング)」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を創製することで、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。 本講義では、工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり、研究室での実習体験という形式で、「医工学ってなんだろう？」を分かりやすく体験してもらうことを目指します。 --- ※このゼミは 10 月 2 日（金）6 限（18:45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ※ゼミの受講には、履修登録に加えて、班分け等のための別途申込が必要です。受講希望者は締め切りまでに、必ず以下の URL から申込を行ってください。詳細は上記の工学部合同説明会の際に説明いたします。 【申込締め切り】10 月 16 日（金） 【申込用 URL】 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfGHUpvmiMGyx-ARR5nMlGL7vRwOZxQeux6r6_CbfnrzRn--A/viewform?usp=header ---
成績評価方法	出席と理解度による総合的評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51378	A	じっくり学ぶ数学 II	木田 良才、 牛腸 徹	理学部	金 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、S セメスターの「じっくり学ぶ数学 I」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。 一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。 ※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。
成績評価方法	問題を解いたノート提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51379	A	電磁気学で使う数学	木田 良才、 清野 和彦	理学部	金 2	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がスカラー場やベクトル場という「場（ば）」の微積分によって表されます。ところが、場の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の微積分のうち積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の後半になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分と場の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はあまりしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されるし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容なので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号が出てきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。 なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学は電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員に依ります。その点も心に留めておいて下さい。
成績評価方法	「授業の方法」に書いた毎回課す問題の答案で評価します。詳しいことは第 1 回の資料を参照して下さい。第 1 回の資料は 9 月 25 日（第 1 回の一週間前）までに UTOL にアップロードする予定です。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51383	A	目に見えない素粒子や 原子核を見てやろう	山口 英斉、 横山 輪、 LIM BONG-HWI、 郡司 卓、 酒見 泰寛	原子核科学研究センター	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 サブ゛アトミック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法で゛あり、検出器はサブ゛アトミックな世界を研究する上で゛の目や耳ともいうへ゛きもので゛ある。 授業で゛は、目に見えないサブ゛アトミック粒子測定の基本原理を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。 （1）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。（2）実際に、幾つかの検出器を構築する。 （3）構築した検出器を用いてサブ゛アトミック粒子を測定する。（4）測定結果を評価考察する。 ※実習指導の都合から、履修人数は 10 名以下が望ましい。 ※このゼミナールは、埼玉県和光市理化学研究所キャンパス(東武・東京メトロ和光市駅から徒歩 15 分程度)内にある東大原子核科学研究センターで開催される。期間中は近隣の宿泊施設(ホテル)に宿泊していただく予定。
成績評価方法	実習へと取り組み姿勢と達成度、及び゛発表会で゛の発表内容に基づ゛いて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51389	A 1	都市林を支える知と技：武蔵野編	安村 直樹、前原 忠、後藤 晋	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は木材生産、環境保全、防災など様々な機能をもち、人間の生活を支え、人間との生活の関わりの中で森林が維持されてきた。近年では温暖化やヒートアイランド現象が進行する中において、「都市林」の重要性が増している。これらの森は、放置しておけばよいのではなく適正な管理、すなわちあるべき森の形を設定し、そのために手を加える必要がある。とくに都市林では散策路に枝が張ったり、ナラ枯れなどの危険木の処理などの新しい課題も出てきている。 本講義では、森林の持つ多面的機能のうち、保健・レクリエーション機能、文化機能に重きを置きながら、森林の調査や管理作業を体験し，都市林の望ましい造成方法や管理手法について考える。本年度は，森と人との関係性、特に東京という場所の地域特性に着目し、東京大学の演習林や明治神宮を訪れ，都市林の造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。
成績評価方法	フィールド体験ゼミおよび振り返りへの出席と、レポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51390	A 1	秩父に学ぶ A 木を育む森を知り・木を伐採し・木を使うゼミ の先へ、発信！	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この講義は S 2 タームに実施した「秩父に学ぶ S」から継続して受講することを前提に設置しています。本ゼミ「秩父に学ぶ A」のみの受講はできません（単位が付きません）のでご注意ください。ただし、他の体験ゼミ受講生が本ゼミの趣旨をよく理解して受講することはお認めします。 S2 タームゼミでは、実際に木を伐り出し、それを使う体験をしてもらいました。 切り出して、運び出すことを通じて、森林を資源として捉える一つの視点を得られたと思います。視点を得ることによって、森林の見方が少し変わったでしょうか。 秩父に学ぶ A は、皆さんの内部にどの様な変容があったかについて考察することを目的とします。 山から運び出した木はどうでしたか？ ・燃料にする（飯盒炊爨は？・ドラム缶風呂は？） ・匂い・味覚を楽しむ（檜のにおいは？・燻製の香りは？） ・小物を作る（木割りは？・バードコール作りは？） 今の山林の状況を知り、将来の山林のことを考えるには、社会ぐるみでそれらに向き合う「気分」の様なものが欠落しているように思われます。このゼミで、実際に木を伐採して、使ってみて、皆さんはどの様なことを感じ、考えたでしょうか。ゼミを通して皆さんの内部に生じた変容（気づきや理解、捉え方の変化）を、一般の方々と共有することを秩父に学ぶ A ゼミの目標とします 現代社会に欠けているものを、君たちの変容を伝えることで補うことができないだろうか。本ゼミに関連する他の全学自由研究ゼミの皆さんがが既に次の駒場祭で社会への発信の準備を進めています。本ゼミ「秩父に学ぶ A」の皆さんには、そこに相乗りする形で、駒場祭の場を借りて発信体験をしていただきます。
成績評価方法	授業への取り組み姿勢とレポート（ポスター）で評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51391	A	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_１（低山ゼミＡ１）	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講可能です。オンライン受講はできないのでご注意ください。ハンディキャップがある方には本当に申し訳ありません。

山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりではありません。

山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという目的を掲げます。多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄ります。適度な運動のあと。温泉でさっぱりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。しかめ面せずに楽しみながら行う予定です。

Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行ではやりにくい、山行の振り返りと、各々の意見を交換する機会となります。どうぞお楽しみにしてください。

日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたはご存じだと思います。その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 専門家でもないあなたは何も考える必要はないのでしょうか。人任せにしていて、取り返しのつかないことにならないでしょうか。

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山で、林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山林を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたいのです。林業の視点で山林を眺めるとどの様に見えるでしょう？その様な視点を獲得することがこのゼミの狙うところです。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えない状態に慣れきっていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物や現象をゆっくりと観察できる歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩くと見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

「感じる・考える・行動する」のサイクルを回そう。これは鴨田が主宰する全てのゼミに共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。これらのゼミの中での気づきや変容について、学園祭に企画を立てて発信することを目的とする全学自由研究ゼミがあります。こちらに繋げてゆくと、なお楽しめます。

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

・レポート提出が無い場合は不合格になります。

・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。

・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。

・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。

・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51391「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、

51392「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が１単位になっています。

３山行に参加し、レポートで合格すると２単位つきます。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51392	A	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_２（低山ゼミＡ１）	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講可能です。オンライン受講はできないのでご注意ください。ハンディキャップがある方には本当に申し訳ありません。

山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりではありません。

山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという目的を掲げます。多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄ります。適度な運動のあと。温泉でさっぱりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。しかめ面せずに楽しみながら行う予定です。

Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行ではやりにくい、山行の振り返りと、各々の意見を交換する機会となります。どうぞお楽しみにしてください。

日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたはご存じだと思います。その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 専門家でもないあなたは何も考える必要はないのでしょうか。人任せにしていて、取り返しのつかないことにならないでしょうか。

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山で、林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山林を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたいのです。林業の視点で山林を眺めるとどの様に見えるでしょう？その様な視点を獲得することがこのゼミの狙うところです。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えない状態に慣れきっていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物や現象をゆっくりと観察できる歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩くと見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

「感じる・考える・行動する」のサイクルを回そう。これは鴨田が主宰する全てのゼミに共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。これらのゼミの中での気づきや変容について、学園祭に企画を立てて発信することを目的とする全学自由研究ゼミがあります。こちらに繋げてゆくと、なお楽しめます。

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

・レポート提出が無い場合は不合格になります。

・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。

・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。

・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。

・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51391「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、

51392「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が１単位になっています。

３山行に参加し、レポートで合格すると２単位つきます。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51393	A	森林フィールドワークから学ぶデザインイノベーション演習	平尾 聡秀、左右田 智美、前原 忠	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 現代の社会課題の1つである生物多様性の損失を食い止め、自然を回復の方向へ転換する「ネイチャーポジティブ」の実現には、自然の状態を正確に理解するだけでなく、多様な人々が自然に関心をもち、その保全や再生に参加できる新しい仕組みを生み出すことが求められる。 本演習は、フィールドワークを通じて「ネイチャーポジティブ」を体感する実践型授業である。森林・動物・植物・昆虫という4つの領域に実地で触れながら、生態系を「知る」ための新しい研究やアイデアを学生自身が構想・実施する。デザインを軸とした市民参加型科学研究（Citizen Science）の手法を学び、フィールドを起点としたデザインイノベーションの基礎を身につけることを目的とする。 受講を通じて、次の内容を修得することを目標とする。 ・森林・動物・植物・昆虫の各領域における基本的な観察・計測手法の理解 ・生態系データの取得から簡潔な整理・可視化までの一連のプロセスの体験 ・デザイン思考を用いた研究アイデアの発想・プロトタイピング・検証の実践 ・フィールドの知見をデザインコンセプトとして発表・共有する力 ※現地講義に参加可能な学生のみに履修を制限します。 ※受講人数を30名以下に制限します。 ※受講希望者は10月7日（水）6限のガイダンスに参加して下さい。 ※担当教員：平尾聡秀・左右田智美・前原忠
成績評価方法	出席とプレゼンテーションで評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51394	A	鹿の遠音 ”Soundings of Deer”	大黒 俊哉、種子田 春彦	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 本全学体験ゼミナール「鹿の遠音」は、北海道十勝平野南部の大樹町にて、エゾシカを巡る6日間のフィールドワークとレクチャーから構成される学際集中講義である。農学（生圏システム）、工学（リモートセンシング、建築）、理学（植物園）、現場（猟師、自治体）、それぞれの研究専門性・実践分野が持ち寄る知見と、実際の現場と現物から見えてくる現実の重ねあわせを通した、学術連携の可能性を感じてもらうことを目的としている。また鹿にまつわる文化的な関わり、すなわち人との関係性を音（楽）や、食、実物に触れることを介して思考を深める。この集中講義を通じて、多様な分野の専門性を重ねて目の前の事象を探究することの面白さを感じ、各の研究分野を選択する際の可能性へとつなげてもらうことを想定している。
成績評価方法	フィールドワーク・レクチャー・ワークショップに取り組む姿勢とレポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51403	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至、柳澤 実穂、伊藤 創祐、大泉 匡史、土畑 重人、晝間 敬、杉村 薫、豊島 有、川口 喬吾、岡田 康志、豊田 太郎、澤井 哲、若本 祐一、古澤 力	生物普遍性連携研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBIでは、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
柳澤 実穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解
晝間 敬: 根系自動定量システムを用いた植物ー微生物相互作用の理解
土畑 重人: マクロ普遍生物学:アリの巣に生物社会の妙を知る
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
大泉 匡史: 大規模な神経活動データにおける神経情報表現の構造の解析
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 非平衡熱力学に基づいたAIの研究究
川口 喬吾：生物の中の物理法則：ゲノムから形まで
杉村 薫: 生き物の形とパターンの力学
豊島 有: 線虫の神経活動と行動の解析
最新の情報は以下を参照。
https://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/zemi/

成績評価方法　報告会での発表と、実習の取り組みに応じて総合的に判断する
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51411	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する 2026A	松田 浩一、合山 進	新領域創成科学研究科	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が進学選択が可能となる条件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 メディカル情報生命専攻に所属する教員が実施する体験的プログラムに参加することで、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。 合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところで、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。 『A セメスター開催予定プログラム』 （1）合山進先生「最先端の遺伝子編集ツール CRISPR を体験しよう！」 ※ 本プログラムは、白金キャンパスで実施されます。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。
成績評価方法	各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51413	A 1	森と人を紡ぎ直す感性と技術の方法論	中村 和彦、藤原 章雄	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 昨今、世界中のあらゆる情報がインターネット上に存在するようにも思えるが、それは人の生活圏に限ってのことである。人里離れた森の情報は、未だインターネット上に僅かしか存在しない。 森は古来、人間にとって資源獲得や環境保全のために不可欠な存在であった。近代化以前はエネルギー源として生活に直結していたが、現代では二酸化炭素吸収や防災、保健・レクリエーションなど、人間との関係における時空間スケールがより大きくなり、森と人の関係を実感しにくくなっている。 本ゼミナールでは、現代的な森と人の新たな関係を紡ぎ直すための感性と技術の方法論として、実際に森を訪れて撮影とインターネットへの配信（平たくいえば「森の YouTuber」的な活動）を体験する。
成績評価方法	授業への参加態度および映像の制作・配信内容を総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51420	A	フィールドワーク入門：現代社会を歩く①	開沼 博	情報学環	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

◆この授業の概要

様々な現場に赴き、そこに生きる方々の声に耳を傾け、風景からその奥にあるものを読み取り、あるいは目に見えない歴史的蓄積をさぐります。さらにその内容を研究成果とすべく学会報告や査読論文としてまとめることを目指します。具体的には以下のプロセスを取ります。

・参加者同士でのフィールドワークプログラムのプランニング
・フィールドについての文献やインタビュー等を活用した事前調査
・プログラムの実施
・リフレクション

この流れを繰り返し、フィールドに入り込み、情報を読み取り、知識を得るトレーニングをします。その上で、意欲がある受講者は学会報告 or 査読論文投稿を目指します。

具体的なフィールド選定の部分から受講者の関心を踏まえて検討します。

キーワードとしては、都市・地方／政治・行政／災害・有事／メディア・ジャーナリズム／コミュニティ・組織／貧困・格差／グローバリゼーション・エスニシティ。これらに関する問題を捉え直す機会になるようにフィールド選定・プログラム設計を行います。無論、これは大学の授業であり「教育の場」ですので、物理的・非物理的に安全が保たれる範囲でプログラムは実施されることが前提になります。

なお、これまで以下のようなフィールドワークを実施しました。いずれも学部１・２年生が関わっての学会報告や査読論文投稿の実績につながりました。

・北海道ホタテ生産加工現場フィールドワーク：中国による日本産水産物禁輸措置の打撃を最も受けた北海道ホタテの現状を知るために自動車でオホーツクと噴火湾とを5日間フィールドワーク
・蔵前クラフトカルチャーフィールドワーク：関東大震災の被災の中心地であり、東工大や東京電力やかつては国技館（いまの両国国技館）があったエリアである蔵前。江戸時代は全国のコメがあつまり札差たちが取引を行う金融エリアでもあった。ここにいま再生し、新たに芽吹き出した「クラフト」の産業と文化の集積とを調査
・福島フィールドワーク：福島第一原発事故で全域が避難指示の対象となりかつては「死の町」とも形容された地域で、夏休み期間中に3回にわけてのべ10日間徹底的に住民の話をきき、課題と可能性を明らかにした

◆そもそもここでいうフィールドワークって？

人文・社会科学的フィールドワークを指します。

文系・理系問わず、フィールドワークは様々な学問で用いられる手法です。部屋に閉じこもって本を読んだり実験したりするのも重要な研究方法ですが、何らかの現場に出るフィールドワークでしか得られないこともあります。フィールドワークという概念は多義的で領域や人によって定義もまちまちです。何らかのフィールドに出ればそれで「フィールドワーク」だというスタンスもあり得るし、もっと厳密に学術的なフィールドワークはかくあるべきでそこから外れるものは認めないというスタンスもありえます。

この授業でいうフィールドワークは、2つの方向性において、他とは区別されると考えています。一つは人文・社会科学的フィールドワークであること。山に入って動植物の生態系をみるような自然科学的なフィールドワークではなく、人や社会を対象とします。人や社会を対象としたフィールドワークは、社会学や人類学・民俗学等で行われてきましたがそのようなものが人文・社会科学的フィールドワークです。もう一つは、単に「現場にいって面白かったです」という話では終わらせない、フィールドスタディとしての要素が必須だということです。フィールドにいくことは、その現場から得られる以上のことを得るための一連の学習のプロセスの一部分であり、また研究でもあるということです。学習であり研究であるフィールドワークを通して、頭と手足との全てを回しながら現代社会を捉え直すトレーニングの機会を提供します。

◆何が学べる？

フィールドワークの技法を学べます。そのための実践的なトレーニングができます。これは研究をしないとしても、ビジネス・政治行政・NPO等々の世界においても、一生役立つ経験とスキルになります。

・必要な事実を把握し、論理的かつ俯瞰的に考え、意図を他者にわかりやすく伝え、何かを教えてもらったり、協力してもらったりする
・だれかと仲良くなり信頼関係をつくり、あるいは交渉や互いを高めるための良い競争をする
・普通の人がアクセスできないところに踏み込み情報・知識を得るルートをつくり、あるいはそのルートを短時間で見つける
・意図せざるコンフリクトやあからさまに悪意ある妨害・嫌がらせ等にあっても目的に向けて淡々とトラブルシューティングしていく

あえて言葉にするならば、そういったスキルが、フィールドワークの中で身につきます。（文科省的に言うと「生きる力」であり「対話的・主体的に深い／個別最適な／協調的な学び＝探究力」がつきます。）

なお、フィールドワークの教科書的な書籍や論文は調べればいくらでも出てきます。そういったものを読むことも有意義ではありますが、残念ながら水泳やスキーをしたり自転車に乗ったりするのと同様で、理屈を学ぶことは大事ですが、実際にやってみないことには本当に必要な技術は何も身につきません。もちろん、スポーツやなんらかの芸・術と同様に、一定の技術を身に着けた後に理論的に細部を洗練させるのに知識面のインプットをするのは大切です。書籍・論文のみならず動画等も容易にアクセスできる時代ですから、そういうのも活かすべく自主的に研鑽をつむのも良いです。

成績評価方法

以下の割合で評価します。

▼授業参加　１００％

毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。

ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメール等にてご相談ください。

【履修上の注意と評価方法】

本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。

３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。

２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。

	１単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。 なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。単位付与基準は都度お伝えします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 開沼博 漂白される社会 ダイヤモンド社
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51421	A	東大福島部：福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ①	開沼 博	情報学環	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 ◆この授業の概要 講義名の通り「福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ」ことを通して、福島について主体的・対話的に深く学びます。 扱われるのは、福島の地域史、食や風習、政治・経済・メディア教育等々、3.11後の課題や変化以外も含めたあらゆる角度からの福島です。 具体的には、 ・座学（数回） ・フィールドワーク（数回） ・イベント参加を通した実践 というプロセスを通し、地域コミュニティとつながり自分たち自身もコミュニティを形成（「福島部」化していく）の過程に身を置く中で、学際的に一つのエリア・テーマを多角的に見て、そこから新たな知見を得る経験ができます。 昨年度の様子はこちらのnoteをご確認ください https://note.com/utokyofukushima ◆この授業の背景と意図 講師はこの20年ほど、福島をフィールドにした人文・社会科学的研究を続けてきました。15年前に3.11（東日本大震災・東京電力福島第一原発事故）がありましたが、それ以前からの福島、近年徐々に鮮明になりつつある災害を乗り越えた新たな福島をも対象に通時的に調査や実践を重ねてきました。 その中で常に重要な要素として存在してきたのは「コミュニティづくり」です。災害復興はもちろん、研究も教育・学びも、もちろん政治・行政も経済も、いかに人のつながり、コミュニティをつくり、持続可能な形にするのかが全てを決める、といっても過言ではない現実を見てきました。 学ぶことで人のつながりができ、飲み食いするなど時間をすごすことで、さらにそこから学びが深まり、その先に研究がうまれ、それ自体が「遊び」のように楽しくもなっていく。例えばそういう循環が生まれる先に、当初は頑として動きそうもない扉がすんなりと開いていくような瞬間を何度も見てきました。 授業の枠内でできることは限られますが、3.11にとどまらない多様な福島の側面について研究を続けてきた講師が、座学と現地訪問とを組み合わせて多角的にガイドする中で、一つの食材（フィールド）をあらゆる角度から切り刻み、知る限りの方法を駆使しながら徹底的に料理する魅力を伝えるよう努力する中で、それを五感で感じ、人にも伝えられる力を養って頂ければと思います。
成績評価方法	以下の割合で評価します。 ▼授業参加　１００％ 毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。 感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメール等にてご相談ください。 【履修上の注意と評価方法】 本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。 ３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。 ２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。 １単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。 なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。 単位付与基準はガイダンスでお伝えします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 開沼博 はじめての福島学 イースト・プレス
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51422	A	探究学習論：中高生向け教育プログラムのデザイン・実践①	開沼 博	情報学環	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

◆この授業の概要

高校・中学で進む「探究的な学び」の現在について考え・実践します。高等学校で「総合的な探究の時間」が必修科目化したのは2022年度のこと。2025年度からは、大学にいわば「探究学習ネイティブ世代」が入ってくることになります。無論、この必修化以前から探究・総合ははじまり、多様な取り組みがありました。その意義と課題・可能性とを改めて俯瞰するとともに、実際に中高生向け探究教育プログラムのデザインと実践をします。

◆この授業の目的・前提

担当教員は、これまで災害・エネルギー・メディアなどをテーマにした中高年の探究的な学びやそれを促すプログラムに複数関わってきました。

その中で、学校・教員・生徒・支援するNPO関係者等のそれぞれから、探究に取り組むことの価値と同時に、その難しさを聞いてきました。例えば、「小学生の調べ学習の延長にしかなっていないか不安」「どうやって探究の前提となるテーマや問いを定めればよいかわからない」「せっかく深い部分にせまってきたという部分で終ってしまい継続性がもてない」「受験につながるのかいなか不明瞭な中では受験科目優先の空気が強い」「自分の担当教科がある教員がさらに探究も担当すると負荷がおもすぎる」といったことです。

理念としてはわかっていても、実際にどうそれを進めればよいのか正解がわからない。この悩みの中に現場の関係者の困惑はあるようです。

そして、仮に「探究とはかくあるべし」と語れる人がいるとしても、それが5年後、10年後に誤りだったと評価される可能性も十分にあるのが現状といえるでしょう。

そんな流動的・過渡的な「探究学習」をテーマに理論的にも実践的にも捉え直すことがこの授業の目的です。

探究学習は、当然、「教育」の問題ですが、それはより広く「社会」の問題でもあります。つまり、それは教える側と教えられる側の固定的な関係性、あるいは学校等の教育システムの枠を超えてなされる営みだとされています。それ故、探究学習について考えることは、「今後の社会をいかにデザインするのか」という問題、例えば、これからどのような思考法が必要になり、いかに人と人、人と技術の繋がり方が生まれていくのかという、より普遍的な問題に迫るきっかけともなります。この授業では、探究学習をそのような前提で捉えます。

◆より具体的には？

調査と実践、2つのレベルで授業を進めます。

調査としては、

・探究学習の現場の悩み
・探究学習と高大接続

といったテーマについて、様々なデータを集め、実態を把握します。

実践としては、

・調査結果を前提に探究学習について中高の現場との意見交換
・探究学習に関するイベントの企画

といったことを進めます。

成績評価方法

以下の割合で評価します。

▼授業参加　１００％

毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。

ただし、感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

【履修上の注意と評価方法】

本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。

３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。

２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。

１単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。

単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。

なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。

単位付与基準はガイダンスでお伝えします。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51423	A	フィールドワーク入門：現代社会を歩く②	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

◆この授業の概要

様々な現場に赴き、そこに生きる方々の声に耳を傾け、風景からその奥にあるものを読み取り、あるいは目に見えない歴史的蓄積をさぐります。さらにその内容を研究成果とすべく学会報告や査読論文としてまとめることを目指します。

具体的には以下のプロセスを取ります。

・参加者同士でのフィールドワークプログラムのプランニング
・フィールドについての文献やインタビュー等を活用した事前調査
・プログラムの実施
・リフレクション

この流れを繰り返し、フィールドに入り込み、情報を読み取り、知識を得るトレーニングをします。その上で、意欲がある受講者は学会報告 or 査読論文投稿を目指します。

具体的なフィールド選定の部分から受講者の関心を踏まえて検討します。

キーワードとしては、都市・地方／政治・行政／災害・有事／メディア・ジャーナリズム／コミュニティ・組織／貧困・格差／グローバリゼーション・エスニシティ。これらに関する問題を捉え直す機会になるようにフィールド選定・プログラム設計を行います。無論、これは大学の授業であり「教育の場」ですので、物理的・非物理的に安全が保たれる範囲でプログラムは実施されることが前提になります。

なお、これまで以下のようなフィールドワークを実施しました。いずれも学部１・２年生が関わっての学会報告や査読論文投稿の実績につながりました。

・北海道ホタテ生産加工現場フィールドワーク：中国による日本産水産物禁輸措置の打撃を最も受けた北海道ホタテの現状を知るために自動車でオホーツクと噴火湾とを5日間フィールドワーク
・蔵前クラフトカルチャーフィールドワーク：関東大震災の被災の中心地であり、東工大や東京電力やかつては国技館（いまの両国国技館）があったエリアである蔵前。江戸時代は全国のコメがあつまり札差たちが取引を行う金融エリアでもあった。ここにいま再生し、新たに芽吹き出した「クラフト」の産業と文化の集積とを調査
・福島フィールドワーク：福島第一原発事故で全域が避難指示の対象となりかつては「死の町」とも形容された地域で、夏休み期間中に3回にわけてのべ10日間徹底的に住民の話をきき、課題と可能性を明らかにした

◆そもそもここでいうフィールドワークって？

人文・社会科学的フィールドワークを指します。

文系・理系問わず、フィールドワークは様々な学問で用いられる手法です。部屋に閉じこもって本を読んだり実験したりするのも重要な研究方法ですが、何らかの現場に出るフィールドワークでしか得られないこともあります。フィールドワークという概念は多義的で領域や人によって定義もまちまちです。何らかのフィールドに出ればそれで「フィールドワーク」だというスタンスもあり得るし、もっと厳密に学術的なフィールドワークはかくあるべきでそこから外れるものは認めないというスタンスもありえます。

この授業でいうフィールドワークは、2つの方向性において、他とは区別されると考えています。一つは人文・社会科学的フィールドワークであること。山に入って動植物の生態系をみるような自然科学的なフィールドワークではなく、人や社会を対象とします。人や社会を対象としたフィールドワークは、社会学や人類学・民俗学等で行われてきましたがそのようなものが人文・社会科学的フィールドワークです。もう一つは、単に「現場にいって面白かったです」という話では終わらせない、フィールドスタディとしての要素が必須だということです。フィールドにいくことは、その現場から得られる以上のことを得るための一連の学習のプロセスの一部分であり、また研究でもあるということです。学習であり研究であるフィールドワークを通して、頭と手足との全てを回しながら現代社会を捉え直すトレーニングの機会を提供します。

◆何が学べる？

フィールドワークの技法を学べます。そのための実践的なトレーニングができます。これは研究をしないとしても、ビジネス・政治行政・NPO等々の世界においても、一生役立つ経験とスキルになります。

・必要な事実を把握し、論理的かつ俯瞰的に考え、意図を他者にわかりやすく伝え、何かを教えてもらったり、協力してもらったりする
・だれかと仲良くなり信頼関係をつくり、あるいは交渉や互いを高めるための良い競争をする
・普通の人がアクセスできないところに踏み込み情報・知識を得るルートをつくり、あるいはそのルートを短時間で見つける
・意図せざるコンフリクトやあからさまに悪意ある妨害・嫌がらせ等にあっても目的に向けて淡々とトラブルシューティングしていく

あえて言葉にするならば、そういったスキルが、フィールドワークの中で身につきます。（文科省的に言うと「生きる力」であり「対話的・主体的に深い／個別最適な／協調的な学び＝探究力」がつきます。）

なお、フィールドワークの教科書的な書籍や論文は調べればいくらでも出てきます。そういったものを読むことも有意義ではありますが、残念ながら水泳やスキーをしたり自転車に乗ったりするのと同様で、理屈を学ぶことは大事ですが、実際にやってみないことには本当に必要な技術は何も身につきません。もちろん、スポーツやなんらかの芸・術と同様に、一定の技術を身に着けた後に理論的に細部を洗練させるのに知識面のインプットをするのは大切です。書籍・論文のみならず動画等も容易にアクセスできる時代ですから、そういうのも活かすべく自主的に研鑽をつむのも良いです。

成績評価方法

以下の割合で評価します。

▼授業参加　１００％

毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。

ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメール等にてご相談ください。

【履修上の注意と評価方法】

本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。

３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。

２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。

	１単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。 なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。単位付与基準は都度お伝えします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 開沼博 漂白される社会 ダイヤモンド社
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51424	A	東大福島部：福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ②	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 ◆この授業の概要 講義名の通り「福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ」ことを通して、福島について主体的・対話的に深く学びます。 扱われるのは、福島の地域史、食や風習、政治・経済・メディア教育等々、3.11後の課題や変化以外も含めたあらゆる角度からの福島です。 具体的には、 ・座学（数回） ・フィールドワーク（数回） ・イベント参加を通した実践 というプロセスを通し、地域コミュニティとつながり自分たち自身もコミュニティを形成（「福島部」化していく）の過程に身を置く中で、学際的に一つのエリア・テーマを多角的に見て、そこから新たな知見を得る経験ができます。 昨年度の様子はこちらのnoteをご確認ください https://note.com/utokyofukushima ◆この授業の背景と意図 講師はこの20年ほど、福島をフィールドにした人文・社会科学的研究を続けてきました。15年前に3.11（東日本大震災・東京電力福島第一原発事故）がありましたが、それ以前からの福島、近年徐々に鮮明になりつつある災害を乗り越えた新たな福島をも対象に通時的に調査や実践を重ねてきました。 その中で常に重要な要素として存在してきたのは「コミュニティづくり」です。災害復興はもちろん、研究も教育・学びも、もちろん政治・行政も経済も、いかに人のつながり、コミュニティをつくり、持続可能な形にするのかが全てを決める、といっても過言ではない現実を見てきました。 学ぶことで人のつながりができ、飲み食いするなど時間をすごすことで、さらにそこから学びが深まり、その先に研究がうまれ、それ自体が「遊び」のように楽しくもなっていく。例えばそういう循環が生まれる先に、当初は頑として動きそうもない扉がすんなりと開いていくような瞬間を何度も見てきました。 授業の枠内でできることは限られますが、3.11にとどまらない多様な福島の側面について研究を続けてきた講師が、座学と現地訪問とを組み合わせて多角的にガイドする中で、一つの食材（フィールド）をあらゆる角度から切り刻み、知る限りの方法を駆使しながら徹底的に料理する魅力を伝えるよう努力する中で、それを五感で感じ、人にも伝えられる力を養って頂ければと思います。
成績評価方法	以下の割合で評価します。 ▼授業参加　１００％ 毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。 感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメール等にてご相談ください。 【履修上の注意と評価方法】 本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。 ３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。 ２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。 １単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。 単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。 なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。 単位付与基準はガイダンスでお伝えします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 開沼博 はじめての福島学 イースト・プレス
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51425	A	探究学習論：中高生向け教育プログラムのデザイン・実践②	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

◆この授業の概要

高校・中学で進む「探究的な学び」の現在について考え・実践します。高等学校で「総合的な探究の時間」が必修科目化したのは2022年度のこと。2025年度からは、大学にいわば「探究学習ネイティブ世代」が入ってくることになります。無論、この必修化以前から探究・総合ははじまり、多様な取り組みがありました。その意義と課題・可能性とを改めて俯瞰するとともに、実際に中高生向け探究教育プログラムのデザインと実践をします。

◆この授業の目的・前提

担当教員は、これまで災害・エネルギー・メディアなどをテーマにした中高年の探究的な学びやそれを促すプログラムに複数関わってきました。

その中で、学校・教員・生徒・支援するNPO関係者等のそれぞれから、探究に取り組むことの価値と同時に、その難しさを聞いてきました。例えば、「小学生の調べ学習の延長にしかなっていないか不安」「どうやって探究の前提となるテーマや問いを定めればよいかわからない」「せっかく深い部分にせまってきたという部分で終ってしまい継続性がもてない」「受験につながるのかいなか不明瞭な中では受験科目優先の空気が強い」「自分の担当教科がある教員がさらに探究も担当すると負荷がおもすぎる」といったことです。

理念としてはわかっていても、実際にどうそれを進めればよいのか正解がわからない。この悩みの中に現場の関係者の困惑はあるようです。

そして、仮に「探究とはかくあるべし」と語れる人がいるとしても、それが5年後、10年後に誤りだったと評価される可能性も十分にあるのが現状といえるでしょう。

そんな流動的・過渡的な「探究学習」をテーマに理論的にも実践的にも捉え直すことがこの授業の目的です。

探究学習は、当然、「教育」の問題ですが、それはより広く「社会」の問題でもあります。つまり、それは教える側と教えられる側の固定的な関係性、あるいは学校等の教育システムの枠を超えてなされる営みだとされています。それ故、探究学習について考えることは、「今後の社会をいかにデザインするのか」という問題、例えば、これからどのような思考法が必要になり、いかに人と人、人と技術の繋がり方が生まれていくのかという、より普遍的な問題に迫るきっかけともなります。この授業では、探究学習をそのような前提で捉えます。

◆より具体的には？

調査と実践、2つのレベルで授業を進めます。

調査としては、

・探究学習の現場の悩み
・探究学習と高大接続

といったテーマについて、様々なデータを集め、実態を把握します。

実践としては、

・調査結果を前提に探究学習について中高の現場との意見交換
・探究学習に関するイベントの企画

といったことを進めます。

成績評価方法

以下の割合で評価します。

▼授業参加　１００％

毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。

ただし、感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

【履修上の注意と評価方法】

本授業は①と②があります。よく確認の上、この２つをセットで履修登録をしてください。

３単位付与の場合：（１）「積極的かつ十分な時間の授業参加」（２）「レポート提出等課題への対応と大学１・２年生として十分な内容」があった場合「①」「②」計３単位を付けます。

２単位付与の場合：（１）（２）のいずれか一方が十分に満たされ、いずれかが一定が最低限満たされた場合には「②」のみを合格として２単位を付けます。その場合には「①」は欠席とします。

１単位付与の場合：（１）（２）のいずれもが最低限満たされた場合には「①」のみを合格として１単位を付けます。その場合には「②」は欠席とします。

単位付与ができない場合：（１）（２）のいずれか、あるいはいずれもが欠けている場合には単位を付けられません。

なお、レポート課題についてこちらの求める水準に達しない場合はこちらから不足点を指摘し内容を改善する機会を設けます。

単位付与基準はガイダンスでお伝えします。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51450	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る&動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。
成績評価方法	授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60218	A 2	🧬🐟🌳🐝 身近な生命科学実習 ／ Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験三昧・研究室体験
＊少人数制・自分のペースで
＊生命科学分子生物学実験入門編
＊体験を通じた"考えるトレーニング"
【到達目標】
1. DNA 抽出・PCR・電気泳動・シーケンス解析といった分子生物学の基礎技術を、手を動かして一通り実施できる
2. 実験ノートに観察と手順を正確に記録し、自分の結果を根拠に考察・説明できる
3. 答えの定まっていない課題に対して、自分で実験をデザインし、試行錯誤しながら取り組める
4. うまくいかない結果（失敗）から原因を考え、次の一手を組み立てられる

分子生物学の入門編にあたる実験体験を、実質 6 日間の集中講義で行います。文理を問わない少人数制で、個別最適なプログラムを目指します。実習は 2 つのパートに分かれます。前半 A パートは、共通課題「マグロ属の魚種判別実験」で基礎スキルと考え方を習得します。後半 B パートは、その内容を活かして自由課題に取り組みます。最終日はラボミーティング形式で発表します。

A パート
基礎的な実験スキルと考え方の習得

マグロの切り身は、味や形状から種別を見分けるのが難しい。魚の専門家でなければ、なおさらです。では、どうすれば誰でも正確に再現性をもって判別できるのか。本実習では、分子生物学的手法でマグロ属の種別判別を体験します。ねらいは 2 つ。1 つは基礎的な実験スキルと考察方法の習得。もう 1 つは、ニュースでよく耳にする DNA や PCR といった生命科学の用語・技術の理解です。
【実習の流れ】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断
④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表およびディスカッション

B パート
自由課題を通じた"考えるトレーニング"

上記の作業に加え、各自の進度に応じたシンプルな課題を個人／グループに随時与えます。Web 検索・過去のプリント・生成 AI を使っても、答えは簡単には見つかりません。実験を自らデザインして検討する必要もあります。この"考えるトレーニング"で、答えの定まらない課題に挑戦する体験を、楽しみながら味わってください。

【ガイダンス】
対面でのガイダンスは行いません。下記の録画ガイダンスを必ず視聴し、履修を検討してください。履修希望者はフォームを送信すること（定員に達し次第、募集締切）。フォーム URL はガイダンスの欄を参照。個別対応が必要な場合は、メールでご連絡ください。
【実習実施日】
Day1 2026 年 12 月 28 日（月） 13:00 - 18:00
Day2 2026 年 12 月 29 日（火） 13:00 - 18:00
Day3 2027 年 2 月 8 日（月） 13:00 - 18:00
Day4 2027 年 2 月 9 日（火） 13:00 - 18:00
Day5 2027 年 2 月 11 日（木） 13:00 - 18:00
◎Day6 2027 年 2 月 15 日（月） 13:00 - 18:00
上記スケジュールで原則として開講します。◎は発表会で、必ず出席してください。定期試験や個別の事情で参加できない場合は、必ず事前に連絡すること。相談のうえ、予備日への振替が可能な場合があります。

＝＝＝En＝＝＝
Contact Information
📧 kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Course Overview

1. Hands-on gateway to life sciences
2. Foundational DNA techniques: purification, PCR, sequencing
3. Theory-practice integration emphasis
4. Develops researcher mindset, not just technical operator skills
5. Analytical thinking through productive failure experiences

---

	Course Description This six-day intensive program provides comprehensive experimental experience equivalent to introductory molecular biology coursework. The course features small class sizes designed to bridge humanities and sciences, with highly individualised instruction to optimise each student's learning experience. The practical training consists of two main components: Part A (First Half): Students learn fundamental techniques and concepts through experiments identifying fish species within the tuna genus using shared research materials. Part B (Second Half): Students undertake independent projects building upon skills acquired in Part A. Final Day: Students present their findings in a laboratory meeting format. Guidance English-speaking participants will receive individualised scheduling and program customisation. Please contact the email address below for inquiries. Resources ▶️ YouTube: https://youtu.be/9pwgg0QXijU Course Schedule Six sessions, 13:00–18:00 each: Dec 28–29, 2026 and Feb 8, 9, 11, 15, 2027. Attend all six to receive credit. Final-day lab-meeting presentation: Mon, Feb 15, 2027. 💡 #DIYbiology
成績評価方法	㋑講義出席（10 点）、㋺実験セッション出席（20 点／到達目標 1）、㋩実験ノートの提出（50 点／到達目標 2・4）、㋥課題の提出・提案（10 点／到達目標 3）、㋭最終発表（10 点／到達目標 2）により評価する。※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない。詳細は、ガイダンス時に確認すること。80 点以上で合格。 ＝＝＝En＝＝＝ Grading System Course evaluation is based on the following criteria. Students must achieve 80% or higher to pass and receive credit. For safety reasons, students who miss the introductory lecture cannot participate in experimental work. Grade Distribution: Lecture Attendance: 10% (Objective 1) Experimental Session Attendance: 20% (Objective 1) Laboratory Notebook Submission: 50% (Objectives 2 & 4) Assignment Completion and Proposals: 10% (Objective 3) Final Presentation: 10% (Objective 2) Total: 100% Passing Grade: 80% minimum
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鹿島 勲, KASHIMA Isao Practical Mol. Bio. in our Life Laboratory Manual (12th Edition)／身近な分子生物学実習書（第 12 版） To be distributed free in PDF or Google docs format／PDF もしくは Google ドキュメントで配布
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	A 2	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	鎌田 直人、 井上 広喜、 楠本 大	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。 たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わりの希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。 本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや林業、工芸、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。 将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。 【履修希望者への注意事項】 履修希望者は、第 1 回講義終了後から 10 月 17 日（土）17：00 までに下記サイトにアクセスし，所定のフォームで①氏名，②メールアドレス，③希望動機（100 字程度）を入力してください。10 月 17 日の 17 時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、この履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。欠員が出た場合には、追加で参加を認める場合がありますので、選考にもれた場合でも履修に興味がある場合には履修登録を行うことを推奨します。ただし、履修登録をして受講が認められなかった場合、成績は欠席扱いとなります。 参加希望申込サイト： https://forms.gle/T1KMKYpcLfTcw3Wr7 参加の可否は 10 月 19 日（月）24：00 までにメールで連絡しますが，連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせて下さい。また履修希望申込をしたあとや、参加可能の連絡を受けたあとにキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。 連絡先：鎌田直人（千葉演習林 教授） kamatan@uf.a.u-tokyo.ac.jp
成績評価方法	最終日に学習成果を発表し討論を行う。成果発表により合否を判定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	雪の森林に学ぶ～北海道演習林	尾張 敏章、 仲畑 了、 田中 延亮	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。第 1 回講義およびガイダンスに出席していない学生の受講は認めない。
成績評価方法	インターネット経由でビデオ配信する第 2 回講義の課題および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60227	A 2	続伊豆に学ぶ イノシシソーセージ作りから考える	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。 皆さんは外を歩いている時にイノシシに出会ったことがあるでしょうか？ 東京に暮らしていると野生の獣、特に大型の獣に出会う機会はほとんどないと思います。ニュースや新聞で、地方都市にクマやイノシシの出現が報じられても、どこか他人ごとになってしまいがちではないでしょうか。 地方に暮らす人にとって、獣は身近な存在であり、自分の生活を直に脅かす存在です。 一方、大都市の中心地に暮らす人は、野生の獣に接する機会はないので、恐怖を感じることもありませんし、明日収穫しようと思っていた野菜を野生獣に食べられ続けることもありません。そういう生活をしていれば、野生獣に苦しめられている人の気持ちを理解しにくいかも知れません。殺処分と聞けば、嫌悪感をいだくかも知れません。 私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。 自分の常識が通用しない世界があること、そんなことは当たり前でしょうと言うかもしれませんが、知らず知らずの内に、常識に似ているかも知れないステレオタイプによって雁字搦めになってはいないでしょうか。 この講義は南伊豆でイノシシソーセージ作りを教えてもらったり、くくり罠作りを教えてもらったりしながら、南伊豆の人が吸う同じ空気を吸うことから始めて徐々にその土地への理解を深めていただきたい。 イノシシソーセージが語り掛けて来るまで、かすかな声を聴き分けられるまで、ゆっくりとじっくりと時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。
成績評価方法	積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。 加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60228	A 2	続伊豆に学ぶ 林業体験から考える 薪はただのエネルギーではない。 味のあるエネルギーなのだ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。 私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。(ただし、本当にそういう暇がないのかと言えば、議論の余地はあるかも知れません) そして、あふれる情報。情報が多いと一つ一つ吟味していては、情報処理が間に合いません。そこで、ステレオタイプが幅を利かせることになります。符号化するステレオタイプは便利です。もともとは考える時間の節約だったのでしょうが、度を過ごして、節約どころか、「根本原理」的なものになっていないでしょうか。 もう一つ、入試を経て大学に来た君たちは、知らず知らずのうちに「ある習慣」に慣らされているということからも、小さからぬ影響を受けているのではないでしょうか。その習慣とは、難しい問題は後回しにすることです。入試で得点を伸ばすスキルとしては、致し方ないところであると思います。正解に到達する見通しがないところに時間を割かずに、確実に得点できるところに時間を割く方が、パフォーマンスを示しやすい。もちろんそれにも、マネジメント力が必要ですから、受験者の能力を見極めていることになっていると考えられます。 しかし、社会問題もそういった調子で向き合うことで良いでしょうか？ 入試は合格することが目的であり、正解数を稼ぐことは手段と割り切ることができます。 しかし、社会問題はどうでしょう。 正解っぽい回答をいくつか揃えて部分点を狙ったとしても、問題そのものの解決につながらなければほとんど意味をなしていないと思われます。 なぜ、林業を考えてもらいたいか。 日本の国土の２／３は森林で覆われていて、そのおよそ４０％が人工林です。国土面積の実に１／４強に相当します。林業はこれらの人工林を管理する、唯一の手段と言えます。 このような話の流れの中で、日本社会は林業を手放してよいのだろうか？と問えば、手放してよいという回答にはなりにくいでしょう。 しかし、私たちは社会生活の中で、手放さない方が良いという回答に該当する行動をとったり、意識したりしているでしょうか。 ・国産材の消費を心掛けている ・契約した新電力会社は森林を切り開いて太陽光パネルを設置していない ・木質バイオマス発電所は、輸入チップに頼るべきではない これまで君たちが自分から「日本林業をどうすればよいか？」などと考える機会はほとんどなかったと思います。この授業の目標は、受講生に「日本林業のこと・日本林業再生のことは、他人ごとではなく自分事として感じられるようになることです。 林業に一生懸命に取り組んでいる方々ｔ知り合う機会を得ることは、きっとその様な感じ方ができる近道になるのでは。 一人でも、日本林業の今後のことを考えてくれる人を増やさなければならないと思っています。 このゼミに、その様な力があるのかどうか？ それは受講した気にたちだけが知ることになるのでしょう。 まず、参加してみて欲しいと思っています。
成績評価方法	積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。 加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60229	A 2	続伊豆に学ぶ_伝統工芸を守ることから考える 日本刀は刀鍛冶だけでできるものではないという 当たり前を正しく理解することの真のねらい	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】本ゼミはたたら製鉄・刀剣の里である岡山県を訪ねます。研磨炭焼き体験を基に考察するゼミですので、リモート受講はできません。 巷では日本刀ブームがおこり、日本刀に魅力を感じる若い人が増えている様です。それはとても素晴らしいことだと思います。日本刀は我が国の伝統工芸の代表格と言えるものかも知れません。 日本刀などの伝統工芸の価値とはいったいどの様なものでしょう。美術的な価値でしょうか、あるいは希少性に由来する類の価値でしょうか。例えば、上杉謙信公の愛刀ともなれば希少性は相当に高く、国宝となっているものがいくつか知られています。 しかし、このゼミでは伝統工芸の価値を、これらの「国宝」の価値とは切り離して考えてみたいと思います。（伝統工芸に興味を持つ入口として、国宝クラスの日本刀の魅力が果たす役割を否定するものではありません。日本刀好きから、興味が広がって本ゼミの受講を検討いただけることは、むしろ嬉しく思います。） 伝統工芸には長い歴史の中で培われてきたその土地その土地での人の営みを顧みたり、人がどの様に自然に向き合い活用してきたかを今に伝えたりする価値（≒意義）があると考えています。手に入れられるモノが限られる中で、使えるものを徹底的に工夫して、最大限に活用する（素材の良さを最大限に引き出す）技が蓄積していったのでしょう。技が受け継がれ、その技の対象と成るモノがしっかりと供給されて、初めて伝統工芸が守られることになります。それらがしっかりと守られることによって、現代社会が見落としがちのことに意識を向ける絶好の仕掛けとして機能するのではないかと期待します。 このゼミで着目する駿河炭は、それ自体がいわゆる伝統工芸品ではありません。駿河炭は伝統工芸品の製造に欠かせない研磨炭です。歴史は意外に浅くて、明治期に漆器製造が盛んであった静岡県（駿河）でアブラギリの炭が焼かれ研磨炭に用いられたことに端を発するとのことです。現在、駿河炭は駿河では焼かれておらず、福井県と岡山県で焼かれています。 駿河炭には、ニホンアブラギリ資源の枯渇という持続可能性の面で問題がありました。アブラギリはかつて桐油(乾性油)を得るために栽培され、明治初期は福井県や島根県が主要な産地でした。今も福井で駿河炭が焼かれているのは、資源量が多かったからと言えそうです。今は、それも底をつきつつあります。 木材の塗装や紙に撥水性を付与する用途のために桐油が使われましたが、石油由来の製品にとって代わられ、今ではアブラギリを栽培することはなくなりました。ということは、現状で何もしなければ、アブラギリ資源は回復を見込めないということになります。東大演習林は、アブラギリ資源を絶やさない施業の仕方に取り組んでいて、それも伝統工芸を守る重要な役割の一つであると考えています。 駿河炭は漆器表面の研磨に欠かせない研磨炭ですが、そのことはあまり知られていません。漆器と言えば、ウルシ（植物）や漆掻きや塗師の重要さは誰でも知っているが、研磨炭は漆器の仕上がりを左右するというのにその重要性が知られていないのはどうしたことでしょう。 本ゼミでは日本刀の聖地のひとつ岡山県長船を訪ねます。刀工集団「福岡一文字派」が活躍した備前国福岡の地。現在の長閑な雰囲気と、かつて武器製造拠点であったという史実に大きな隔たりを感じるでしょうか、それとも蓋然性のようなものを感じるのでしょうか。ゼミ中にあなたは何を感じ、何を思うのか。本ゼミではそれを大事にしたいと思います。
成績評価方法	積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60230	Ａ２	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作りから考えるＡエネルギー不足の日本で森林資源をエネルギー利用しない手はない。エネルギー利用ならユーカリを活用しよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 この講義の目的は、東京大学の学生の皆さんに日本の山林管理の重要性に気づいてもらうことです。「エネルギーの森つくり」と言うのはその管理手法の一つの形態であると捉えてください。エネルギーの森つくりという話題を入り口として、我が国の森林管理の在り方について考えてもらいたいと思っています。 エネルギーの森つくりの話をする前に、大前提の話をさせてもらいます。 ①我が国は慢性的にエネルギー不足の国である ②国土の１／４強を針葉樹人工林としているにも拘らず、その唯一の管理手段である林業を衰退させたまま半ば放置している これら①②については、皆さんはご存じだと思います。 これらに加えてもう一つ。 ③獣、特にシカの密度が高いため森林の更新がうまくいかない。そういう状況があちこちの森林で起こっている ③はご存じない方も少なくないかも知れません。森林の更新というのは森林の若返りと言ってもよく、更新を維持できないと森林は森林であり続けることができません。一本一本の樹木には寿命があり消えていきますが、更新が健全に行われるとその穴を埋めるように次の樹木が育ち、次々と受け継がれていき森林は森林であり続けることができるのです。シカの密度が高いと更新の担い手である稚樹・幼樹をことごとく食べつくしてしまいます。その状態が長く続けば森林は森林であり続けられないことになります。 ユーカリの利点は成長が早いことと、逸出の危険性が低いことです。 成長の早さは、一般的には体積を増すスピードで計られます。つまり、材積をどれだけ増やすかという尺度です。私たちになじみ深いスギは成長が早い方ですが、ユーカリはそのスギと比べてもはるかに成長が早い樹種（少し厳密に言うと、ユーカリ属の中にはスギよりも成長が早い種が存在する）と言えます。 成長が早いと材がスカスカなのではないかと思われがちですが、ユーカリはそんなことはありません。空気中で乾燥した状態の比重（気乾比重と言う）で比べると、スギは０．４くらいであるのに対して、比較的軽めのユーカリ種で０．５５くらいから重めのユーカリでは０．８くらいになります。（ユーカリというのはユーカリ属の総称で、ユーカリ属の中には種が８００もあると言われています。灌木のようなものから高木になるものまで様々です。私たちが「ユーカリ」と言うと高木になり、成長が早いものを指すことが多いです。） 材積が大きく比重も大きいことから、ユーカリの光合成能力はスギよりも高いといえます。カロリーベースで比較するならば、スギよりもかなり有利な樹種と言えます。 逸出というのは、種子が散布されたりして勝手に増えてしまうことです。スギやヒノキという樹種はよく逸出することが知られています。逸出する外来種の樹木としては、ニセアカシア（ハリエンジュ）が有名でしょうか。ニセアカシアは日本の至る所に入り込んでしまいました。川沿いなど林縁が多いのが少し救いなのかも知れませんが、もはや駆除できる段階ではありません。ユーカリはどうかと言うと、かなりおとなしい外来種と言えそうです。南伊豆町の樹芸研究所では４０年来ユーカリ林を維持していますが、逸出は確認されていません。 ゼミのタイトル的には①の話がされることしか想像できないかも知れませんが、それほど単純に済ませるべきではないというのが、このゼミの真骨頂だと思います。 ①②③は別の話として語られることが多いのですが、つなげて考えるところに妙味があると考えています。ゼミではそういう話をしさせてください。
成績評価方法	積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60231	Ａ２	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ２_１（低山ゼミＡ２）	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講可能です。オンライン受講はできないのでご注意ください。ハンディキャップがある方には本当に申し訳ありません。

山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりではありません。

山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという目的を掲げます。多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄ります。適度な運動のあと。温泉でさっぱりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。しかめ面せずに楽しみながら行う予定です。

Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行ではやりにくい、山行の振り返りと、各々の意見を交換する機会となります。どうぞお楽しみにしてください。

日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたはご存じだと思います。その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 専門家でもないあなたは何も考える必要はないのでしょうか。人任せにしていて、取り返しのつかないことにならないでしょうか。

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山で、林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山林を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたいのです。林業の視点で山林を眺めるとどの様に見えるでしょう？その様な視点を獲得することがこのゼミの狙うところです。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えない状態に慣れきっていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物や現象をゆっくりと観察できる歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩くと見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

「感じる・考える・行動する」のサイクルを回そう。これは鴨田が主宰する全てのゼミに共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。これらのゼミの中での気づきや変容について、学園祭に企画を立てて発信することを目的とする全学自由研究ゼミがあります。こちらに繋げてゆくと、なお楽しめます。

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

・レポート提出が無い場合は不合格になります。

・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。

・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。

・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。

・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51391「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、

51392「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が１単位になっています。

３山行に参加し、レポートで合格すると２単位つきます。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60232	Ａ２	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ２_２（低山ゼミＡ２）	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講可能です。オンライン受講はできないのでご注意ください。ハンディキャップがある方には本当に申し訳ありません。

山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりではありません。

山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという目的を掲げます。多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄ります。適度な運動のあと。温泉でさっぱりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。しかめ面せずに楽しみながら行う予定です。

Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行ではやりにくい、山行の振り返りと、各々の意見を交換する機会となります。どうぞお楽しみにしてください。

日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたはご存じだと思います。その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 専門家でもないあなたは何も考える必要はないのでしょうか。人任せにしていて、取り返しのつかないことにならないでしょうか。

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山で、林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山林を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたいのです。林業の視点で山林を眺めるとどの様に見えるでしょう？その様な視点を獲得することがこのゼミの狙うところです。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えない状態に慣れきっていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物や現象をゆっくりと観察できる歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩くと見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

「感じる・考える・行動する」のサイクルを回そう。これは鴨田が主宰する全てのゼミに共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。これらのゼミの中での気づきや変容について、学園祭に企画を立てて発信することを目的とする全学自由研究ゼミがあります。こちらに繋げてゆくと、なお楽しめます。

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

・レポート提出が無い場合は不合格になります。

・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。

・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。

・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。

・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51391「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、

51392「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が１単位になっています。

３山行に参加し、レポートで合格すると２単位つきます。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60233	A 2	伊豆に学ぶ自然の恵みを活かす技（冬） Learning at Izu: skills and arts to utilize nature's gifts (winter)	齋藤 暖生、 鄧 送求、 鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

樹芸研究所は伊豆半島の南端、静岡県南伊豆町に立地する東京大学演習林の一つである。この研究所は、第二次世界大戦中、熱帯・亜熱帯産の特用樹木の研究施設として設立された歴史を持つ。東京大学演習林の中で、樹芸研究所の特徴として以下の 2 点が挙げられる。熱帯・亜熱帯の植物を多く扱っている点、および樹木をはじめとした森林植物の加工過程に重点が置かれている点である。

特に後者の特徴は、本講義の主題に深く関わる。樹木は、私たち人間が価値を見出し、あるいはさらに手を施すことによって「恵み」となる。この研究所が追求する「樹芸」とは、樹木をはじめとした森林の様々な資源を、より有効に人間社会に活かそうとする人間の技や営みである。

本講義は、樹芸研究所および周辺地域における体験を伴う現地集中講義を主体とする。本講義が行われる地域は、伊豆半島の南端であり、どの地域からもアクセスは容易ではない。しかし、こうした地域にも多くの人々が暮らしてきたし、また、その歴史も長い。このことは、この地域にある自然を「恵み」として活かす「眼差し」や「技」が、古くから存在してきたことを意味する。

日本は小資源国である、という定説がある。この定説において、人が自然から「恵み」を創り出す能力は、捨象されていると言ってよい。本講義は、この人が持つ能力の可能性を理解することを目標とする。そして、この能力は、単に机上の知識で十分に理解できるものではない。実際に現地を歩き、自然から恵みを得るための作業に身を投じ、頭と体をフル動員して理解してもらいたい。

※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 15 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。
※ガイダンス：12 月 4 日 2 限に行う。
※現地集中講義の時期と場所：2 月 23 日（火）から 2 月 26 日（金）までの 3 泊 4 日の日程で、樹芸研究所およびその周辺地域において実施する。

成績評価方法　出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60234	A 2	猟師に学ぶヒトと自然	齋藤 暖生、 鄧 送求	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

ヒトは雑食動物であり、植物のみならず動物も主要な栄養摂取源としてきた。各種の考古学的史料を見るまでもなく、ヒトが食料を獲得するために行う狩猟の歴史は、ヒトの歴史とともに古い。しかしながら、現代のヒトは動物性の栄養源を獲得するために、狩猟を必須としない。むしろ、狩猟以外の方法、すなわち畜産等に依存している。このような時代においても狩猟が存在するということは、興味深い事象である。

動物性の食料を得るうえで現在私たちが依存しているのは、人類が築き上げた知恵であり、技術であると概括できる。畜肉を取り上げるならば、動物を家畜化し、家畜の特性に改良を重ね、量的・質的に安定した生産システムを構築し、消費者の負担を極度に軽減する形で提供される流通システムが実現されている。現代の私たちが気軽に畜肉を消費できる背景には、こうした大掛かりなシステム（技術の集合）があるが、これはまさに人類の知恵の産物である。

一方、狩猟は技術という点では、銃の使用や GPS の導入など、一定の進展はあるとはいえ、いまだに低位に留まっている。猟師が獲物に接近するには、現地に立ってその目で観察し、獲物の居場所を自分の知力で突き止める必要があるし、突き止めたところで、確実に捕獲できるとは限らない。上記の畜肉と比較したとき、技術水準の低さから資源獲得の確実性は低位に留まっていると特徴づけられる。しかし、低技術であるがゆえに、狩猟には狩猟者自身の高度な知識と技が要求される。その重要な部分が、生身の体をもって自然の状況を知る技である。これは、現代の人類の多くが失いつつある、あるいはすでに失ってしまった能力であり、今となってはヒトの「もうひとつの知性」と言えるものだろう。

樹芸研究所青野研究林では、猟師グループによるイノシシを主要なターゲットとした狩猟活動が行われている。本講義では、この狩猟グループに属する狩猟者とともに、実際の猟場を探索し、狩猟者の活動を可能な限りリアルに体験することで、「もうひとつの知性」を体得する足掛かりとしたい。また、「もうひとつの知性」を得ることで見えてくる自然のあり方、ヒトのあり方を学ぶことを目指す。

※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 10 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は初回講義で提示した課題への提出内容に応じて、選抜を行う。
※事前講義：12 月 7 日（月）1 限にガイダンスを兼ねた第 1 回講義、1 月 18 日（月）1 限に第 2 回講義を行う。
※現地集中講義の時期と場所：2 月 10 日（水）から 2 月 12 日（金）までの 2 泊 3 日の日程で、樹芸研究所において実施する。

成績評価方法　出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60236	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプ I Kashiwa Campus Science Camp I	河村 正二、 山本 晃生	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【Note1】英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。(Some programs will be conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website:
URL: https://drive.google.com/file/d/1nXYjTwZmpc0krNonCcp1hA-bgxRvFMAE/view?usp=sharing)
【Note2】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 2 泊 3 日あるいは 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
(宿泊は柏キャンパス周辺、神岡宇宙素粒子研究施設近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担します。)
KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室あるいは神岡宇宙素粒子研究施設で、実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
【ガイダンスとエントリー登録】
・10 月 5 日(月)6 限(18:45~)に KSC2026 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加は、KSC のホームページから申込みできます。
・履修希望者は、履修登録前に KSC のホームページにある応募フォームから必ずエントリーして下さい。エントリー後、KSC 事務局から採択結果をご連絡致します。
エントリー期限 ：2026 年 10 月 7 日(水) 正午
(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Wednesday, October 7, 2026, at noon. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.)
【環境イノベーションとサイエンスコース（5 プログラム)】対象：理科・文科
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン」
2.「二酸化炭素を捕まえる材料を作ろう」
3.「環境にやさしい化学のものづくり：超臨界流体技術を例として」
4.「感性と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」
5.「下水道インフラの維持管理と科学技術」
【エネルギーとマテリアルコース（5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 2・4 は理科のみ）
2027 年 2 月 23 日(火)—26 日(金)
1.「レーザーを用いた先端顕微鏡を作ってミクロな世界を覗いてみよう！」
2.「ナノ触媒でクリーンエネルギーを作ろう」(理科のみ)
3.「極超音速空力加熱に耐えるには？」
4.「核融合プラズマの電磁場構造を調べよう」(理科のみ)
5.「核融合プラズマの光計測入門」
【生命コース（4 プログラム)】対象：理科・文科 (プログラム 4 は理科のみ)
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「トゲウオから探る適応進化の分子遺伝機構」
2.「生理測定と遺伝子解析からみるヒトの寒冷適応」
3.「出芽酵母の細胞内分解を観る」
4.「植物ウイルスの増える過程を調べる」(理科のみ)
【生研コース(5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 1 は理科のみ）
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「物性理論物理のフロンティア」(理科のみ)
2.「エルニーニョと気候変動：日本にどのような影響を及ぼすか？」
3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」
4.「身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう」
5.「コンピュータはどうやって「ビッグデータ」を扱うのか？その基盤技術を体験しよう」
【物理と数学による宇宙研究コース（4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「群論でデザイナーになろう！」
2.「素粒子を見る技術」
3.＊English program「Space Radio Hack Camp」使用言語：英語
4.＊English program「Studying Galaxies in the Cosmos with Subaru Telescope and Supercomputers (すばる望遠鏡とスーパーコンピュータによる宇宙の銀河の研究)」使用言語：英語
【宇宙コース（4 プログラム)】対象：理科のみ
2027 年 2 月 23 日(火)—26 日(金)
1.「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」
2.「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線」(神岡宇宙素粒子研究施設)

	3.「マイケルソン干渉計で学ぶ重力波検出」(神岡宇宙素粒子研究施設) 4.「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」 【サステイナブル政策コース(4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科 2027 年 2 月 17 日(水)―19 日(金) １.「気候変動の解決に、条約は有効に機能しているのか、考えてみよう」 ２.「デジタルヘルスで実現するウェルビーイング」 ３．＊English program「Exploring Low-Carbon Futures: Data, Modeling, and Simulation」使用言語：英語 ４.「複合的危機って何だろう？：気候変動対策と資源利用から学ぶ」 【物性コース（4 プログラム)】対象：理科・文科 2027 年 2 月 16 日(火)―19 日(金) 1.「理論研究を体験し新現象を発見しよう！」 2.「強磁場と超音波で見る物質の量子現象」 3.「結晶を作って、電子のふるまいを測ってみよう」 4.「分子シミュレーションを体験しよう」 【大気と海洋コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2027 年 3 月 2 日（火）―5 日（金） 1.「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」 2.「南極海の石から探る変動する地球の姿」 3.「バイオロギングで調べる海洋動物の行動と生態」 4.「未知なる海の動物プランクトンの多様性を探索しよう」 5.「変わりゆく海洋環境―化学の視点から」
成績評価方法	担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。（Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60237	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプ II Kashiwa Campus Science Camp II	河村 正二、 山本 晃生	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【Note1】英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。(Some programs will be conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website:
URL: https://drive.google.com/file/d/1nXYjTwZmpc0krNonCcp1hA-bgxRvFMAE/view?usp=sharing)
【Note2】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 2 泊 3 日あるいは 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
(宿泊は柏キャンパス周辺、神岡宇宙素粒子研究施設近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担します。)
KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室あるいは神岡宇宙素粒子研究施設で、実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
【ガイダンスとエントリー登録】
・10 月 5 日(月)6 限(18:45~)に KSC2026 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加は、KSC のホームページから申込みできます。
・履修希望者は、履修登録前に KSC のホームページにある応募フォームから必ずエントリーして下さい。エントリー後、KSC 事務局から採択結果をご連絡致します。
エントリー期限 ：2026 年 10 月 7 日(水) 正午
(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Wednesday, October 7, 2026, at noon. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.)
【環境イノベーションとサイエンスコース（5 プログラム)】対象：理科・文科
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン」
2.「二酸化炭素を捕まえる材料を作ろう」
3.「環境にやさしい化学のものづくり：超臨界流体技術を例として」
4.「感性と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」
5.「下水道インフラの維持管理と科学技術」
【エネルギーとマテリアルコース（5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 2・4 は理科のみ）
2027 年 2 月 23 日(火)—26 日(金)
1.「レーザーを用いた先端顕微鏡を作ってミクロな世界を覗いてみよう！」
2.「ナノ触媒でクリーンエネルギーを作ろう」(理科のみ)
3.「極超音速空力加熱に耐えるには？」
4.「核融合プラズマの電磁場構造を調べよう」(理科のみ)
5.「核融合プラズマの光計測入門」
【生命コース（4 プログラム)】対象：理科・文科 (プログラム 4 は理科のみ)
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「トゲウオから探る適応進化の分子遺伝機構」
2.「生理測定と遺伝子解析からみるヒトの寒冷適応」
3.「出芽酵母の細胞内分解を観る」
4.「植物ウイルスの増える過程を調べる」(理科のみ)
【生研コース(5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 1 は理科のみ）
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「物性理論物理のフロンティア」(理科のみ)
2.「エルニーニョと気候変動：日本にどのような影響を及ぼすか？」
3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」
4.「身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう」
5.「コンピュータはどうやって「ビッグデータ」を扱うのか？その基盤技術を体験しよう」
【物理と数学による宇宙研究コース（4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科
2027 年 2 月 16 日(火)—19 日(金)
1.「群論でデザイナーになろう！」
2.「素粒子を見る技術」
3.＊English program「Space Radio Hack Camp」使用言語：英語
4.＊English program「Studying Galaxies in the Cosmos with Subaru Telescope and Supercomputers (すばる望遠鏡とスーパーコンピュータによる宇宙の銀河の研究)」使用言語：英語
【宇宙コース（4 プログラム)】対象：理科のみ
2027 年 2 月 23 日(火)—26 日(金)
1.「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」
2.「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線」(神岡宇宙素粒子研究施設)

	3.「マイケルソン干渉計で学ぶ重力波検出」(神岡宇宙素粒子研究施設) 4.「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」 【サステイナブル政策コース(4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科 2027 年 2 月 17 日(水)―19 日(金) １.「気候変動の解決に、条約は有効に機能しているのか、考えてみよう」 ２.「デジタルヘルスで実現するウェルビーイング」 ３．＊English program「Exploring Low-Carbon Futures: Data, Modeling, and Simulation」使用言語：英語 ４.「複合的危機って何だろう？：気候変動対策と資源利用から学ぶ」 【物性コース（4 プログラム)】対象：理科・文科 2027 年 2 月 16 日(火)―19 日(金) 1.「理論研究を体験し新現象を発見しよう！」 2.「強磁場と超音波で見る物質の量子現象」 3.「結晶を作って、電子のふるまいを測ってみよう」 4.「分子シミュレーションを体験しよう」 【大気と海洋コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2027 年 3 月 2 日（火）―5 日（金） 1.「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」 2.「南極海の石から探る変動する地球の姿」 3.「バイオロギングで調べる海洋動物の行動と生態」 4.「未知なる海の動物プランクトンの多様性を探索しよう」 5.「変わりゆく海洋環境―化学の視点から」
成績評価方法	担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。（Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60238	A 2	Design for Speculative Futures 未来を構想するデザイン	PENNINGTON Miles、 筧 康明 、 ミーッカ レヘトネン	情報学環	木 3, 木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 Classes are 100% in-person. S-Building @ Komaba II Research Campus. Note: It takes 5-10 mins to travel from Komaba I campus to Komaba II campus. 授業はすべて対面で実施されます。場所は駒場IIリサーチキャンパスの S 棟です。 ※駒場 I キャンパスから駒場第IIキャンパスまでは移動に約 5〜10 分かかります。 -- This class is taught in English with some Japanese translation. 本授業は英語で実施され、一部日本語での補足説明があります。 -- This course introduces students to critical and speculative approaches to design. Rather than treating design only as a way to solve problems, students will critically examine society and systems to form new perspectives, and rethink the assumptions that usually go unquestioned. The focus is on learning to construct critical questions and articulate thought-provoking prompts which are skills that are foundational for responsible research and decision-making. The course is led by Miles Pennington, with contributions from UTokyo faculty members Prof. Daijiro Mizuno and Dana Karwas, bringing complementary expertise in speculative design and offering students a valuable opportunity to learn from a range of experienced teachers and perspectives. -- Theme: To be discussed and agreed, based on the proposed subject of inquiry. -- Objectives: Design is not just about polished outputs or aesthetics. It is a way of discovering what matters, a language for collaboration, and a catalyst for imagining and building futures that do not yet exist. This course looks at how design can be used to ask questions, challenge assumptions, and help us see familiar things in a new way. Over the course you will look closely at everyday systems and the ideas we tend to take for granted, and learn to turn what you notice into clear, thought-provoking questions. This course does not require a background in design. Working in small groups, you will try out approaches from critical and speculative design, and share and debate your work with the class. Along the way you will meet designers working at the forefront of the field, including a guest session with Tony Dunne and Fiona Raby.
成績評価方法	Student performance will be evaluated comprehensively based on assignments and project outputs, documentation and reflection on the learning process, presentation, and active participation in class discussions. Student performance will be evaluated based on the following criteria: -- Class Engagement: Active and responsible engagement in the learning process Presentation: Quality and coherence of outcomes and their communication Exercise (Class work): Ability to connect theory, practice, and values Reflection: Reflection on depth of exploration, experimentation, and iteration -- Grades descriptors: Excellent (A) Awarded for work that goes beyond standard completion to demonstrate truly outstanding performance. This includes original and well-developed questions, depth of critical thinking, and clear communication of ideas and process. Good (B) Awarded for solid and well-developed work that meets the course objectives. Work demonstrates clear understanding of the course's approaches, good collaboration, and effective communication, though may lack the depth, refinement, or originality of A-level work. Satisfactory (C) Awarded for work that meets the minimum requirements of the course. Basic engagement with the course's approaches is evident, but outcomes may be underdeveloped, inconsistent, or lacking in clarity, depth, or participation in discussion. Fail (D) Awarded where course requirements are not met. This may include insufficient participation, incomplete submissions, or a lack of engagement with the coursework. Grading Method: in accordance with University of Tokyo regulations, letter grades will be used.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修等のさまざまな活動がある。授業参加学生は、研修への参加と各授業が求める課題の提出等によって単位を得ることができる。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜が行われる場合や、ある水準以上の語学力が求められる場合がある。国内外の研修に参加する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除する必要がある。また、履修が許可された後から出発までの期間に履修を辞退することは、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、予め十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※国際情勢・諸外国の動向により、開講形態や研修内容等が大幅に変更になる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60087	A 2	ミュンヘン大学ドイツ語春季研修	斉藤 涉	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】国際情勢や渡航先の状況、その他やむを得ない事情、または最少催行人数に達しない場合には、本研修を変更または中止することがあります。 ・「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。 ミュンヘン大学で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。
成績評価方法	渡航前の準備会への参加、授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000 字程度）の提出、（メールによる提出）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60088	A 2	慶熙大学校春季韓国語研修（インテンシヴ［高度］研修）	河崎 啓剛	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】国際情勢や渡航先の状況、その他やむを得ない事情、または最少催行人数に達しない場合には、本研修を変更または中止することがあります。 中級レベルの韓国朝鮮語学習者を主たる対象として、慶熙大学校（韓国ソウル）での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、数回の事前学習や事前レポート、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。 【参加資格】 ・中級レベルの韓国朝鮮語の授業を履修済み（見込み）であること。 ・韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）［高度］の A セメスターの授業を履修済み（見込み）であること。 ・韓国朝鮮語一列・二列を 1 年間、履修済み（見込み）であること。
成績評価方法	事前学習、レポート、現地での活動状況によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60089	A 2	国際研修（台湾）高度インテンシブ研修	阿古 智子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】国際情勢や渡航先の状況、その他やむを得ない事情、または最少催行人数に達しない場合には、本研修を変更または中止することがあります。 台湾にてフィールドワークを中心とする研修を行う。A2 に行われる事前講習にも必ず出席しなければならない。台湾をめぐる歴史や国際関係、社会問題などに強い関心を持ち、事前授業から台湾でのフィールドワーク、レポート執筆に積極的に参加できるものを選抜する。事前講義の日程はのちほど連絡する。昨年度は、11 月下旬から 1 月の金曜 5-6 限（グループワークの相談はオンラインでも行う）。
成績評価方法	後日連絡する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 授業でお伝えする。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60090	A 2	ロシア語インテンシヴ研修	浜田 華練	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】国際情勢や渡航先の状況、その他やむを得ない事情、または最少催行人数に達しない場合には、本研修を変更または中止することがあります。 この授業は、2025 年度入学の初修ロシア語を履修した学生のうち、すでに高度なロシア語運用能力を身に着けている者を対象に実施する。授業の参加には一定レベルのロシア語運用能力が必要とされるため、履修希望者には選抜試験（筆記試験およびロシア語による面接）を課す（選抜試験の日程は、後日 UTAS 掲示板および UTOL で通知）。 授業の目標は以下の通り。 1. ロシア語教育を専門とする教育機関において、ロシア語で授業を受けることで、総合的なロシア語運用能力の向上を目指す。 2. ロシア語というツールを用いて多様な言語的・文化的背景を持つ人々と交流することを通じて、グローバルな視野を養う。 3. 実際に現地で生活することで、知識だけでなく生身の経験に基づいて異文化への理解を深める。
成績評価方法	事前研修を含めた研修全体における参加および貢献と、研修後に提出するレポートに基づいて評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60091	A 2	平和のために東大生ができること：中央アジア研修	岡田 晃枝	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本授業の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意 2】この国際研修の履修を希望する者は必ず 10/8（木）5 限に行われる全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」のガイダンスに参加し、A1 タームの同全学ゼミを履修してセレクションを受けること。セレクションに合格して国際研修を履修することになった者は、A2 ターム木曜 5 限に行われる全学ゼミ「平和のために東大生ができること II」を履修すること。 【注意 3】国際情勢や渡航先の状況、その他やむを得ない事情、または最少催行人数に達しない場合には、本研修を変更または中止することがあります。 【注意 4】履修者数を前期・後期あわせて 12 名、うち後期課程生を 3 名までに制限する。 --- 旧ソ連中央アジアの一国カザフスタンは、ソ連時代に数百回の核実験が行われたセミパラチンスク核実験場（1991 年閉鎖）跡を国内に擁し、核軍縮分野でイニシアティブを発揮しており、この分野で日本と協働することも多い。一方で、エネルギー転換の必要性から原子力発電所の建設計画が動き出しており、2024 年 10 月の国民投票では建設賛成多数であったとはいえ、依然として残る核実験被害と核の平和利用の間で国民感情は揺れている。また、2022 年 1 月に大きな国内暴動と政治変動を経験し、現在は関係の深いロシアのウクライナ侵攻によりさまざまな影響を受けている。 この国際研修ではカザフスタンを訪問し、同国が直面している安全保障上の問題について現地で学ぶと同時に、持続可能な開発目標（SDGS）の目標 16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生と学び合い、議論してその成果をまとめる。 事前準備として A1 ターム・A2 タームを使って全学ゼミ（上記注意事項参照）で基礎的な知識を得てもらうほか、外務省や駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。 実施時期は 2 月末から 3 月上旬の約 2 週間を予定している。 ＊この国際研修のガイダンスは、A1 ターム全学ゼミ「平和のために東大生ができること I」のガイダンスと同時に行う。10 月 8 日（木）5 限実施。履修希望者は必ず出席すること。
成績評価方法	研修準備への取組、研修中のプログラムへのコミットメント、研修後の報告書
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50114	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、ウッドワード ジョナサン ロジャー、甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Applications of Mathematics in the Sciences
授業の目標概要	This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs. The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following: Part I (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin. Part II (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan. Part III (chemical and environmental engineering). Process modeling and control: Mathematical modelling and control systems related to industrial and environmental processes.
成績評価方法	Grading for this course is based on those of three parts. Part I: Assignments, quizzes, attendance and participation Part II: In-class quizzes and attendance Part III: Assignments, attendance and participation
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50119	A	思想・芸術I(PEAK)	藤井 翔太	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Comparative Philosophy of Education
授業の目標概要	In this course, we will explore a range of philosophical themes from a comparative perspective, approaching philosophy as a fundamental inquiry into worldviews and ways of life. We will also examine the educational implications of key concepts—such as the self, virtue, moral dilemmas, human nature, and the limits of language—and consider how these ideas can be applied in our own teaching practice. Through close readings of textbooks and scholarly articles on Asian philosophy written by English-speaking philosophers, we will engage with distinctive interpretations of Asian thought that draw on conceptual frameworks from Western philosophy. By critically reading and discussing these comparative philosophical works, students are expected to develop a rich and nuanced understanding of central ideas in both Eastern and Western philosophy.
成績評価方法	a. Reading Questions: 12% of Grade b. Online Discussions: 12% of Grade c. Leading Class Discussions: 30% of Grade d. Final Essay and Presentation: 30% of Grade e. Participation (throughout): 16% of Grade *The grading scheme may be adjusted at the beginning of the semester depending on the number of students enrolled. Any changes will be announced during the first class session.
教科書	その他。／Other
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50155	A	コンピューティングの基礎(PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to computing
授業の目標概要	In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.
成績評価方法	Assignments and class participation
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50177	A	哲学・倫理(PEAK)	佐藤 邦政	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to Non-Ideal Epistemology
授業の目標概要	This class aims to explore a broad range of basic topics in contemporary non-ideal epistemology. Traditionally, epistemology in the analytic tradition has concentrated primarily on the nature of justification and knowledge. However, recent developments in this field have expanded its scope to illuminate previously underexplored dimensions. These include the social and political dimensions of knowledge transmission and inquiry, agential dimensions of doxastic agency, and ethical dimensions of epistemic justice, as well as our responsibility for transformation and ignorance. This class provides participants with the opportunity to comprehend the basics of the aforementioned themes, enabling them to critically evaluate both classical and contemporary issues. This includes addressing epistemic dysfunctions within the present social world. Learning goals: First, students will acquire historical and contemporary perspectives on non-ideal epistemology, such as disputes over the nature of ignorance. Second, students will acquire questioning competencies through active participation in group discussions so that they can clearly express their views.
成績評価方法	Grade: Your grade is determined by participation in the group questioning practice in each class (13 times) (about 70%) and term paper submission (30% max.). I will adjust grades to expected levels for undergraduate programs. Regarding the term paper, students are assinged a term paper between 1000 and 2000 words (incl. any footnote and bibliography). Topic: Any theme is acceptable as long as your paper discusses themes relevant to the class discussion. Content: The term paper comprises a synopsis of the class argument and your critique of the discussion. Submission: the instruction is given in class.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50215	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Global environmental problems and sustainable development
授業の目標概要	This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions: - People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for? - How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by? Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues. From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not. The course is primarily designed for PEAK students, but participation of April-entry students (一般生、非 PEAK 学生) is also welcomed.
成績評価方法	Grading will be made based on a class presentation and commentaries about class presentations (25%), a final essay (25%) and short assignments/quizzes given at each class (50%). Details of each requirement will be given at class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50421	A	法・政治(PEAK)	松原 健太郎、杉之原 真子	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Law and Political Science
授業の目標概要	The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.
成績評価方法	Written examination at the end of the semester. Class participation (including submission of comments via Google Forms) will also be taken into account.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Class materials will be distributed digitally via UTOL.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50423	A	科学技術基礎論(PEAK)	三村 太郎	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	History of Science: from Greek Science to Newton
授業の目標概要	Science has an image of being a discipline that deals with unchangeable truths. but on the other hand, science has a long history dating back to ancient times, with various 'sciences' having been accomplished in different regions and at different times, forming the science of today. This lecture will provide an opportunity to look at science from the perspective of world history. In particular, I will trace how science was developed in each region and period, by what kind of people, for what purpose and in what form, from ancient times to the formation of modern science.
成績評価方法	The final report will be required.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	社会科学ゼミナール(PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Science, Technology, and Law
授業の目標概要	This course is an introduction to Science, Technology, and Law as an emergent field of study. It explores the multifaceted interplay existing between law (environmental law, constitutional law, human rights law, criminal law, property law, international trade law) and technological developments in both life sciences and information sciences. Through interactive lectures, case studies, and the preparation of a final mini-project, students reflect in particular on how to address the growing gap between the pace of such developments and the lagging responsiveness of legal and ethical oversight society relies on to govern innovations in science and technology.
成績評価方法	Active participation in group and classroom discussions: 30%. Three 600-word write-ups: 30%. Final mini-project (joint oral presentation + individual 1000-word essay): 40%.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50457	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	This is a topics course on economics and statistical models. We will approach the models from a mathematical, empirical, and applied perspective. There will be a fair amount of reading and class grades will depend on both a final exam and class discussion (making comments, asking questions, etc.). The overall goal is to give you a sense of how economics and statistics can be used to answer policy important questions. Topics will include markets, supply and demand, competition, monopoly, public goods, the commons, environmental policy, human capital, economic history, GDP, economic growth, monetary policy, finance, and AI. Compared to previous years I am to conduct this class in a more discussion based format but that will depend on student interest and effort. As a default we may resort to pure lecture style with homework and quizzes. This will be my final year teaching at PEAK as I will be on sabbatical in 2027.
成績評価方法	My idea ts to base the final grades on class discussion and a final exam. Class discussion will be assessed based on doing the assigned reading, asking questions, making comments, and overall contributions to the discussion, There will be a cumulative final exam on the last day of class. As a default, we may revert to lectures + homework/quizzes and a final exam.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50651	A	思想・芸術II(PEAK)	川坂 和義	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Popular Culture and Japanese/Asian studies
授業の目標概要	This course offers an introduction to popular culture and Japanese/Asian studies, and a chance to explore key fields of popular culture including television, manga, video game, fashion, and geek (otaku) in contexts of Japan and beyond. Topics for detailed study will include Japanese nationalism and popular culture; manga and queer reading; social discourses about “Otaku”; Disability representation in fiction; gender in video games; Asian queer representations in media outside Asia; kawaii culture and queer femininity; feminist and queer arguments on Boy’s love ,and censorship against Japanese animation such as Dragon ball outside Japan. This course will explore: 1. What kind of discussions are being conducted in Japanese/Asian studies on popular culture 2. How to academically discuss popular cultural works 3. How useful perspectives of gender and sexuality are to analyze cultural representations
成績評価方法	Class attendance and participation: 30% Class Presentation: 30% Term’s essay: 40%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Decision Analysis
授業の目標概要	Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses. In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.
成績評価方法	Evaluation is based on take-home final exam (assignment). The details will be announced in due course.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50748	A	電磁気学の基礎(PEAK)	深津 晋	PEAK 前期	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Electromagnetism (PEAK)
授業の目標概要	Electromagnetism is at the heart of many, if not all, natural sciences. In fact, chemical bondings are no more than electromagnetic couplings, whilst diverse activities in living things are largely controlled by the electromagnetic interactions. This course is intended to be an introduction to the concepts of classical yet modern theories of electromagnetism building on the Maxwell's equations and Lorentz force. Key topics include electrostatics and magnetostatics, time-varying electric and magnetic fields with their origins, scalar and vector potentials, and electrodynamics. Relevant topics including special theory of relativity in view of potential applications will also be covered. More than a handful series of table-top, hands-on experiments for demonstrative purposes are planned.
成績評価方法	Homework assignments: 30% (Vector calculus 5%, Electrostatics 5% , Magnetostatics 5% , Time-varying fields 5%, DIY experiment 10%) Final exam.: 70% Total 100% (Figures are approximate. The number and content of homework assignments may vary,)
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50846	A	スポーツ・身体運動実習II(PEAK)	竹下 大介、田名辺 陽子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness
授業の目標概要	Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.
成績評価方法	Attendance and reports.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to International Relations
授業の目標概要	This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.
成績評価方法	feedback reports (40%), final exam (60%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51051	A	国際・地域II(PEAK)	大道寺 隆也	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to International Organizations
授業の目標概要	This course explores international organizations (IOs) from historical and theoretical perspectives. What is the United Nations (UN), and how has it evolved into its current form? What are regional organizations (ROs), and why do they matter? How should we analyze IOs? To address these questions, the course is divided into three parts. First, it examines the political contexts in which IOs were established and developed, aiming to "demystify" them. Second, it provides an overview of the history, institutional structure, and recent challenges facing ROs, with a particular focus on the European Union (EU). Finally, it introduces theoretical debates by contrasting traditional approaches to IOs with more critical perspectives.
成績評価方法	Active participation (30%), mid-term exam (30%), and final exam (40%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51052	A	統計学(PEAK)	プラナスシッジャ イザク	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	To provide students with a basic knowledge of probability, statistics, and machine learning. To introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language. To develop understanding of the scientific method and learn effective ways to report results.
成績評価方法	Class and Homework (40%), Exam (60%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	社会・制度III(PEAK)	川坂 和義	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to Cultural Studies
授業の目標概要	This course offers an introduction to Cultural Studies which emerged in the UK. The discipline of Cultural Studies is focused on cultural processes in societies and their representations in the arts and the media. It examines the mechanisms of (everyday) culture and analyse the extent to which political, social, and economic interests of certain social actors or groups are inscribed in cultural works. This course aims to understand the basic frameworks of Cultura Studies as well as how Cultural Studies has developed in Japanese cultural contexts. In particular, the course examines strategies of representation, factor of audience, class struggles, power, ideology, processes of production, distribution, and cultural products as diplomatic tools and national brandings.
成績評価方法	Class attendance and participation: 30% Class Presentation: 30% Term's essay: 40%
教科書	その他。／Other
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time